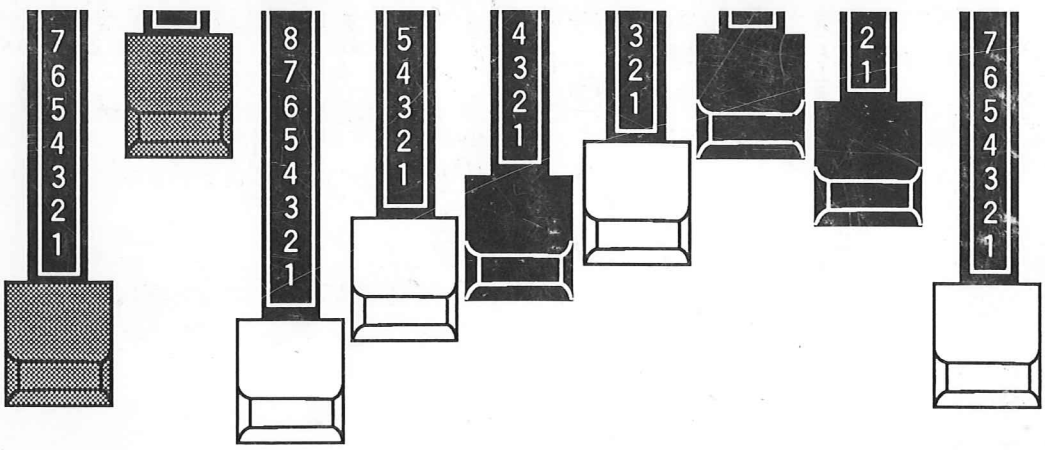


HAMMOND

Model XB-3

取扱説明書

安全のために

ハモンドオルガンを使用する時には、一般の電気（電子）器具と同じように、火災や感電事故を防ぐための諸注意が必要です。ご使用になる前にまず下記の注意事項をよくお読み下さい。

小さな子供が近くにいる時には十分にご注意下さい。

水がかかりやすい所では使用しないで下さい。

この製品は設計上たいへん大きな音量を得られるようになっています。音を大きくしすぎたり、少し気になる程度でも長時間その状態を続ければ重度の聴力障害をひき起こすことがありますので、十分にご注意下さい。また音が聞こえにくくなったり耳鳴りが生じた時には専門の医師にご相談下さい。
周囲は風通しをよくし、暖房器具など熱を出すものの近くには置かないで下さい。

電源は表示通りのものをお使い下さい。

長期間使用しない時は電源プラグを抜いて下さい。
内部に液体や固体の異物が入らないようにご注意下さい。

［故障かな？と思ったら］
1。 電源スイッチは入っていますか？トータルボリュームは中心から上になっていますか？
2。 音色が少なくとも一つは選択されていますか？
3　ヘッドフォンをつないだままになっていませんか？
4　電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？
　そのコンセントには適当な電力が供給されていますか？

以上の点検をした上で直らない時はお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

［こんな時は必ず資格のある修理サービス員にご相談下さい。］

A　電源コードや電源プラグが故障した場合。
B　内部に液体や固体の異物が入り込んだ場合。
C　雨に濡れた場合。
D　動作に異状がある場合。
E　落下などの衝撃を受けて故障した場合。

ご自身で修理をしようとせず、必ず資格のあるサービス員にご依頼下さるようお願いします。

安全表示

注意
感電の危険性あり。
開かないで下さい。

注意：感電事故防止のためフタをはずさないで下さい。内部の部品をお客様自身で修理することはできません。必ず資格をもった修理サービス員にご相談下さい。

SAVE THESE INSTRUCTIONS

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK. DO NOT OPEN!

CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE COVER.
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
REFER SERVICE TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.

このマークは、感電の危険性がある高電圧が装置内に流れていることを示します。

このマークは、操作上あるいはメンテナンス上の重要事項が表示されていることを示します。

必ず守っていただきたいこと：　火事や感電事故防止のため、この製品を雨などの水気や湿気にさらさないようにして下さい。

世界中の人々に愛される

ハモンドオルガン！

楽器を手にした方にこそわかるハモンドオルガンのすばらしい音の世界。1935年に初めて電気オルガンを発売して以来、初心者からプロの演奏家まで、そしてハモンドマニアとも言える愛好家の皆さんに圧倒的な支持をいただいてきたハモンドオルガンの理解者が新たに増えたことを私たちは誇りに思います。この製品は、ハモンドの音としてすでに皆さまに親しまれているものを受け継ぎながら、巧みな技術によって、さらに新しい独自のデジタルサウンドボイシングシステムを取り入れたものです。その音は世界でもトップレベルと言えるでしょう。実際に演奏してみると多彩なエフェクトによって予想以上のエキサイティングな音作りができることに気づかれるはずです。ハモンドオルガンはお買い上げいただいた皆様に、かつて経験しえなかった奥深い音楽の楽しみをお届けいたします。

今や数えきれないほどの楽器が存在する中で、このハモンドの新製品をお選びいただけたことに、心から感謝いたします。

Hammond Organ Model XB-3

Table of Contents

イントロダクション

基本的な接続 …… 4
AC電源 …… 4
ピッチベンド／モジュレーション
コントロールの接続 …… 4
オーディオと　MIDIコントロールの接続 …… 5
足鍵盤の接続 …… 5
ベーシックコントロール …… 6
電源スイッチ ON/OFF …… 6
インフォメーションセンターディスプレイ …… 6
ドローバー …… 6
プリセットキー …… 7
タッチタブ …… 7
タッチボタン …… 7
セレクトタッチボタン …… 7
タッチON/OFF …… 7
タッチ＆ホールド …… 7
ロータリーコントロール …… 8
トータルボリューム(TOTAL VOLUME) …… 8
EXT.INボリューム(EXT. IN VOLUME) …… 8
リバーブ …… 8
チューブオーバードライブ …… 8
トーンコントロール …… 8
ピッチベンドモジュレーションホイール …… 9
RAMカードスロット …… 9

演奏

電源を入れる …… 14
足鍵盤 …… 15
ビブラートとコーラス …… 16
ビブラートとコーラスON/OFF …… 16
ビブラートとコーラスの量を調節する …… 18
ビブラート …… 19
V－1（スモールビブラート）） …… 19
V－2（ワイドビブラート） …… 19
V－3（フルビブラート） …… 20
コーラス …… 21
C－1　（スモールコラース） …… 21
C－2　（ワイドコラース） …… 22
C－3　（フルコラース） …… 22
パーカッション …… 23
セカンドハーモニクス …… 23
サード　ハーモニクス …… 23
ファーストディケイ …… 23
パーカッションソフト …… 23

インフォメーション センター ディスプレイ

タッチボタンの機能 26
　トップボタン機能 27
　トップ　グループ 27
　ボトム　グループ 27
　レコード 27
　シフト 27
　プレイ 27
　メニュー 27
プレイモード 28
　プレイモード・グラフィック＋パラメーター 28
　プレイモード・数字＋パラメーター 29
　プレイモード・グラフィックのみパラメーターなし 30
メニューモード 31
　メニューA 31
　メニューB 32
　メニューC 33
　メニューD 34
　メニューE 35
　メニューF 36
リセットの手順 37

ドローバー　& パーカッション

ドローバー 40
サウンドグループ 41
カラーグループ 42
　白のドローバー 42
　黒のドローバー 42
　茶色のドローバー 43
基本音色とセッティングの形 44
　フルート（2ステップパターン） 45
　リード（三角形パターン） 46
　ダイアペーソン（チェックマークパターン） 47
　ストリング（ボウパターン） 48
足鍵盤用ドローバー 49
　サスティーン・足鍵盤用 49
　足鍵盤から下鍵盤へ 49
　下鍵盤から足鍵盤へ 49
最新の機能／ドローバー 50
　ドローバーボイスモード 51
　ドローバーフォールドバック 53
　パーカッションドローバーキャンセル 57
　パーカッション使用時のドローバーレベル 59
　セカンドドローバー 61
最新の機能／アタック 66
　アタッククリックボリューム 67

エフェクト

パーカッション……69
最新の機能／パーカッション……70
パーカッションタッチ&ベロシティ
センシティビティ……71
パーカッションレベル……73
ビブラート……77
ビブラートON/OFF……77
上鍵盤のビブラートON/OFF……78
下鍵盤のビブラートON/OFF……78
V－1（スモールビブラート）……78
V－2（ワイドビブラート）……78
V－3（フルビブラート）……78
コーラス……79
C－1（スモールコーラス）……79
C－2（ワイドコーラス）……79
C－3（フルコーラス）……79
最新の機能／ビブラートとコーラス……80
ビブラートとコーラスのスピード……81
レスリー……83
レスリータッチタブ……84
レスリーONタッチタブ……84
レスリーファーストタッチタブ……84
最新の機能／レスリー……85
レスリーチャネル・1ch、2ch、3ch……86
サスティーン……88
上鍵盤および下鍵盤のサステイーンON/OFF……88
足鍵盤のサスティーン……88
最新の機能／サスティーン……89
サスティーン長さ……90
チューブオーバードライブ……92
最新の機能／チューブオーバドライブ……93
チューブオーバードライブレベル……94
リバーブ……96
最新の機能／リバーブ……97
リバーブモード……98

プリセット

プリセットキー……102
Aプリセットへの保存……103
足鍵盤のプリセット……104
足鍵盤のプリセットへの保存……104
最新の機能／プリセット……106
プリセットプレイモード……107
B－3モード……107
B－3モード……107
プリセットレコードモード……109
オールモード……109
ドローバーモード……109

コントロールモード……109
工場出荷時のプリセット……111
ハモンド・スタンダード・プリセット
(オリジナルB3プリセット)……114
ハモンド・ジャズオルガン・プリセット……115
ハモンド・シアタープリセット……116

特別な最新機能

最新の機能／チューン……118
チューン チューニング……119
チューン モード……121
チューンコントローラーオフセット……123
最新の機能／ピッチベンド……125
ベンド ピッチベンド……126
最新の機能／モジュレーションホイール……129
モジュレーションホイール・レスリースロー……130
モジュレーションホイール・セカンドドローバー……132
モジュレーションホイール・チューブオーバードライブ……135
最新の機能／フットスイッチ……137
最新の機能／キープレッシャー……141
キープレッシャー・ピッチベンド……142
キープレッシャー・レスリースロ／ファーストON/OFF……144
キープレッシャー・セカンドドローバー……146
キープレッシャー・チューブオーバードライブ……149
キープレッシャー・プレッシャーカーブ……151
最新の機能／エクスプレッションペダル……153
エクスプレッションペダル EXTERNAL IN NON EXP/EXP……154
エクスプレッションペダル カーブ……156
最新の機能／カプラー……158
カプラー最高音の設定……159
カプラー足鍵盤から上鍵盤へ……161

RAMカードの使用

RAMカードスロット……164
最新の機能／RAMカード……165
カード・フォーマット……166
カード・保存……168
カード・ロード……171
カード・消去……173

参考

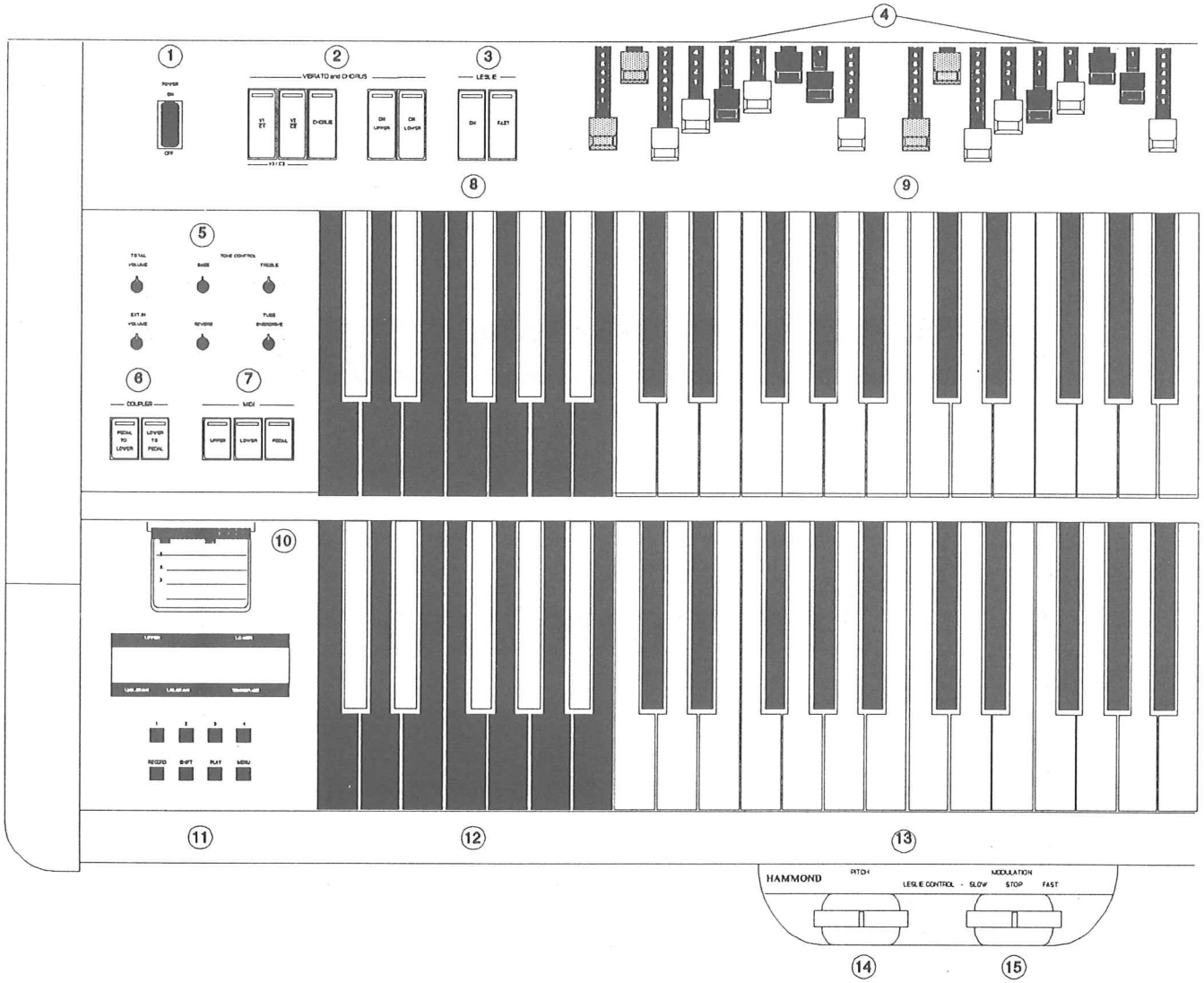
アクセサリーパネル……176
外部入力端子1……176
外部入力端子2……176
レスリーロータリー入力端子……176
ライン出力端子……177
11ピンレスリーコネクター……177

MIDI　ジャック 177
フットスイッチイン 177
足鍵盤接続端子 177
A.C. 電源コード端子 177
ホイール　エクステンション 178
ヘッドフォーン 178
仕様 179
付録A　グローバルイニシャルデータ 180
付録B　グローバルイニシャルデータ ..... 181－188
お手入れの仕方 189

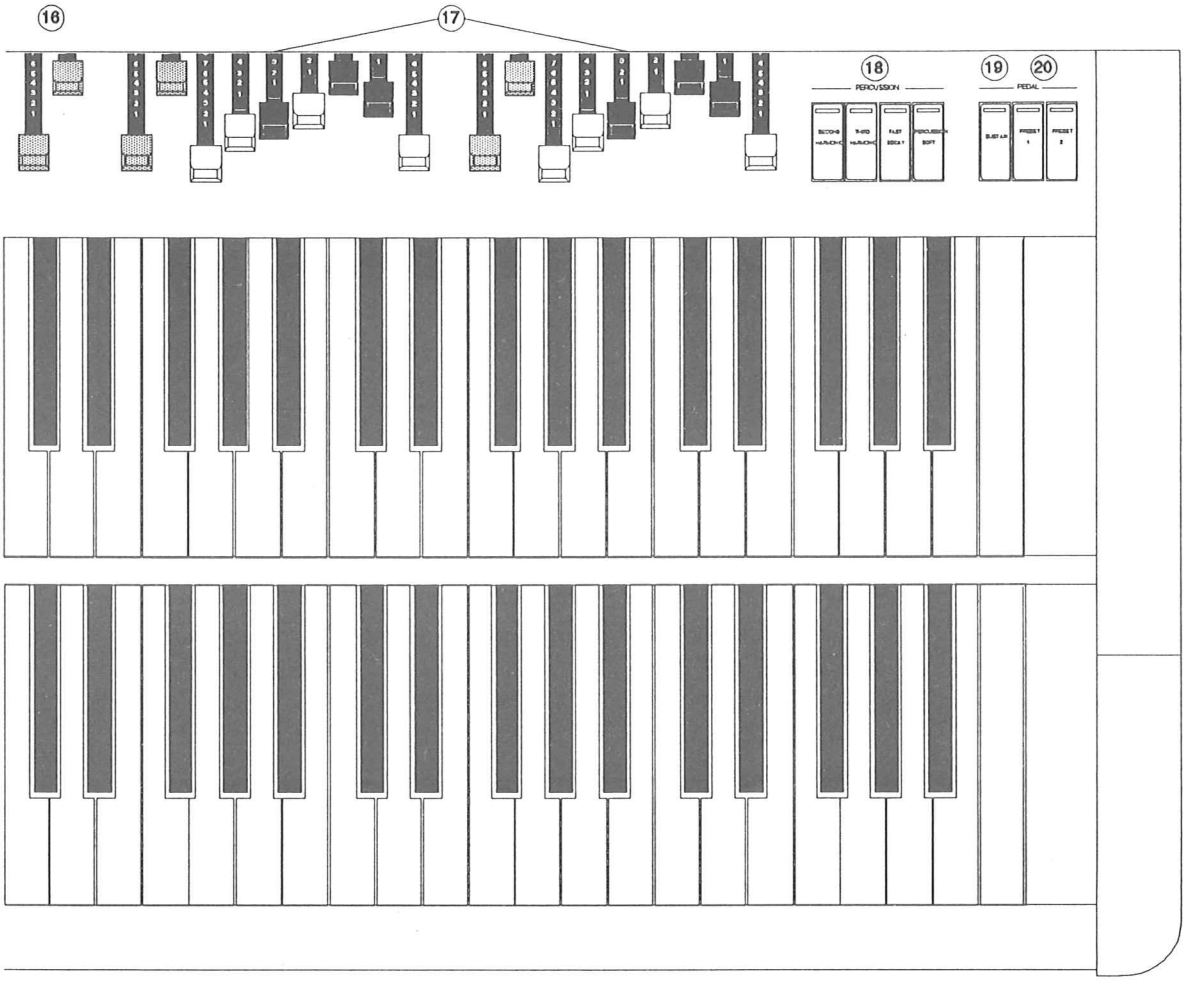
Hammond Organ Model XB-3

Introduction

各部の名称

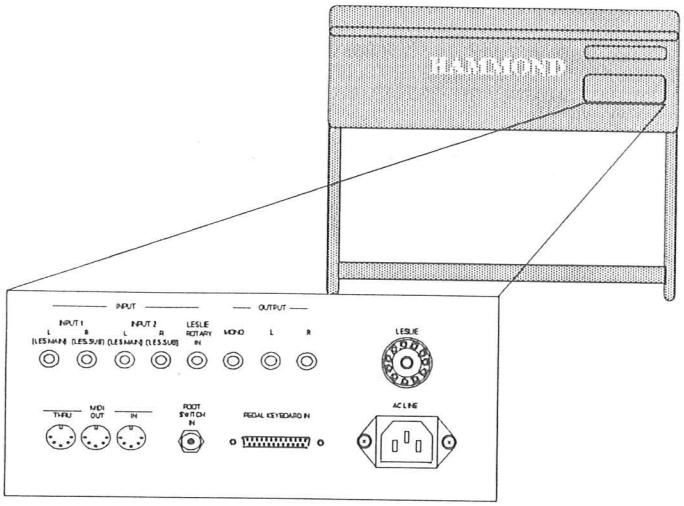


1. 電源スイッチON/OFF（P.6, 12）
2. ビブラート＆コーラス(P.16, 77)
3. レスリー(P. 83)
4. 上鍵盤ドローバー(P.13, 40)
5. ロータリーコントロール(P. 8)
6. カプラー(P. 49)
7. MIDI(MIDI ガイドを参照)
8. 鍵盤(P.7, 102)
9. 上鍵盤
10. RAM カードスロット(P.9, 164)



11. インフォメーションセンター
　　ディスプレイ(P.6, 12, 25)
12. 鍵盤(P.7, 102)
13. 下鍵盤
14. ピッチベンド(P.9)
15. モジュレーションホイール(p.9)
16. 足鍵盤ドローバー(P.13, 49)
17. 下鍵盤ドローバー(P.13, 40)
18. パーカッション(P.23, 69)
19. 足鍵盤サスティーン(P.49)
20. 足鍵盤プリセット(P.104)

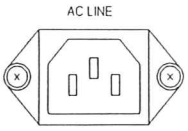
◆基本的な接続



ヘッドホン端子とピッチベンド／モジュレーションホイールコントロールボックス端子を除き、接続端子はすべてオルガンの裏側のアクセサリーパネル上にあります。オルガンの後ろを見て下さい。アクセサリーパネルカバーがあります。カバーの下の部分を押すと手前に少し開きますので、カバーを持って大きく開くと、中にアクセサリーパネルが見えます。（詳しくはP175リファレンスの項を参照）

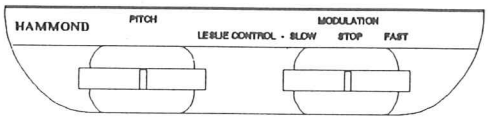
ＡＣ電源

電源は定格電源で出荷されています。付属の電源コードをアクセサリーパネルにあるAC電源プラグにつないで、コンセントに差し込んで下さい。



ピッチベンド／モジュレーションホイールコントロールの接続

ピッチベンドとモジュレーションホイールはコントロールボックスの中にあります。電源を入れる前にまずコントロールボックスを以下の手順でオルガンに接続して下さい。



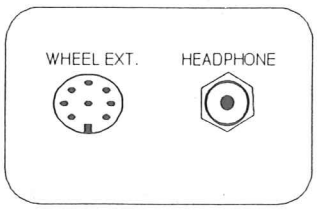
1．ピッチベンド／モジュレーションホイールコントロールボックスを用意します。

2．プラスチックの頭がついたネジ２本を用意します。

3．オルガンの左下鍵盤の下にコントロールボックスの取り付け穴があります。

4．コントロールボックスの取り付け穴とオルガンの取り付け穴をあわせ、ネジを差し込み、手で締めます。この時締め過ぎないように注意して下さい。

5．コントロールボックスには接続ケーブルがついていますので、オルガンの左下にあるWHEEL EXT.端子に接続して下さい。



ご注意：小さい端子パネルにはWHEEL EXT.とHEADPHONE の２つがあります。コントロールのコネクションについてはP.175 リファレンスの項に詳しく説明しています。

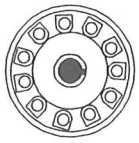
オーディオおよびMIDIコンロトロールの接続

この製品にはレスリー(LeslieTM)スピーカー が接続できます。電源を入れる前にまずレスリースピーカーを接続して下さい。

1．レスリーコネクターケーブルを用意して下さい。

2．ケーブルのマイナスの方をスピーカーの裏の左下にあるコンセントに差し込みます。

3．ケーブルのプラスの方をアクセサリーパネルの中でLESLIEと表示のある11ピンソケットに差し込みます。



ご注意：レスリースピーカーのコネクターはケーブルの向きを間違えないようにそれぞれ溝がついており、正しいコネクターだけがそれぞれの溝に合うようになっています。

重要：Model 122XB,Model 320 以外のレスリースピーカーを接続する時には、専用のアダプターやコネクターケーブルが必要な場合があります。詳しくは購入店にご相談下さい。

MIDI機器をご使用になる時はオルガンの電源を入れる前に接続をすませて下さい。接続方法についてはMIDIガイドをご覧下さい。

足鍵盤の接続

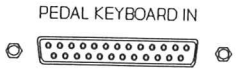
この製品には25鍵の足鍵盤が付いています。以下の手順で接続して下さい。

1．足鍵盤をオルガンの前の床の上に置きます。

2．足鍵盤をゆっくりとオルガンの下の一番奥まですべり込ませます。

3．足鍵盤　についているコネクターケーブルをアクセサリーパネルのPEDAL KEYBOARDINにつないで下さい。

4．ケーブルのプラグの両端にある穴にネジをはめて手で回し、固定します。



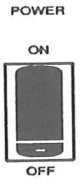
以上の基本的な接続をすませれば演奏できる状態です。以下は操作に関する説明になります。

基本的なコントロール

コントロールパネルには、タッチタブ、タッチボタン、ドローバー、ロータリーコントロール、ホイールといった様々なコントロール類があり、音色の切り替えや音の調整ができるようになっています。

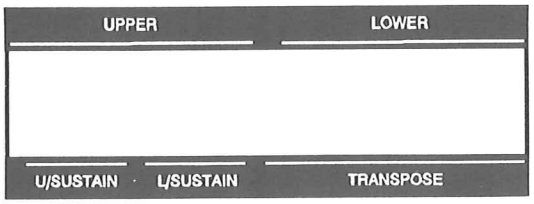
◆電源スイッチON/OFF

コントロールパネルの左上端にあるスイッチです。ON（上）の方に押すと電源が入り、同時にインフォメーションセンターディスプレイとLED(=Light Emitting Diodes) が点灯します。



◆インフォメーションセンターディスプレイ

下鍵盤の左にあるLCD(=Liquid Crystal Display 液晶ディスプレイ）です。



2つのモード

(1) プレイ [PLAY] (2)メニュー [MENU] があり、プレイモードでは、ドローバーセッティング、上下ドローバーに加わるサスティーン、キートランスポーズなどの設定状態が表示され、メニューモードでは、サスティーンの長さ、ドローバーのボイシング、MIDIパラメーターをはじめ、様々な先進的機能を持つソフトウエア部のパラメーターの切り替えやエディットができるようになっています。

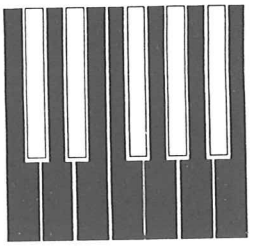
ご注意：プレイモードとメニューモードの説明はP.27参照。

◆ドローバー

ハモンドオルガンのドローバーはトーンバーとも呼ばれ上鍵盤のすぐ上にあります。パーカッションを除くすべての音色のコントロールをこのドローバーで行います。左側の９本ずつ２組が上鍵盤用、右側の９本ずつ２組が下鍵盤用、中央の2本が足鍵盤用です。

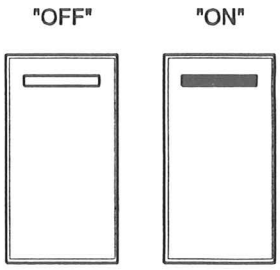
ご注意：詳しい説明はP.39参照

プリセットキー



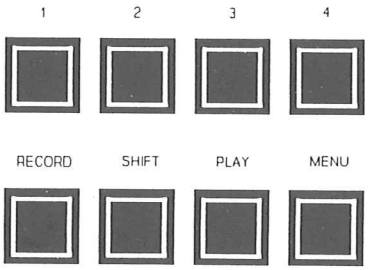
上下鍵盤の左端には白黒反転した部分がありますが、これが9つのドローバーのプリセットを選択するスイッチになっています。上下共にA#とBの鍵盤でそれぞれに対応するドローバーの選択ができます。詳しくはP.101『プリセット』の項をお読みください。

タッチタブ



[TOUCH ON][TOUCH OFF] のスイッチにはLEDがついており、選択されると点灯します。パーカッション、ビブラート、レスリー、MIDIといった特殊な機能のコントロールに使用します。

タッチボタン



ディスプレイの下側に二列に並ぶ黒いボタンで、3つの異なる機能があります。

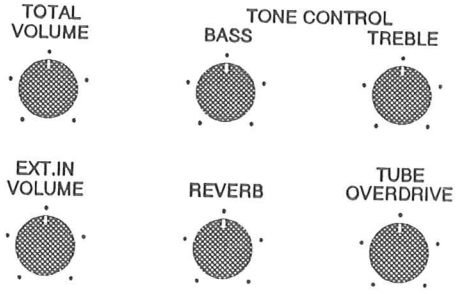
1．セレクト．．．メニューのページを呼出すなど、複数の機能が重なっている中からの選択を行います。

2．タッチON/OFF．．．サスティーンなど特殊な機能のON/OFF切替を行います。

3．タッチ＆ホールド．．．各機能においてバリューの増減を行います。一回押すごとに一段階ずつ増減し、押し続けると連続的に増減します。バリューの変化はインフォメーションセンターディスプレイに表示されます。

ロータリーコントロール

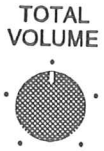
上鍵盤の左にある6つのツマミです。



- Rotary Controls -

トータルボリューム[TOTAL VOLUME]

オルガンの音量を調節します。右に回すと音量が大きくなり左に回すと小さくなります。



EXT.IN ボリューム[EXT.IN VOLUME]

EXT IN端子に接続された外部音源の音量を調節します。右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなりま

リバーブ[REVERB]

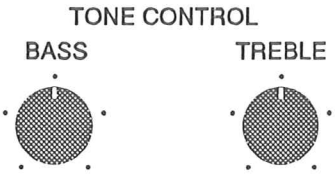
デジタルリバーブの加わる量を調節します。なお、デジタルリバーブについては『エフェクト』の項で詳しく説明しています。

チューブオーバードライブ

真空管アンプをオーバードライブさせた時に得られる歪んだファズサウンドの加わる量を調節します。右に回すとオーバードライブサウンドが多くなり、左に回すと少なくなりま
す。

トーンコントロール

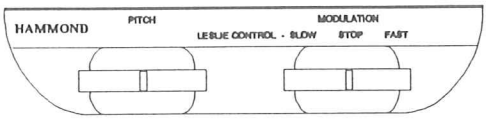
トレブル[TREBLE]、バス[BASS]のツマミで、オルガンの音の高音域、低音域をそれぞれに音質調整することができます。どちらも左端が最小、右端が最大です。



◆ピッチベンドとモジュレーションホイール

ピッチベンド

ピッチレンジを±12半音まで調節できます。ピッチベンドレンジの変更のしかたについてはP.125『最新の機能－ベンダー』の項をご覧下さい。



- Pitch Bend & Modulation Wheels -

モジュレーションホイール

モジュレーションホイールは数種類の機能の中から必要なものを選択して操作します。
主な使い方は次の２つです。

1．接続されているMIDI機器にMIDIモジュレーションデータを送る。詳しくは、MIDIガイドをご覧下さい。

2．接続されているレスリースピーカーのスピードをスロー、ストップ、ファーストの３つから選択する。

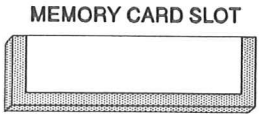
この他、次のような内部機能を操作するためのプログラムをすることもできます。

1．セカンドドローバー　詳しくはP.132『セカンドドローバー』の項をご覧下さい。

2．チューブオーバードライブレベル詳しくはP.93『最新の機能－チューブオーバードライブレベル』の項をご覧下さい。

◆RAM カードスロット

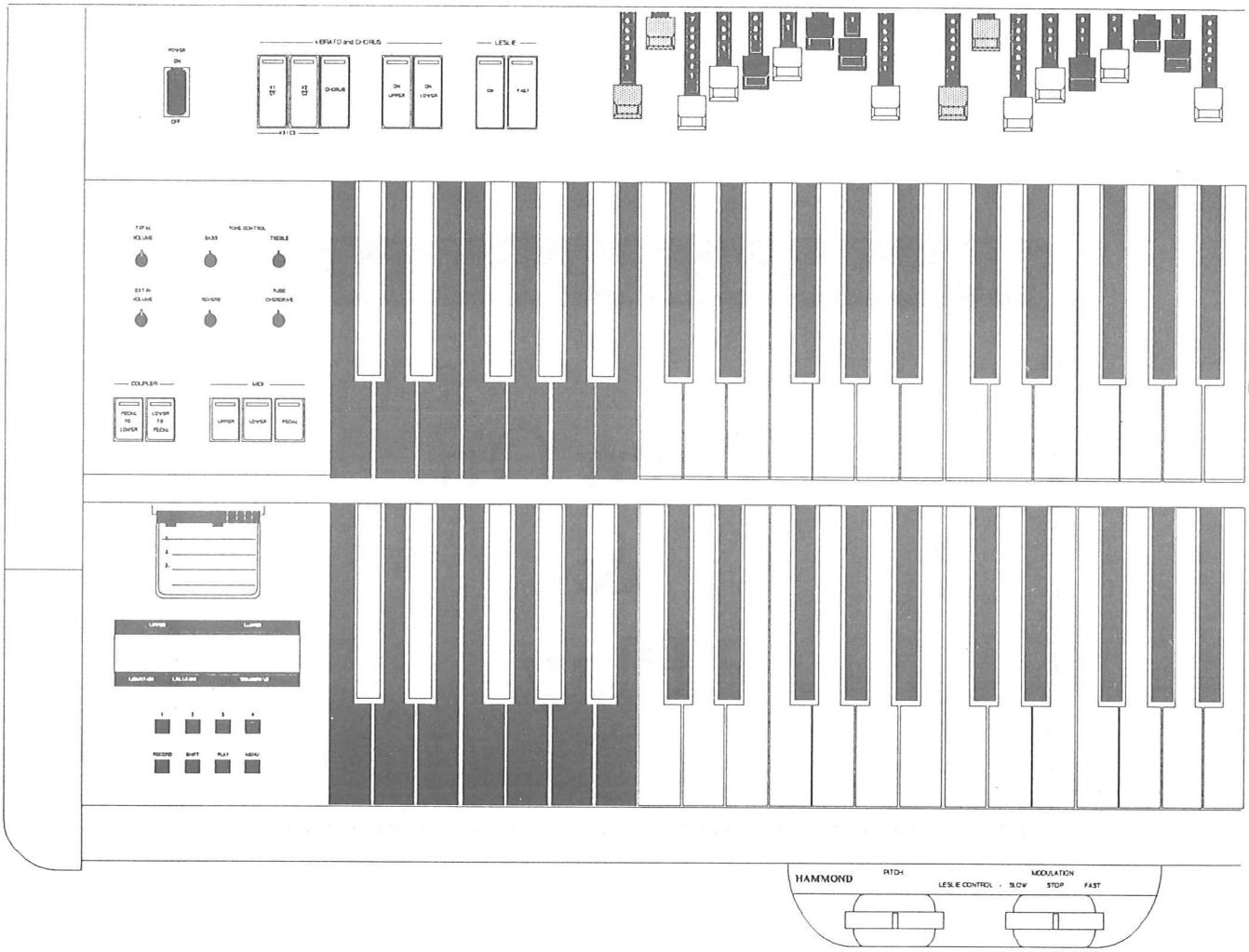
鍵盤の上段と下段の間、ディスプレイの上にあります。ハモンドRAM(=Random Access Memory) カード用を挿入して、自分で作ったプリセットを呼出したり保存することができます。ハモンドRAM カードはハモンドオルガン販売店にてお求めになれます。RAM カードについてはP.163『RAM カードの使用』の項で詳しく説明しています。



Hammond Organ Model XB-3

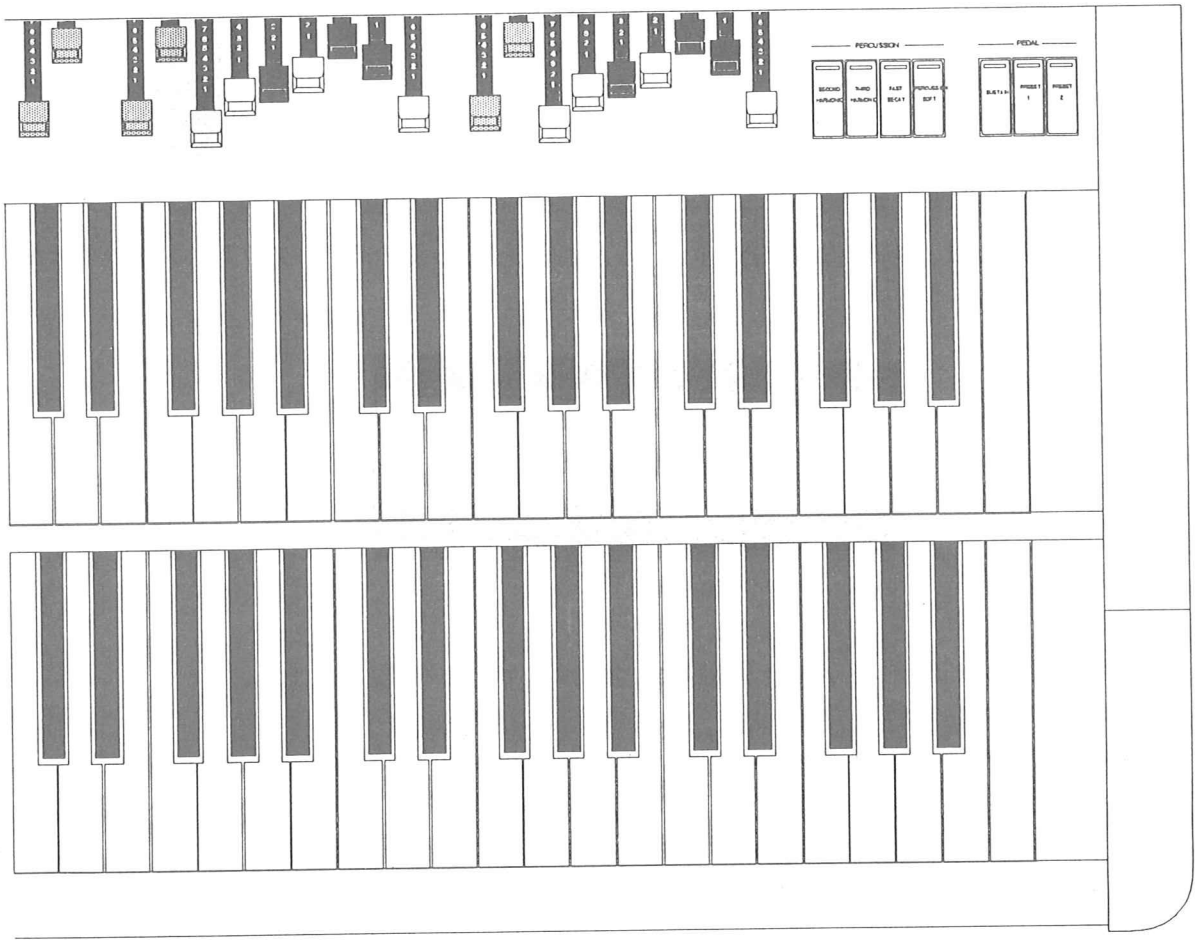
Turn On & Play

電源を入れて演奏する



上のイラストをご覧になるとお分かりのように、上鍵盤の上にあるハーモニックドローバーは５つのグループに分かれています。左の２組が上鍵盤用、次の茶色の２本（他のドローバーからわずかに離れている２本）が足鍵盤の音量調節、残りの２組が下鍵盤用です。

このドローバーは、非常に単純な原理に基づきながらも驚くほど多彩な音作りを可能にしているのが特長です。これについては後のP.39『ドローバーとパーカッション』の項で詳しく説明していますので参照して下さい。１つの鍵盤に対して２組のドローバーがあるのはあらかじめ２種類のプリセットをしておき演奏時に選択できるようにするためです。上下共１組目のドローバーはプリセット鍵盤のA#で選択し、２組目のドローバーはプリセットキーのBで選択します。



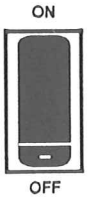
ハーモニックドローバーはハーモニクスの強さを調節する装置です。ドローバーを動かすことによって数えきれないほどの音色を得ることができ、演奏者が音を作り出せると言っても過言ではありません。ハーモニクスごとに８段階の強さ（音量）＋OFF の設定ができます。ドローバーに1 ～ 8までの数値が表示してありますので、一度作り出した音を正確に再生したい時には、記録しておくと便利です。それぞれの鍵盤に対して１組ではなく２組のドローバーがあるのも、よく使う音を複数設定しておけるように配慮したものです。

ドローバーは手前へ引くにしたがい0(OFF)から8(最大）へと段階ごとに音量が大きくなります。逆に押し戻していくと音量が小さくなっていきます。

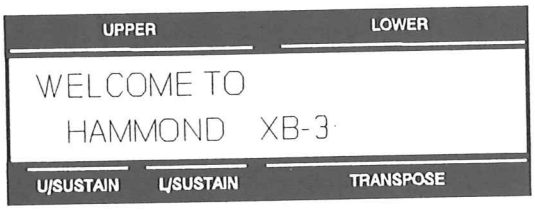
この項では音作りを始めるための基本的なことがらを説明します。

◆電源を入れる

まず、コントロールパネルの左上の隅にある電源スイッチを確かめて下さい。次に、下鍵盤の左、プリセット鍵盤の横にあるインフォメーションセンターディスプレイをご覧下さい。



電源を入れるには、スイッチを[ON]（上）の方に押します。この時ディスプレイに次のようなメッセージが流れます。

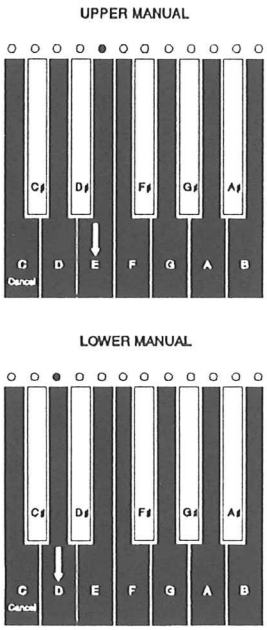


電源が入るとディスプレイの背景が黄緑になりますので一目で確認できます。

電源が入って約５秒後には演奏できる状態になりますが、真空管アンプ付きのレスリースピーカーをご使用になる場合は、真空管が立ち上がるまで約20秒お待ち下さい。

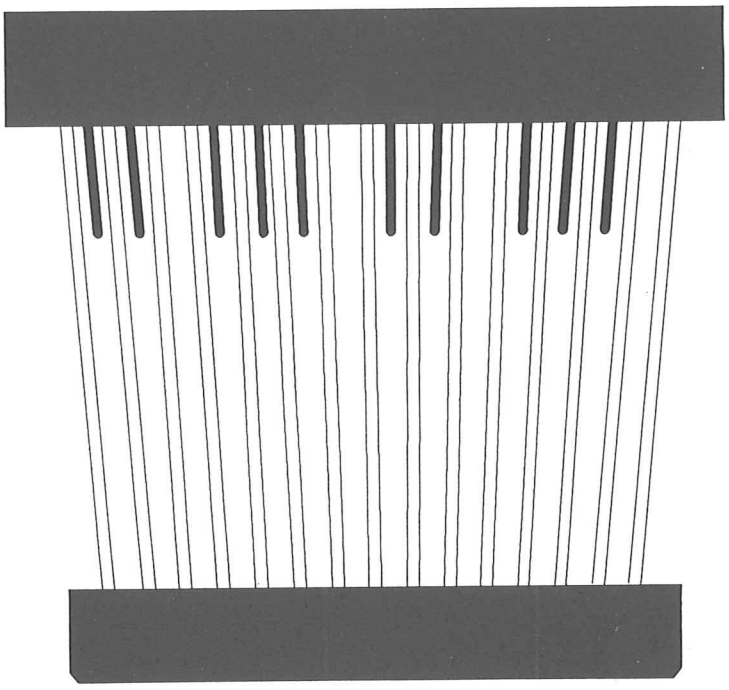
電源を切るには、スイッチを[OFF](下）の方に押します。

◆プリセットキー



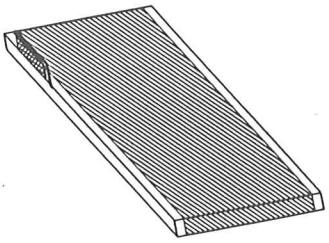
鍵盤の上下段それぞれの左端にある白黒反転した部分をプリセットキーと呼びます。イラストで示している通り、上鍵盤の[E]、下鍵盤の[D]を押すとそのプリセットが作動し、鍵盤の上にあるLEDが点灯します。この状態になると上下の鍵盤を演奏できます。プリセットキーについては後の『プリセット』の項をご覧下さい。

◆足鍵盤



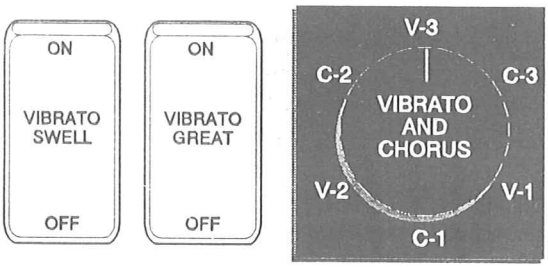
床に置く大きな鍵盤は足鍵盤またはペダルクラビーアと呼ばれ、低音部を足で演奏するためのものです。こうすることによって、右手だけでなく左手でもハーモニーを弾けるようになり、さらに足で演奏する低音部は自由に長さを保つことができるので、全体の音の重なり方を自在に繰ることができるわけです。

◆エクスプレッションペダル

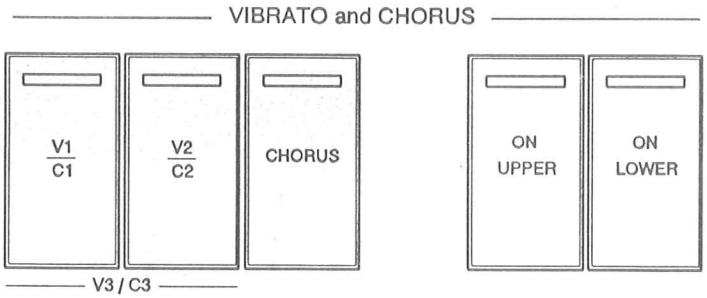


足鍵盤の中心から上側にあるのがエクスプレッションペダル（ボリュームペダル）で、右足で操作します。オルガンの音量に変化をつけ表情を豊かにすることができます。オルガンの演奏が簡単だと言われる理由のひとつは、音の表情を出すために他の鍵盤楽器に必要とされるタッチの工夫や難しい指のテクニックを必要としないことにあります。オルガンの場合は、鍵盤と足鍵盤を最小限の力で押さえながらエクスプレッションペダルを踏むことによって音を大きく盛り上げ、そして細く消えていくまでの瞬間に様々な表情を加えることができます。ペダルを足先の方に踏み込むと音量が増し、踵の方に戻すと小さくなります。ペダルの踏み方によっては音楽の流れがぎこちなくなってしまいますので、ゆっくりと踏み込みながら圧力が徐々に加わるように練習して、美しくなめらかな流れの中で豊かな表情が出せるようにして下さい。演奏のはじめにはエクスプレッションペダルを中間の位置にしておきます。

◆ビブラートとコーラス



- Original B-3 /C-3 Vibrato and Chorus Control Section -



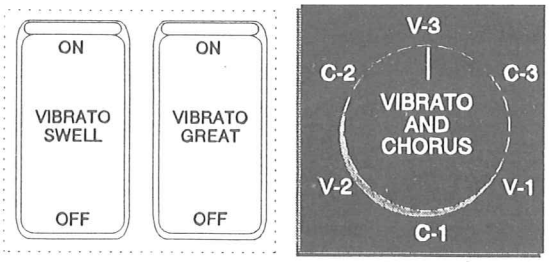
- New B-3 / C-3 Vibrato and Chorus Control Section -

オリジナルモデル（B-3、C-3、RT-3、A-100 シリーズ）ではロータリーコントロールと２個のビブラートON/OFFスイッチによってビブラートとコーラスをコントロールしていましたが、新しいXB-3では５個のタッチタブでコントロールするようになっています。

以下、ビブラートとコーラスの使用方法について、オリジナルモデルと新モデルを並列させながら説明しています。

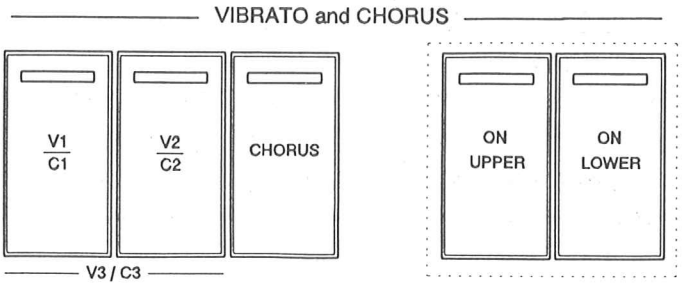
ビブラートとコーラス ON/OFF

オリジナルモデルの[VIBRATO SWELL]（ON）と[VIBRATO GREAT]（OFF)が新モデルでは[VIBRATO AND CHORUS](ON)(OFF) になっています。

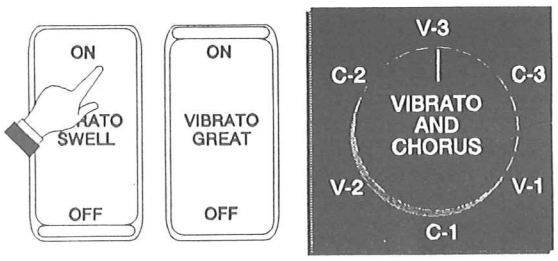


- Original B-3 / C-3 Vibrato and Chorus ON / OFF Tilt Tabs -

新モデルでは、ビブラートやコーラスをかける鍵盤の選択を,"VIBRATO and CHORUS"の部分にある[ON UPPER]および（または）[ON LOWER]スイッチで行います。

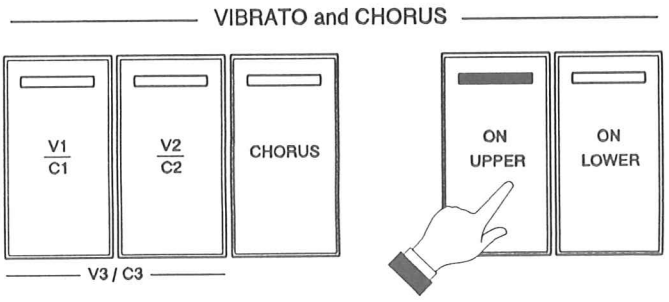


- New B-3 / C-3 Vibrato and Chorus ON / OFF Touch Tabs -



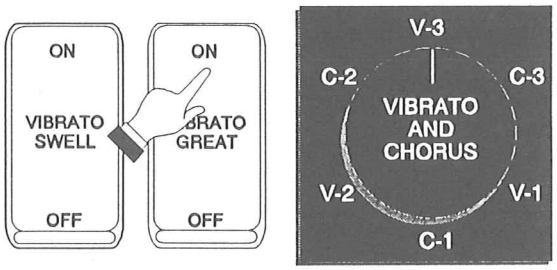
- Original B-3 / C-3 Vibrato and Chorus Swell "ON" -

オリジナルモデルで上鍵盤にビブラートやコーラスをかけるには、[VIBRATO SWELL] の上(ON)を押します。



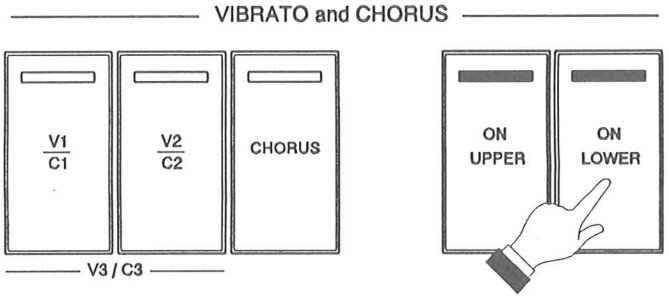
- New B-3 / C-3 Vibrato and Chorus Upper Manual "ON " -

新モデルで上鍵盤にビブラートやコーラスをかけるには、[ON UPPER]を押します。（この時スイッチのLED が点灯。）



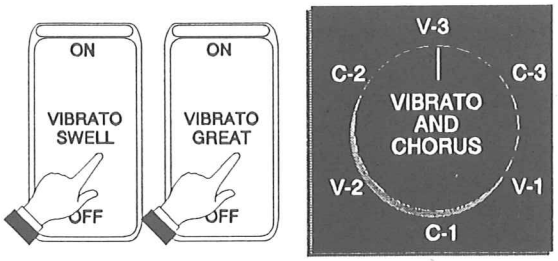
- Original B-3 / C-3 Vibrato and Chorus Great "ON" -

オリジナルモデルで下鍵盤にビブラートやコーラスをかけるには、[VIBRATO GREAT] の上(ON)を押します。



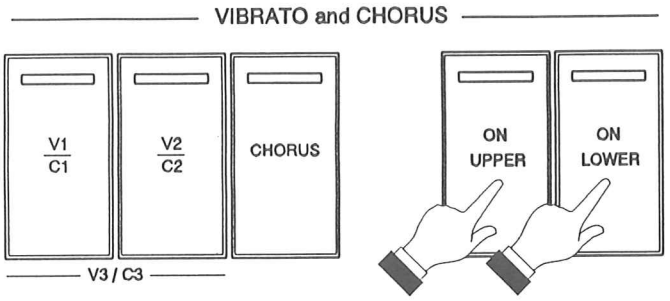
- New B-3 / C-3 Vibrato and Chorus Lower Manual "ON " -

新モデルで下鍵盤にビブラートやコーラスをかけるには、[ON LOWER]を押します。（この時スイッチのLED が点灯。）



- Original B-3 / C-3 Vibrato and Chorus "OFF" -

オリジナルモデルで上下鍵盤のビブラートやコーラスを切るには、[VIBRATO SWELL] （上鍵盤）[VIBRATO GREAT] （下鍵盤) それぞれ（または両方）の下(OFF) を押します。

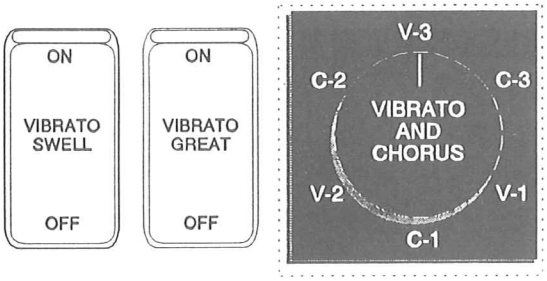


- New B-3 / C-3 Vibrato and Chorus "OFF" -

新モデルで上下鍵盤のビブラートやコーラスを切るには、ONになっているスイッチをもう一度押して下さい。（スイッチが切れるとLEDが点灯）

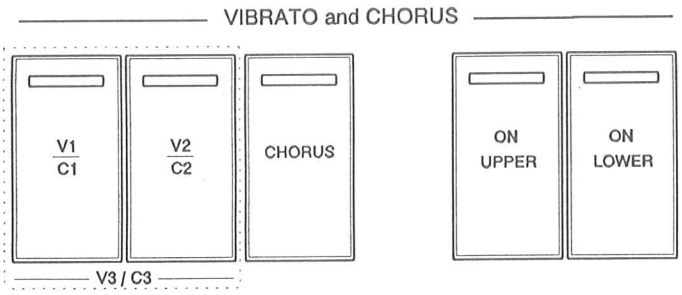
ビブラートとコーラスの量を調節する

オリジナルモデルではロータリーコントロールの白いラインを適位置にあわせて下さい。



- Original B-3 / C-3 Vibrato & Chorus Rotary Select Knob -

新モデルでは"VIBRATO and CHORUS"の部分にある[V1/C1]と[V2/C2]のスイッチのどちらか一方または両方を押して適当なデプスを選択して下さい。

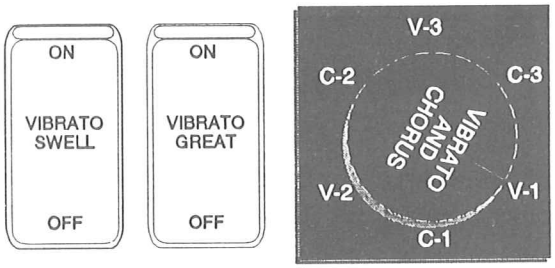


- New B-3 / C-3 Vibrato and Chorus ON / OFF Touch Tabs -

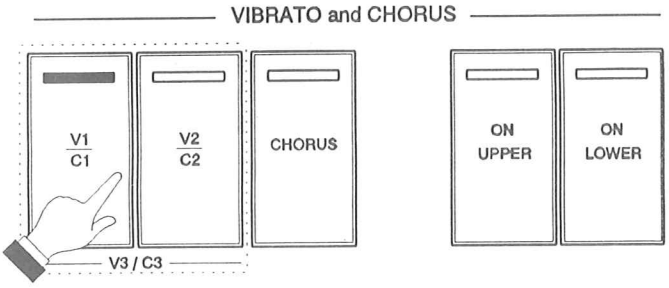
以下、オリジナルモデルB-3、C-3、RT-3、A-100のロータリーコントロールと新モデルB-3、C-3のビブラートコントロールを並列させて説明しています。

ビブラート

V-1（スモールビブラート）



- Original B-3 / C-3 V-1 or Vibrato 1 -

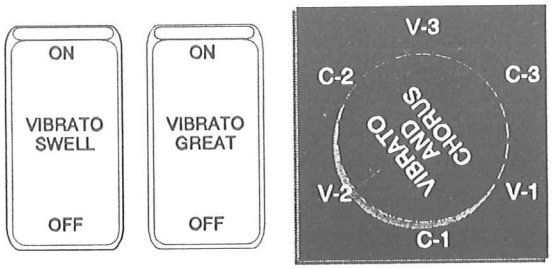


- New B-3 / C-3 V-1 or Vibrato 1 -

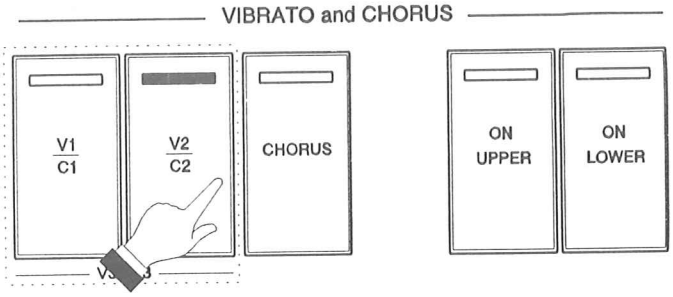
オリジナルモデルでビブラートのデプスV-1を選択するには、ロータリーコントロールを適当な位置に合わせます。V-1のビブラートは最も軽く、オーケストラの独奏楽器のほとんどにかかっているビブラートと同程度です。

新モデルの場合は、[V1/C1] のスイッチを押して下さい。ONになるとLEDが点灯します。

ご注意：オルガンの電源を入れた時点で、VIBRATO/CHORUSスイッチのうち、どれか一つが自動的に選択されます。（LEDが点灯）



- Original B-3 / C-3 V-2 or Vibrato 2 -



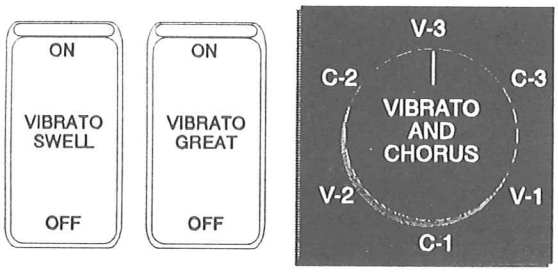
- New B-3 / C-3 V-2 or Vibrato 2 -

オリジナルモデルでビブラートのデプスV-2を選択するには、ロータリーコントロールを適当な位置に合わせます。V-2は標準的なデプスで、ドローバーをうまく組み合わせるとシアターオルガンの音が得られます。

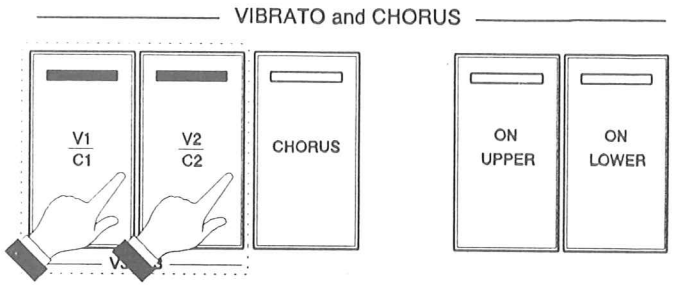
新モデルの場合は（V2/C2）のスイッチを押して下さい。ONになるとLEDが点灯します。

ご注意：オルガンの電源を入れた時点で、VIBRATO/CHORUSスイッチのうち、どれか一つが自動的に選択されます。（LEDが点灯）

V-3（フルビブラート）



- Original B-3 / C-3 V-3 or Vibrato 3 -



- New B-3 / C-3 V-3 or Vibrato 3 -

オリジナルモデルでビブラートのデプス V-3を選択するには、ロータリーコントロールを適当な位置に合わせます。V-3 は最も振幅の幅が大きいビブラートで、温かみがあり、印象の強い音が得られます。

新モデルの場合は[V1/C1][V2/C2]の両方を押して下さい。V-3 がONになると両方のLED が一度に点灯します。

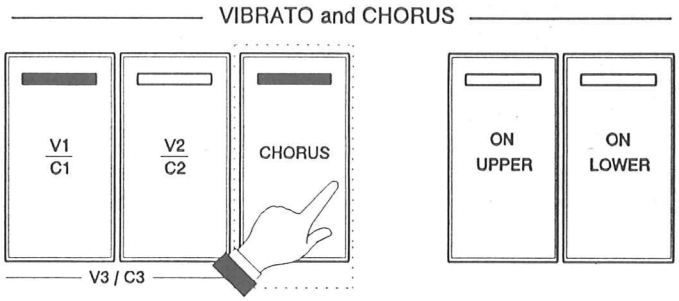
ご注意：オルガンの電源を入れた時点で、VIBRATO/CHORUSスイッチのうち、どれか一つが自動的に選択されます。（LED が点灯）

ビブラートのスイッチを入れても[ON UPPER]と[ON LOWER]のスイッチのうち、どちらか一つ、または両方が選択されていないと効果は得られません。（選択したスイッチのLED が点灯します。）

[ON UPPER]スイッチを押すと（LED が点灯）上鍵盤にビブラートがかかります。
[ON LOWER]スイッチを押すと（LED が点灯）下鍵盤にビブラートがかかります。

コーラス

新モデルでコーラスをかけるには、"VIBRATO and CHORUS"部の[CHORUS]スイッチを押して下さい。

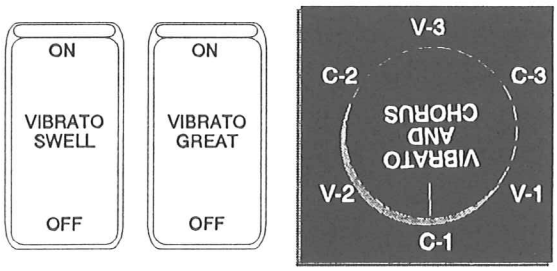


- New B-3 / C-3 Chorus ON / OFF Touch Tab -

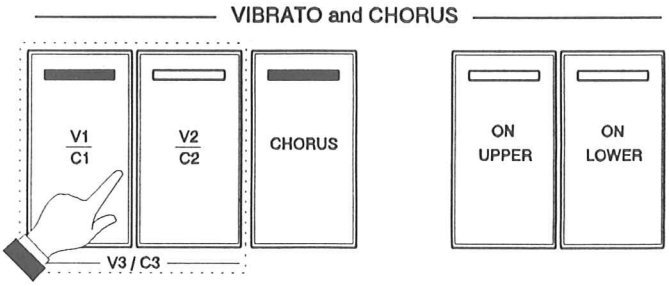
スイッチが入ると、音の半分にはビブラートがかからず、もう半分には左のスイッチで選択されているデプスのビブラートがかかります。

以下、オリジナルモデルB-3、C-3、RT-3、A-100のロータリーコントロールと新モデルB-3、C-3のコーラススイッチを並列して説明しています。

C-1（スモールコーラス）



- Original B-3 / C-3 Chorus 1 or C-1 -



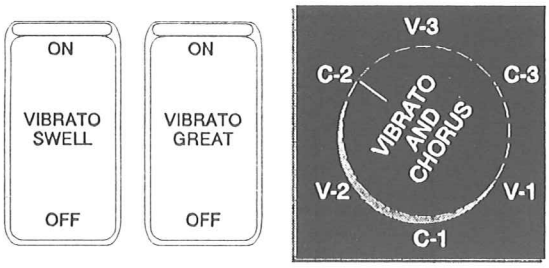
- New B-3 / C-3 Chorus 1 or C-1 -

オリジナルモデルでコーラスのデプス C-1 を選択するにはロータリーコントロールを適当な位置に合わせます。C-1 では最も軽いコーラス効果が得られます。

新モデルの場合は、[V1/C1] と[CHORUS]の２つのスイッチを押します。（両方のスイッチのLED が点灯。）

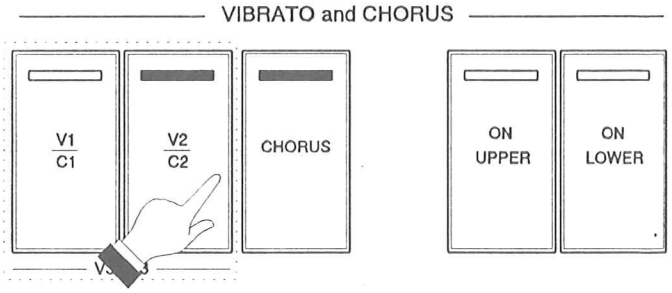
ご注意：オルガンの電源を入れた時点で、VIBRATO/CHORUSスイッチのうち、どれか一つが自動的に選択されます。（LED が点灯）

C-2（ワイドコーラス）



- Original B-3 / C-3 Chorus 2 or C-2 -

オリジナルモデルでコーラスのデプスC-2 を選択するには、ロータリーコントロールを適当な位置に合わせます。C-2 では標準的なコーラス効果が得られます。

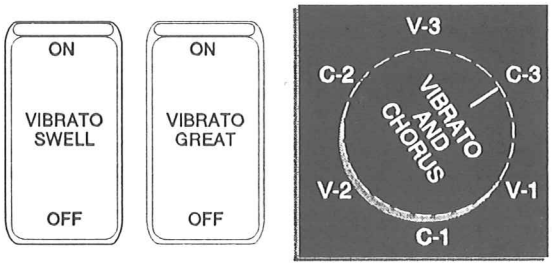


- New B-3 / C-3 Chorus 2 or C-2 -

新モデルの場合は、[V2/C2] と[CHORUS]の２つのスイッチを押します。（両方のスイッチのLED が点灯）

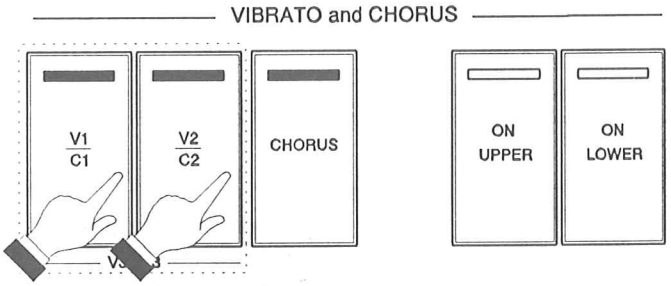
ご注意：オルガンの電源を入れた時点で、VIBRATO/CHORUSスイッチのうち、どれか一つが自動的に選択されます。（LED が点灯）

C-3（フルコーラス）



- Original B-3 / C-3 Chorus 3 or C-3 -

オリジナルモデルでコーラスのデプスC-3 を選択するにはロータリーコントロールを適当な位置に合わせます。C-3 では最も強いコーラス効果が得られます。



- New B-3 / C-3 Chorus 3 or C-3 -

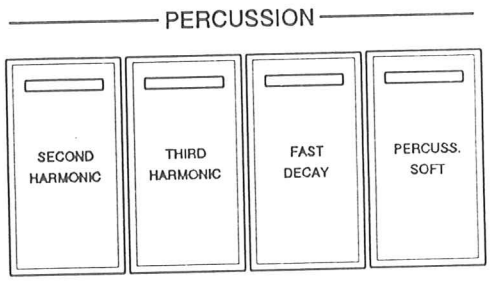
新モデルの場合は、[V1/C1][V2/C2][CHORUS]の３つのスイッチを押します。（３つのスイッチのLED が点灯）

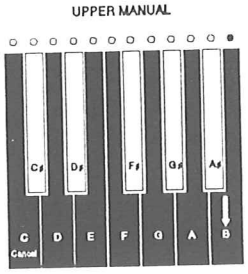
ご注意：オルガンの電源を入れた時点で、VIBRATO/CHORUSスイッチのうち、どれか一つが自動的に選択されます。（LED が点灯）

コーラスのスイッチを入れても[ON UPPER]と[ON LOWER]のスイッチのうち、どちらか一つまたは両方が選択されていないと効果は得られません。（選択したスイッチのLED が点灯します。）

[ON UPPER]スイッチを押すと（LED が点灯）上鍵盤にコーラスが　かかります。
[ON LOWER]スイッチを押すと（LED が点灯）下鍵盤にコーラスが　かかります。

パーカッション





パーカッションの音は通常、上鍵盤用ドローバーの２番目のグループを使わなければ得られません。したがって、パーカッションの音を出す時には必ずプリセットキーの"B"を押してLED が点灯した状態にしておいて下さい。

パーカッションの音をコントロールする４つのタッチタブが上鍵盤の上にあるドローバーの右側にあります。左の２つでパーカッションのピッチを設定できます。（まずプリセットキーの"B"を押して下さい。）

ご注意：４つのタッチタブのうち、セカンドハーモニクスはサードハーモニクスがONになると（LED が点灯）、上鍵盤用ドローバーの２番目のグループの、1'のドローバー（白いドローバーの左端）は作動しません。パーカッションがOFFの時には、この1'のドローバー(白いドローバーの左端)も通常どおり作動します。

セカンドハーモニクス

[SECOND HARMONIC] ドローバーの4'の音にアタックと減衰効果を加えたものです。ドローバーと組み合わせることにより明るさと透明感を作ります。

サードハーモニクス

[THIRD HARMONIC]ドローバーの2 2/3'の音にアタックと減衰効果を加えたものです。ドローバーと組み合わせることにより力強さと質感を高めるのに適しています。

ファーストディケイ

[FAST DECAY]スイッチがOFF の時（LED が消えている状態）、パーカッション音はチャイム音のようにゆっくりと消えていきます。一方、このスイッチを押すと（LED が点灯）音の消え方が速くなり、シロフォンやグロッケンに似た感じになります。

パーカッションソフト

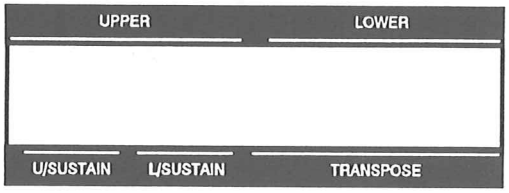
[PERCUSS.SOFT] スイッチがOFF の時（LED が消えている状態）、パーカッションの音量はかなり大きめに聞こえるのに対して、上鍵盤用ドローバーの音はパーカッションの分だけ音量が小さめになっています。このスイッチを押すと（LED が点灯）パーカッションがかなり静かになり上鍵盤用ドローバーの音量も通常通りになります。

Hammond Organ Model XB-3

Information Center Display

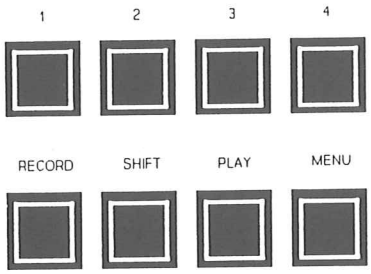
インフォメーションセンターディスプレイ

ハモンドオルガンを演奏する時には、ドローバー、タッチボタン、タッチタブ、ロータリーコントロール、ホイールコントロールなど、様々なコントロール類の操作が必要ですが、さらに、ドローバーボイスの選択、サスティーンの減衰時間、アタックのモード等、細かいエディットを行なう時にはインフォメーションセンターディスプレイを使用し、情報を目で確かめながら操作します。



◆タッチボタンの機能

ディスプレイウインドウの下側に、黒いボタンが4つずつ2列に並んでいます。



このボタンは選択されたモードやメニューによって自動的に機能が変わります。基本的な働きは以下とおりです。

1. スイッチの切／入

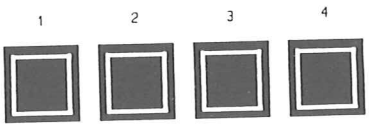
2. パラメーター値の変更－増加または減少

3. 複数機能からの選択

4. "YES" "NO" "OK" の確認

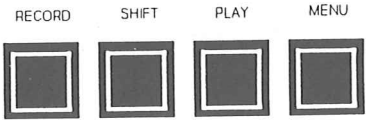
5. ハモンドRAM カードのフォーマット、呼出し、保存

◆タッチボタン・上段



インフォメーションセンターディスプレイには操作上、プレイモードとメニューモードという２つの基本モードがあります。メニューモードの時、１～4までの４つのタッチボタンは画面に表わされる様々なメニューにおいて適当な選択肢を選ぶために使用します。メニューモードについてはP.31をご覧下さい。

◆タッチボタン・下段



[RECORD][SHIFT][PLAY][MENU] の４つのタッチボタンは、インフォメーションセンターディスプレイを使って操作をする上で必要な様々な選択をするために使用します。以下に、
それぞれのボタンの機能をごく簡単に説明します。

[RECORD] プリセットにご自身で作ったレジストレーションを保存するときに使用します。

[SHIFT] 各メニューにおいて選択項目の頁を次に進めることができます。詳しい使用方法はメニューの項で詳しく説明しています。

[PLAY]　インフォメーションセンターディスプレイを３つのプレイモードのうちの１つに設定することができます。プレイモードでは、その時点の上下鍵盤のドローバーセッティングとサスティーンの状態、トランスポジションの設定が表示されます。

[MENU]　６つのメニューのうちの１つを呼出すことができます。

前章で述べたように、インフォメーションセンターディスプレイにはプレイモードとメニューモードという２つの基本モードがあります。以下の説明はあくまでも基本的なものですべての機能を完全に表したものではありません。詳くは後の各メニューの項目で必要に応じて説明します。

重要：この頁をお読みになっている皆さんはまだオルガンに電源を入れただけで[PLAY][MENU]ボタンには触れていないと仮定して説明をしていますが、もしすでにボタンを押してしまった方はいったんオルガンの電源を切り、５秒後に電源を入れ直して下さい。またドローバーもすべて押し込んで数字の見えない状態(OFF) にして下さい

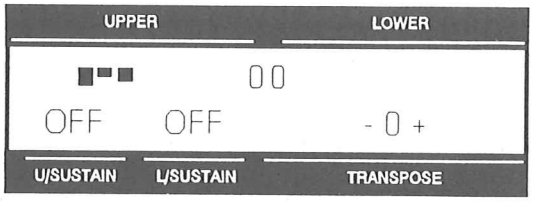
◆プレイモード

プレイモードの画面にはグラフィック＋パラメーター、数字＋パラメーター、グラフィックのみパラメーターなし、の３種類があります。

プレイモード グラフィック＋パラメーター

初めて電源を入れた時には、液晶ディスプレイに次のようなメッセージが現れ数秒後に消えます。

"WELCOME" メッセージが消えた後で、上段のプリセットキー"C#"を押して下さい。下のイラストに近い画面になるはずです。



この画面の上半分は、左から右に向かって以下のような情報を表しています。

1. 上鍵盤のドローバーセッティング（グラフィック）
2. 足鍵盤のセッティング (数字)
3. 下鍵盤のドローバーセッティング（グラフィック）

画面の下半分は左から右に向かって以下のような情報を表しています。

1. 上鍵盤のサスティーン ON/OFF
2. 下鍵盤のサスティーン ON/OFF
3. トランスポーズのセッティング（±で表示、半音を１単位とする）

プレイモード・数字＋パラメーター

黒いタッチボタンの[PLAY]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。

プレイモードの数字表示画面になりました。

画面の上半分は左から右に向かって以下のような情報を表しています。

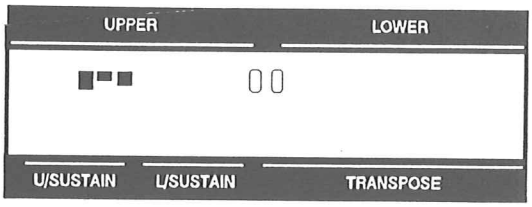
1. 上鍵盤のドローバーセッティング（数字）
2. 足鍵盤のセッティング（グラフィック）
3. 下鍵盤のドローバーセッティング（数字）

画面の下半分は左から右に向かって以下のような情報を表しています。

1. 上鍵盤のサスティーン ON/OFF
2. 下鍵盤のサスティーン ON/OFF
3. トランスポーズのセッティング（±で表示、半音を一単位とする）

プレイモード・グラフィックのみパラメーターなし

もう一度、黒いタッチボタンの[PLAY]を押します。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



画面の上半分は左から右に向かって以下のような情報を表しています。

1. 上鍵盤のドローバーセッティング（グラフィック）
2. 足鍵盤のセッティング (数字)
3. 下鍵盤のドローバーセッティング（グラフィック）

画面の下半分は、誤ってパラメーターのバリューを書き替えてしまうことがないように、ここでは空白になっています。

さらに黒いタッチボタンの[PLAY]を押すと、最初のグラフィックによる表示画面に戻ります。

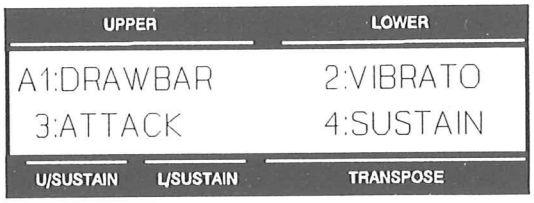
通常、オルガンの演奏中は、インフォメーションセンターディスプレイを以上のプレイモードのうちの１つにしておきます。

◆メニューモード

メニューモードには6種類の画面があり、それぞれに、パラメーターの変更、RAM カードを使ったデータの呼出しや保存、スイッチのON/OFF切替など最新の機能を備えています。それぞれの機能については後の各項で詳しく説明します。

◆メニューA

プレイモードから黒のタッチボタンのうち[MENU]を一度押すと、インフォメーションセンターディスプレイは次のようにメニューモードのA画面になります。



左上に"A" の文字が表示されているこの画面には、1～4の選択肢があります。

1～4の番号がついている黒いタッチボタンを押すと、インフォメーションセンターディスプレイは選択した数字で表されている機能の画面に変わります。

4種類の画面における機能を簡単に説明すると、

A-1　DRAWBAR　ドローバーの機能を変えることができます。（P.50参照）

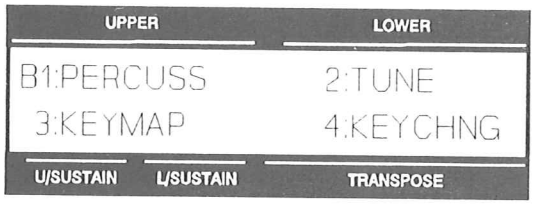
A-2　VIBRATO　上下鍵盤のビブラートスピードを変えることができます。（P.80参照）

A-3　ATTACK　上下鍵盤および足鍵盤のキークリックの量と、ノーマルおよびスローアタックの設定ができます。（P.66参照）

A-4　SUSTAIN　上下鍵盤および足鍵盤のサスティーンの長さを変えることができます。（P.89参照）

◆メニューB

メニューAの状態から[MENU]ボタンを一度押すとメニューモードのB画面に移ります。



左上に"B"の文字が表示されたこの画面では、1～4の選択肢があります。

1～4の番号がついている黒いタッチボタンを押すと、インフォメーションセンターディスプレイは選択した数字で表されている機能の画面に変わります。

4種類の画面における機能を簡単に説明すると、

B-1　PERCUSS パーカッション音の性質を変えることができます。（P.70参照）

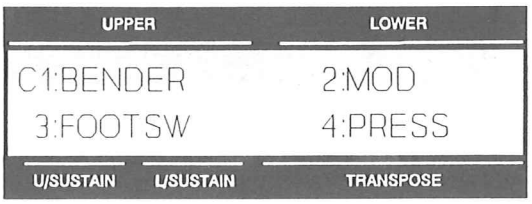
B-2　TUNE　オルガン全体のピッチを上下させてファインチューニングを行うと同時に平均律の設定もできます。（P.118参照）

B-3　KEYMAP　MIDI送信する場合に、鍵盤の割当を設定することができます。（MIDIリファレンスガイドを参照）

B-4　KEYCHNG　MIDI送信する場合に、必要な鍵盤をオクターブ移行させるとができます。（MIDIリファレンスガイドを参照）

◆メニューC

メニューBの状態から[MENU]ボタンを一度押すとメニューモードのC画面に移ります。



4種類の画面における機能を簡単に説明すると、

C-1　BENDER　上下鍵盤および足鍵盤用のピッチベンドホイールのレンジを設定することができます。（P.125参照）

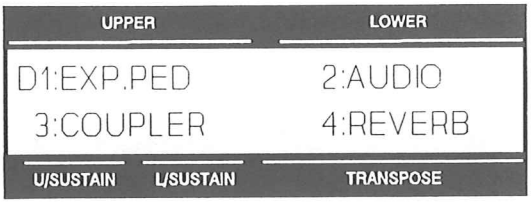
C-2　MOD　モジュレーションホイールの機能を選択することができます。（P.129参　照）

C-3　FOOTSW　2つのフットスイッチの機能をプログラムすることができます。（P.137参照）

C-4　PRESS　キープレッシャー（アフタータッチ）の機能を選択することができます。（P.141参照）

◆メニューD

メニューCの状態から[MENU]ボタンを一度押すとメニューモードのD画面に移ります。



左上に"D" の文字が表示されたこの画面では、1～4の選択肢があります。

1～4の番号がついている黒いタッチボタンを押すと、インフォメーションセンターディスプレイは選択した数字で表されている機能の画面に変わります。

4種類の画面における機能を簡単に説明すると、

D-1 EXP.PED　エクスプレッションペダルの機能を選択することができます。(P.153 参照)

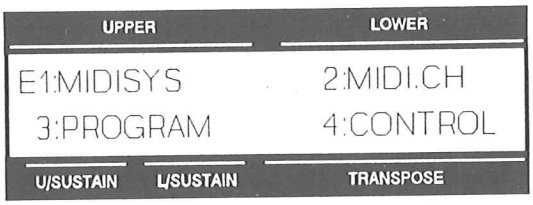
D-2 AUDIO　チューブオーバードライブのレベル設定と、レスリーチャンネルの設定ができます。(P.93、85参照)

D-3 COUPLER　カプラー（足鍵盤から下鍵盤、下鍵盤から足鍵盤）の機能を設定することができます。(P.158 参照)

D-4 REVERB　リバーブのモードの選択ができます。(P.97)

◆メニューE

メニューDの状態から[MENU]ボタンを一度押すとメニューモードのE画面に移ります。



左上に"E" の文字が表示されたこの画面では、1～4の選択肢があります。

1～4の番号がついている黒いタッチボタンを押すと、インフォメーションセンターディスプレイは選択した数字で表されている機能の画面に変わります。

4種類の画面における機能を簡単に説明すると、

E-1 MIDISYS MIDI　チャンネルを除く全体的なMIDIパラメーターを設定することができます。（MIDIリファレンスガイド参照）

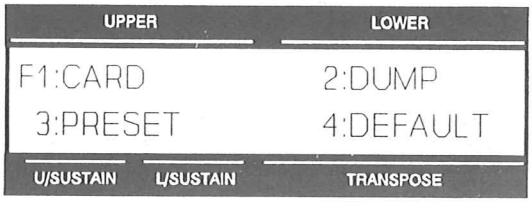
E-2 MIDI.CH MIDI　チャンネルを設定することができます。（MIDIリファレンスガイド参照）

E-3 PROGRAM MIDIプログラムナンバーを設定することができます。（MIDIリファレンスガイド参照）

E-4 CONTROL MIDI　コントローラーを設定することができます。（MIDIリファレンスガイド参照）

◆メニューF

メニューEの状態から[MENU]ボタンを一度押すとメニューモードのF画面に移ります。



左上に"F" の文字が表示されたこの画面では、1～4の選択肢があります。

1～4の番号がついている黒いタッチボタンを押すと、インフォメーションセンターディスプレイは選択した数字で表されている機能の画面に変わります。

4種類の画面における機能を簡単に説明すると、

F-1 CARD　データを保存するためにハモンドRAMカードを使用することができます。（P.163『RAMカードの使用』の項を参照）

F-2 DUMP　MIDIデータレコーダーか他のXB-3にMIDIデータを複写することができます。（MIDIリファレンスガイド参照）

F-3 PRESET　プリセットキーの機能をB-3タイプ又はスタンダードタイプのどちらかに設定することができます。（P.１０６参照）

F-4 DEFAULT　すべてのシステムをリセットしたり、プリセットキーを工場出荷時の設定に戻すことができます。（P.37、111参照）

メニューFの画面からもう一度[MENU]ボタンを押すとメニューAの画面に戻ります。

以上がメニューモードの機能ですが、詳しい操作方法については後にそれぞれの項で説明していますのでご覧下さい。

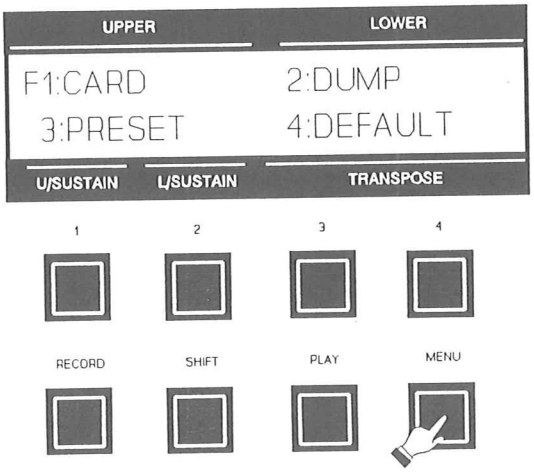
ご注意：インフォメーションセンターディスプレイを使って最新の機能にアクセスする場合、画面の右下に"S" の文字が表示されていることがあります。これは画面に表示されているもの以外にも選択肢があることを意味しており、黒いタッチボタンの[SHIFT] を押すと、残りの選択肢に移行することができます。

◆ リセットの手順

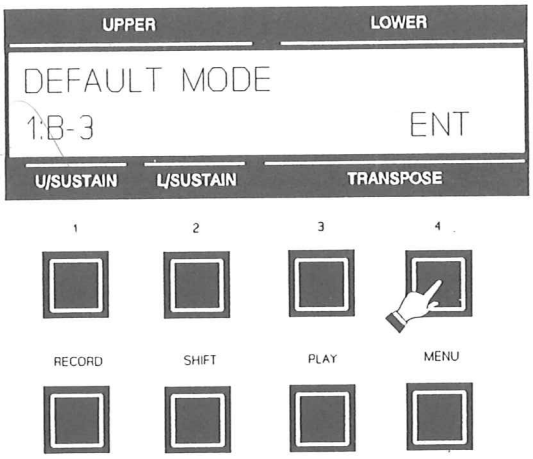
警告！：以下の手順でリセットするとパラメーターやレジストレーション等すべてのプログラムは工場出荷時の状態に戻りますのでご注意下さい。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューFの画面を呼出します。



2. タッチボタンの[4] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[4] を押すということは"ENT" を選択したことになり、プログラムは工場出荷時の設定にリセットされます。もし、ここでリセットしたくない場合に、[MENU]または[PLAY]を押して下さい。

ご注意：インフォメーションセンターディスプレイの"1:B-3" というメッセージはタッチボタンの[1] を押すとプリセットキーが出荷時の設定に変わることを示しています。P.111 『プリセット』の章『デフォルトプリセットセッティング』の項で詳しく説明していますのでご覧下さい。

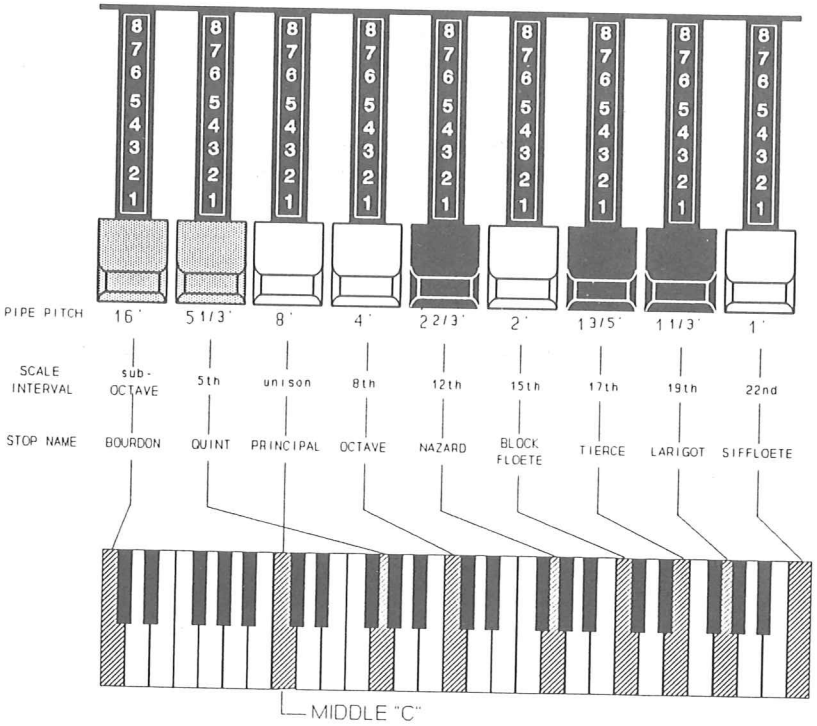
Hammond Organ Model XB-3

Drawbars & Percussion

ドローバー

ハモンドオルガンには９本ずつ４組のドローバーがあり、２組ずつそれぞれ上鍵盤用と下鍵盤用に分かれています。ドローバーはトーンバーと呼ばれることも多く、1935年に発売された初めてのモンドオルガンModel A 以来ずっと使われてきたもので、今やハモンドサウンドとして皆様に親しまれている音作りのために絶対に欠かせないものです。

ドローバーで作り出せるサウンドの数は組み合わせからいっておよそ253,000,000におよびます。ドローバーはそれぞれ異なるピッチのサイン波で構成されています。下のイラストは鍵盤のミドルCを押えた時の各ドローバーと鍵盤の関係を表したものです。

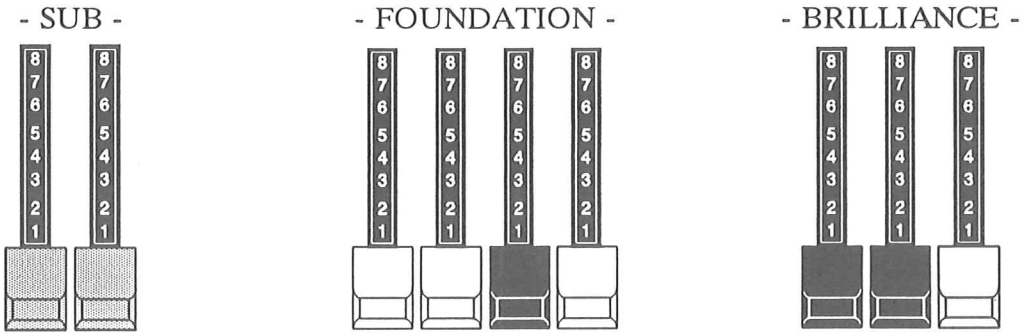


それぞれのドローバーにはアポストロフィのついた数字がついています。例えば、白いドローバーの一番左のものは"8'"になっていますが、これはパイプオルガンの用語で、この鍵盤を使って出すことのできる最低音に該当するパイプの長さが実際に8'=8フィートであることを示したものです。また、すべてのドローバーについている1～8の数字は音量を表すもので、数が大きいほど音量が大きくなります。

ドローバーは音からみて３つのグループに分かれる一方、色でも３つに分かれています。
まず音のグループから見ていきましょう。

◆サウンドグループ

ドローバーは以下のようにピッチの高さによって３つに分けることができます。
SUB は低域、FOUNDATIONは中域、BRILLIANCEは高域です。



試してみましょう：

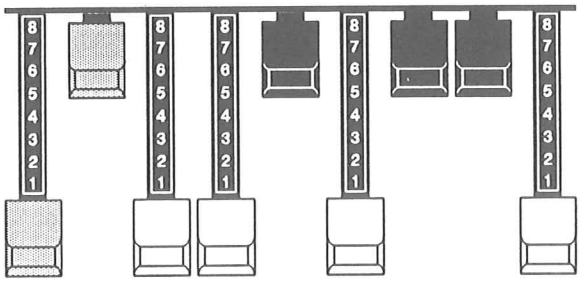
1. すべてのドローバーをIN(OFF) の状態にします。
2. 上鍵盤プリセットキーの"B" を押して下さい。赤いLED が点灯します。
3. 上鍵盤のミドル"C" のすぐ上の"E" から始まるCのコード（"E""G""C")を右手で押えす。
4. 上鍵盤用ドローバーの２番目のグループにある8'ドローバーを始めに、上鍵盤用のFOUNDATIONドローバーを動かしてお好みの音に調節して下さい。
5. C のコードを押え続けながら、今度は上鍵盤用の茶色のSUB ドローバーを引いてお好みの音に調節して下さい。
6. 最後に上鍵盤用のBRILLIANCEドローバーを同じ要領で調節します。

このように簡単な操作で自分だけのドローバーセッティングを工夫することができます。

◆カラーグループ

白のドローバー

白いドローバーの一番左のものが基音つまり"8'"にあたります。その他の白いドローバーはその基音の倍音つまりオクターブ間隔をおいた音になっています。この白いドローバーを引くことによって音の輝きが大きく増します。



CONSONANT HARMONICS

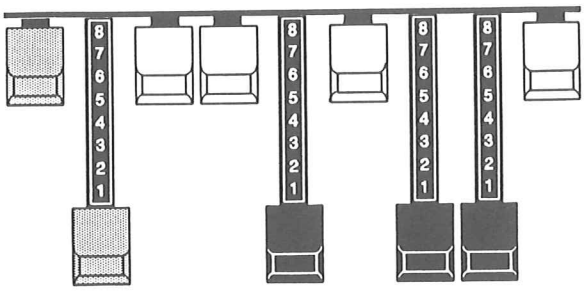
試してみましょう：

1. すべてのドローバーをIN(OFF) の状態にします。
2. 上鍵盤プリセットキーの"B" を押して下さい。赤いLED が点灯します。
3. 上鍵盤のミドル"C" を押えます。
4. 上鍵盤用ドローバーの２番目のグループにある白いドローバーの一番左のもの（8'印が　ついているもの）をいっぱいに引きます。
5. 他の白いドローバーをひとつずつ順に引いていきます。

ドローバーを引くごとに同音で１オクターブ上の音が加わっていくのがわかるはずです。

黒のドローバー

黒いドローバーは豊かな音色を得るために必要な3度、5度の倍音を調節するものです。管楽器の音の柔らかさや弦楽器の音の鋭さ、リード楽器の音の輝きなどは、異なる倍音の成分の存在に負うところが大きいのです



DISSONANT HARMONICS

試してみましょう：

1. すべてのドローバーをIN(OFF) の状態にします。

2. 上鍵盤プリセットキーの"B" を押して下さい。赤いLED が点灯します。

3. 上鍵盤のミドル"C" を押えます。

4. 上鍵盤用ドローバーの8'をいっぱいに引きます。

5. 次に上鍵盤用ドローバーの2 2/3'と1 3/5'のドローバーをいっぱいに引きます。

このドローバーセッティングで得られるのはクラリネットの音です。

茶色のドローバー

ドローバーのグループの中には白と黒の他に茶色のドローバーが２本あります。これは低域の倍音を調節するためのもので、２本のうち左側が基音の8'ドローバーのサブオクターブ、実際には１オクターブ下の音になっています。

試してみましょう：

1. すべてのドローバーをIN(OFF) の状態にします。

2. 上鍵盤プリセットキーの"B" を押して下さい。赤いLED が点灯します。

3. 上鍵盤のミドル"C" を押えます。

4. 上鍵盤用ドローバーの8'をいっぱいに引きます。

5. ミドル"C" を押えたまま、上鍵盤用ドローバーの２番目のグループにある茶色のドローバーの左の１本（16' の印があるもの）をいっぱいに引きます。

Ｃの音に１オクターブ下の音が加わったことがわかるはずです。

茶色のドローバーの右側のものは16'の３度の倍音になっています。茶色のドローバーは多くの場合、音の深さや豊かさを加えるのに使われます。あるいは、茶色いドローバーの左側を基音とし、１オクターブ上げて演奏すると８’の音域つまりノーマルピッチになるため、鍵盤のレンジを１オクターブ広げることもできます。

試してみましょう：

1. すべてのドローバーをIN(OFF) の状態にします。

2. 上鍵盤プリセットキーの"B" を押して下さい。赤いLED が点灯します。

3. 上鍵盤のミドル"C" を押えます。

4. 上鍵盤用ドローバーの8'をいっぱいに引きます。

5. ミドル"C" を押えたまま、上鍵盤用ドローバーの２番目のグループにある茶色のドローバーの左側（16' の印があるもの）をいっぱいに引きます。C の音に１オクターブ下の音が加わったこ　とがわかるはずです。

6. 同グループの茶色のドローバーの右側(5 1/3'の印のあるもの)を引きます。押えている"C" の音がより豊かになるはずです。

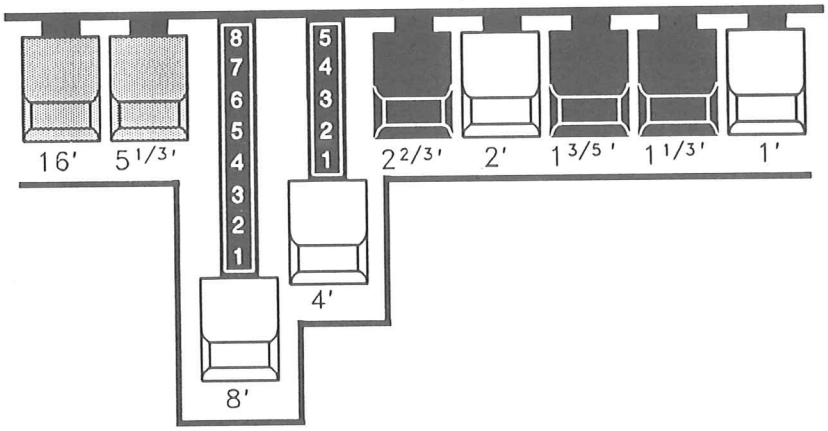
◆基本音色とセッティングの形

パイプオルガンは楽器のサイズやストップの数にかかわらず、大きく分けて４種類の基本的な音色ーフルート、リード、ストリング、ダイアペーソンーから成り立っています。この基本音色のドローバーセッティングを全体的な形で覚えておくと、おおよその音色を素早く作ることができます。オルガンの音色を作るための一般的な原則のようなものはありますので、それにしたがって音作りをすればそれなりに面白い音が得られ、演奏に使うこともできます。しかし、本当に音にこだわるなら、まず、オルガニストの考え出したレジストレーションを用いること。さらに、最終的に自分の音楽に対する感性を最大限に表現するためには、自分が演奏しようとする音楽に適した音色やエフェクトをいろいろと試しながら完成させていくことです

ハモンドオルガンのドローバーを使えば自在にエフェクトを作り出せると同時に優れた音色を数多く作ることができます。演奏する曲にあわせた音色、あるいはもっと大切かもしれないのは、演奏する部屋の大きさやタイプにあわせて必要とされる音を、ニュアンスにいたるまで正確に作り上げることができるのはハモンドのドローバーだけです。ハモンドオルガンのドローバーを使えば、指一本で様々なハーモニックスの音を柔らげたり、輝きを加えたり、より豊かにしたり、自在に調整できます。

４つの基本音色を得るための典型的なドローバーのレジストレーションパターン

◆フルート（2ステップパターン）



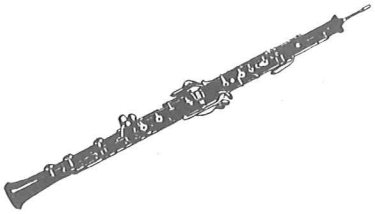
基本的なフルートの音色

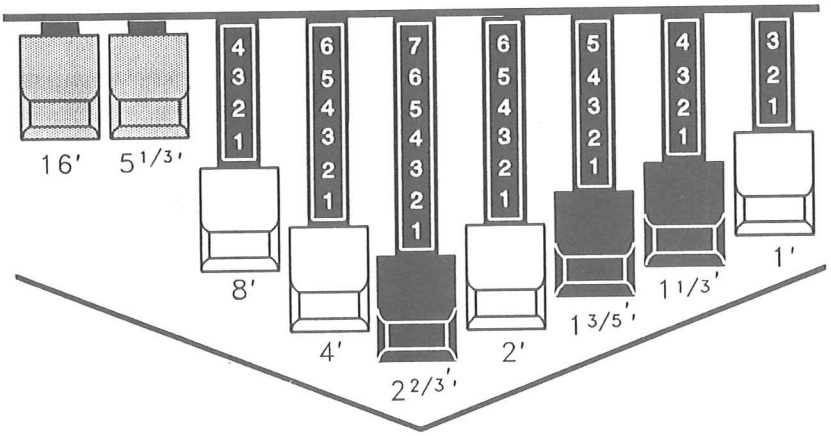
ハモンドオルガンで得られるフルート系の音色は、工場でプリセット済の2、3の音色しか使えない他のオルガンとは対照的に、文字通り何百種類にもおよびます。この音色にかかわりの深い8'と4'のドローバーを00 3700 000に変えるだけでライトコンサートタイプのフルートの音色が簡単に作り出せます。または、4'のドローバーを戻して22/3' のドローバーを少し引くと、基音が重めになり、00 8020 000でソロのティビアの音色が得られます。白いドローバーの組み合わせを変えればフルート音のバリエーションが得られ、16'のドローバーで音の深みを調節できます。

Flute Tones

Accompaniment Flute 8'	00 8460 000
	00 3220 000
	00 8600 000
Blokflote 8'	00 5310 000
Blokflote 4'	00 0503 010
Chorus of Flutes 16'	80 8605 002
Concert Flute 8'	00 6300 000
Flute 8'	00 6201 000
Flute 4'	00 0602 001
Flute 2'	00 0106 004
Flute (Organ type) 16'	50 3000 000
Flute (Organ type) 8'	00 5300 000
Flute (Organ type) 4'	00 0503 000
Flute (Organ type) 2'	00 0005 000
Nazard 2 2/3	00 0030 000
Open Flute 8'	00 7510 000
Orchestral Flute 8'	00 3831 000
Piccolo 2'	00 0006 003
Principal Flute 8'	00 8530 000
Stopped Flute 8'	00 5020 000
Tibia 8'	00 7030 000
Tibia 4'	00 0700 030
Tibia (Solo) 8'	00 8020 000
Tibia (Theater) 16'	80 8605 004
Wooden Open Flute 8'	00 8840 000

◆リード（三角形パターン）





基本的なリードの音色

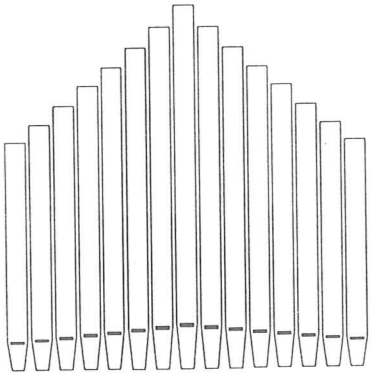
リード系の音色は、他の音色に比べて輝きがあり多彩なことが特徴です。その多くは音の個性が強いためにソロストップとして使われます。

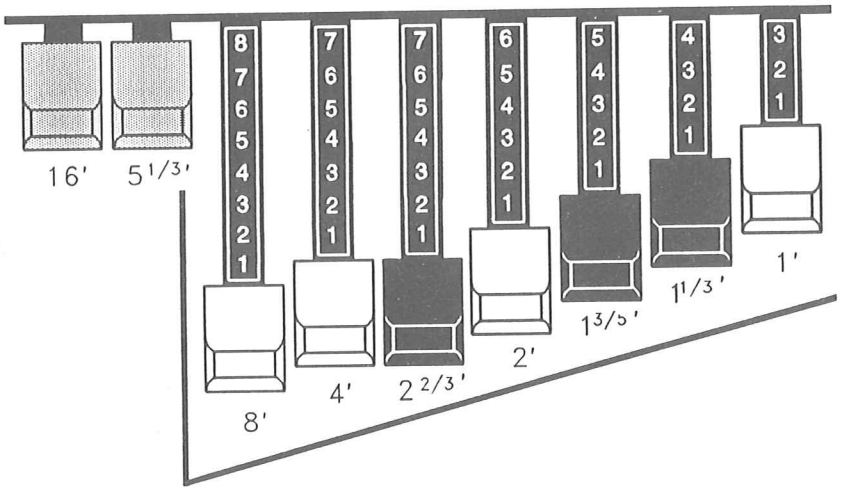
リード系の音色には金管も木管も含まれます。木管の音はリード系の音にビブラートをかけると得られます。オーボエの音は典型的なリード音でドローバーの１組の真ん中あたりのものと、基音となる一番左の黒のドローバーとを同じくらいにくと得られます。一番左の黒のドローバーを使うのはリード系の音作りに典型的な方法です。この結果ドローバーの１組が全体に三角形を形作ることになりますので簡単に覚えられます。ややおとなしい音が得られる三角形のセッティングは00 2333 200で、伴奏に適した音になります。

Reed Tones

Bassoon 16'	44 7000 000
Bassoon 8'	08 7500 000
Bombarde 16'	86 8400 000
Chorus Reed 8'	00 7777 750
Clarinet 8'	00 6070 540
Clarinet 8'	00 6060 300
English Horn 8'	00 3682 210
Flugel Horn 8'	00 5777 530
French Horn	00 7654 321
Kinura 8'	00 0172 786
Oboe (Orchestral) 8'	00 4764 210
Oboe (Organ type) 8'	00 4571 320
Oboe Horn 8'	00 4675 210
Post Horn 8'	00 6677 530
Reed Chorus	63 8888 863
Saxophone 16'	86 7100 000
Saxophone 8'	01 8762 431
Trombone 8'	01 8777 530
Trumpet (Orchestral) 8'	00 6788 650
Trumpet (Organ type) 8'	00 7677 320
Tuba (Organ type) 16'	88 8864 000
Tuba (Organ type)	03 6888 760
Tuba Sonora 8'	02 7788 640
Vox Humana 16'	33 6045 000
Vox Humana 8'	00 4720 123

◆ダイアペーソン（チェックマークパターン）





基本的なダイアペーソンの音色

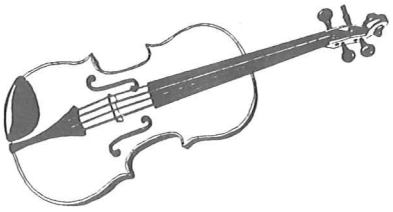
ダイアペーソン系の音色はどれも、基音と２度のハーモニクスが強調され、より高域のハーモニクスが比較的弱いのが特徴です。この種の音は、それ自体の個性よりも音響の善し悪しに左右されることが多いので、レジストレーションも演奏する場所によって違ってきます。パイプオルガンで" フォノン phonon" タイプのダイアペーソンが得られるようになったのは、その設計者が静かな低音を求めたのがきっかけでした。

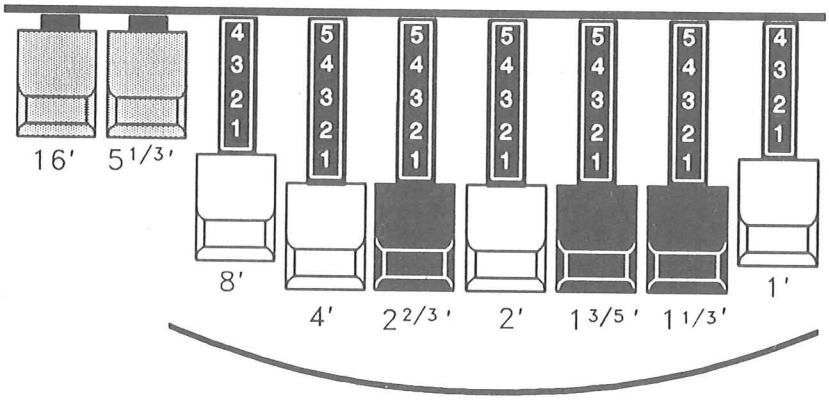
音の構造について言えば、ダイアペーソンの音は、高域のハーモニクスがほとんどないフルートの音と逆に高域のハーモニクスが強調されるストリングの音の中間に位置しています。

Diapason Tones

Accomp. Diapason 8'	00 8874 210
Chorus Diapason 16'	84 8421 000
Chorus Diapason 8'	00 8686 310
Chorus Diapason 4'	00 0806 085
Diapason 8'	00 7785 321
	00 7783 210
Diapason Chorus 8'	61 8855 424
Echo Diapason 16'	43 4421 000
Echo Diapason 8'	00 4434 210
Harmonic Diapason 16'	85 8524 100
Harmonic Diapason 8'	00 8877 760
Harmonic Diapason	00 8678 453
Harmonic Diapason	00 6546 532
Harmonic Diapason 4'	00 0606 045
Horn Diapason 16'	77 7621 000
Horn Diapason 8'	00 8887 480
Open Diapason 8'	01 8866 430
Open Diapason	00 8745 423
Open Diapason	01 6655 320
Solo Diapason 16'	85 8544 000
Solo Diapason 8'	01 8855 331
Solo Diapason 4'	00 0818 055
Wood Diapason 16'	82 7311 000
Wood Diapason 8'	00 7754 321

◆ストリング（ボウパターン）





基本的なストリングの音色

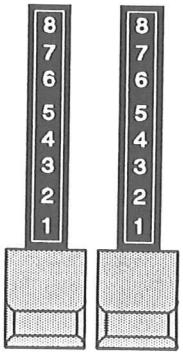
オルガンの基本音色の最後はストリング系の音。オーケストラの弦楽器の音です。この音は高域のハーモニクスの比重が大きく、基音と2度のハーニクスの構造がフルートとは正反対になっています。

ストリング系のレジストレーションは何百種類も考えられますが、全体的に高域のハーモニクスを増減させることで音の明るさを調節することができます。実際、ストリング系の音色は4種類のグループの中でもいちばん多様性があると考えられておりおとなしい音、迫力のある音、楽器単体の音、楽器を集合させた音など様々です。また、独奏にも伴奏にも使用できます。

String Tones

Cello 8'	00 3564 534
Cello 8'	00 3564 211
Dulciana 8'	00 7770 000
Gamba 8'	00 3484 443
Gamba 8'	00 3474 121
Gemshorn 8'	00 4741 321
Gross Gamba 8'	00 4786 543
Harmonica (Organ type) 8'	00 1233 321
Keen Strings 8'	00 1687 664
Muted String 8'	00 2452 010
Orchestral String 8'	00 1464 321
Salicional 16'	25 4321 000
Salicional 8'	00 2453 321
Salicional 4'	00 0204 052
Soft String 16'	13 3210 000
Soft String 8'	00 1332 320
Solo Cello 8'	00 3485 543
Solo Viola 8'	00 2474 341
Solo Violin 8'	00 3654 324
String Organ	22 5787 765
String Organ	22 4767 765
Viola da Gamba 8'	00 2465 432
Violin 8'	00 2334 434
Violin 8'	00 2382 233
Violin 8'	00 2476 264
Violina 4'	00 0103 064
Violine 16'	26 3431 000

◆足鍵盤用ドローバー

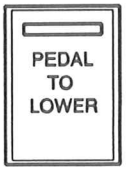


ドローバーのうち上鍵盤用と下鍵盤用の間にあるの茶色の２本が足鍵盤の音を調節するためのものです。左の一本は16' のピッチで重低音を作り出し、右の一本は8'のピッチの音を出します。

◆SUSTAIN サスティーン 足鍵盤用

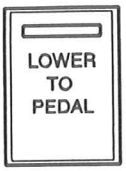
右のイラストのタッチタブがフロントパネルに右端にあります。タブを押すと足鍵盤の音は踏んだ瞬間に音が鳴り、足を離してからゆっくりとフェイドアウトしていきます。
ご注意：通常、上下鍵盤および足鍵盤のサスティーンの長さはMIDになっていますが、先進の機能を使って各鍵盤のサスティーンの長さを"SHORT""MID""LONG"のいずれかに設定することができます。

◆PEDAL TO LOWER 足鍵盤から下鍵盤へ



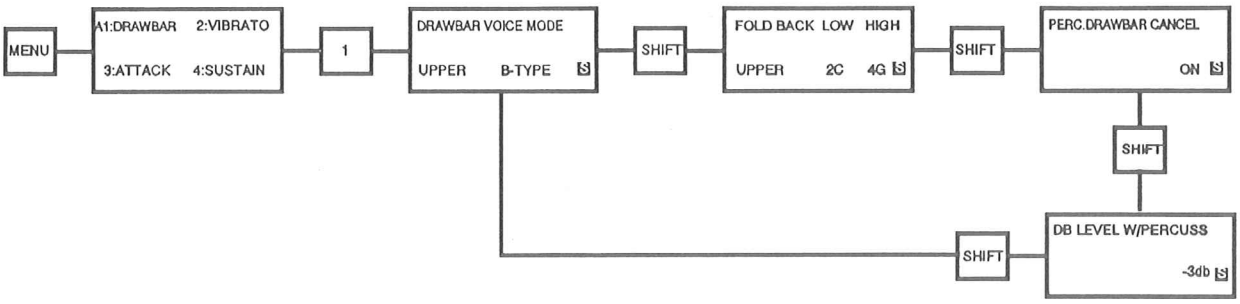
右のイラストのタッチタブが上プリセットキーの左側にあります。タブを押すと、足鍵盤用のドローバーで作った音を下鍵盤の一番低い"C"(1C)から２オクターブ上の"C"(3C)までの間で演奏することができます。
ご注意：特別なアプリケーションとして、[PEDAL TO LOWER]を使って足鍵盤の音を上鍵盤に連結させることもできます。P.161『最新の特殊機能』の章、『最新の機能－カプラー』の項で説明しています。

◆LOWER TO PEDAL 下鍵盤から足鍵盤へ



右のイラストのタッチタブが[PEDAL TO LOWER]の隣にあります。タブを押すと、下鍵盤用の音を足鍵盤の一番低い"C"(1C)から２オクターブ上の"C"(3C)までの間で演奏することができ、全部で25音の音域が得られます。

最新の機能／ドローバー



ソフトウエアの４つのメニューを使って、ドローバーの機能を次のように変えることが可能です。

1. ドローバーボイスモード

   ドローバーボイシングのタイプを選択することができます。上下鍵盤については"B-TYPE"MELLOW""BRITE" の３つから、足鍵盤についてはミュートをする、しないの２つから１つのタイプを選択します。

2. ドローバーフォールドバック

   上下鍵盤の16' と1'のドローバーについてフォールドバックポイントを設定することができます。工場出荷時の設定は、Model B-3、C-3、RT-3、A-100 と同様、16' ドローバーはC2、1'は4Gになっています。

3. パーカッションドローバーキャンセル

   パーカッションを使用する際に、1'ドローバーをキャンセルするかどうかの選択ができます。

4. パーカッション使用時のドローバーレベル

   パーカッションをノーマルな音量で使用する際にドローバーの音量を下げるかどうかの選択ができます。

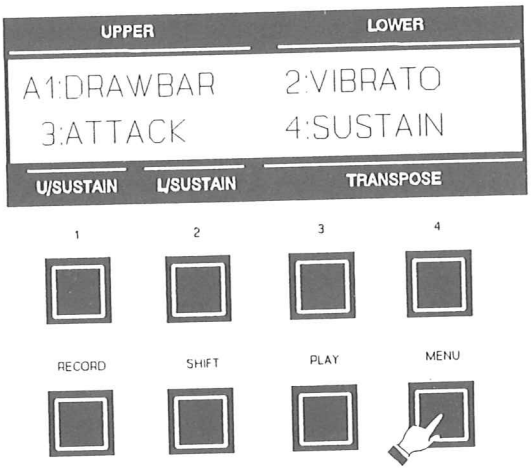
以下の頁ではこの４つのメニューについて詳しく説明していきます

◆ドローバーボイシングモード

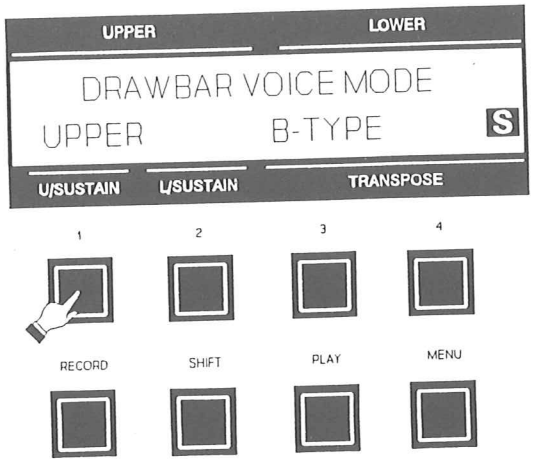
ドローバーで作り出す音を全体的に変化させることができます。選択肢は次の３つです。(1)"B-TYPE" B-3 のトーンホイールジェネレーターの音を再生します。(2)"MELLOW" たいへんきれいなサイン波の音質が得られます。(3)"BRITE"高域のドローバーを強調して輝きに富む音が得られます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのＡ画面を呼出します。



2. タッチボタンの[1] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイが次のようになります。



3. 次の要領で各鍵盤のボイシングタイプを選択します。
タッチボタンの[1] を押して鍵盤を呼出します。
タッチボタンの[3][4]を押してボイシングタイプを選択します。

下の表は各鍵盤に対するボイシングタイプの選択肢をまとめたものです。

UPPER VOICING TYPE	LOWER VOICING TYPE	PEDAL VOICING TYPE
*B-TYPE	*B-TYPE	*NORMAL
MELLOW	MELLOW	MUTED
BRITE	BRITE	

*出荷時の設定

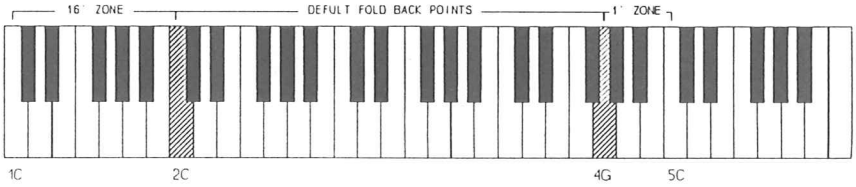
以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまり、プリセット音にはそれぞれのドローバーボイシングタイプを設定して保存することができるわけです。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106からの『最新の機能ープリセット』をご覧下さい。

ご注意：他のメニューに移る時には[MENU] を、またメニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

◆ドローバーフォールドバック

このメニューでは各鍵盤について(1) 16' ドローバーのピッチ(2) 鍵盤の最高音を選択することができます。

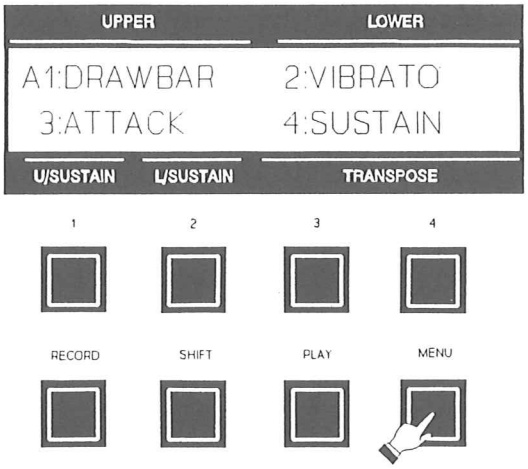
ハモンドオルガンの最も初期のモデル(Model A、B、Cなど）の場合、16' ドローバーは一番低い"C"(1C) までのすべての範囲に対応していました。新しいModel X-66, X-77、Concorde、SX/CX シリーズなども16' ドローバーは同じですが、1'ドローバーは鍵盤左端から数えて4番の”B”（4B）の音までに対応しており、その他の高域のドローバーもだいたい同じようになっています。16' と1'のドローバーの出荷時の設定は、オリジナルモデルのB-3、C-3、RT-3、A-100 と同じです。



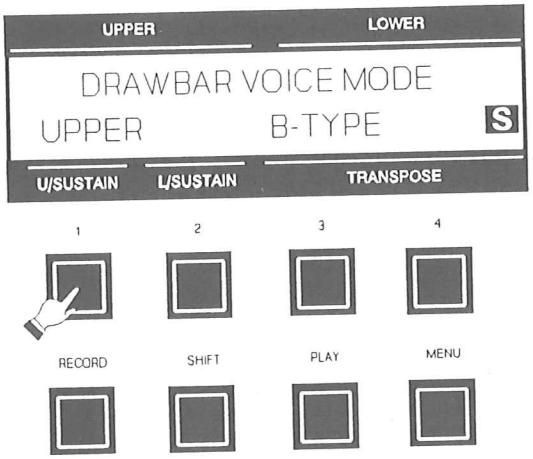
B-3 の場合、16' ドローバーの出す最も低い音は、鍵盤の左端から数えて２番目のC(2C) です。したがって鍵盤の一番左の１オクターブ、つまり最初の"B"(1B) から一番下の"C"(1C) までは１オクターブ上と同じ音を出しており、これを『フォールドバック』と言います。1'ドローバーの出せる最も高い音は鍵盤左端から数えて４番目の"F#"です。したがって鍵盤の右端の部分も左端と同じように『フォールドバック』して１オクターブ下と同じピッチの音を出します。

試してみましょう：

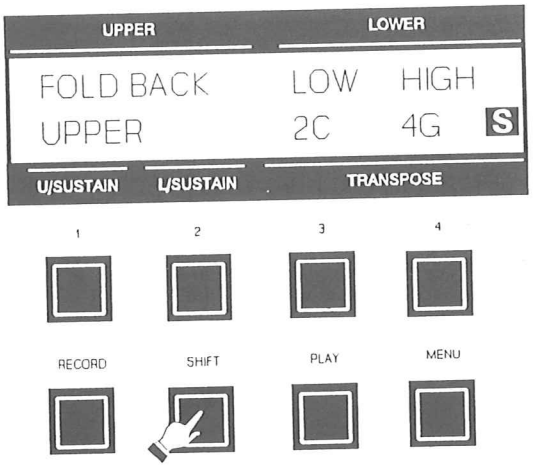
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのＡ画面を呼出します。



2. タッチボタンの[1]を一回押して下さい。インフォメーションセンターデスプレイは次のようになります。

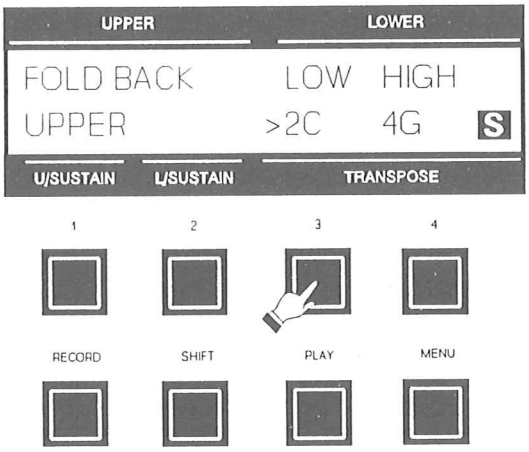


3. タッチボタンの[SHIFT]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. タッッチボタンの[1]を押すと"UPPER"が"LOWER"に変わります。"UPPER"の時には上鍵盤、"LOWER"の時には下鍵盤のホールドバックポイントを設定できます。

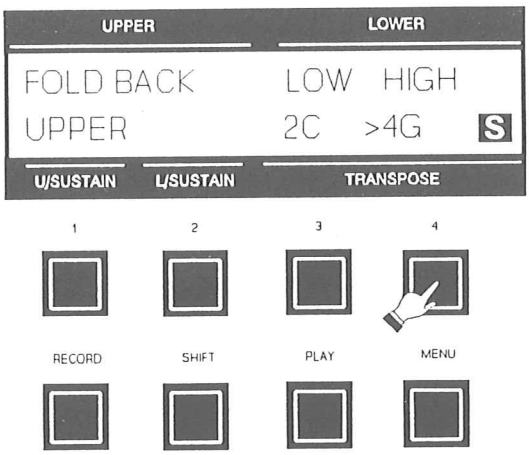
5. 16' ドローバーのホールドバックポイントを設定するために、まず、左手でタッチボタンの[3] を押えます。



押えていると"2C"の左に ">" の記号が出ます。"2C"は左から数えて２番目のC を示します。

左手で[3] を押したまま、右手でホールドバックポイントにする鍵盤を押えます。ただし"1C"から"2C"までの間でしか設定できませんので注意して下さい。鍵盤が設定できたら左手を[3] から離します。

6. 1' ドローバーのホールドバックポイントを設定するために、まず、左手でタッチボタンの[4] を押えます。



押えていると"4G"の左に ">" の記号が出ます。"4G"は左から数えて4番目のGを示します。

左手で[4]を押したまま、右手でホールドバックポイントにする鍵盤を押えます。ただし、"4G"から"5C"までの間でしか設定できませんので注意して下さい。鍵盤が設定できたら左手を[4]から離します。

以下の表はホールドバックポイントの設定範囲を示しています。出荷時の設定は、Model B-3、C-3、RT-3、A-100と同様、16' ドローバーは"C2"、1'ドローバーは"4G"になっています。

MANUAL	16' RANGE	1' RANGE
UPPER	1C-2C	4G-5C
LOWER	1C-2C	4G-5C

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまり、プリセット音にはそれぞれのドローバーホールドバックポイントを設定して保存することができるわけです。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106からの『最新の機能ープリセット』をご覧下さい。

ご注意：他のメニューに移る時には[MENU]を、またメニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

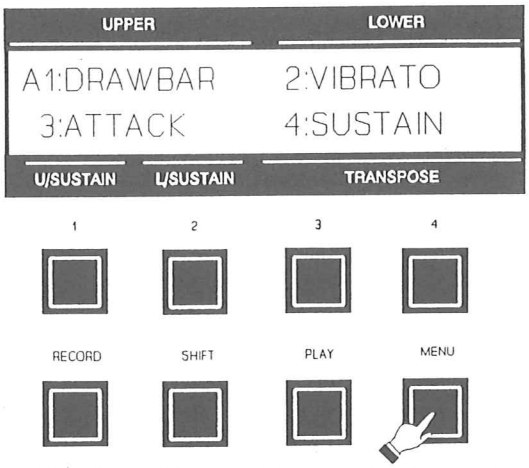
◆パーカッションドローバーキャンセル

タッチレスポンスパーカッションを採用しているハモンドオルガンのオリジナルモデル、B-3、C-3、RT-3の場合、上鍵盤プリセットキーの"B" が作動している間にパーカッションをONにすると、1'ドローバーの音がキャンセルされるようになっていました。しかし、新しいモデルではパーカッションをONにしても1'ドローバーが使えるようになっています。

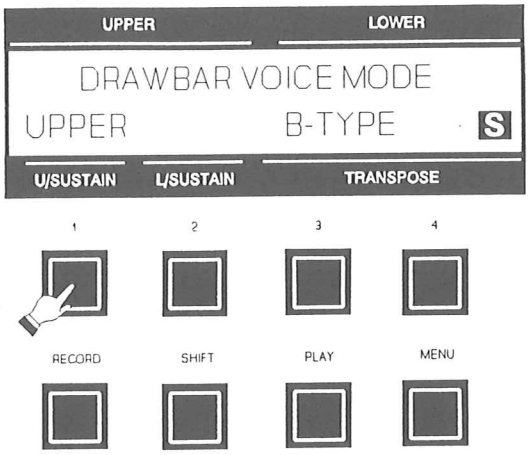
最新のパーカッションドローバーキャンセル機能を使えば、パーカッションをONにした時に1'ドローバーを使用するかキャンセルするかを自由に選択できます。

試してみましょう：

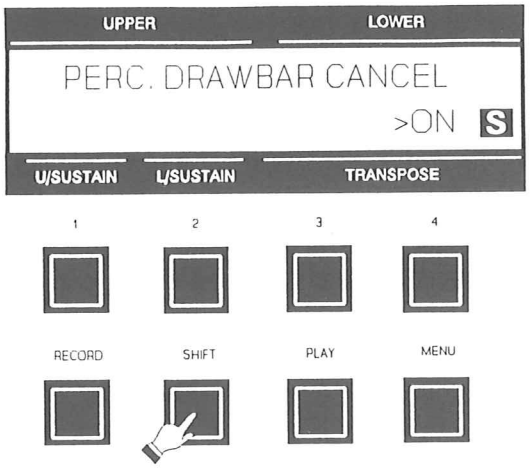
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのＡ画面を呼出します。



2. タッチボタンの[1] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を繰り返し押すと次のような画面になります。



4. 出荷時には"ON"と設定されていますので、パーカッションドローバーキャンセルを"OFF" にする時は、タッチボタンの[1] ～[4] のどれか１つを押して下さい。"OFF" と設定されている時にはパーカッションをONにしても1'ドローバーの音が出ます。

   タッチボタンの[1] ～[4] のどれか１つをもう一度押すと、"ON"に戻すことができます。"ON"と設定されている時にはパーカッションをONにすると1'ドローバーの音がキャンセルされます。

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまり、プリセット音にはそれぞれ異なる設定をして保存することができるわけです。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106からの『最新の機能－プリセット』をご覧下さい。

ご注意：他のメニューに移る時には[MENU] を、またメニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

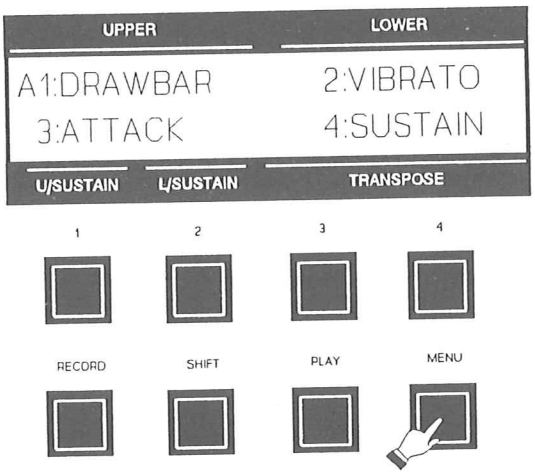
◆ドローバーの音量とパーカッション

タッチレスポンスパーカッションを採用しているハモンドオルガンのオリジナルモデル、B-3、C-3、RT-3の場合、上鍵盤プリセットキーの"B"が作動している間にパーカッションをノーマルな音量でONにすると、鍵盤の上下のバランスをとるため上鍵盤のドローバーの音量がわずかに小さくなります。しかし、新しいモデルではパーカッションをノーマルな音量でONにしても上鍵盤のプリセットドローバーを通常通りの音量で使うことができるようになっています。

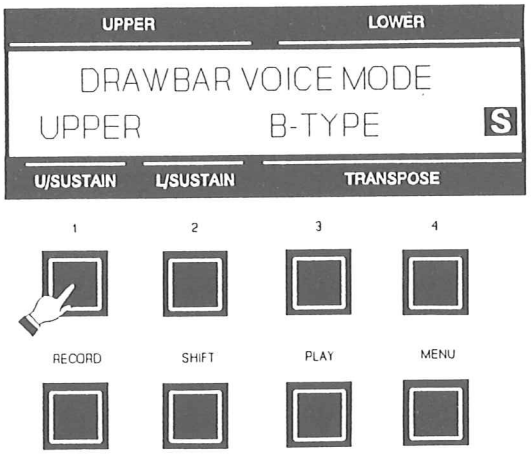
最新の機能を使えば、音量を変化させるかさせないかを自由に選択することができます。

試してみましょう：

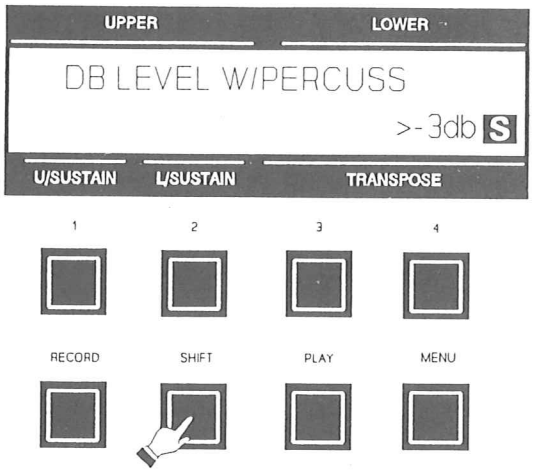
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのA画面を呼出します。



2. タッチボタンの[1]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のように　なります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を繰り返し押すとインフォメーションセンターディスプレイが次のようになります



"-3db"という表示に注目して下さい。これは工場出荷時の設定で、ドローバーの音量が3デシベル* だけ低くなることを意味します。この変化はわずかなものです。

この機能を"OFF" にするには、タッチボタン[1] ～[4] のうちのどれか1つを押します。これで変化は"0db" となり、パーカッションをノーマルな音量でONにしてもドローバーの音量は変わりません。

タッチボタンの[1] ～[4] のどれか1つをもう一度押すと、"ON"に戻すことができます。この時は、パーカッションをノーマルな音量でONにした時、上鍵盤のドローバーの音は-3dbだけ低くなります。

*"デシベル" は音波の強さ（音量）を量るための単位です。

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまり、プリセット音にはそれぞれ異なる設定をして保存することができるわけです。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181 からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106 からの『最新の機能－プリセット』をご覧下さい。

ご注意：他のメニューに移る時には[MENU] を、またメニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

◆セカンドドローバー

ハモンドオルガンには上下の鍵盤に対してドローバーが２組ずつ付いています。通常は先に『プリセット』の項で述べたとおり、各鍵盤につき１度に１つのプリセット、つまり１組のドローバーしか使用することができません。ただし、新しいセカンドドローバー機能は、使用中のプリセットともう一つのプリセット（同じ鍵盤に設定されているもの）をミックスすることを可能にします。以下に、その使用例をあげて説明します。

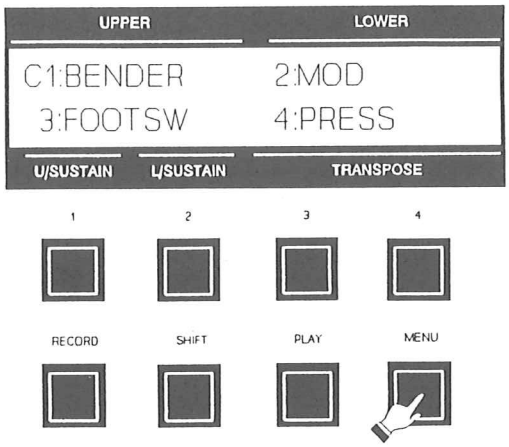
この機能をコントロールするには２つの方法があります。

1. モジュレーションホイールを使用する方法

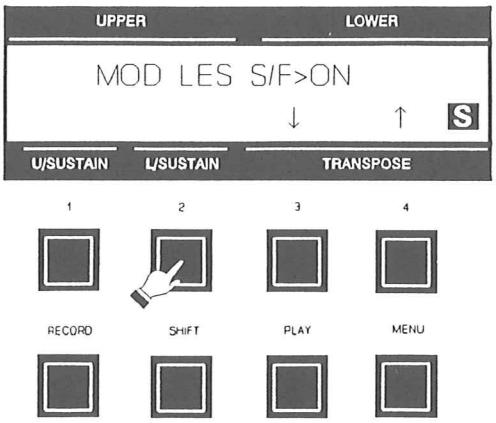
2. キープレッシャーを使用する

試してみましょう－モジュレーションホイールを使ってセカンドドローバー機能をコントロールしてみます。

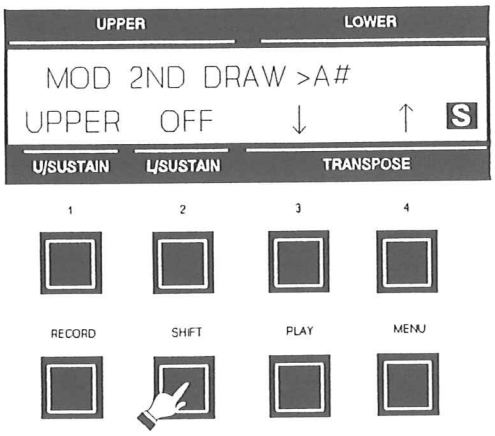
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押して、メニューモードのＣ画面を呼出します。



2. タッチボタンの[2] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を一回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



この画面の時では以下のことができます。

タッチボタンの[1] を押すと"UPPER" か"LOWER" つまり上鍵盤か下鍵盤を選択できます。

タッチボタンの[2] を押すと、その時点で選択されている鍵盤についてセカンドドローバー機能の"ON""OFF" 切替ができます。

タッチボタンの[3]"↓" を押すと、B から Cに移動することができます。

タッチボタンの[4]"↑" を押すと、C から Bに移動することができます。

上のイラストを例にすると、[2] を押して"ON"にすると上鍵盤のセカンドドローバー機能が使えます。

試してみましょう：

1. 上鍵盤の"A#"のドローバーを00 8877 665 に設定します。

2. 上鍵盤の"B" のドローバーを00 8870 000 に設定します。

3. 上鍵盤プリセットキーの"B" を押して下さい。赤いLED が点灯します。

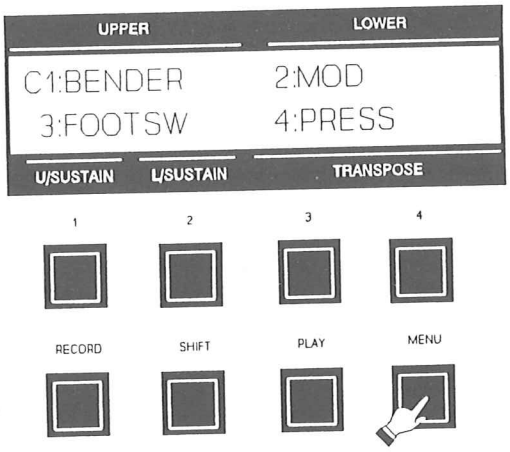
4. " ＞" の記号の隣に"A#"が表示されていない時は、タッチボタンの[3] か[4] を繰り返し押して"A#"が出るようにします。

5. ここで、モジュレーションホイールの位置が左いっぱいになっていることを確かめ、上鍵盤で"C" のコードを押えます。プリセットキーの"B" に設定されているレジストレーションの音が聞こえるはずです。

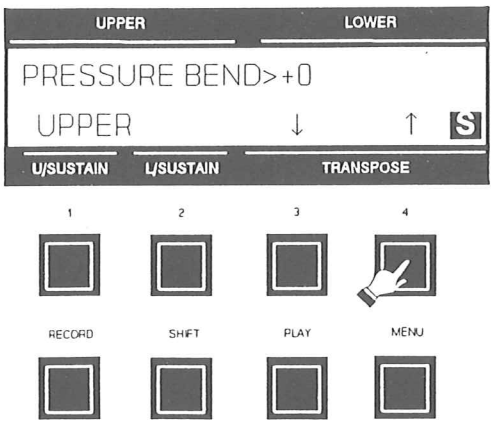
6. モジュレーションホイールをゆっくりと右に回して下さい。"B" のプリセットに加えて"A#" にプリセットされているレジストレーションの音が聞こえてきます。モジュレーションホイールを右に回し切ると"B" のプリセットがフェイドアウトし、"A#"のプリセットだけが聞こえます。

試してみましょう－キープレッシャーを使ってセカンドドローバー機能をコントロールします。

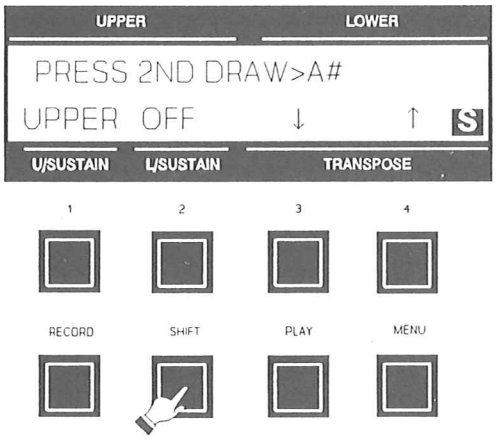
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押して、メニューモードのＣ画面を呼出します



2. タッチボタンの[4] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を繰り返し押して次のような画面を呼出します。



この画面では以下のことができます。

タッチボタンの[1] を押すと"UPPER" か"LOWER" つまり上鍵盤か下鍵盤を選択できます。

タッチボタンの[2] を押すと、その時点で選択されている鍵盤についてセカンドドローバー機能の"ON""OFF" 切替ができます。

タッチボタンの[3]"↓" を押すと、B から Cに移動することができます。

タッチボタンの[4]"↑" を押すと、C から Bに移動することができます。

上のイラストを例にすると、[2] を押して"ON"にすると上鍵盤のセカンドドローバー機能が使えます。

試してみましょう：

1. 上鍵盤の"A#"のドローバーを00 8877 665 に設定します。

2. 上鍵盤の"B" のドローバーを00 8870 000 に設定します。

3. 上鍵盤プリセットキーの"B" を押して下さい。赤いLED が点灯します。

4. " ＞" の記号の隣に"A#"が表示されていない時は、タッチボタンの[3] か[4] を繰り返し押して"A#"の表示を出して下さい。

5. 上鍵盤で"C" のコードを押えます。プリセットキーの"B" に設定されているレジストレーションの音が聞こえるはずです。

6. 押えている鍵盤をより強く押えて下さい。"B" のプリセットに加えて"A#"にプリセットされているレジストレーションの音が聞こえてきます。より強く押し続けると最終的には"B" のプリセットがフェイドアウトし、"A#"のプリセットだけが聞こえます。

この機能は、レジストレーションをなるだけ早く変更したい時にとても便利です。別のレジストレーションを呼出すためのキーは、プリセットキーの"C" から"B" までの間で自由うに設定できます。インフォメーションセンターディスプレイ上でお好みのキーを選択して下さい。鍵盤を強く押した時にはセカンドレジストレーションの音が得られ、普通の強さで押した時にはその時点で作動しているプリセットキーのレジストレーションによる音が得られます。

下の表は各鍵盤について設定できるプリセットキーの一覧です。

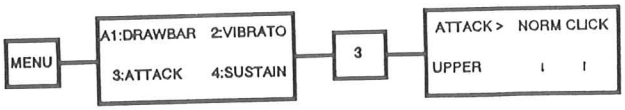
MANUAL	PRESET KEY NAME
UPPER	C - C♯ - D - D♯ - E - F - G - G♯ - A - *A♯ - B
LOWER	C - C♯ - D - D♯ - E - F - G - G♯ - A - *A♯ - B

*出荷時の設定

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまり、プリセット音にはそれぞれ異なる設定をして保存することができるわけです。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181 からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106 からの『最新の機能－プリセット』をご覧下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

最新の機能／アタック



このメニューを使って、ドローバーに次のような機能を持たせることができます。

アタッククリックボリューム

上鍵盤、下鍵盤、足鍵盤のそれぞれに"SLOW ATTACK""NO CLICK""SOFT CLICK""NORMAL CLICK""MAX CLICK"の５種類のアタックのうちの１つを設定することができます。

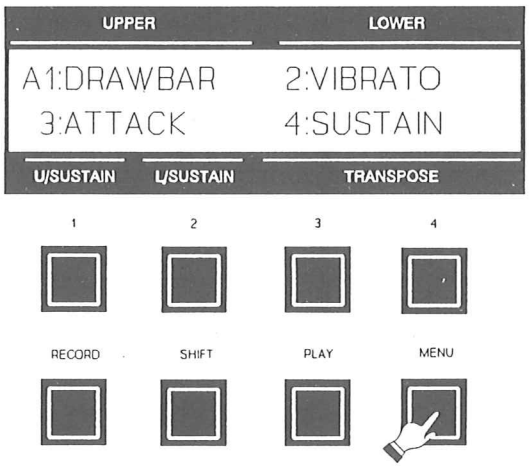
以下の頁では、この機能について具体的に説明します。

◆アタック クリックボリューム

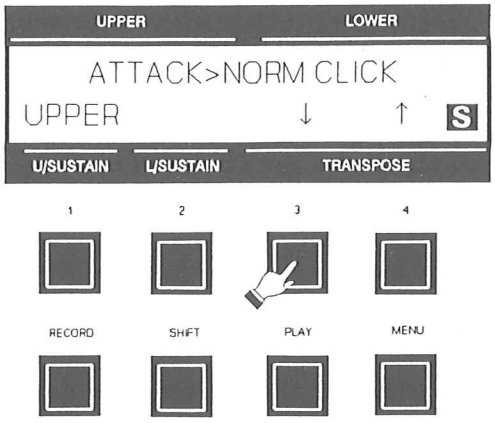
トーンホイールハモンドオルガンの場合、鍵盤を押える度にクリック音が生じます。最新の機能によって、このキークリックを自分で選択し、それぞれのプリセットにデータとして保存することができます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのA画面を呼出します。



2. タッチボタンの[3] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. 下記の要領で各鍵盤のアタッククリックボリュームを選択して下さい。

タッチボタンの[1] を押すと、上鍵盤、下鍵盤、足鍵盤の選択ができます。

タッチボタンの[3]"↓" を押すと、アタッククリックボリュームのオプションが下にスクロールします。

タッチボタンの[4]"↑" を押すと、アタッククリックボリュームのオプションが上にスクロールします。

下の表は各鍵盤についてアタックックリックボリュームの選択肢をまとめたものです。

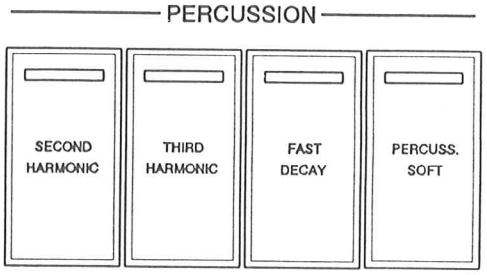
UPPER	LOWER	PEDALS
SLOW ATTACK	SLOW ATTACK	SLOW ATTACK
NO CLICK	NO CLICK	NO CLICK
SOFT CLICK	SOFT CLICK	SOFT CLICK
*NORMAL CLICK	*NORMAL CLICK	*NORMAL CLICK
MAX CLICK	MAX CLICK	MAX CLICK

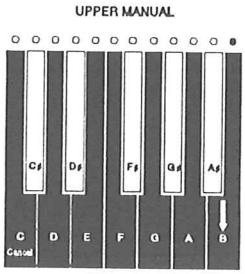
*出荷時の設定

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまり、プリセット音にはそれぞれ異なる設定をして保存することができるわけです。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181 からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106 からの『最新の機能－プリセット』をご覧下さい。

ご注意：他のメニューに移る時には[MENU] を、またメニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

パーカッション

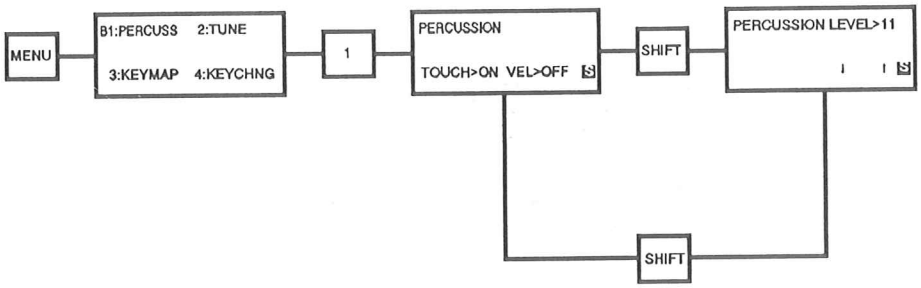




パーカッションの音は通常、上鍵盤用ドローバーの２組目以外では使用できません。したがってパーカッションを使う時には必ずプリセットキーの"B"を押してLED が点灯した状態にして下さい。

最初の『電源を入れて演奏する』の項で述べたように、上鍵盤の上にあるドローバーの右側に、パーカッション音をコントロールするためのタッチタブが４個あります。その機能についてはP.23ですでに説明していますが、パーカッションの音色は様々な方法でアレンジすることができます。以下の頁では、パーカッションに関する新しい機能について詳しく説明します。

最新の機能／パーカッション



新しい２つの機能を使ってパーカッションを次のようにアレンジすることができます。

1. パーカッション－タッチ&ベロシティセンシティビティ
   パーカッションについて(1) タッチのタイプを"TOUCH-RESPONSE タッチレスポンス"（シングルトリガー）または"MULTI マルチ"（マルチトリガー）の２種類から選択できます。
   (2)ベロシティ感度"ON""OFF" の切替ができます。

2. パーカッションレベル
   パーカッションの全体的な音量を変えることができます。

ご注意：パーカッションレベルメニューでの選択は、[PERCUSS.SOFT]タッチタブとは別の回路で実行されます。

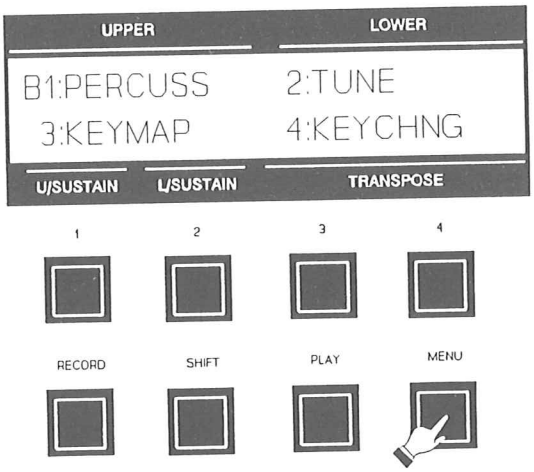
以下の頁では、この新しい機能について具体的に説明していきます。

パーカッション タッチ＆ベロシティセンシティビティ

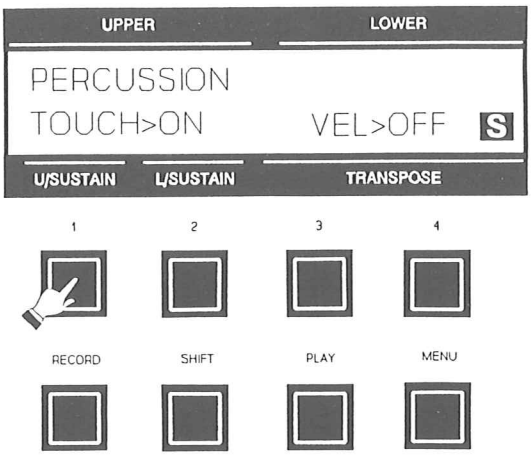
パーカッションに関する新しい機能は(1) タッチレスポンスの"ON""OFF" 切替(2) ベロシティセンシティビティの"ON""OFF" 切替、の２つです。ただしこの機能はパーカッションが使える上鍵盤にしか対応していません。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押して、メニューモードのＢ画面を呼出します。



2. タッチボタンの[1] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



出荷時にはパーカッションタッチが"ON"に設定されており、オリジナルモデルのB-3、C-3、RT-3、A-100 のタッチレスポンスパーカッションと同じ状態です。この場合、上下の鍵盤ともに、音を一つ一つ切り離して弾いた時にパーカッションの音がでます。タッチの切れ具合いはどの程度でもかまいません。

パーカッションタッチを"OFF" にすると、奏法上、レガート、ノンレガートにかかわらず均一にパーカションがかかります。（マルチトリガー）

4. マルチトリガーを"OFF" にするには、黒いタッチボタンの[2] を押して下さい。同じボタンをもう一度押すと"ON"になります。

5. パーカッションのベロシティセンシティビティの"ON""OFF" 切替はタッチボタンの[4] で行います。

ベロシティが"ON"の時には、鍵盤を押える速さによってパーカッションの音量が変化します。鍵盤を勢いよく押えるほど大きな音、軽く押えるほど小さな音になります。

下の表はタッチとベロシティについての選択肢をまとめたものです。

PERCUSSION TOUCH	PERCUSSION VELOCITY
*ON	*OFF
OFF	ON

*出荷時の設定

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼び出すことができます。つまり、プリセット音にはそれぞれ異なる設定をして保存することができるわけです。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181 からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106 からの『最新の機能－プリセット』をご覧下さい。

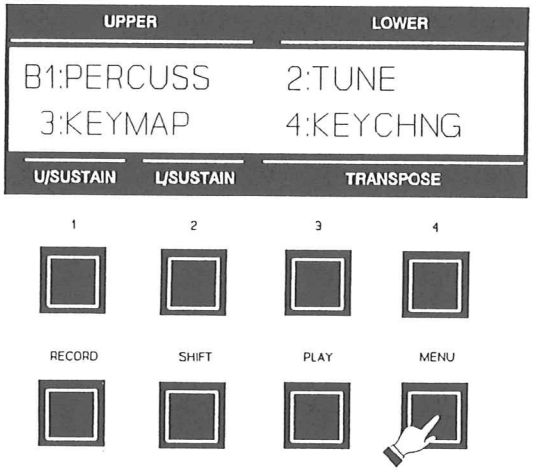
ご注意：他のメニューに移る時には[MENU] を、またメニューモードを終了する時には[PLAY] を押します。

◆パーカッションレベル

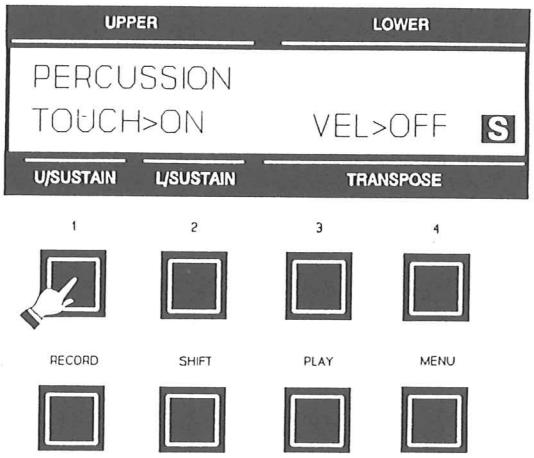
新しい機能によってパーカッションの全体的な音量を設定することができます。タッチタブの"NORMAL"または"SOFT"で得られるパーカッションの音量とドローバーによる音のバランスを変えることができます。

試してみましょう：

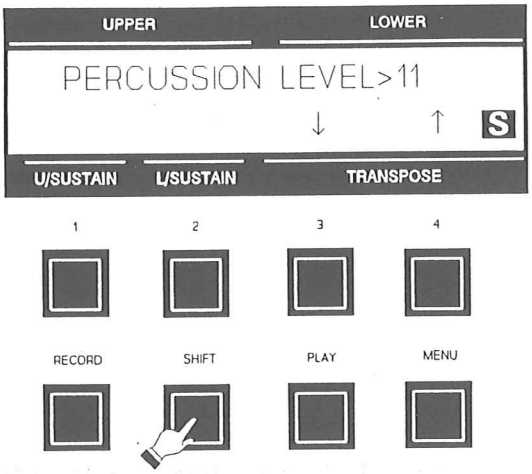
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのB画面を呼出します。



2. タッチボタンの[1]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を繰り返し押すと次のような画面になります。



4. 出荷時の設定は"11"です。以下の要領でお好きなレベルを選択して下さい。
   タッチボタン[3]"↓" を押すと、レベルの低い方へ移動できます。
   タッチボタン[4]"↑" を押すと、レベルの高い方へ移動できます。

下記の表はパーカッションレベルの選択範囲をまとめたものです。

PERCUSSION LEVEL
1～16

*出荷時の設定は” 11”

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまり、プリセット音にはそれぞれ異なる設定をして保存することができるわけです。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181 からの付録 B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106 からの『最新の機能ープリセット』をご覧下さい。

ご注意：他のメニューに移る時には[MENU] を、またメニューモードを終了する時には[PLAY] を押します。

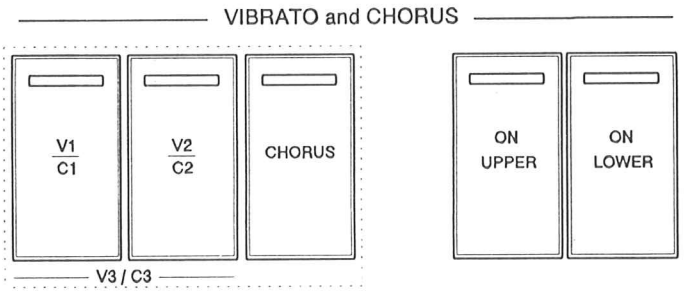
Hammond Organ Model XB-3

Effects

エフェクト

このオルガンには、ビブラート、コーラス、レスリー、サスティーン、チューブオーバードライブ、リバーブといったエフェクトがついています。このようなエフェクトを加えることによって演奏する音の表現力を高めることができます。

ビブラート



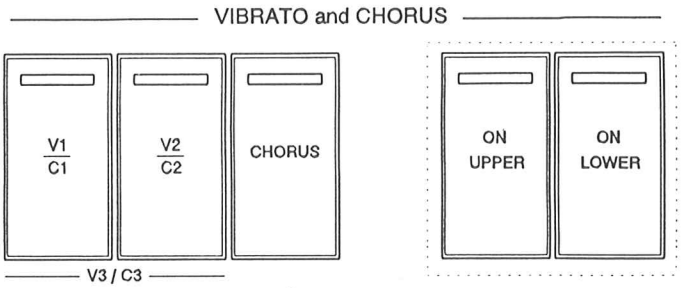
- New B-3 / C-3 Vibrato and Chorus ON / OFF Touch Tabs -

ビブラート／コーラスの強さを調節するものとエフェクトのかかる鍵盤を設定するものを合わせて５個のタッチタブがあります。

オリジナルモデルB-3、C-3、RT-3、A-100のビブラート／コーラスコントロールと新モデルのB-3、C-3のビブラート／コーラスコントロールの違いについてはP.16『電源を入れて演奏する』の章、『ビブラートとコーラス』の項で詳しく説明していますのでご覧下さい。

◆ビブラート ON/OFF

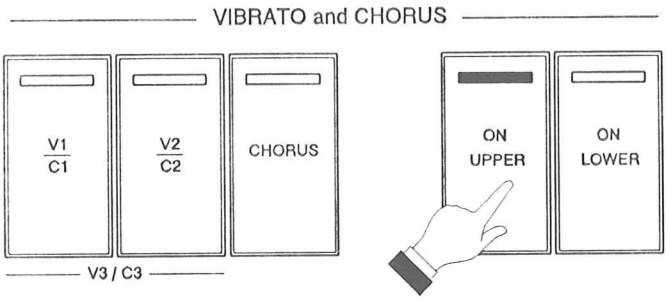
[ON UPPER]および／または[ON LOWER]のタッチタブでビブラートやコーラスをかけたい鍵盤を選択します。



- New B-3 / C-3 Vibrato and Chorus ON / OFF Touch Tabs -

上鍵盤のビブラート ON/OFF

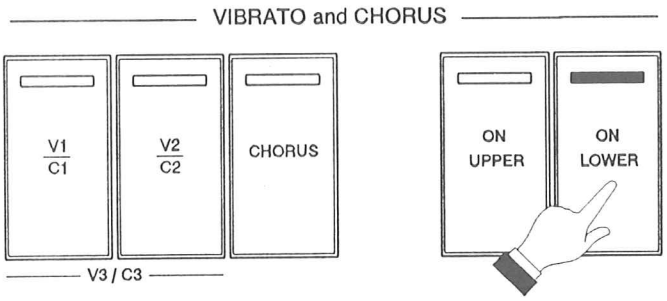
上鍵盤にビブラートやコーラスをかけたい時、[ON UPPER]を押して下さい。タブについているLED が点灯します。



- New B-3 / C-3 Vibrato and Chorus Upper Manual "ON" -

下鍵盤のビブラート ON/OFF

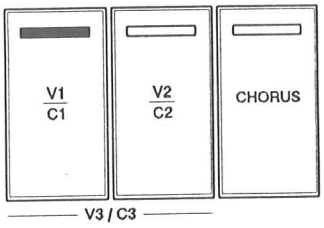
下鍵盤にビブラートやコーラスをかけたい時、[ON LOWER]を押して下さい。タブについているLED が点灯します。



- New B-3 / C-3 Vibrato and Chorus Lower Manual "ON" -

◆V1（スモールビブラート）

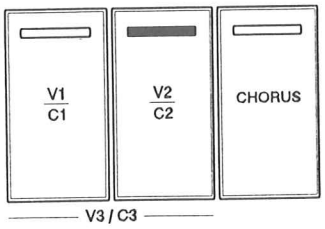
オーケストラの独奏楽器の演奏にかかっている程度のビブラートが得られます。ビブラート 1を選択する時は[V1/C1]のタッチタブを押して下さい。



- Vibrato 1 -

◆V2（ワイドビブラート）

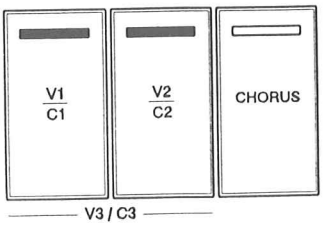
標準的なデプスのビブラートで、ドローバーと組み合わせて使うとシアターオルガンの音が得られます。ビブラート 2を選択する時は[V2/C2] のタッチタブを押して下さい。



- Vibrato 2 -

◆V3（フルビブラート）

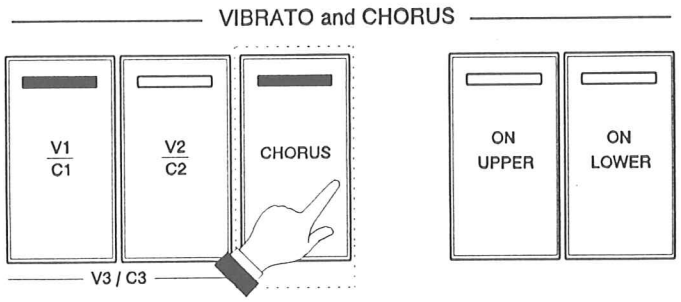
[V1/C1] と[V2/C2] を同時に押すとビブラート 3が選択できます。V3は最も強いビブラートで、温かみがある印象的な音が得られます。



- Vibrato 3 -

◆コーラス

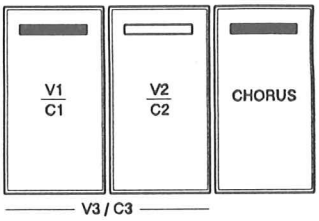
左から３番目のタッチタブを押すとコーラスがかかります。



[CHORUS]を使っている時には、ビブラートのかかった音にビブラートのかからない音がミックスされます。

◆C１（スモールコーラス）

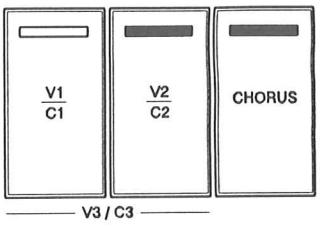
軽いコーラスが得られます。



- Chorus 1 -

◆C２（ワイドコーラス）

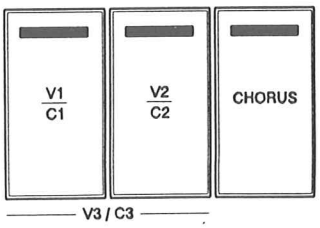
標準的なデプスのコーラスです。



- Chorus 2 -

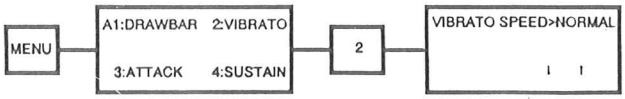
◆C３（フルコーラス）

両方のタッチタブを同時に押すと最も強いコーラスになります。音に温かみが加わり、ドローバーのセッティングが強調されます。



- Chorus 3 -

最新の機能／ビブラートとコーラス



新しい機能によってビブラートとコーラスを次のように変化させることが可能になりました。

ビブラートスピード

ビブラートとコーラスのスピードを５種類の中から選択でき、上下の鍵盤に使用できます。工場出荷時の設定は"NORMAL"です。

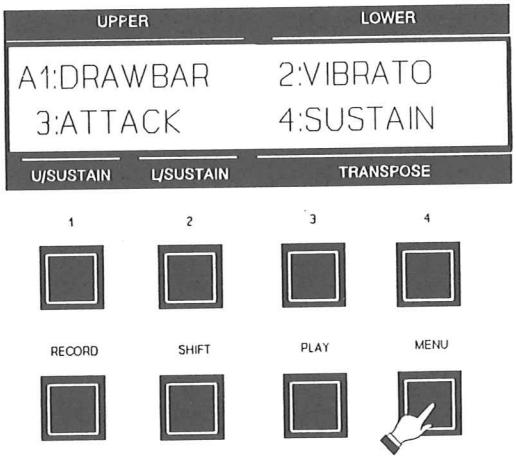
以下の頁では、スピードの設定について具体的に説明していきます。

◆ビブラートとコーラスのスピード

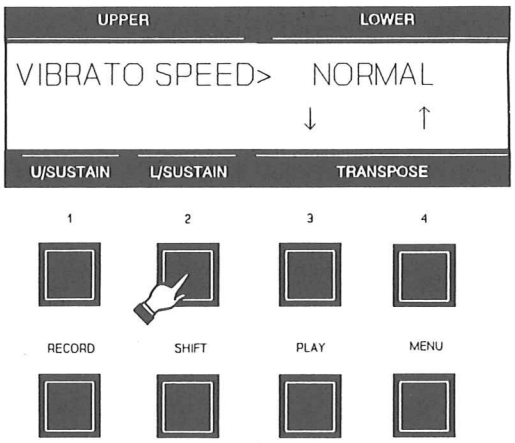
新しい機能によってビブラートとコーラスのスピードをお好みの速さに設定できます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのA画面を呼出します。



2. タッチボタンの[2] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります



3. 以下の要領で各鍵盤のビブラート／コーラススピードを選択して下さい。

タッチボタン[3]"↓"を押すと、スピードのオプションを下にスクロールできます。
タッチボタン[4]"↑"を押すと、スピードのオプションを上にスクロールできます。

下記の表はビブラートスピードの選択範囲をまとめたものです。

VIBRATO SPEED	
Display	Hz
SLOW	6.1Hz
MID	6.5Hz
*NORMAL	6.83Hz
MIDFST	7.Hz
FAST	7.25Hz

*出荷時の設定

このデータはグローバルコマンドで、プリセットとしては保存できません。グローバルコマンドについてはP.180 付録Aに一覧表を掲載していますので参照して下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

レスリー

このハモンドオルガンはレスリースピーカーキャビネットに直接接続できるように設計されています。レスリースピーカーキャビネットはオルガンの音を増幅させるだけでなく、異なる速度で回るローターを使用することによって音に独特の広がりを与えます。

下の表にレスリーの回転速度の選択肢をまとめました。

レスリー　ローター　スピード　オプション	
オプション	機能
SLOW (コラール)	回転の速度は遅く、賛美歌やクラシック音楽、ゆっくりとした歌曲などを演奏するのに適した効果が得られます。
STOP	ローターが回りません。オルガンについているビブラートやコーラスで音の揺れを出すことができます。
FAST (トレモロ)	回転の速度が速く、太く豊かな音が得られます。

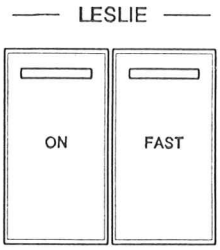
ご注意：STOPのモードの使えるレスリーは122×B等限られたモデルのみです。詳しくはお問い合わせ下さい。

接続したレスリースピーカーキャビネットのローターの速度を調節する方法は4つあります。

1. タッチタブを使用する方法。次の頁で説明します。
2. モジュレーションホイールを使用する方法。P.130で説明しています。
3. キープレッシャーを使用する方法。P.144で説明しています。
4. フットスイッチを使用する方法。P.138で説明しています。

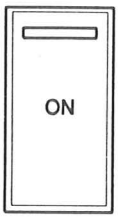
ご注意：上記の4つの方法のうち複数の設定がある場合、接続されているレスリースピーカーのローターは、最後に使用されているコントロールの設定にしたがって動作します。

◆レスリータッチタブ



上鍵盤用のドローバーの左にある２個のタッチタブで、オルガンに接続しているレスリースピーカーキャビネットのコントロールに使用します。

LESLIE ON　レスリーONタッチタブ



使用するレスリースピーカーキャビネットの種類によって以下のように働きます。

1. シングルチャンネルレスリースピーカー－
   "LESLIE"タッチタブの[ON]を押すと（LEDが点灯）ローターが回ります。回転の速度はタッチタブの[FAST]の位置によって変わりますので、下の説明をご覧下さい。タッチタブがOFFの時は（LEDが消えている）ローターがストップモードになり回りません。

2. マルチチャンネルレスリースピーカー－
   "LESLIE"タッチタブの[ON]を押すと、オルガンの音が静止＝ステーショナリーチャンネルから回転＝ロータリーチャンネルに切り替わります。タッチタブがOFFの時は（LEDが消えている）ステーショナリーチャンネルから音が出ます。

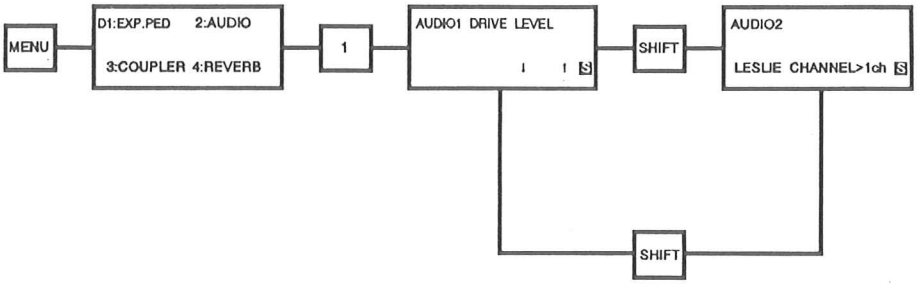
LESLIE FAST　レスリーファーストタッチタブ

タッチタブの[FAST]がOFFの時は（LEDが消えている）レスリースピーカーキャビネットのローターがゆっくりと回ります。（コーラル）

[FAST]を押すと（LEDが点灯）ローターの回転速度が速くなります。（トレモロ）

ご注意：LESLIE [FAST] は、LESLIE [ON] を押してLEDが点灯している状態の時だけ作動します。

最新の機能／レスリー



新しいレスリーメニューの機能を使ってオルガンのレスリーチャンネル出力を以下のように設定することができます。

レスリーチャンネル－1ch、2ch、3ch

このチャンネルを切り替えることで、シングルチャンネルまたはマルチチャンネルのレスリースピーカーキャビネットに対するオルガンの音の出力の仕方を選択できます。

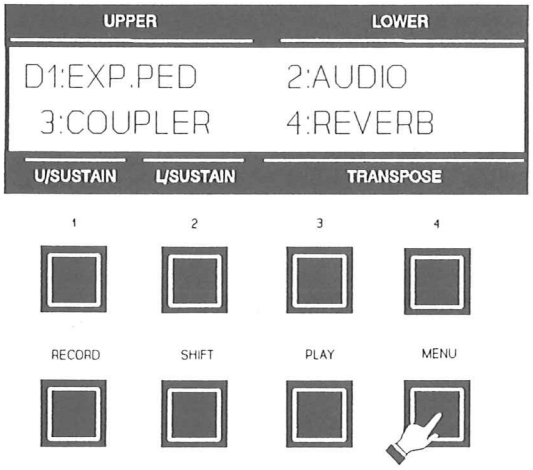
以下の頁では、この機能の具体的な説明をしていきます。

◆レスリーチャンネル・1ch、2ch、3ch

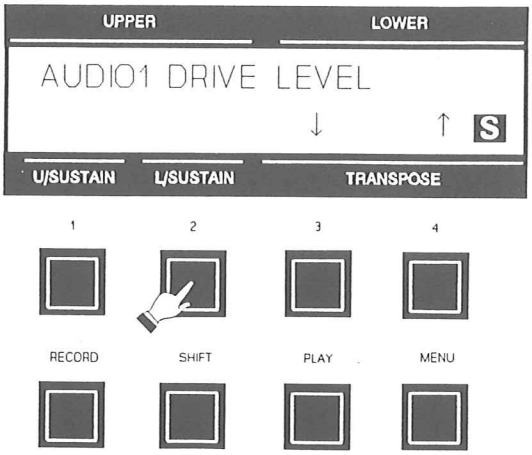
ご注意：レスリースピーカーについての詳細はレスリー正規取扱店にお問い合わせ下さい。

試してみましょう：

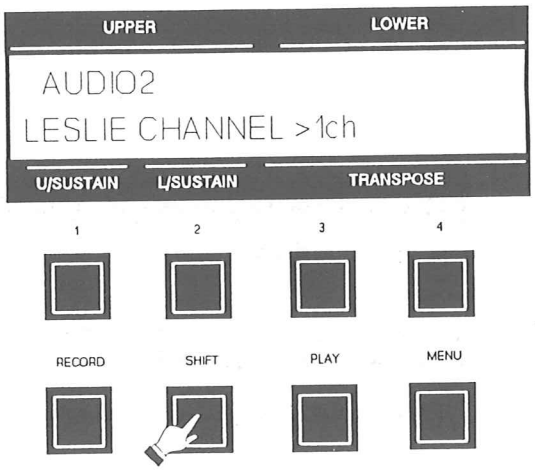
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押して、メニューモードのD画面を呼出します。



2. タッチボタンの[2] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を繰り返し押すと次のような画面になります。



4. タッチボタンの[1] ～[4] のうちどれか１つを押せば、レスリーチャンネルの1ch、2 ch、3ch から適当なものを設定できます。

下の表はチャンネルの選択についてまとめたものです。

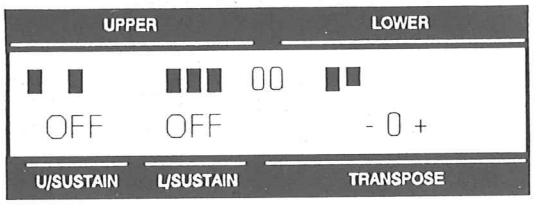
レスリー チャネリング オプション	
チャンネル	動作
*1ch	オルガンの出すすべての音が接続されているレスリースピーカーキャビネットのロータリーチャンネルを通して出力されます。
2ch	"LESLIE"タッチタブがOFF の時には、オルガンの音が、接続されているマル チチャンネルレスリースピーカーキャビネットのステーショナリーチャンネルを通して出力されます。一方、"LESLIE"タッチタブがONの時には、レスリースピーカーのロータリーチャンネルを通して出力されます。LINE IN端子の音はモノラルでステーショナリーチャネルより出力されます。
3ch	基本的には2ch と同様ですが、３チャンネルレスリースピーカーキャビネットのAUX チャンネルに外部音源からの信号をステレオで供給することができます。

このデータはグローバルコマンドで、プリセットとしては保存できません。グローバルコマンドについてはP.180 付録 Aに一覧表を掲載していますので参照して下さい。

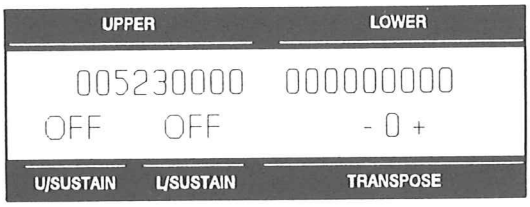
ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

サスティーン

サスティーンとドローバーを組み合わせて使用することによって鍵盤を離した後も音を長くのばすことができます。ハープ、チャイム、ベルなどの音に適しています。ドローバーの音のサスティーンを長くするには、まず、黒のタッチボタンの[PLAY]を何度か押して下の２つの画面のどちらかを呼出して下さい。



PLAY MODE - Graphic Display with parameters



PLAY MODE - Numeric Display with parameters

インフォメーションセンターディスプレイがこのようなプレイモードのどちらかになっていれば、上鍵盤または下鍵盤のドローバーの音にサスティーンを加えることができます。

◆上鍵盤および下鍵盤のサスティーンON/OFF

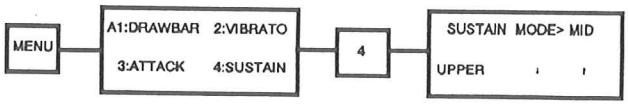
インフォメーションセンターディスプレイの下にある黒いタッチボタンの[1]　を押すと、"U/SUSTAIN" の上にある"OFF" が"ON"に変わります。この"ON""OFF" の表示を切り替えれば上鍵盤用ドローバーの音にサスティーンを加えるか加えないかを選択できます。インフォメーションセンターディスプレイの下にある黒いタッチボタンの[2] を押すと、"L/SUSTAIN" の上にある"OFF" が"ON"に変わります。

この"ON""OFF" の表示を切り替えれば下鍵盤用ドローバーの音にサスティーンを加えるか加えないかを選択できます。

◆足鍵盤のサスティーン

上鍵盤の上側からオルガンの右角に目をやると"PEDAL" 部分に[SUSTAIN] タッチタブがあります。このタブを押すと足鍵盤の音にサスティーンが加わります。

最新の機能／サスティーン



新しい機能のサスティーンメニューを使ってオルガンについているサスティーンの長さを変えることができます。

サスティーンの長さ－

上鍵盤、下鍵盤、足鍵盤のそれぞれに対してサスティーンの長さを３つのバリエーションから選択して設定することができます。出荷時の設定はどの鍵盤についても "MID" です。

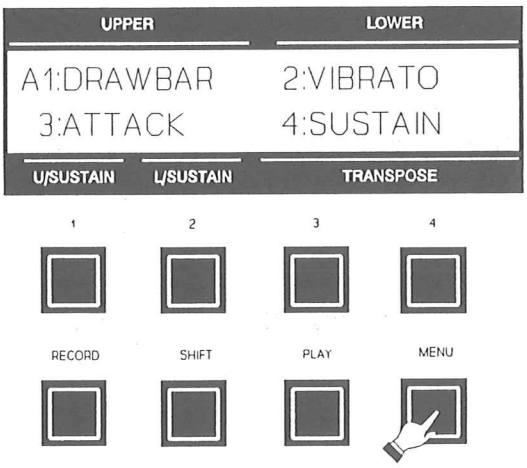
以下の頁ではこの機能について具体的に説明していきます。

◆サスティーン長さ

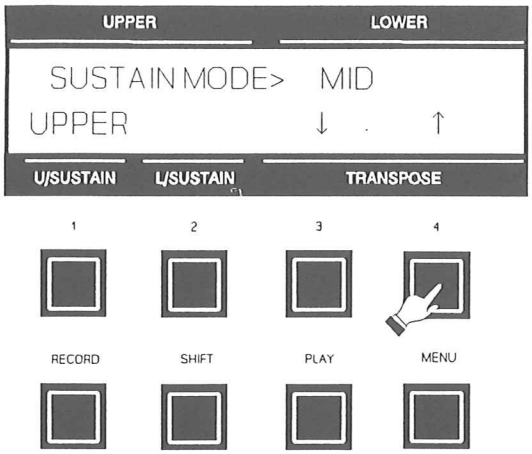
新しい機能によって上鍵盤、下鍵盤、足鍵盤のそれぞれに対してサスティーンの長さを３つのバリエーションから選択して設定することができるようになりました。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押して、メニューモードのＡ画面を呼出します。



2. タッチボタンの[4] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. 以下の要領で各鍵盤に対するお好みのサスティーンモードを選択して下さい。

タッチボタン[1]を押すと必要な鍵盤を呼出せます。
タッチボタン[3]"↓"を押すと、長さのオプションが下へスクロールします。
タッチボタン[4]"↑"を押すと、長さのオプションが上へスクロールします。

下記の表は各鍵盤について選択肢をまとめたものです

UPPER MANUAL, LOWER MANUAL & PEDAL KEYBOARD
SHORT
*MID
LONG

*出荷時の設定

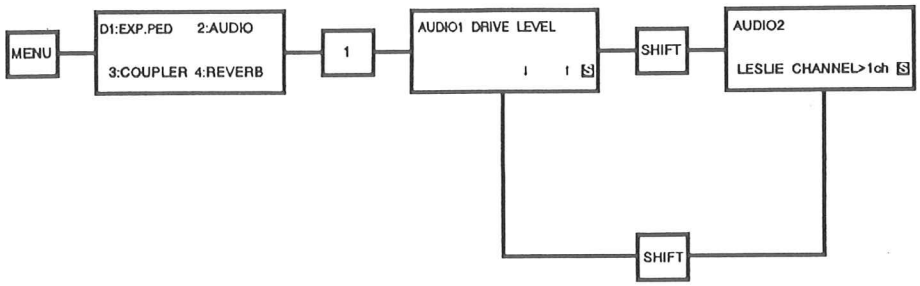
以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまり、プリセット音にはそれぞれ異なる設定をして保存することができるわけです。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106からの『最新の機能ープリセット』をご覧下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

チューブオーバードライブ

上鍵盤の左側を見ると、トレブルトーンコントロールの下に[TUBE OVERDRIVE]ロータリーコントロールがあります。これによって、オーバードライブサウンドつまり真空管アンプをオーバードライブさせた時に生じる歪んだ音とノーマルな音とのミキシング量を調節することができます。ツマミを右に回すとオーバードライブサウンドの量が増し、左に回すと減少します。

最新の機能／チューブオーバードライブ



新しいオーディオメニューの機能を使って次のような設定ができます。

チューブオーバードライブレベル
[TUBE OVERDRIVE]オーバードライブサウンドの歪みの強さを設定できます。出荷時の設定は"3" です。

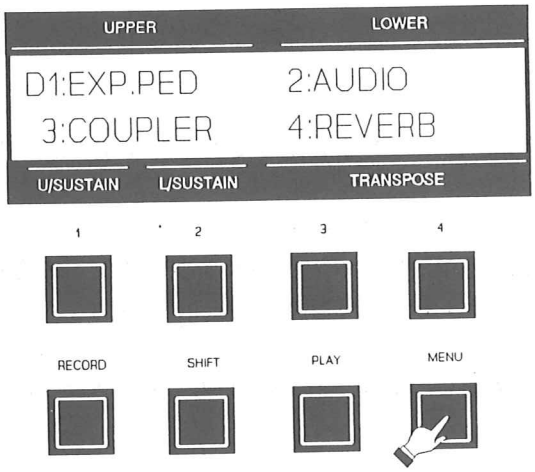
以下の頁ではこの機能について具体的に説明していきます。

◆チューブオーバードライブレベル

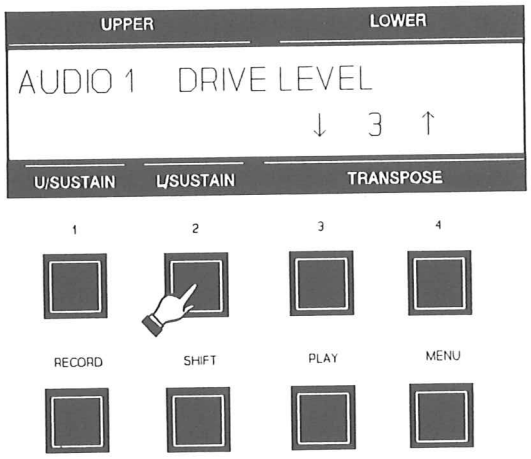
新しい機能によってオーバードライブサウンドの歪みの強さを設定できるようになりました。

試してみましょう：

1. チューブオーバードライブのボリュームツマミを右にいっぱい回します。



2. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押して、メニューモードのD画面を呼出します。



3. タッチボタンの[2]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。

タッチボタン[3]"↓"を押すと、レベルのオプションが下へスクロールします。

タッチボタン[4]"↑"を押すと、レベルのオプションが上へスクロールします。

以下の要領でチューブオーバードライブレベルを選択して下さい。

DRIVE LEVEL
1 ～ 16

*出荷時の設定は" 3 "

このデータはグローバルコマンドで、プリセットとしては保存できません。グローバルコマンドについてはP.180付録Aに一覧表を掲載していますので参照して下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

リバーブ

上鍵盤の左を見ると、バストーンコントロールの真下に[REVERB]ロータリーコントロールがあります。リバーブを加えることによって、どんな音色でも演奏した時にコンサートホールのような美しい響きが得られます。カーペットや厚地のカーテン、家具などが音を吸収してしまう自宅の部屋で演奏するような場合に響きを補うことができます。

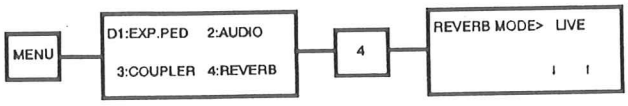
ツマミを右に回すとリバーブの量が増し、左に回すと減少します。

12時の位置かやや右側のところでリバーブの量は中くらいになります。

ツマミを左側の9時から12時にあたる部分にあわせるとポピュラーやジャズの多くに最適な活き活きとした響きが得られます。

ご注意：出荷時のリバーブの設定は"HALL"になっていますが、新しい機能によって"ROOM""LIVE""HALL""CHURCH"の中からお好きなものを選択できます。

最新の機能／リバーブ



新しいリバーブメニューの機能を使ってリバーブのモードを選択することができます。

リバーブモード
４つのリバーブモードからお好きなものを選択できます。出荷時の設定は"HALL"になっています。

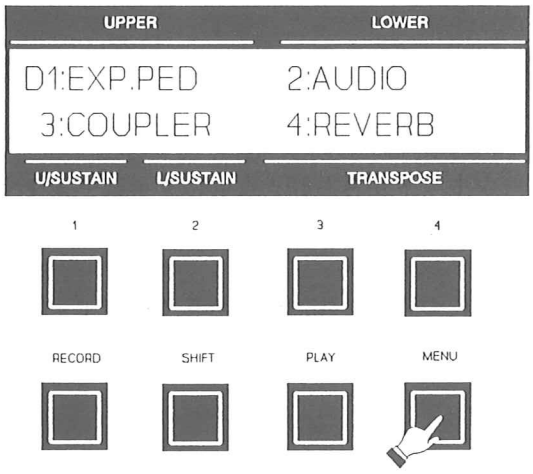
以下の頁ではこの機能について具体的に説明していきます。

リバーブ・モード

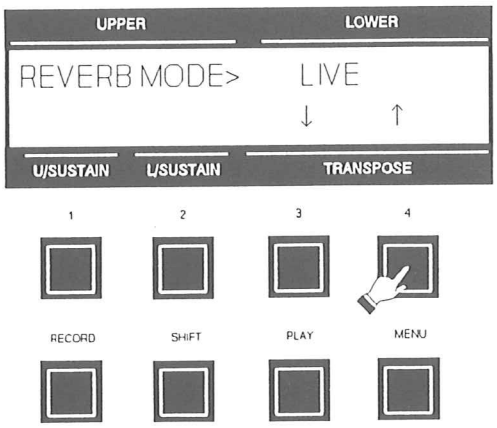
新しい機能によって4つのリバーブモードからお好きなものを選択できます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押して、メニューモードのD画面を呼出します。



2. タッチボタンの[4]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. 以下の要領でリバーブモードを選択して下さい。

タッチボタン[3]"↓"を押すと、リバーブモードのオプションが下へスクロールします。
タッチボタン[4]"↑"を押すと、リバーブモードのオプションが上へスクロールします。

下の表は選択肢をまとめたものです。

REVERB MODES
ROOM
LIVE
*HALL
CHURCH

*出荷時の設定

このデータはグローバルコマンドで、プリセットとしては保存できません。グローバルコマンドについてはP.180 付録 Aに一覧表を掲載していますので参照して下さい。

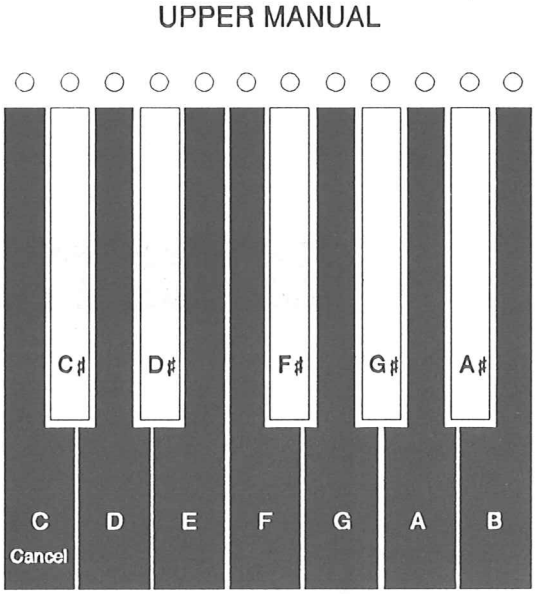
ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

Hammond Organ Model XB-3

Presets

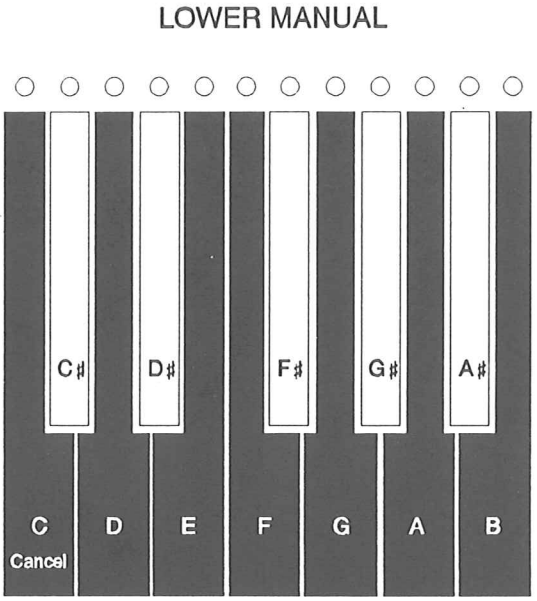
◆プリセット

プリセットキー
上下鍵盤ともに左から12鍵はプリセットキーです。上下とも、左端の鍵盤がキャンセルキーで２番目からの９鍵、"C#"から"A"まではオルガニストが最もよく使う音色のプリセットになっています。プリセットする音色は部屋の音響状態や自分の好みに合わせて変えることができます。上下とも、一番右の２鍵、"A#"と"B"は（アジャストキーと呼ばれることもある）４組のドローバーにセットされている音色を使用するためのON/OFFスイッチといえます。



白い鍵盤はリード音で、黒い鍵盤はアンサンブル音になっています。左に行くほど静かな音、右に行くにしたがって徐々に大きな音になります。通常は一度に１つのプリセットしか使えませんが、唯一の例外として新しい『セカンドドローバー』機能があります。これについてはP.146をご覧下さい。どれか１つのプリセットキーを押すと他のプリセットキーの音は出なくなります。

もう一つおさえておきたいのは、プリセットが４組あるということです。このうち３組はドローバーセッティング、残りの１つはMIDIデータです。工場出荷時の設定はP.114からの表にまとめてあります。他のプリセットセッティングを回復する方法についてはP.111をご覧下さい。



◆Aプリセットへの保存

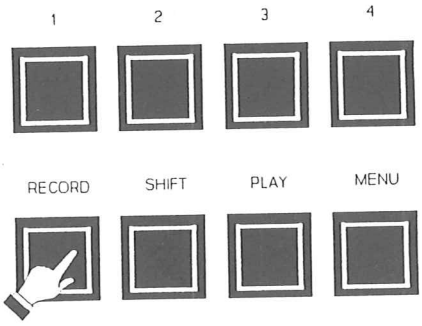
自分で工夫したドローバーレジストレーションをプリセットキーにプログラムすることができます。

試してみましょう：

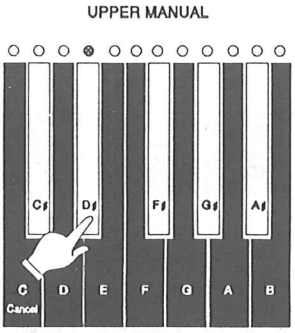
1. 上下どちらかのプリセットキーのうち"A#"か"B" を押します。

2. 自分で選んだドローバーの1組をレジストレーションにしたがって動かします。

3. 左手で黒いタッチボタンの[RECORD]を押えて下さい



4. [RECORD]を押えたまま、右手で適当なプリセットキーを選んで押えます。ここでは上鍵盤の"D#"ということにします。



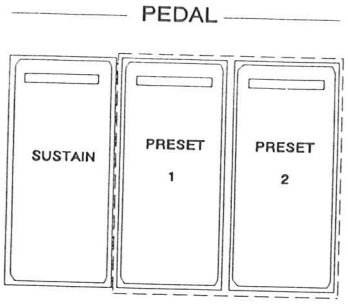
5. 押えたプリセットキーのLEDが数回光ります。点滅中に情報がプログラムされ、点滅が終わるとプログラム完了です。

ご注意："C" （キャンセル）キーにもレジストレーションをプログラムすることができ、そうすると全部で上下各10種類のプリセットが得られることになります。

プリセットにレジストレーションを保存できる他、データの保存にはRAMカードを使うこともできます。これについてはP.163『RAMカードの使用』の項をご覧下さい。

足鍵盤のプリセット

上鍵盤の上からオルガンの右の隅に目をやると"PEDAL" の部分に[PRESET]タッチタブがあります。これを使って足鍵盤のレジストレーションを保存できます。



- Pedal Presets -

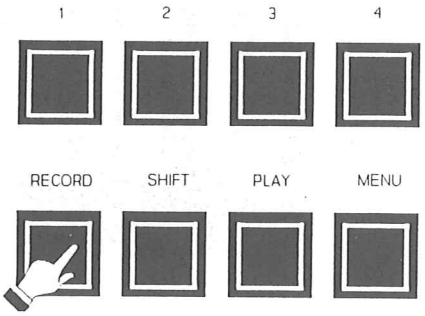
足鍵盤のプリセットへの保存

自分で工夫した足鍵盤のドローバーレジストレーションをプリセットとして保存することができます。

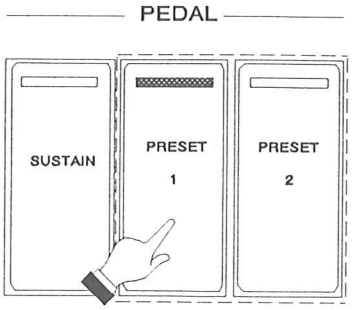
試してみましょう：

1. 保存したい足鍵盤用ドローバーのレジストレーションをセッティングします。

2. 左手で黒いタッチボタンの[RECORD]を押さえて下さい。



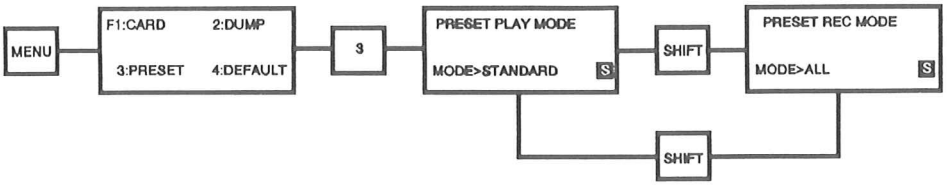
3. [RECORD]を押さえながら、右手で"PEDAL" の部分にあるタッチタブの[PRESET 1]か[PRESET 2]のどちらかを押します。



4. 押したタッチタブのLEDが数回光ります。光っている間に情報が保存され、点滅が終わると保存完了です。

プリセットに保存しているレジストレーションをRAMカードに保存することもできます。これについてはP.163『RAMカードの使用』の項をご覧下さい。

最新の機能／プリセット



プリセットメニューを使って以下の選択をすることができます。

1. プリセットプレイモード
   プリセットを切り替えた時に、ドローバーセッティングだけが変わるB-3モードと、ドローバーセッティングに加えて新しい機能を使ってプログラムしたコントロールのセッティングも変わるスタンダードモードの２種類から選択できます。

2. プリセットレコードモード
   プリセットを保存する時に、ドローバーセッティングだけを保存する"DRAWBAR"、コントロールのセッティングだけを保存する"CONTROL"、ドローバーとコントロールの両方のセッティングを保存する"ALL"の３種類から選択できます。

以下の頁では、この機能について具体的に説明していきます。

◆ プリセット／プリセットプレイモード

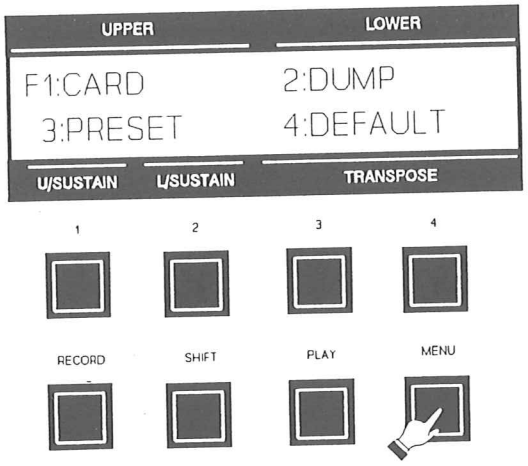
プリセットの切り替えによって変化するコントロールの内容を２つのモード(1) B-3 (2) スタンダードのなかから選択できます。

1. B-3 モード
   プリセットを切り替えた時にドローバーセッティングだけが変化し、レスリー、ビブラート／コーラス、サスティーンなどのセッティングは変化しません。

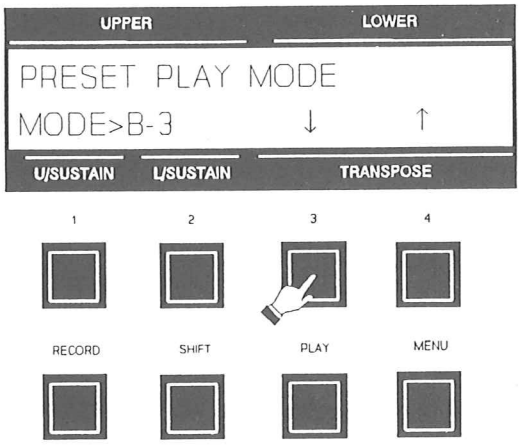
2. スタンダードモード
   プリセットを切り替えた時にドローバー以外のセッティング、例えばパーカッション、レスリー、ビブラート／コーラス、セスティーンなども一緒に変化します。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのＦ画面を呼出します。



2. タッチボタンの[3]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. 以下の要領でプリセットプレイモードを設定して下さい。

タッチボタンの[1]～[4]のいずれかを押してモードを選択します。

下の表は各鍵盤についてのプリセットプレイモードの選択肢をまとめたものです。

PRESET PLAY MODES
*B-3
STANDARD

*出荷時の設定

このデータはグローバルコマンドです。グローバルコマンドについてはP.180付録Aに一覧表を掲載していますので参照して下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

◆プリセット／プリセットレコードモード

ドローバーのレジストレーションやコントロールのセッティングなどのうち、どの部分のプリセットデータを変更、保存するかを以下の３つのモードから選択できます。

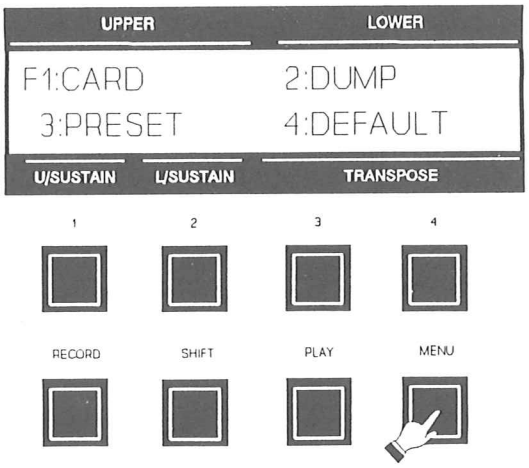
1. "ALL" オールモード
   ドローバーセッティング、サスティーン、レスリー、ビブラート／コーラス、MIDIセッティングをすべて変更し、保存します。

2. "DRAWBAR" モード
   ドローバーのレジストレーションだけを変更し、保存します。

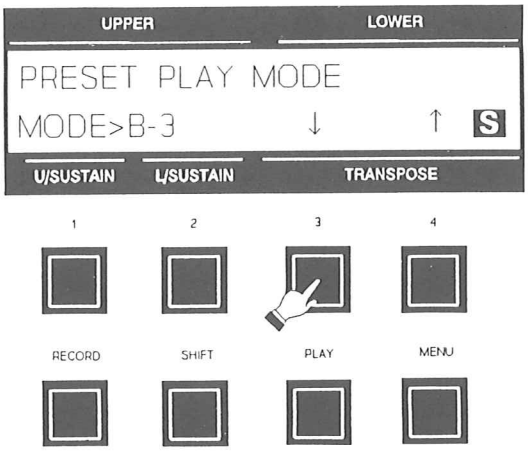
3. "CONTROL" コントロールモード
   ドローバーのレジストレーションに関係なく、MIDIデータとコントロールの設定だけを変更し、保存します。

試してみましょう：

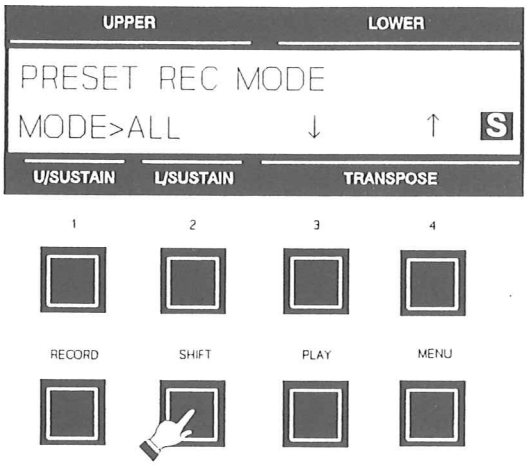
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのＦ画面を呼出します。



2. タッチボタンの[3] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のよ　うになります。



3. タッチボタンの[SHIFT]を繰り返し押すとインフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. 以下の要領でプリセットレコードモードを設定して下さい。

タッチボタンの[1]～[4]のいずれかを押してモードを選択します。

下の表は各鍵盤についてのプリセットレコードモードの選択肢をまとめたものです。

PRESET RECORD MODES
*ALL
DRAWBAR
CONTROL

*出荷時の設定

このデータはグローバルコマンドです。グローバルコマンドについてはP.180付録Aに一覧表を掲載していますので参照して下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

◆工場出荷時のプリセット

リセットの手順はP.37『インフォメーションセンターディスプレイ』の章、『リセットの手順』の項で説明しています。リセットをするとプリセットキーは工場出荷時の設定に戻りますが、その時に次の４つのセッティングからお好きなものを選択できます。

1. B-3
   オリジナルモデルB-3、C-3のプリセットキーと同じセッティングです。

2. JAZZ
   ジャズやゴスペル用のレジストレーションが得られます。

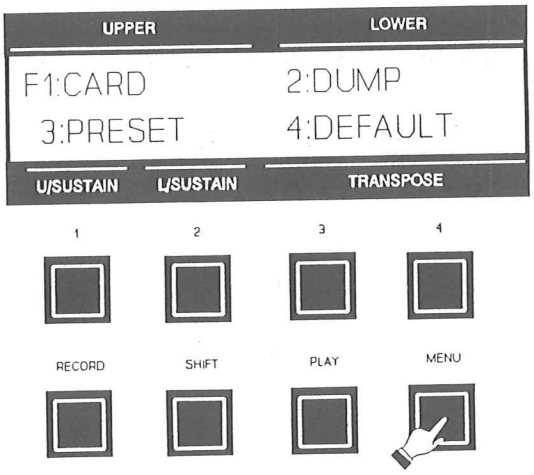
3. THEATRE
   劇場用のレジストレーションが得られます。X-66、X-77、Concordeモデルのプリセットキーに近い内容です。

4. MIDI
   MIDI情報を送信するためのセッティングです。

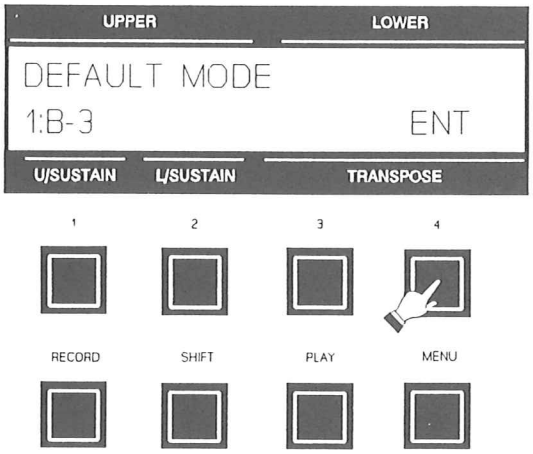
警告！：以下の操作をすると、これまでにプログラムしたパラメーターはすべて消えてしまい、ハモンドの工場出荷時の設定に書き替えられます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのＦ画面を呼出します。



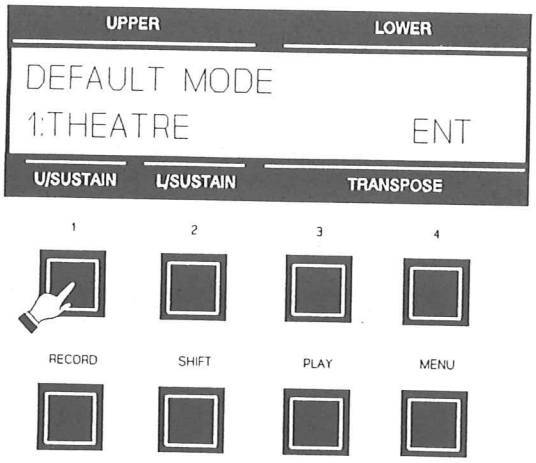
2. タッチボタンの[4] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. 次の要領でプリセットのプログラムの仕方を選択して下さい。

タッチボタンの[1] を押して必要なモードを選択します。

例えば、シアターモードでプリセットをプログラムするとします。まずタッチボタンの[1] を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイを次のような画面にして下さい。



4. プリセットのプログラムまたはリセットをする時には、タッチボタンの[4] を押します。ここでリセットをしたくない時には、タッチボタンの[MENU]か[PLAY]を押して下さい。

次の頁の表は工場出荷時に各鍵盤に設定されている内容をまとめたものです。

ご注意：工場出荷時のプリセットのうちMIDIを選択すると、どのプリセットにおいてもドローバーがすべて0に設定されます。このためMIDIプリセットは表に含まれていません。

Hammond Standard Presets (Original B-3 / C-3 Presets)

Upper Manual

PRESET KEY	DRAWBAR SETTING	TONE QUALITY	LOUDNESS VALUE
C		Cancel	
C♯	00 5320 000	Stopped Flute	pp
D	00 4432 000	Dulciana	ppp
D♯	00 8740 000	French Horn	mf
E	00 4544 222	Salicional	pp
F	00 5403 000	Flutes 8' & 4'	p
F♯	00 4675 000	Oboe Horn	mf
G	00 5644 300	Swell Diapason	mf
G♯	00 6876 540	Trumpet	f
A	32 7645 222	Full Swell	ff
A♯	Adjust harmonic Drawbars in 1st group, Upper Manual		
B	Adjust harmonic Drawbars in 2nd group, Upper Manual		

Lower Manual

PRESET KEY	DRAWBAR SETTING	TONE QUALITY	LOUDNESS VALUE
C		Cancel	
C♯	00 4545 440	Cello	mp
D	00 4423 220	Flute & String	mp
D♯	00 7373 430	Clarinet	mf
E	00 4544 220	Diapason, Gamba and Flute	mf
F	00 6644 322	Great, no reeds	f
F♯	00 5642 200	Open Diapason	f
G	00 6845 433	Full Great	ff
G♯	00 8030 000	Tibia Clausa	f
A	42 7866 244	Full Great with 16'	fff
A♯	Adjust harmonic Drawbars in 1st group, Lower Manual		
B	Adjust harmonic Drawbars in 2nd group, Lower Manual		

Hammond Jazz Organ Presets

Upper Manual

PRESET KEY	DRAWBAR SETTING	TONAL NAME
C		Cancel
C♯	00 8000 000	8'
D	80 8000 008	16' & 8'
D♯	88 8000 000	Basic 3
E	80 0000 888	Chords
F	80 8000 888	Funky
F♯	88 8000 000	Mellow
G	88 8000 888	Power
G♯	88 8000 008	Groove
A	88 8666 888	Full
A♯	Adjust harmonic Drawbars in 1st group, Upper Manual	
B	Adjust harmonic Drawbars in 2nd group, Upper Manual	

Lower Manual

PRESET KEY	DRAWBAR SETTING	TONAL NAME
C		Cancel
C♯	00 0800 000	4'
D	00 8000 000	8'
D♯	80 4000 000	Basic 3 (bass)
E	00 8532 008	Accomp.
F	82 8000 000	Funky (bass)
F♯	80 8000 000	Basic (bass)
G	84 8000 000	Power (bass)
G♯	00 8556 000	Full Accomp.
A	88 8060 000	Full (bass)
A♯	Adjust harmonic Drawbars in 1st group, Lower Manual	
B	Adjust harmonic Drawbars in 2nd group, Lower Manual	

NOTE: The notation "bass" indicated a Drawbar setting suitable for playing a bass line from the Lower Manual.

Hammond Theatre Presets

Upper Manual

PRESET KEY	DRAWBAR SETTING	TONE QUALITY
C		Cancel
C♯	00 8740 000	French Horn 8'
D	00 8408 004	Tibias 8' & 2'
D♯	00 8080 840	Clarinet 8'
E	08 8800 880	Novel Solo 8'
F	60 8088 000	Theatre Solo 16'
F♯	00 4685 300	Oboe Horn 8'
G	60 8807 006	Full Tibias 16'
G♯	00 6888 654	Trumpet 8'
A	76 8878 667	Full Theatre Brass 16'
A♯	Adjust harmonic Drawbars in 1st group, Upper Manual	
B	Adjust harmonic Drawbars in 2nd group, Upper Manual	

Lower Manual

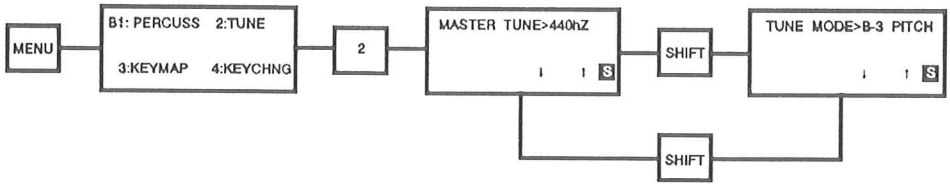
PRESET KEY	DRAWBAR SETTING	TONE QUALITY
C		Cancel
C♯	00 4545 440	Cello 8'
D	00 4432 000	Dulciana 8'
D♯	00 4800 000	Vibraharp 8'
E	00 2500 234	Vox 8' & Tibia 4'
F	00 6554 322	String Accomp. 8'
F♯	00 5642 200	Open Diapason 8'
G	00 7656 311	Full Accomp. 8'
G♯	00 8030 000	Tibia 8'
A	84 7767 666	Bombarde 16'
A♯	Adjust harmonic Drawbars in 1st group, Lower Manual	
B	Adjust harmonic Drawbars in 2nd group, Lower Manual	

Hammond Organ Model XB-3

Special Advanced Features

最 新 の 特 殊 機 能

最新の機能／チューン



チューンメニューを使って以下のような選択ができます。

1. チューン
   オルガンの全体的なピッチを変えることができます。

2. チューン モード
   平均律かB-3 の調律のどちらかを選ぶことができます。

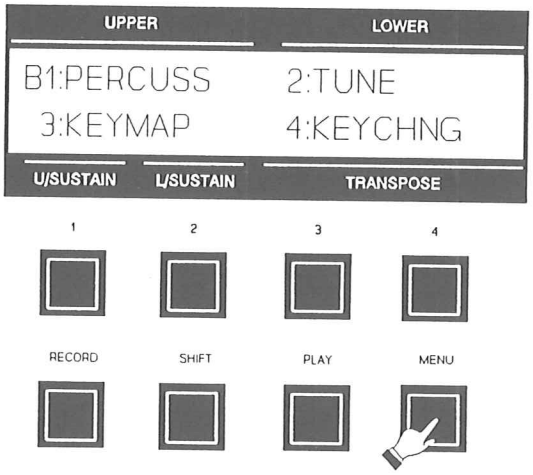
以下の頁ではこの機能について具体的に説明していきます。

◆チューン・チューニング

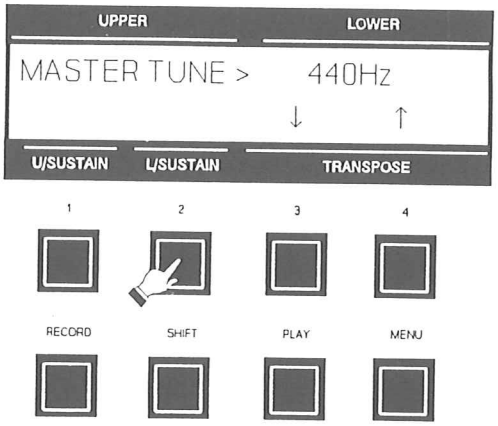
新しい機能によってオルガンの全体的なチューニングピッチを変えることができます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのB画面を呼出します。



2. タッチボタンの[2]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. 次の要領でピッチを選択して下さい。

タッチボタンの[3]"↓"を押すとピッチが下がります。
タッチボタンの[4]"↑"を押すとピッチが上がります。

チューニングのできる範囲は最低430Hz から最高450Hz です。出荷時には440Hz に設定されています。

このデータはグローバルコマンドで、プリセットとしては保存できません。グローバルコマンドについてはP.180 付録 Aに一覧表を掲載していますので参照して下さい。

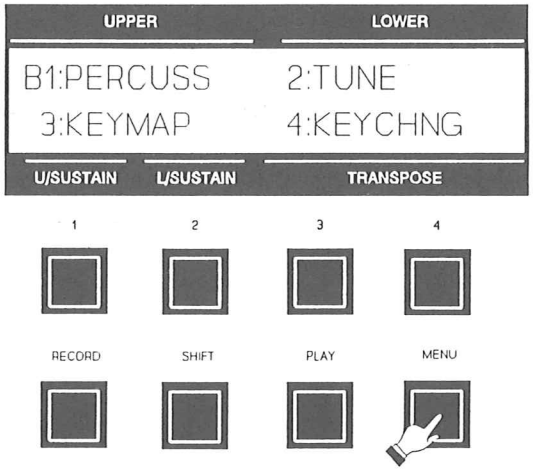
ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。もう一度チューンメニューに戻る時には[MENU] を押して下さい。

◆チューン・チューンモード

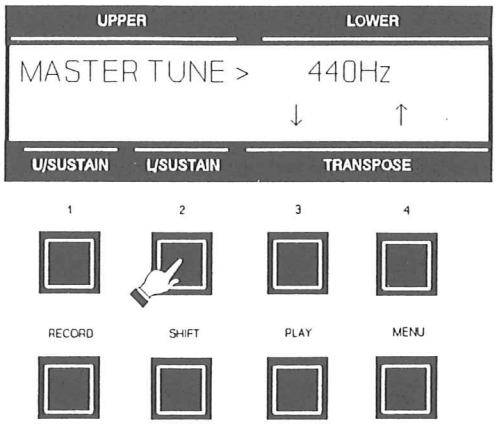
新しい機能を使ってオルガンの調律を変えることができます。

試してみましょう：

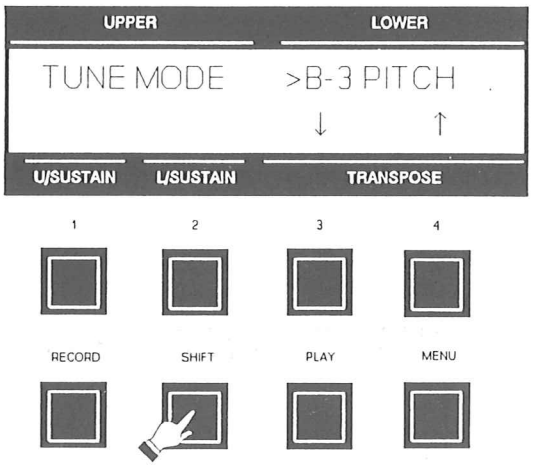
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのB画面を呼出します。



2. タッチボタンの[2]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を一回押すと次のような画面になります。



4. 次の要領でチューンモードを選択して下さい。

タッチボタンの[3]"↓" または[4]"↑" を押すとチューンモードが変わります。

"E-TEMPERA" （平均律）か"B-3 PITCH" （B-3、C-3、RT-3、A-100 に採用されているトーンホイールジェネレータに近いかたちで特定の音の周波数を変化さたもの）のどちらかを選択できます。工場出荷時にの設定は"B-3 PITCH" です。

ご注意：調律を変えた時、実際に起こる変化は非常に微妙なものですから、音楽的に耳を訓練した方でないと違いを聞きとれないかもしれません。

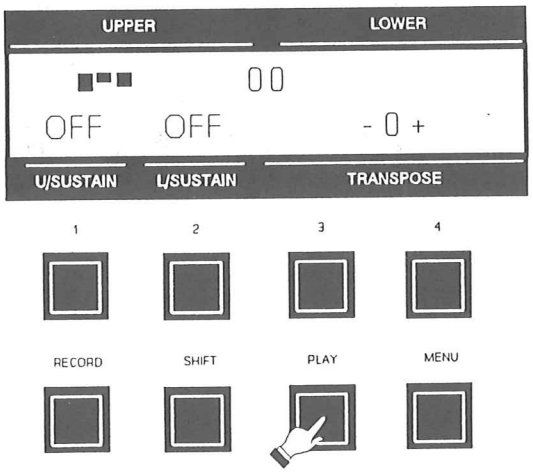
このデータはグローバルコマンドで、プリセットとしては保存できません。グローバルコマンドについてはP.180 付録 Aに一覧表を掲載していますので参照して下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。もう一度チューンメニューに戻る時には[MENU] を押して下さい。

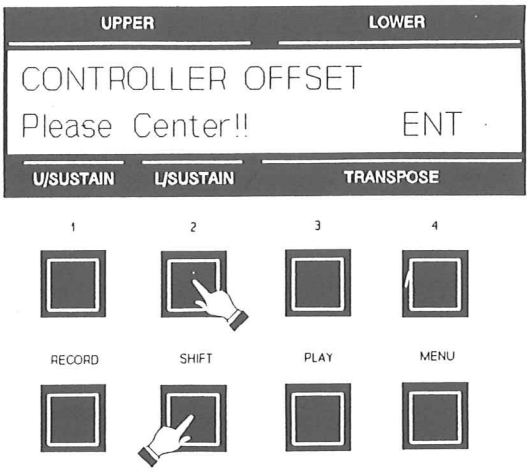
◆チューン・コントローラーオフセット

ピッチベンドホイールとモジュレーションホイールの調整を行うことができます。工場出荷時に調整してありますので通常はこの調整を行う必要はありません。ピッチベンドホイールとモジューレションホイールの動きがおかしくなったときに実行します。

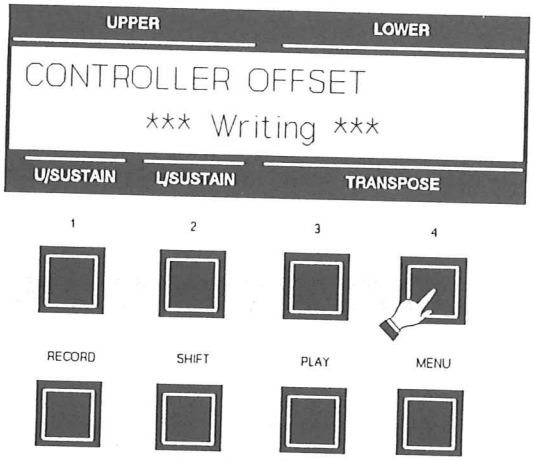
1. ピッチベンドホイールとモジュレーションホイールをセンターに合わせて下さい。
2. 黒いタッチボタンの[PLAY]を押して、プレイモードのどれかひとつを呼出します。



3. 左手でタッチボタンの[SHIFT] を押えながら、右手でタッチボタンの[2] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。

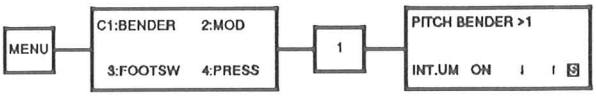


4. タッチボタンの[4]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイに約1秒間次のようなメッセージが現れます。



インフォメーションセンターデイスプレイがプレイモードにもどれば調整は完了です。

最新の機能／ピッチベンド



このメニューを使うと次のような選択ができます。

ピッチベンド

ピッチベンドON/OFF切り替えに加えて、ピッチベンドホイールのレンジを、上鍵盤、下鍵盤、足鍵盤のそれぞれに独立して設定することができます。さらにこの設定は、ドローバーによって得らる音と外部MIDI機器の両方に対応しています。

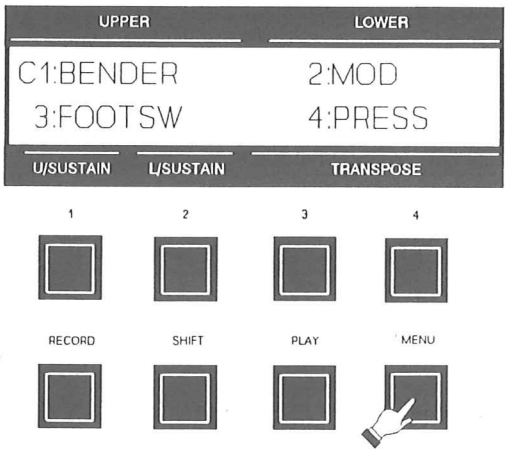
以下の頁ではこの機能について具体的に説明していきます。

◆ベンダー・ピッチベンダー

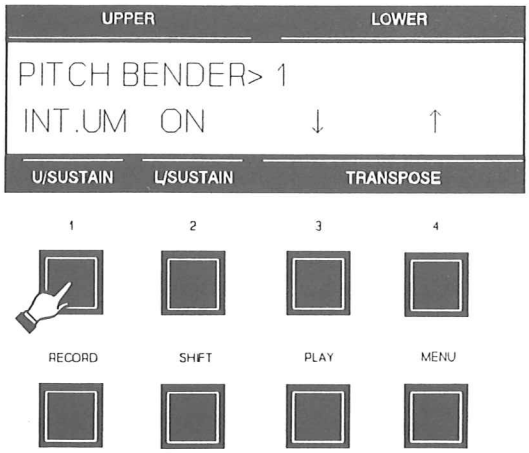
新しい機能を使ってピッチベンドホイールのレンジを変えることができます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのC画面を呼出します。



2. タッチボタンの[1]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. 次の要領でピッチベンドホイールのパラメーターを選択する鍵盤を選びます。

黒いタッチボタンの[1] を使ってそれぞれの鍵盤につき"INT."(=INTERNAL) または" EXT."(=EXTERNAL) のいずれかを選択します。

タッチボタンの[2] を使って画面に表示されている鍵盤のピッチベンドホイール "ON"または"OFF" を選択します。

タッチボタンの[SHIFT] を使って他の鍵盤に移動できます。画面には"UM"(=UPPER MANUAL)、"LM"(=LOWER MANUAL)、"PK"(=PEDAL KEYBOARD) と表示されます。

4. 次の要領で各鍵盤のピッチベンドレンジを設定して下さい。

タッチボタンの[3]"↓" を押すとピッチベンドホイールのピッチレンジは減少していき、最低値は1 になります。（半音を 1 単位として±1）

タッチボタンの[4]"↑" を押すとピッチベンドホイールのピッチレンジは増加していき、最高値は12になります。（半音を 1 単位として±12つまり±1 オクターブ）

下の表は各鍵盤についてピッチベンドレンジの設定範囲をまとめたものです。

PITCH BEND OPTIONS	
MANUAL On/Off	Pitch Bend Limits
UPPER	± 1～12
LOWER	± 1～12
PEDAL	± 1～12
EXT.UM 1,2,3	± 1～12
EXT.LM 1,2,3	± 1～12
EXT.PK 1,2,3	± 1～12

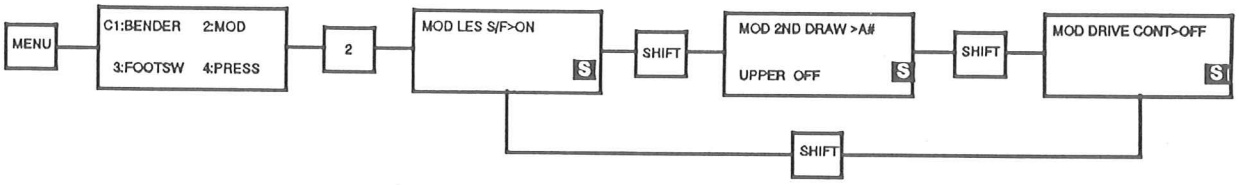
*出荷時の設定は" 1 "

ご注意："INT.""EXT."という表示はそれぞれ"INTernal""EXTernal"を省略したもので、オルガンのひとつの鍵盤から同時に複数のチャンネルを通してMIDI情報が送信できる状態にあることを示すものです。詳しくは、このオルガンのもつMIDI機能のすべてを掲載したMIDIリファレンスガイドを参照して下さい。

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまり、プリセット音にはそれぞれに異なるピッチベンドレンジを設定して保存することができるわけです。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106からの『最新の機能－プリセット』をご覧下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。もう一度ベンダーメニューに戻るには[MENU] を押して下さい。

最新の機能／モジュレーションホイール



モジュレーションホイールのメニューは３つあり、以下のような選択ができます。

1. LES S/F（レスリー スロー／オフ／ファースト ON/OFF)
   外部レスリースピーカーキャビネットのローターの速度切り換えにモジュレーションホイールを使用するかどうかを選択できます。

2. 2ND DRAW（セカンドドローバー）
   ２種類のドローバーレジストレーションをミックスしながら使うのにモジュレーションホイールを使用するかどうかを選択できます。

3. DRIVE LEVEL（チューブオーバードライブレベル）
   チューブオーバードライブの量を調節するのにモジュレーションホイールを使用するかどうかを選択できます。

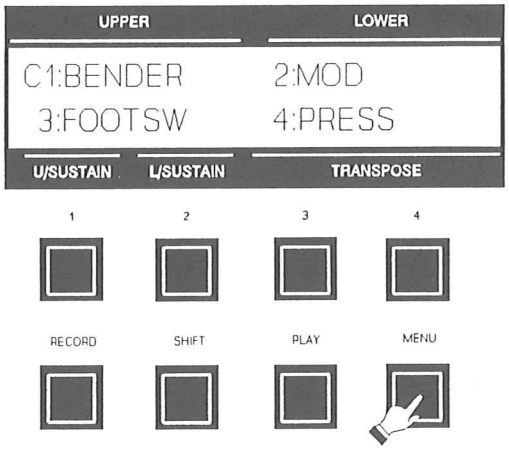
以下の頁ではこの機能について具体的に説明していきます。

◆モジュレーションホイール・レスリー　スロー／オフ／ファースト ON/OFF

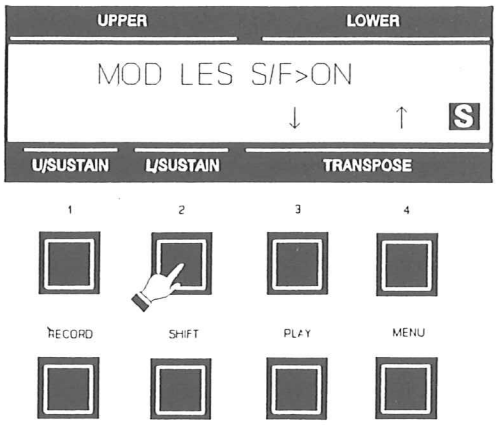
外部レスリースピーカーキャビネットのローターの速度切り換えにモジュレーションホイールを使用するかどうかを選択できます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのC画面を呼出します



2. タッチボタンの[2] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



この画面では以下のことができます。

タッチボタンの[3]"↓"または[4]"↑"を押すと"ON""OFF"の切り替えができます。工場出荷時の設定は"ON"です。

接続したレスリースピーカーキャビネットのローターについてどのような選択ができるかはP.83の表にまとめていますのでご覧下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。もう一度モジュレーションホイールメニューに戻るには[MENU]を押して下さい。

◆モジュレーションホイール・セカンドドローバー

このオルガンには1つの鍵盤に対して2組のドローバーが付いています。すでに『プリセット』の章で述べた通り、通常は各鍵盤につき1度に1つのプリセット、つまり1組のドローバーしか使用することができません。ただし、最新のセカンドドローバー機能を使えば、同じ鍵盤にプログラムされている2種類のプリセットを、最初に使用中の音から別の音へミックスしていくことが可能です。以下、この機能の使用例をあげながら説明していきます。

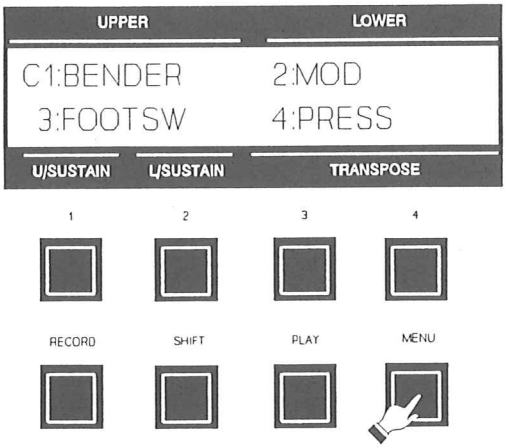
コントロールのしかたが2通りあります。

1. モジュレーションホイールを使用する方法。下に説明してあります。

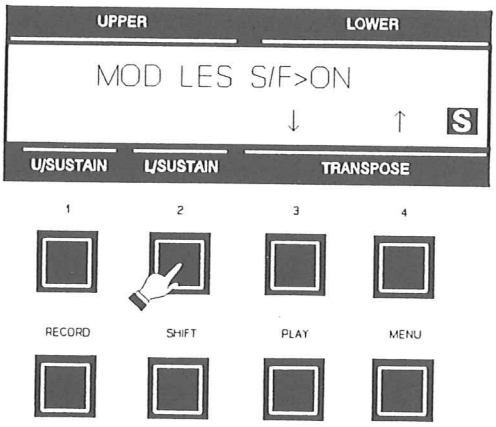
2. キープレッシャーを使用する方法。P.146『キープレッシャー－セカンドドローバー』の項で説明します。

試してみましょう－モジュレーションホイールを使ってセカンドドローバー機能をコントロールしてみます。

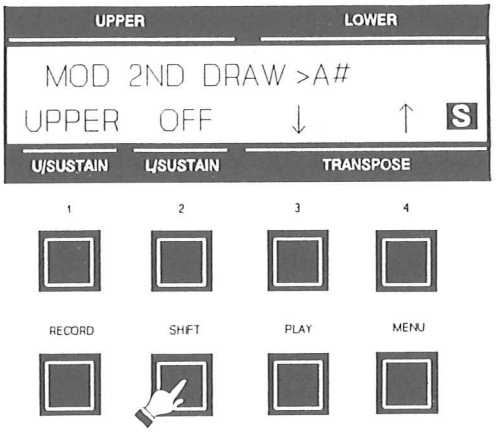
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのC画面を呼出します。



2. タッチボタンの[2]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を 1 回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



この画面では次のことができます。

タッチボタンの[1] を押すと上鍵盤か下鍵盤を選択できます。

タッチボタンの[2] を押すとその時点で選択されている鍵盤についてセカンドドローバー機能の"ON""OFF" 切り替えができます。

タッチボタンの[3]"↓" を押すと、B からC に移動することができます。

または[4]"↑" を押すと、C からB に移動することができます。

上のイラストを例にすると、[2] を押して"ON"にすると上鍵盤のセカンドドローバーが使えます。

試してみましょう：

1. 上鍵盤の"A#"のドローバーを00 8877 665 に設定します。

2. 上鍵盤の"B" のドローバーを00 8870 000 に設定します。

3. 上鍵盤プリセットキーの"B" を押して下さい。赤いLED が点灯します。

4. " ＞" の記号の隣に"A#"が表示されていない時は、タッチボタンの[3] か[4] を繰り返し押して "A#"が出るようにします。

5. ここで、モジュレーションホイールの位置が左いっぱいになっていることを確かめ、上鍵盤で "C" のコードを押えます。プリセットキーの"B" に設定されているレジストレーションの音が聞こえるはずです。

6. モジュレーションホイールをゆっくりと右に回して下さい。"B" のプリセットに加えて"A#"にプリセットされているレジストレーションの音が聞こえてきます。モジュレーションホイールを右に回し切ると"B" のプリセットがフェイドアウトし、"A#"のプリセットだけが聞こえます。

この機能は、レジストレーションをなるだけ早く変更したい時にとても便利です。別のレジストレーションを呼出すためのキーは、プレセットキーの"C" から"B" までの間で自由に設定できます。インフォメーションセンターディスプレイ上でお好みのキーを選択して下さい。モジュレーションホイールを右端まで回すとその時点で選択されていなかった2番目のレジストレーションの音が得られ、左端に回すとプリセットキーで選択されているレジストレーションの音が得られます。

下の表は各鍵盤について選択できるプリセットキーの範囲をまとめたものです。

MANUAL	PRESET KEY NAME
UPPER	C - C♯ - D - D♯ - E - F - G - G♯ - A - *A♯ - B
LOWER	C - C♯ - D - D♯ - E - F - G - G♯ - A - *A♯ - B

*出荷時の設定

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまり、プリセット音にはそれぞれに異なる設定をして保存することができるわけです。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181 からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106 からの『最新の機能－プリセット』をご覧下さい。

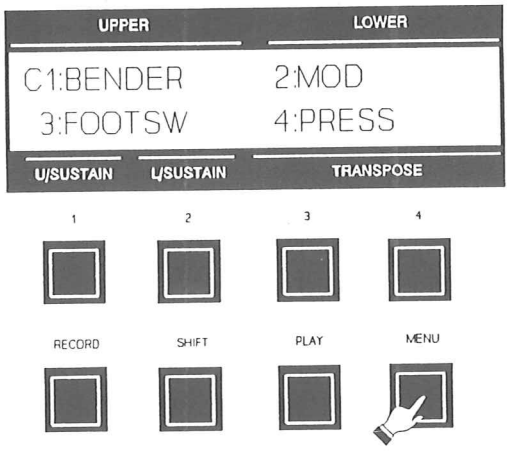
ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。もう一度モジュレーションホイールメニューに戻るには[MENU] を押して下さい。

◆モジュレーションホイール・チューブオーバードライブコントロール

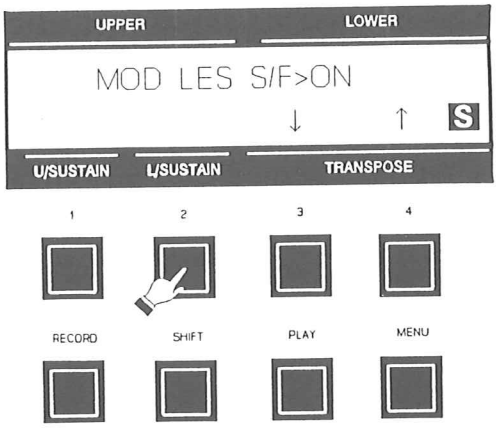
チューブオーバードライブの歪みの強さを調節するのにモジュレーションホイールを使用するかどうかを選択できます。この機能はチューブオーバードライブロータリーコントロールに関連して働きますので、まずロータリーコントロールを右に回しておかないと、チューブオーバードライブの効果が得られません。

試してみましょう：

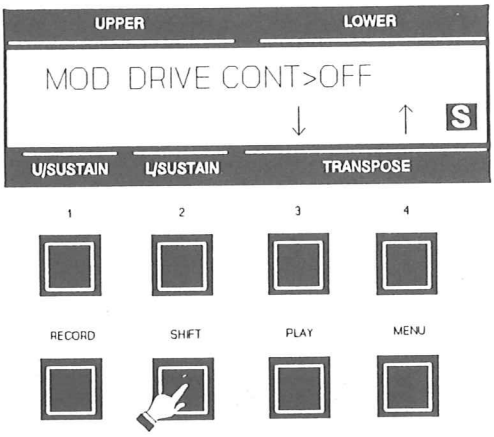
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのC画面を呼出します。



2. タッチボタンの[2]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT]を1回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



この画面では次のことができます。

タッチボタンの[3]"↓"または[4]"↑"を押すと"ON""OFF"切り替えができます。工場出荷時には"OFF"になっています。

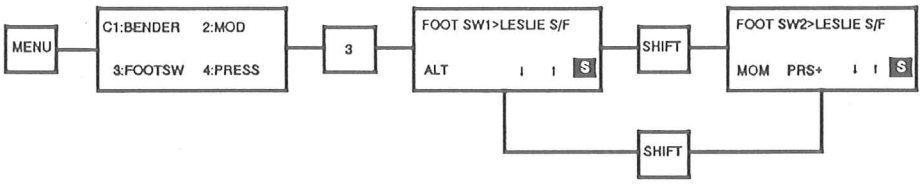
チューブオーバードライブに関する詳細はP.8、92をご覧下さい。

ご注意：以上の機能が"ON"になっている時には、モジュレーションホイールとチューブオーバードライブボリュームツマミが互いに関連しながら働きます。ボリュームツマミがセンターに合わせてあるとすると、モジュレーションホイールを最大まで回しても、ボリームツマミの設定範囲内での最大量しか得られません。チューブオーバードライブの効果を最大にするためにはロータリーコントロールを右いっぱいに回しておかなければなりません。

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106からの『最新の機能－プリセット』をご覧下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。もう一度モジュレーションホイールメニューに戻るには[MENU]を押して下さい。

最新の機能／フットスイッチ



２つのフットスイッチメニューがあり、以下のことができます。

1. FOOT SWitch 1 フットスイッチ 1

エクスプレッションペダルに取り付けたフットスイッチの機能として、11種類うちの１つをプログラムすることができます。

2. FOOT SWitch 2 フットスイッチ 2

２個目のフットスイッチの機能として、11種類のうちの１つをプログラムすることができます。"FOOT SWITCH 2" 端子はオルガンの裏側のアクセサリーパネル上にあります。

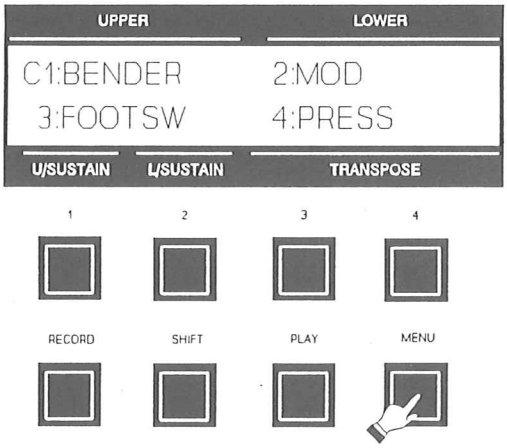
以下の頁では、この機能について具体的に説明していきます。

◆フットスイッチ

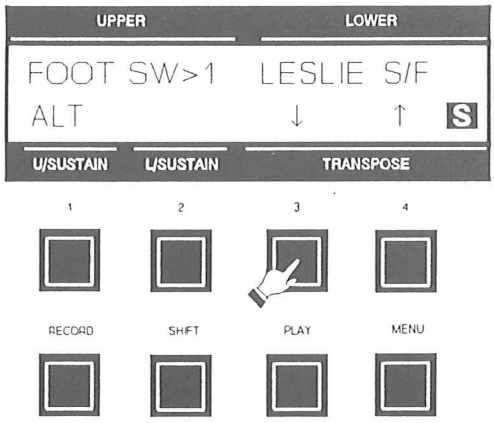
それぞれのフッチスイッチに異なる機能を設定することができます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのC画面を呼出します。



2. タッチボタンの[3]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



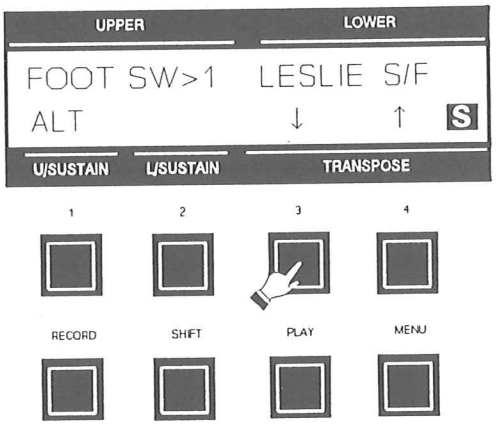
3. 次の要領でフットスイッチ 1の機能を選択します。

黒いタッチボタンの[1] を押して、"ALTernate"(=ON/OFF)または"MOMentary"(=ON/HOLD) のどちらかを選びます。

タッチボタンの[3]"↓" を押すと、フットスイッチの機能のオプションが下にスクロールします。

タッチボタンの[4]"↑" を押すと、フットスイッチの機能のオプションが上にスクロールします。

4. タッチボタンの[SHIFT] を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイを次のような状態にして下さい。



5. 次の要領でフットスイッチ 2の機能を選択します。

黒いタッチボタンの[1] を押して、"ALTernate"(=ON/OFF)または"MOMentary"(=ON/HOLD) のどちらかを選びます。

タッチボタンの[2] を押して、"PRS+"または"PRS-"のいずれかを選択して下さい。"PRS+"は、例えばハモンドフットスイッチのように、スイッチを押した時に回路がつながる状態を示します。フットスイッチのタイプによっては、押した時に回路が切れるものもありますので、この機能によって接続するフットスイッチがどちらのタイプでもご使用になることができます。

タッチボタンの[3]"↓" を押すと、フットスイッチの機能のオプションが下にスクロールします。

タッチボタンの[4]"↑" を押すと、フットスイッチの機能のオプションが上にスクロールします。

下の表はフットスイッチの機能としてプログラムできる内容をまとめたものです。

フット　スイッチ　オプション		
フットスイッチ	オプション	アクション
FOOT SW 1 ((フットスイッチ1- エクスプレション・ペダル) FOOT SW 2 (フットスイッチ2)	OFF	フットスイッチを切り、MIDIコードの送信だけに使用する。
	LESLIE S/F	レスリースロー／ファーストの切替
	UPPER SUS	上鍵盤のサスティーン"ON""OFF"
	LOWER SUS	下鍵盤のサスティーン"ON""OFF"
	REV UM A#/B	上鍵盤の２つのアジャストプリセットキーにプログラムされているドローバーセッティングを反対にする。
	REV LM A#/B	下鍵盤の２つのアジャストプリセットキーにプログラムされているドローバーセッティングを反対にする。
	UM DAMPER	上鍵盤で弾かれる音を延ばす。
	LM DAMPER	下鍵盤で弾かれる音を延ばす。
	UM SOSTENUT	フットスイッチをオンにした時に弾かれている上鍵盤の音のみ延ばす。
	LM SOSTENUT	フットスイッチをオンにした時に弾かれている下鍵盤の音のみ延ばす。
	MIDI ST/SP	MIDIスタート／ストップコマンドを送信する

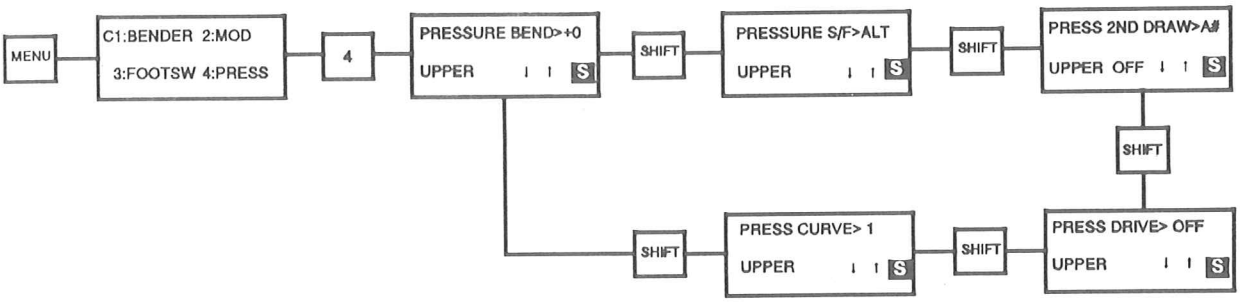
*フットスイッチ１出荷時の設定
+フットスイッチ２出荷時の設定

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106からの『最新の機能－プリセット』をご覧下さい。

ご注意：エクスプレッションペダルに接続したフットスイッチが自動的にFoot Switch 1の回路につながります。さらにアクセサリーパネル上のフットスイッチ端子にも他のフットスイッチを追加することができ、その機能はフットスイッチ2メニュー(FOOTSW2)で選択します。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

最新の機能／キープレッシャー



このハモンドオルガンには『アフタータッチ』または『キープレッシャー』と呼ばれる機能があります。演奏をする時、通常よりも強く鍵盤を押えることで音を変化させることができるというもので、外部MIDI音源の音を変えるのに使われることが一番多いため、MIDIリファレンスガイドでより詳しく説明しています。ただし、キープレッシャーを使ってオルガン内蔵の機能をコントロールすることも可能です。

キープレッシャーメニューは5種類あり、以下のような選択ができます。

1. PRESSURE BEND（ピッチベンド）
   上鍵盤および下鍵盤に対して半音を1単位とした±1～12までの範囲でピッチベンドレンジを設定することができます。

2. PRESSURE S/F（レスリー スロー／ファースト ON/OFF）
   上鍵盤、下鍵盤に対して、外部レスリースピーカーキャビネットのローターの回転速度をキープレッシャーで変えられるように設定できます。

3. PRESS 2ND DRAW（セカンドドローバー）
   セカンドドローバー機能をキープレッシャーでコントロールするための設定ができます。

4. PRESS DRIVE（チューブオーバードライブレベル）
   上鍵盤、下鍵盤に対して、チューブオーバードライブをキープレッシャーでコントロールするための設定ができます。

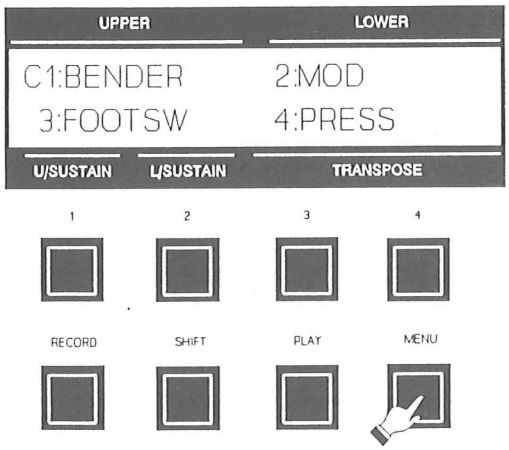
5. PRESS CURVE（プレッシャーカーブ）
   各機能をキープレッシャーによって切り替えるために必要な圧力の強さを設定できます。上鍵盤および下鍵盤に対して選択できる何種類かの感度設定があります。

◆キープレッシャー・ピッチベンド

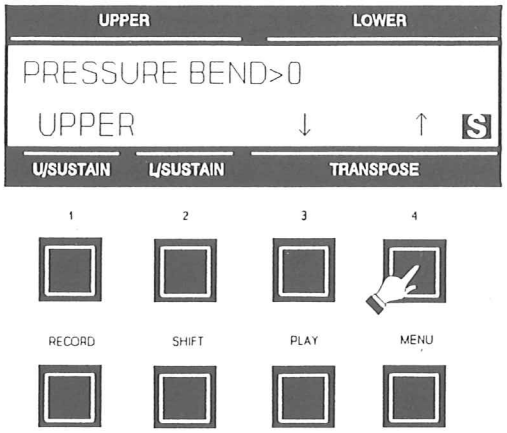
最新の機能を使って、ピッチベンドレンジを±1～12半音の範囲内で選択することができます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのC画面を呼出します。



2. タッチボタンの[4]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. 次の要領でピッチベンドレンジを設定して下さい。

タッチボタンの[1]を押して上鍵盤か下鍵盤のいずれかを選びます。

タッチボタンの[3]"↓"を押してレンジの最低ピッチを選びます。
値は0から-12までスクロールしていきます。

タッチボタンの[4]"↑"を押してレンジの最高ピッチを選びます。
値は0から+12までスクロールしていきます。

下の表はそれぞれの鍵盤に設定できるピッチレンジの選択範囲をまとめたものです。

MANUAL	LOWEST PITCH	HIGHEST PITCH
UPPER	0 to -12	0 to +12
LOWER	0 to -12	0 to +12

*出荷時の設定は" 0 "

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまりプリセットごとに異なるピッチレンジを設定して保存することが可能です。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106からの『最新の機能ープリセット』をご覧下さい。

ご注意：キープレッシャーによるピッチベンド機能は、オルガンのドローバーによって得られる音だけに対応し、外部MIDI機器（音源など）には影響しません。

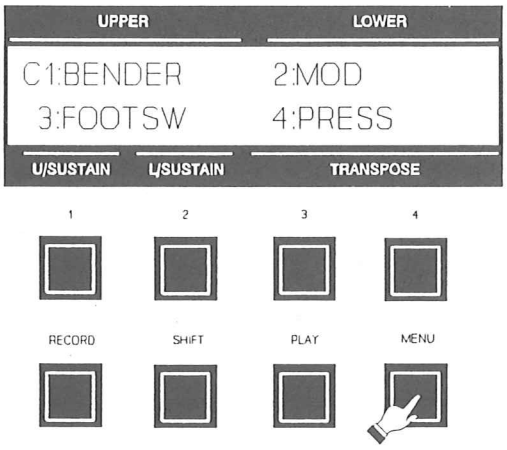
ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

◆キープレッシャー・レスリー スロー／ファースト ON/OFF

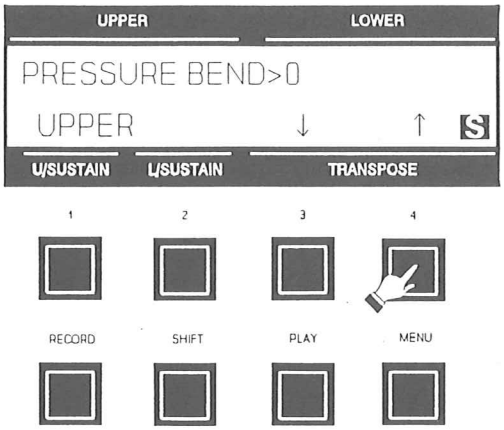
オルガンに接続したレスリースピーカーキャビネットのローターの回転速度をキープレッシャーで変えることができます。"ALTernate"(ON/OFF) または"MOMentary"(ON/HOLD)の２つのモードからどちらかを選択でき、上鍵盤にも下鍵盤にも設定できます。

試してみましょう：

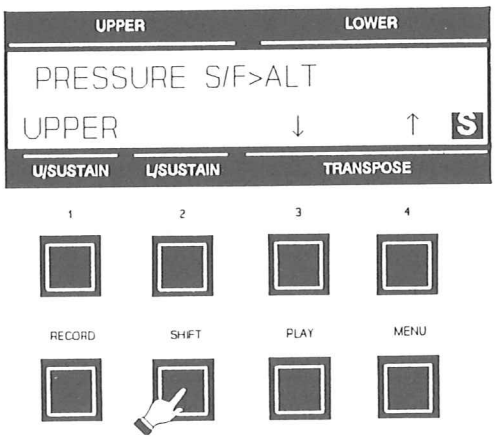
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのＣ画面を呼出します。



2. タッチボタンの[4] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を何度か押して次のような画面にして下さい。



4. 次の要領でプレッシャー レスリースロー／ファーストのを設定して下さい。

タッチボタンの[1] を押して上鍵盤か下鍵盤のいずれかを選びます。

タッチボタンの[3]"↓" を押すと 3 つのモード"OFF""ALT""MOM" の上から下へスクロールしていきます。

タッチボタンの[4]"↑" を押すと 3 つのモード"OFF""ALT""MOM" の下から上へスクロールしていきます。

下の表はそれぞれの鍵盤についての選択肢をまとめたものです。

MANUAL	OPTIONS
UPPER	*OFF - ALT - MOM
LOWER	*OFF - ALT - MOM

*出荷時の設定

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまりプリセットごとに異なる設定して保存することが可能です。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181 からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106 からの『最新の機能－プリセット』をご覧下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

◆キープレッシャー・セカンドドローバー

このオルガンには1つの鍵盤に対して2組のドローバーが付いています。すでに『プリセット』の章で述べた通り、通常は各鍵盤につき1度に1つのプリセット、つまり1組のドローバーしか演奏することができません。ただし、最新のセカンドドローバー機能を使えば、同じ鍵盤にプログラムされている2種類のプリセットを、最初に演奏中の音から別の音へミックスしていくことが可能です。以下、この機能の使用例をあげながら説明していきます。

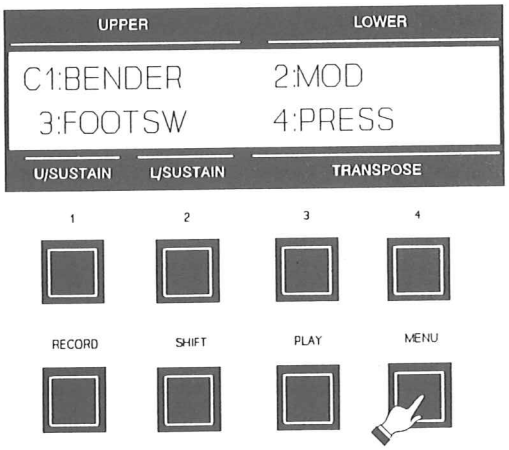
コントロールのしかたが2通りあります。

1. モジュレーションホイールを使用する方法。P.132『モジュレーションホイール－セカンドドローバー』の項で説明しています。

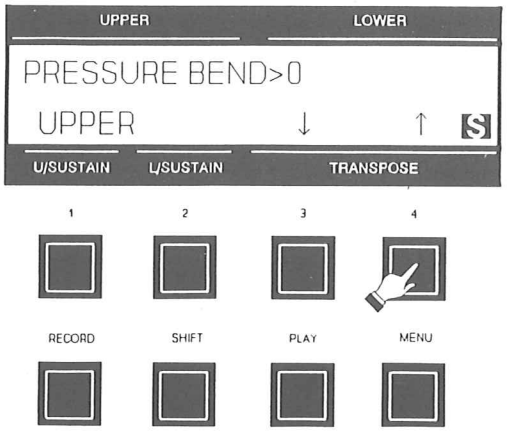
2. キープレッシャーを使用する方法。これから説明していきます。

試してみましょう：　キープレッシャーを使ってセカンドドローバー機能をコントロールしてみます。

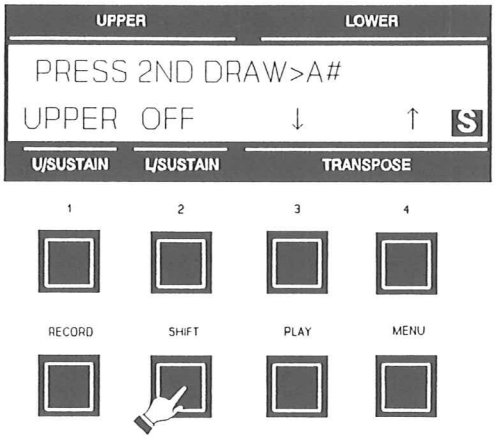
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのC画面を呼出します。



2. タッチボタンの[4]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を何度か押して次のような画面にして下さい。



この画面では次のことができます。

タッチボタンの[1] を押すと上鍵盤か下鍵盤を選択できます。

タッチボタンの[2] を押すとその時点で選択されている鍵盤についてセカンドドローバー機能の"ON""OFF" 切り替えができます。

タッチボタンの[3]"↓" を押すとB から Cに移動することができます。

タッチボタンの[4]"↑" を押すとC から Bに移動することができます。

上のイラストを例にすると、[2] を押して"ON"にすると上鍵盤のセカンドドローバーが使えます。

試してみましょう：

1. 上鍵盤の"A#"のドローバーを00 8877 665 に設定します。

2. 上鍵盤の"B" のドローバーを00 8870 000 に設定します。

3. 上鍵盤プリセットキーの"B" を押して下さい。赤いLED が点灯します。

4. " > "の記号の隣に"A#"が表示されていない時は、タッチボタンの[3] か[4] を繰り返し押して"A#"が出るようにします。

5. 上鍵盤で"C" のコードを押えます。プリセットキーの"B" にプログラムされているレジストレーションの音が聞こえるはずです。

6. 押えている鍵盤をより強く押すと、"B" のプリセット音に加えて"A#"のプリセット音が
ミックスされて聞こえてきます。より強く押し続けると最終的には"B" のプリセット音がフェイドアウトして"A#"のプリセット音だけが聞こえます。

この機能は、レジストレーションを両手を鍵盤から離さないで変更したい時にとても便利です。別のレジストレーションを呼出すだめのキーは、プリセットキーの"C" から"B" までの間で自由に設定できます。インフォメーションセンターディスプレイ上でお好みのキーを選択して下さい。普通の強さで押した時にはその時点で作動しているプリセットキーにプログラムされている音が得られ、鍵盤を強く押した時にはもう一つのレジストレーションによる音が得られます。

下の表は各鍵盤について設定できるプリセットキーの選択範囲をまとめたものです。

MANUAL	PRESET KEY NAME
UPPER	C - C♯ - D - D♯ - E - F - G - G♯ - A - *A♯ - B
LOWER	C - C♯ - D - D♯ - E - F - G - G♯ - A - *A♯ - B

*出荷時の設定

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまりプリセットごとに異なる設定して保存することが可能です。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181 からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106 からの『最新の機能－プリセット』をご覧下さい。

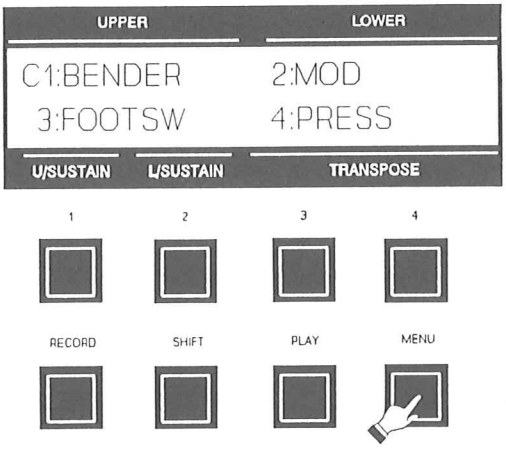
ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

◆キープレッシャー・チューブオーバードライブコントロール

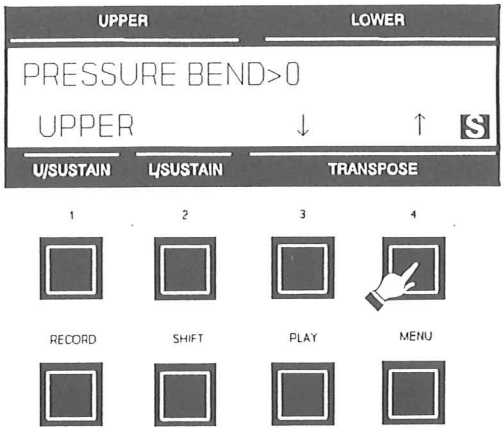
上鍵盤、下鍵盤に対してチューブオーバードライブのコントロールにキープレッシャーを使う設定をすることができます。ただし、この機能はチューブオーバードライブボリュームツマミと関連して働きますので、まずボリュームツマミを右に回しておかないと、チューブオーバードライブの効果が得られません。P94で説明してあるチューブオーバードーライブレベルを”8”から”16”に設定してあれば効果がはっきりと得られます。

試してみましょう：

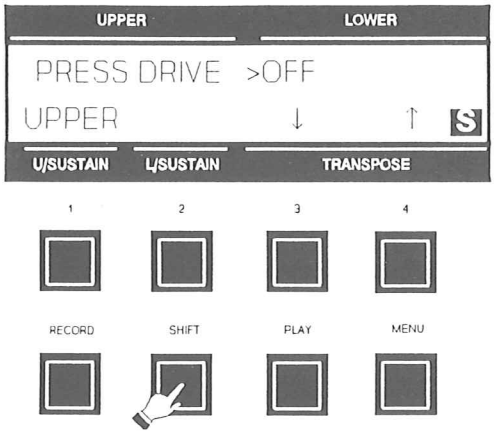
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのC画面を呼出します。



2. タッチボタンの[4]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を何度か押して次のような画面にして下さい。



4. 次の要領でプレッシャードライブの選択をして下さい。

タッチボタンの[1] を押して上鍵盤か下鍵盤のいずれかを選びます。

タッチボタンの[3]"↓" または[4]"↑" を押して"ON""OFF" の切り替えをします。

下の表はそれぞれの鍵盤についての選択肢をまとめたものです。

MANUAL	PRESS DRIVE OPTION
UPPER	ON or OFF
LOWER	ON or OFF

*出荷時の設定は" OFF"

チューブオーバードライブについての詳細についてはP.8、92 をご覧下さい。

ご注意：プレッシャードライブが"ON"になっている時には、キープレッシャーとチューブオーバードライブボリュームツマミが互いに関連しながら働きます。ボリュームツマミがセンターに合わせてあるとすると、キープレッシャーを最大にしてもボリュームツマミの設定範囲内での最大量しか効果が得られません。チューブオーバードライブの効果を最大に得るためにはボリュームツマミを右いっぱいに回しておかなければなりません。

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181 からの付録 B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106 からの『最新の機能－プリセット』をご覧下さい。

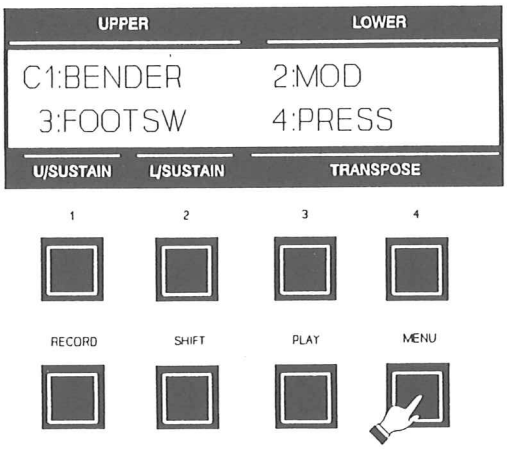
ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

◆キープレッシャー・プレッシャーカーブ

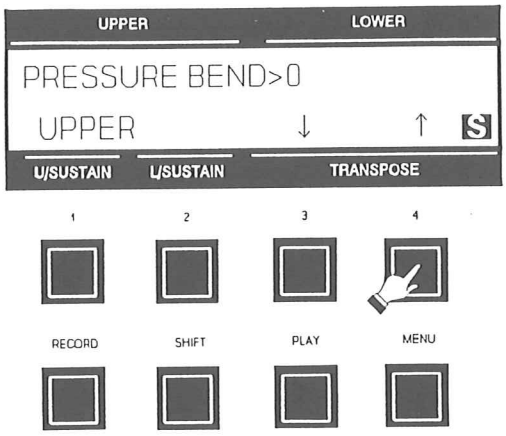
キープレッシャーの効果を得るために必要な圧力の強さを設定できます。異なる感度設定から適当なものを選んで上鍵盤と下鍵盤の両方に設定できます。

試してみましょう：

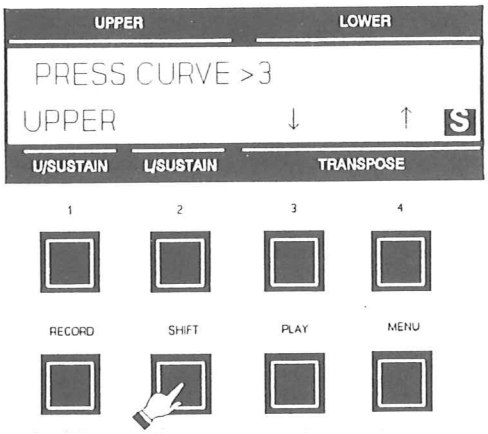
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのC画面を呼出します。



2. タッチボタンの[4]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3.　タッチボタンの[SHIFT] を何度か押して次のような画面にして下さい。



4.　次の要領でプレッシャーカーブのを設定して下さい。

タッチボタンの[1] を押して上鍵盤か下鍵盤のいずれかを選びます。

タッチボタンの[3]"↓" を押すとプレッシャーカーブの値が小さい方へスクロールしていきます。

タッチボタンの[4]"↑" を押すとプレッシャーカーブの値が大きい方へスクロールしていきます。

下の表はそれぞれの鍵盤についての選択範囲をまとめたものです。

MANUAL	CURVE OPTIONS
UPPER	1 ～ 6
LOWER	1 ～ 6

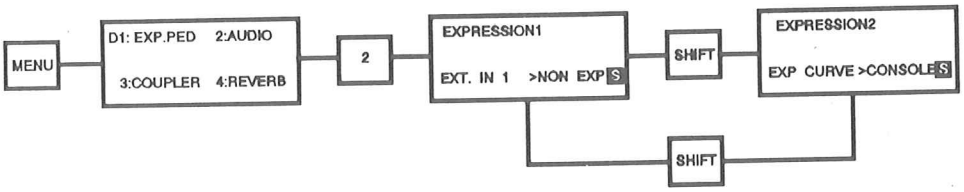
*出荷時の設定は" 3 "

ご注意：ベロシティとプレッシャーの両方に関する感度設定については『MIDIリファレンスガイド』に掲載している表をご覧下さい。

以上のデータはプリセットプレイモードにおいて"STANDARD"の設定をすればプリセットとして保存、呼出すことができます。つまりプリセットごとに異なる設定して保存することが可能です。プリセット音と共に保存できるコマンドはすべてP.181 からの付録B『プリセットイニシャルデータ』にリストアップされています。また、プリセットモードについてはP.106 からの『最新の機能ープリセット』をご覧下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

最新の機能／エクスプレッションペダル



エクスプレッションペダルには２つのメニューがあり、次のような選択ができます。

1. EXPRESSION1 ―EXT IN NON EXP/EXP―

   外部入力に接続された外部音源の音量をエクスプレッションペダルで調節するかどうかを選択できます。

2. EXPRESSION2 ―EXP CURVE ―

   エクスプレッションペダルのカーブを、"CONSOLE" または"SPINET" の２種類から選択できます。

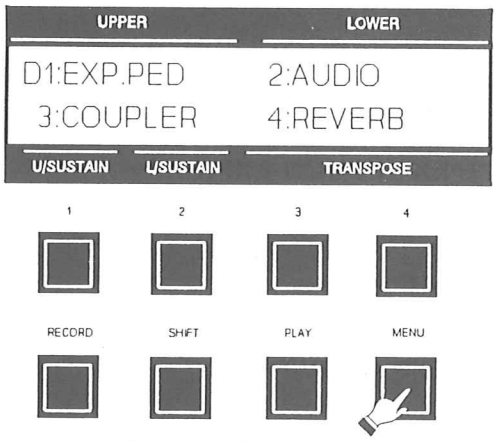
以下の頁ではこの機能について具体的に説明していきます。

◆エクスプレッションペダル・EXTERNAL IN NON EXP/EXP

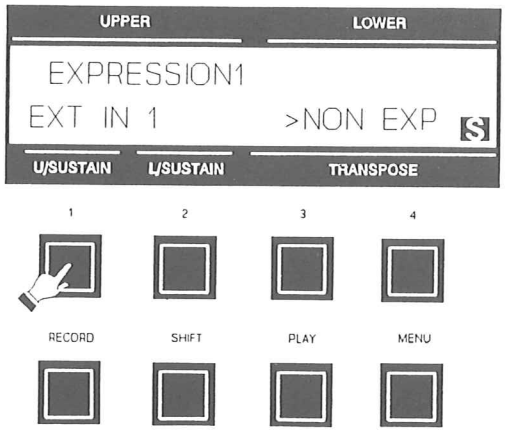
新しい機能を使って、外部入力に接続された外部音源の音量を調節するのにエクスプレッションペダルを使用するかどうかを選ぶことができます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのD画面を呼出します。



2. タッチボタンの[1] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. 次の要領で設定して下さい。

タッチボタンの[1]を押して"EXT IN 1"または"EXT IN 2"のいずれかを選びます。

タッチボタンの[3]か[4]を押して"EXP"または"NON EXP."のいずれかを選びます。

下の表はエクスプレッションペダルの機能の選択範囲をまとめたものです。

エクスプレッション　オプション			
選択肢	機能	選択肢	機能
EXT IN 1	INPUT 1 端子から入力される信号に作用する	EXP/NON EXP	NON EXP を選択した時、エクスプレッションペダルは入力信号に影響しません。EXP を選択した時は、エクスプレッションペダルとEXT.INロータリーコントロールの連動した働きによって入力信号の音量が変化します。
EXT IN 2	INPUT 2 端子から入力される信号に作用する	EXP/NON EXP	

*出荷時の設定

このデータはグローバルコマンドで、プリセットとしては保存できません。グローバルコマンドについてはP.180 付録Aに一覧表を掲載していますので参照して下さい。

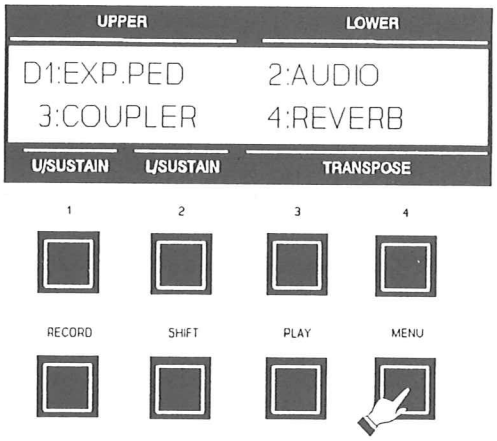
ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

◆エクスプレッションペダル・エクスプレッションカーブ

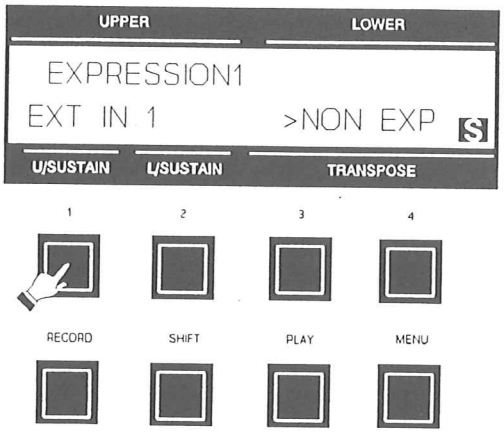
新しい機能を使ってエクスプレッションペダルのカーブを変えられます。

試してみましょう：

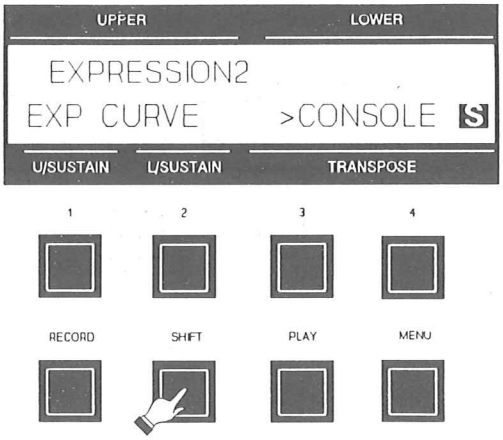
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのD画面を呼出します。



2. タッチボタンの[1]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイを次のような画面にします。



4. 次の要領でエクスプレッションペダルのレスポンスのしかたを選択して下さい。

タットボタンの[1] から[4] のいずれかを押して"CONSOLE" または "SPINET"のどちらかに設定します。

下の表はエクスプレッションカーブの選択肢をまとめたものです。

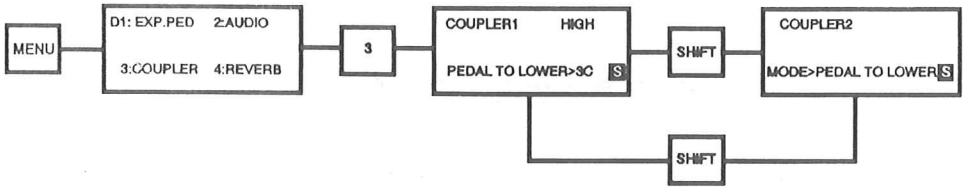
エクスプレッション２　オプション	
選択肢	機能
*CONSOLE	エクスプレッションペダルの反応のしかたは、ハモンドトーンホイールコンソールオルガン（B-3、C-3、RT-3、A-100など）と同じです。
SPINET	エクスプレッションペダルの反応のしかたは、ハモンドトーンホイールスピネットオルガン（M-3、L-100、M-100 など）と同じです。

出荷時の設定

このデータはグローバルコマンドで、プリセットとしては保存できません。グローバルコマンドについてはP.180 付録 Aに一覧表を掲載していますので参照して下さい。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

最新の機能／カプラー



カプラーについては２つのメニューがあり、以下のような設定ができます。

1. COUPLER1ー最高音の指定
   カプラーのモードごとにそれぞれの最高音を設定することができます。

2. COUPLER2ー足鍵盤から上鍵盤
   足鍵盤から下鍵盤へのカプラーを足鍵盤から上鍵盤へのカプラーに変更して、足鍵盤音を上鍵盤で演奏することができます。

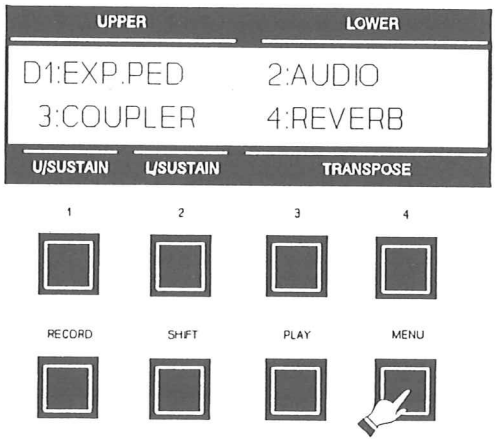
以下の頁では、この機能について具体的に説明していきます。

◆カプラー・最高音の設定

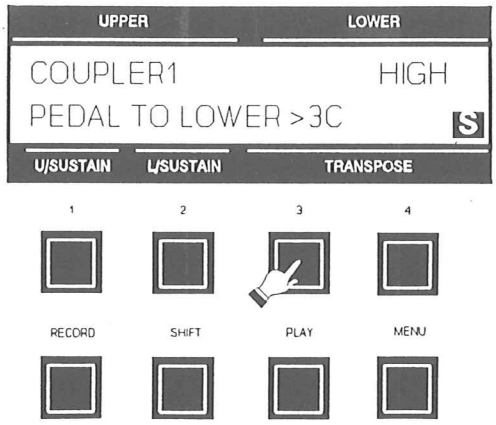
新しい機能を使ってカプラーのモードごとにそれぞれの最高音を設定することができます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのD画面を呼出します。



2. タッチボタンの[3]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. "COUPLER 1" モードにおいて最高音を設定する手順は次の通りです。

黒いタッチボタンの[1] を押して、"COUPLER1"の機能を"PEDAL TO LOWER （足鍵盤から下鍵盤へ）""LOWER TO PEDAL（下鍵盤から足鍵盤へ）""PEDAL TO UPPER（足鍵盤から上鍵盤へ）" の３つの中から選択して下さい。

4. 左手でタッチボタンの[3] か[4] のいずれかを押えながら、右手で設定する鍵盤の一番低い"C" から３オクターブ上の"C" までの間で適当なキーを押して下さい。

下の表は各鍵盤について設定できる最高音の範囲をまとめたものです。

COUPLER OPTIONS	UPPERMOST NOTE LIMITS
PEDAL TO LOWER	1C - 3C
LOWER TO PEDAL	1C - 3C
PEDAL TO UPPER	1C - 3C

*出荷時の設定

このデータはグローバルコマンドで、プリセットとしては保存できません。グローバルコマンドについてはP.180 付録Aに一覧表を掲載していますので参照して下さい。

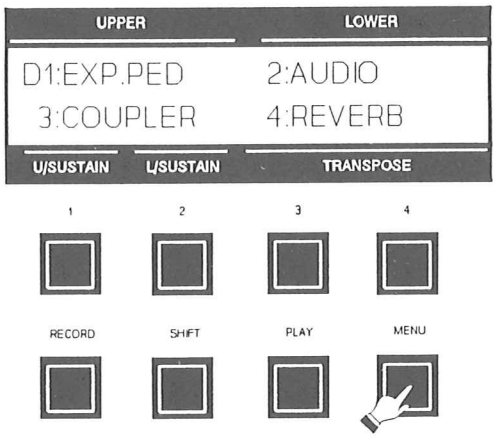
ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

◆カプラー・足鍵盤から上鍵盤へ

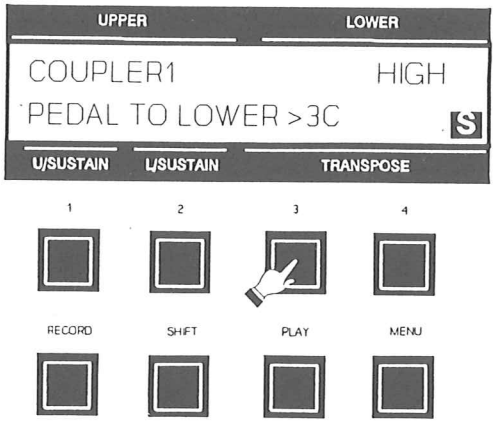
新しい機能を使って足鍵盤から下鍵盤へのカプラーを足鍵盤から上鍵盤へのカプラーに変えることができ、最低音域を上鍵盤で演奏することが可能です。以下の説明は、カプラーのモードを切り替える手順です。ただし、この機能を使って音を出すためには、まずタッチタブの[PEDAL TO LOWER]を"ON"（LED が点灯）にすることが必要です。

試してみましょう：

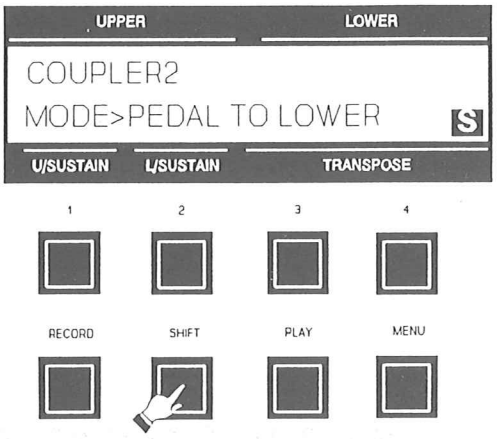
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのD画面を呼出します。



2. タッチボタンの[3] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を何度か押すとインフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. 次の要領で"COUPLER2"モードにおける選択をして下さい。

黒いタッチボタンの[3] か[4] のいずれかを押して"COUPLER2"の機能を"PEDAL TO LOWER （足鍵盤から下鍵盤へ）" か"PEDAL TO UPPER（足鍵盤から上鍵盤へ）" のどちらかに設定して下さい。

下の表は選択肢をまとめたものです。

OPTIONS
*PEDAL TO LOWER
PEDAL TO UPPER

*出荷時の設定

このデータはグローバルコマンドで、プリセットとしては保存できません。グローバルコマンドについてはP.180 付録 Aに一覧表を掲載していますので参照して下さい。

ご注意：この機能はタッチタブの[PEDAL TO LOWER]が"ON"の時に働きます。

ご注意：メニューモードを終了する時には[PLAY]を押します。

Hammond Organ Model XB-3

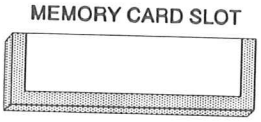
Using the RAM Card

RAMカードの使用

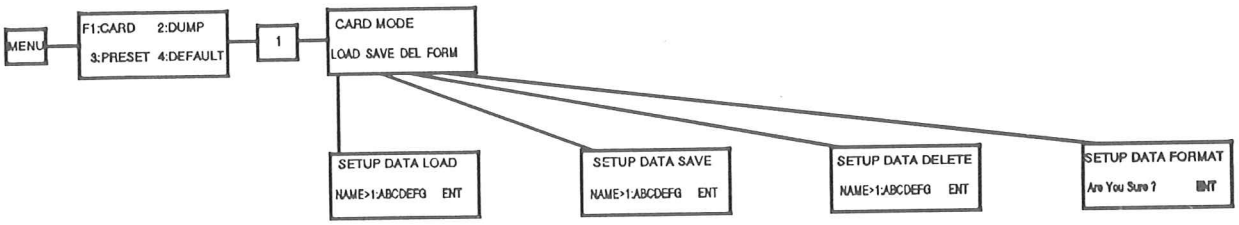
オルガンのプリセットキーにプログラムしたデータはハモンドRAMカードに保存できます。フォーマットされたカードを使用すると、プリセットデータをカードに保存し、またカードのプリセットデータをオルガンにロードすることでオルガンのプリセットを変更することができます。

◆RAMカードスロット

上鍵盤と下鍵盤の間、インフォメーションセンターディスプレイのすぐ上に"MEMORY CARD SLOT"= RAMカードスロットがあります。このスロットに、ハモンドRAM (=Random Access Memory) カードを挿入して、ご自分で作ったプリセットのデータを保存したりロードすることができます。なお、ハモンドRAMカードはハモンドオルガン取扱店にてお求めいただけます。



最新の機能／RAM カード



カードメニューは4種類あり次のようなことができます。

1. LOAD
   RAM カードからオルガンにプリセットデータをロードするためのモードです。

2. SAVE
   プリセットデータをRAM カードに保存するためのモードです。

3. DEL(=DELete)
   RAM カードに保存されているデータを消去するためのモードです。

4. FORM(=FORMat)
   RAM カードをフォーマットしてオルガンのデータを保存できる状態にするためのモードです。

以下の頁では、それぞれの機能について具体的に説明していきます。

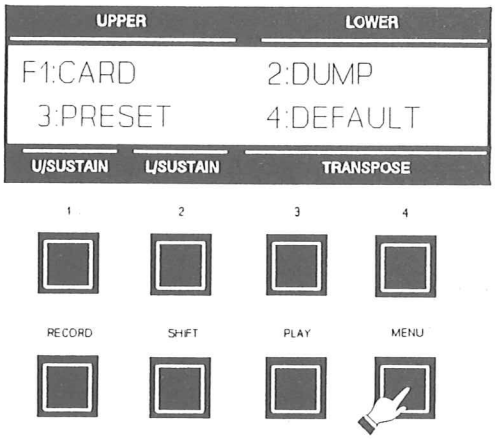
◆カード・フォーマット

新しいRAMカードを使う前にまずフォーマットする必要がありますので、その手順から説明していきます。一度フォーマットしたRAMカードにはこの手順は必要ありません。

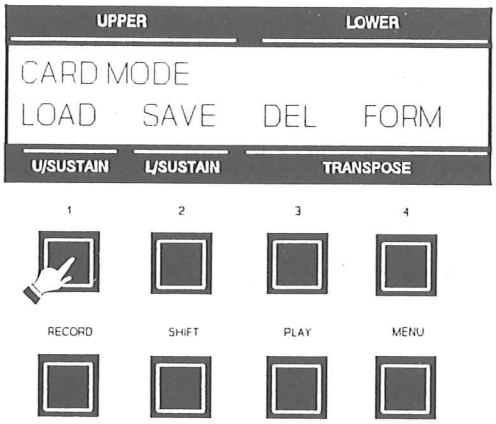
試してみましょう：

1. RAMカードをRAMカードスロットに挿入します。

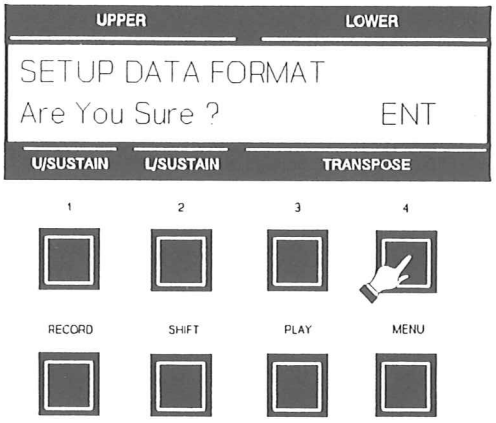
2. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードの下画面を呼出します。



3. タッチボタンの[1]を押して下さい。インフォメーションセンタディスプレイは次のようになります。

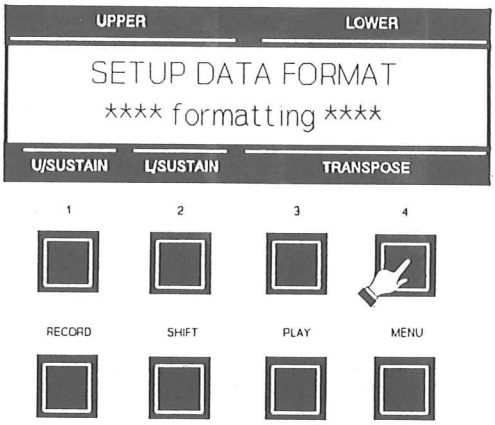


4. タッチボタンの[4]を押して下さい。インフォメーションセンタディスプレイは次のようになります。



ご注意：すでにプリセットデータが保存されているRAM カードをこの手順でフォーマットすると、データがすべて消えてしまします。

5. フォーマットを開始するには、タッチボタンの[4]を押します。インフォメーションセンターディスプレイが次のようになります。



フォーマットを中止したい時にはタッチボタンの[4]の代わりに[MENU]か[PLAY]を押して下さい。

ご注意：メニューモードを終了したい時には[PLAY]を押します。RAM カードにプリセットデータを保存する手順については次の頁をご覧下さい。

◆カード・保存

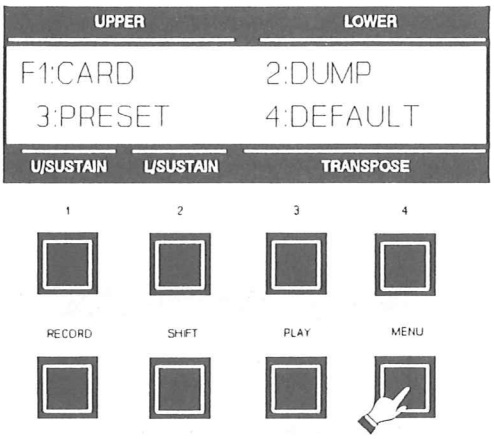
1枚のRAMカードに最高9バンクのプリセットを保存することができます。上鍵盤、下鍵盤、足鍵盤のデータをまとめて1組にしたものが1バンクです。

試してみましょう：

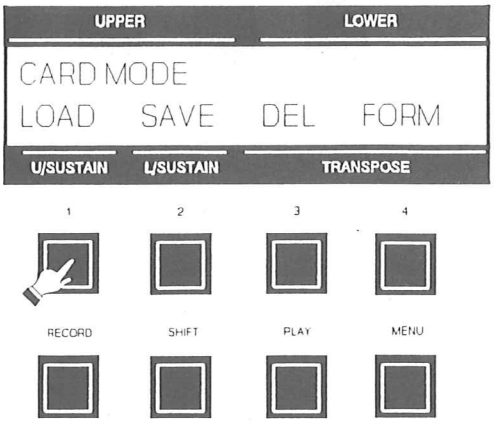
1. ご自分で作ったレジストレーションをP.103「プリセットの保存」の項で説明した手順にしたがってオルガンのプリセットキーにプログラムして下さい。

2. フォーマット済のRAMカードをRAMカードスロットに挿入します。

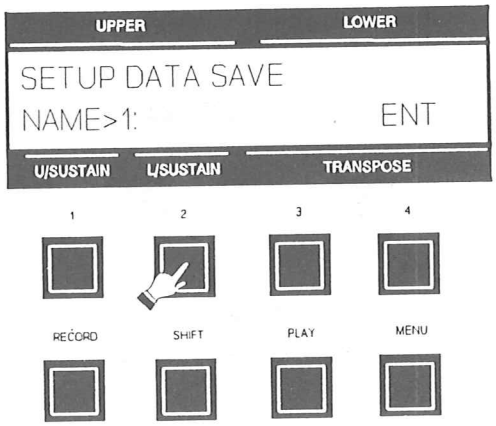
3. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのF画面を呼出します。



3. タッチボタンの[1]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. タッチボタンの[2]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



タッチボタンの[1]を押すとバンクが下にスクロールします。

タッチボタンの[2]を押すとバンクが上にスクロールします。

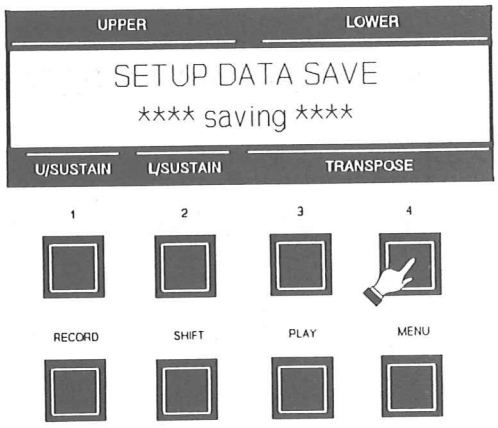
5. ディスプレイに"EMPTY" のメッセージが出たら、タッチボタンの[3] を押して下さい。"EMPTY" の文字が消えます。

6. モジュレーションホイールで文字をスクロールさせながら、プリセットのバンク名を書き込んで下さい。1文字選ぶごとにタッチボタンの[3]を押します。全部で7文字まで使用できます。

下の表はバンク名に使用できる文字をまとめたものです。

プリセットバンク名に使用できる文字
AからZの大文字
0から9の数字
アスタリスク(*)
スペース

7. 黒いタッチボタンの[4]を押すと、プリセットデータがRAMカードに保存されます。
その時、インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



ご注意：メニューモードを終了したい時には[PLAY]を押します。プリセットデータをRAMカードからオルガンにロードする手順については次の頁で説明します。

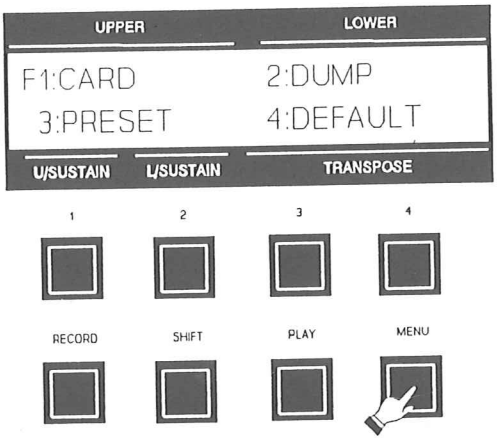
◆カード・ロード

1枚のRAMカードに最高9バンクのプリセットが保存されています。上鍵盤、下鍵盤、足鍵盤のデータをまとめて1組にしたものが1バンクです。カードに保存されているプリセットデータをオルガンにロードします。

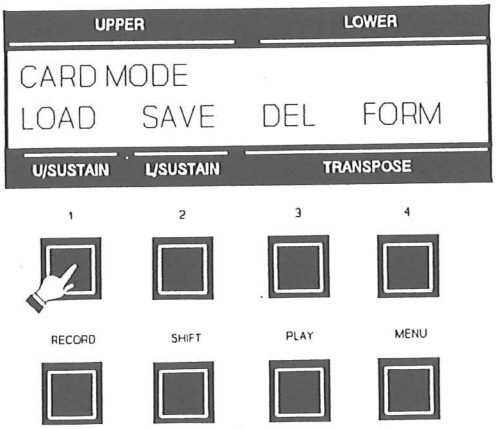
試してみましょう：

1. プリセットデータの保存されているRAMカードをRAMカードスロットに挿入します。

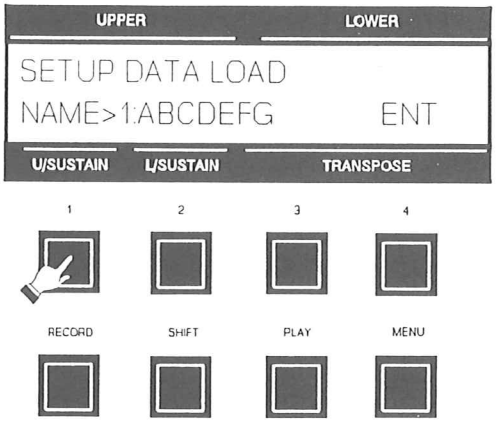
2. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのF画面を呼出します。



3. タッチボタンの[1]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。

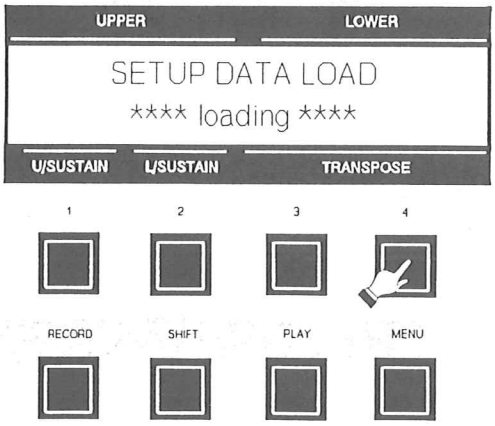


4. もう一度タッチボタンの[1]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



タッチボタンの[1]を押すとバンクが下にスクロールします。
タッチボタンの[2]を押すとバンクが上にスクロールします。

5. ディスプレイにロードしたいバンク名が出てきたら、タッチボタンの[4]を押して下さい。そのバンクのプリセットデータがRAMカードからオルガンにロードされ、その時インフォメー ションセンターディスプレイは次のようになります。



ご注意：メニューモードを終了したい時には[PLAY]を押します。RAMカードからプレセットデータのバンクの一部を消去する手順については次の頁で説明します。

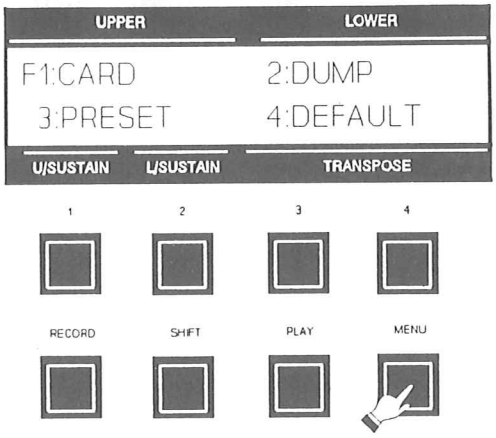
◆カード・消去

1枚のRAMカードに最高9バンクのプリセットを保存することができます。上鍵盤、下鍵盤、足鍵盤のデータをまとめて1組にしたものが1バンクです。カードに保存されているプリセットデータのなかで不要のバンクを消去します。

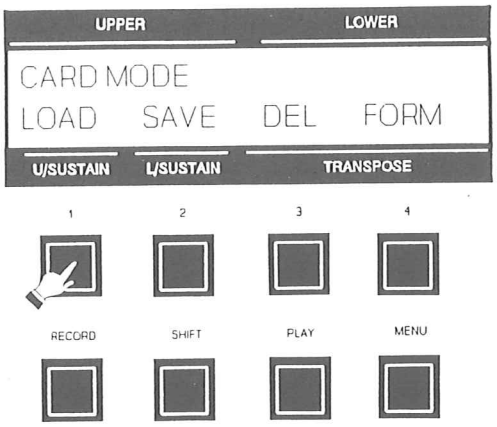
試してみましょう：

1. プリセットデータの保存されているRAMカードをRAMカードスロットに挿入します。

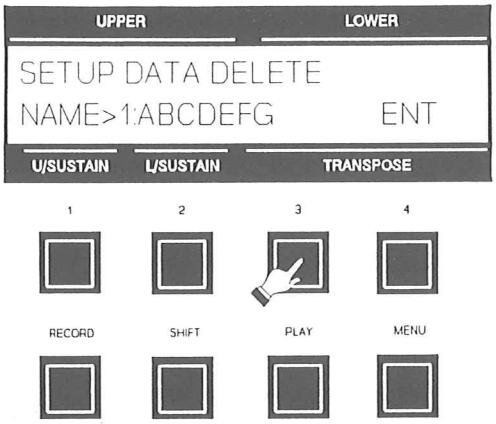
2. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してメニューモードのF画面を呼出します。



3. タッチボタンの[1]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. タッチボタンの[3]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは下のイラストに近い状態になります。



タッチボタンの[1]を押すとバンク名が下にスクロールします。

タッチボタンの[2]を押すとバンク名が上にスクロールします。

5. ディスプレイに消去したいバンクの数字と名称が出てきたら、タッチボタンの[4]を押して下さい。そのプリセットバンクはRAMカードから消去されます。

ご注意：メニューモードを終了したい時には[PLAY]を押します。

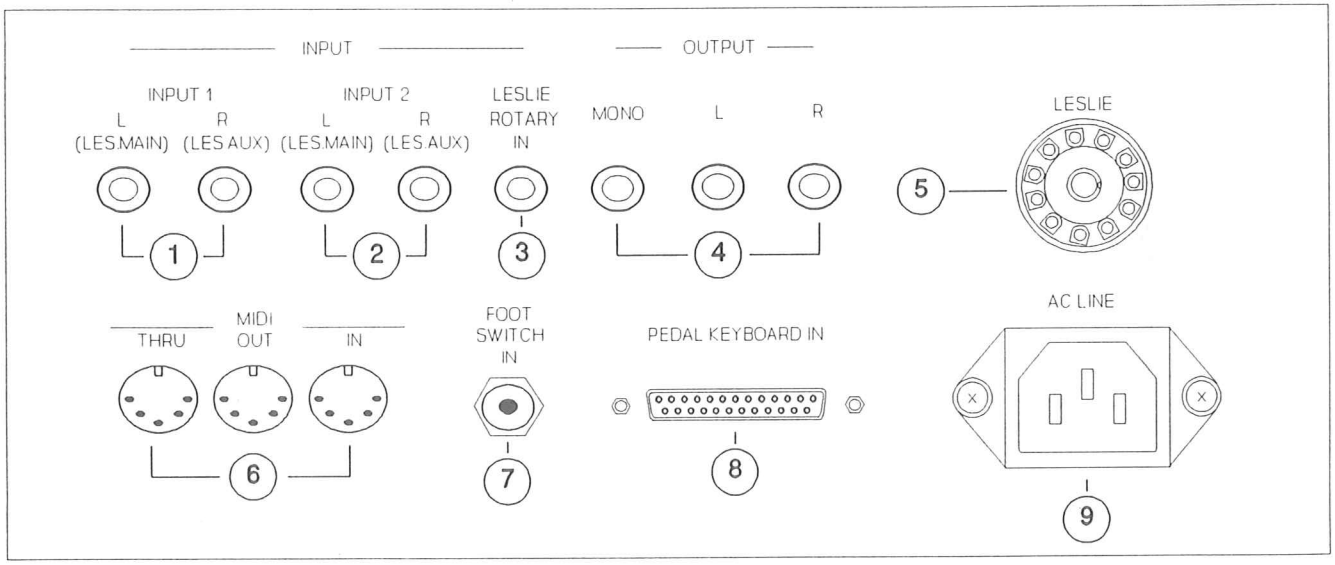
Hammond Organ Model XB-3

Reference

参考

◆アクセサリーパネル

アクセサリーパネルはオルガンの裏側の右にあります。カバーの下の部分を押すとわずかに開きますので、カバーを持ってカチッと音がするまで大きく開けて下さい。アクセサリーパネルの中は次のようになっています。



1. INPUT1（外部入力端子 1）- L & R -

キーボードやテープレコーダーなど外部装置のライン出力からオルガンへの接続をする時にご使用下さい。外部装置の音量は[EXT.IN]ロータリーコントロールで行います。

2. INPUT2（外部入力端子 2）- L & R -

1 に加えて、キーボードやテープレコーダーなど外部装置のライン出力からオルガンへの接続をする時にご使用下さい。外部装置の音量は[EXT.IN]ロータリーコントロールで行います。

3. LESLIE ROTARY IN （レスリーロータリー入力端子）-

シングルチャンネルレスリースピーカーキャビネットを使い、キーボードやテープレコーダーなど外部装置のライン出力からの接続をする時にご使用下さい。

ご注意：LESLIE ROTARY IN端子を使って外部音源をシングルチャンネルレスリースピーカーキャビネットに接続すると、オルガンの音は出なくなります。シングルチャンネルレスリースピーカーでオルガンと外部音源の両方の音を出したい時には以下のようにして下さい。

1. オーディオケーブルを使って外部音源とINPUT1またはINPUT2のL端子を接続します。

2. もう1本のオーディオケーブルでオルガンのMONO出力端子とLESLIE ROTARY IN端子を接続します。

4. OUTPUT - L & R - （ライン出力端子）

オルガンの音を出力します。外部アンプに接続できます。

ご注意：オルガンに接続するアンプがモノラルまたは1チャンネルの場合はMONO端子を使用して下さい。

5. LESLIE（11ピンレスリーコネクター）-

11ピンのレスリースピーカーを接続するための端子です。

6. MIDI JACKS

標準MIDI端子です。シーケンサー、音源モジュールなどの外部MIDI機器を接続する時にご使用下さい。

7. FOOT SWITCH IN（フットスイッチ入力端子）-

別売のハモンドフットスイッチを接続します。ここに接続されるフットスイッチはインフォメーションセンターディスプレイ（メニューモードC画面の[3]"FOOTSW")において"FOOTSW2"（フットスイッチ2）と表されます。

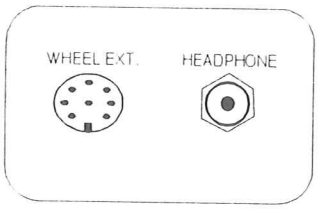
8. PEDAL KEYBOARD IN （足鍵盤接続端子）

足鍵盤をオルガンに接続して下さい。

9. AC LINE （AC電源コード端子）

オルガンに付属している電源コードを接続して下さい。

先のメインアクセサリーパネルの他に、オルガンの下鍵盤の左下に小さな端子パネルがあり、次の２つの端子がついています。



WHEEL EXT.

ピッチベンド／モジュレーションホイールコントロールボックスを接続して下さい。

HEADPHONE

ステレオヘッドフォン用の端子です。音を外に出さずに演奏できますので練習などにお役立て下さい。

仕様

鍵盤

上61鍵 C1 ～ C6
下61鍵 C1 ～ C6

ドローバー

16'、5 '、8'、4'、22/3'、2'、13/5'、1 '、1' スローアタック、

ドローバーボイシング - B-Type/Mellow/Brite、アジャスタブルホールドバック

パーカッション

セカンドハーモニクス(4')、サードハーモニクス(22/3')、ファーストディケイ、パーカッションソフト、アジャスタブルタッチ、ベロシティ、アジャスタブルリュームレベル

ビブラート

上鍵盤／下鍵盤、V1、V2、V3、C1、C2、C3、スピードーSlow/Mid/Normal/Midfast/Fast

キークリック

Off/Soft/Normal/Max

チューブオーバードライブ

任意の量に設定可

チューニング

1 Hz 単位（430Hz ～ 450Hz）

トランスポーズ

6 半音上、6 半音下

液晶ディスプレイ

20字、2行

プリセット

キャンセル、プログラム可

レスリー

Off/Slow/Fast

ベロシティ

パーカッションOff/On
MIDIベロシティOff/ 1～6

サスティーン

上鍵盤／下鍵盤／足鍵盤 - Short/Mid/Long

デジタルリバーブ

4 プログラムー Room/Live/Hall/Church

ホイール

モジュレーション／ピッチベンド（±12半音）

コントロール

電源ON/OFF、トータルボリューム、リバーブ、外部入力ボリューム チューブオーバードライブ、トレブル、バス、プログラマブルフットスイッチ×2

接続端子

外部入力1、外部入力2、レスリーロータリー入力、ライン出力モノ、ラ　イン出力L、ライン出力R、MIDI In、MIDI Out、MIDI Thru フットスイッチ、ペダルキーボード、AC電源コードコネクター、11ピンレスリーコネクター

付録 A グローバルイニシャルデータ

	NO	FUNCTION	B-3	JAZZ	THEATRE	MIDI
Touch Tabs	01	Vibrato Mode	1	1	1	1
	02	Vibrato Chorus	Off	Off	Off	Off
	03	Pedal To Lower	Off	Off	Off	Off
	04	Lower To Pedal	Off	Off	Off	Off
	05	Upper MIDI OUT On/Off	On	On	On	On
	06	Lower MIDI OUT On/Off	On	On	On	On
	07	Pedal MIDI OUT On/Off	On	On	On	On
A-2	08	Vibrato Speed	Normal	Normal	Normal	Normal
B-2	09	Master Tune	440Hz	440Hz	440Hz	440Hz
	10	Tune Mode	B-3 Pitch	B-3 Pitch	B-3 Pitch	B-3 Pitch
C-3	11	Foot Switch 1 Internal Mode	Leslie S/F	Leslie S/F	Leslie S/F	Leslie S/F
	12	Foot Switch 2 Internal Mode	LM Soste	LM Soste	LM Soste	LM Soste
	13	Foot Switch 1 Alt/Mom	Alt	Alt	Alt	Alt
	14	Foot Switch 2 Alt/Mom	Mom	Mom	Mom	Mom
	15	Foot Switch 2 Press Type	PRS+	PRS+	PRS+	PRS+
C-4	16	Pressure Internal Curve Upper	3	3	3	3
	17	Pressure Internal Curve Lower	3	3	3	3
D-1	18	Ext In 1 Expression On/Off	Non Exp	Non Exp	Non Exp	Non Exp
	19	Ext In 2 Expression On/Off	Non Exp	Non Exp	Non Exp	Non Exp
	20	Expression Curve	Console	Console	Console	Console
D-2	21	Tube Overdrive Level	3	3	3	3
	22	Leslie Channel	1ch	1ch	1ch	1ch
D-3	23	"Pedal To" Mode	Lower	Lower	Lower	Lower
	24	Pedal To Lower High Key	3C	3C	3C	3C
	25	Lower To Pedal High Key	3C	3C	3C	3C
	26	Pedal To Upper High Key	3C	3C	3C	3C
D-4	27	Reverb Mode	Hall	Hall	Hall	Hall
E-1	28	Local SW	On	On	On	On
	29	NRPN SW	Off	Off	Off	Off
	30	Expression Mode Int/Ext	Internal	Internal	Internal	Internal
	31	MIDI Drawbar Filter	Off	Off	Off	Off
	32	MIDI OUT Velocity Curve	1	1	1	1
	33	MIDI OUT Pressure Curve	1	1	1	1
	34	MIDI SOFT THRU On/Off	Off	Off	Off	Off
	35	Leslie S/F MIDI Code	Off	Off	Off	Off
	36	UM A♯ Drawbar MIDI Volume	Off	Off	Off	On
F-2	37	Dump Receive SW	On	On	On	On
	38	Dump Device ID Number	1ch	1ch	1ch	1ch
F-3	39	Preset Play Mode	B-3	B-3	B-3	Standard
	40	Preset Record Mode	All	All	All	All

付録Ｂ プリセットイニシャルデータ

Upper Reverse Key Presets -- Standard and Theatre Presets

	NO	FUNCTION	C	C♯	D	D♯	E	F	F♯	G	G♯	A	A♯	B
SW	01	Vibrato On/Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	02	Leslie On/Off	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	03	Leslie Slow/Fast	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	04	Percussion 2nd	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	05	Percussion 3rd	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	06	Percussion Fast	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	07	Percussion Soft	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
Play	08	Sustain On/Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
A-1	09	Drawbar Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type
	10	Drawbar Fold Back	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G
	11	Perc. Drawbar Cancel	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	12	DB Level W/Percuss	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db
A-3	13	Drawbar Attack Mode	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C
A-4	14'	Sustain Mode	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid
B-1	15	Percussion Touch	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	16	Percussion Velocity	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	17	Percussion Level	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
B-3	18	Keymap Int. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	19	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	20	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	21	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
B-4	22	Key Chng. Ext. Oct. Key	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	23	Ext. Oct. Key	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	24	Ext. Oct. Key	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
C-1	25	Bender On/Off Int.	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	26	Ext. 1	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	27	Ext. 2	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	28	Ext. 3	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	29	Bend Length (Internal)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
C-2	30	Modulation Leslie S/f	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	31	Modulation 2nd Drawbar	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	32	2nd Drawbar Preset No.	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯
	33	Modulation Drive Cont.	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
C-4	34	Pressure Bend	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	35	Pressure Leslie S/F	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	36	Pressure 2nd Drawbar	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	37	Pressure Drive Cont.	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
E-1	38	MIDI Ch. No. Int.	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1
	39	Ext. 1	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2
	40	Ext. 2	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3
	41	Ext. 3	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4
E-3	42	Program No. Ext. 1	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
	43	Ext. 2	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
	44	Ext. 3	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
C-3	45	Foot Sw1 Code Ext. 1	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	46	Ext. 2	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	47	Ext. 3	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	48	Foot Sw2 Code Ext. 1	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	49	Ext. 2	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	50	Ext. 3	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
C-2	51	Modulation Ext. 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	52	Code Ext. 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	53	Ext. 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
D-1	54	Expression Ext. 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	55	Code Ext. 2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	56	Ext. 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	57	Expression Ext. 1	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	58	Code Ext. 2	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	59	Ext. 3	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	60	Expression Ext. 1	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press
	61	Code Ext. 2	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press
	62	Ext. 3	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press

付録 B プリセットイニシャルデータ

Lower Reverse Key Presets -- Standard and Theatre Presets

	NO	FUNCTION	C	C♯	D	D♯	E	F	F♯	G	G♯	A	A♯	B
SW	01	Vibrato On/Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
Play	02	Sustain On/Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
A-1	03	Drawbar Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type
	04	Drawbar Fold Back	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G
A-3	05	Drawbar Attack Mode	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C
A-4	06*	Sustain Mode	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid
B-3	07	Keymap Int. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	08	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	09	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	10	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
B-4	11	Key Chng. Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	12	Key	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	13	Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
		Key												
		Ext. Oct.												
		Key												
C-1	14	Bender On/Off Int.	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	15	Ext. 1	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	16	Ext. 2	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	17	Ext. 3	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	18	Bend Length (Internal)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
C-2	19	Modulation 2nd Drawbar	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	20	2nd Drawbar Preset No.	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯
C-4	21	Pressure Bend	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	22	Pressure Leslie S/F	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	23	Pressure 2nd Drawbar	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	24	Pressure Drive Cont.	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
E-1	25	MIDI Ch. No. Int.	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5
	26	Ext. 1	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6
	27	Ext. 2	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7
	28	Ext. 3	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8
E-3	29	Program No. Ext. 1	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
	30	Ext. 2	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
	31	Ext. 3	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
C-3	32	Foot Sw1 Ext. 1	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	33	Code Ext. 2	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	34	Ext. 3	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	35	Foot Sw2 Ext. 1	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	36	Code Ext. 2	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	37	Ext. 3	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
C-2	38	Modulation Ext. 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	39	Code Ext. 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	40	Ext. 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
D-1	41	Expression Ext. 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	42	Code Ext. 2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	43	Ext. 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	44	Expression Ext. 1	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	45	Code Ext. 2	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	46	Ext. 3	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	47	Expression Ext. 1	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press
	48	Code Ext. 2	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press
	49	Ext. 3	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press

付録Bプリセットイニシャルデータ

Upper Reverse Key Presets -- Jazz Presets

	NO	FUNCTION	C	C♯	D	D♯	E	F	F♯	G	G♯	A	A♯	B
SW	01	Vibrato On/Off	Off	On	On	Off	On	On	Off	On	On	Off	Off	Off
	02	Leslie On/Off	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	03	Leslie Slow/Fast	Off	On	On	Off	On	On	Off	On	Off	Off	Off	Off
	04	Percussion 2nd	Off	Off	Off	Off	Off	Off	On	Off	Off	Off	Off	Off
	05	Percussion 3rd	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	On	Off	Off	Off
	06	Percussion Fast	Off	Off	Off	Off	Off	Off	On	Off	On	Off	Off	Off
	07	Percussion Soft	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	On	Off	Off	Off
Play	08	Sustain On/Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
A-1	09	Drawbar Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type
	10	Drawbar Fold Back	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G
	11	Perc. Drawbar Cancel	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	12	DB Level W/Percuss	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db
A-3	13	Drawbar Attack Mode	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C
A-4	14'	Sustain Mode	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid
B-1	15	Percussion Touch	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	16	Percussion Velocity	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	17	Percussion Level	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
B-3	18	Keymap Int. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	19	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	20	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	21	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
B-4	22	Key Chng. Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	23	Key	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	24	Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
		Key												
		Ext. Oct.												
		Key												
C-1	25	Bender On/Off Int.	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	26	Ext. 1	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	27	Ext. 2	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	28	Ext. 3	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	29	Bend Length (Internal)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
C-2	30	Modulation Leslie S/f	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	31	Modulation 2nd Drawbar	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	32	2nd Drawbar Preset No.	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯
	33	Modulation Drive Cont.	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
C-4	34	Pressure Bend	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	35	Pressure Leslie S/F	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	36	Pressure 2nd Drawbar	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	37	Pressure Drive Cont.	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
E-1	38	MIDI Ch. No. Int.	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1
	39	Ext. 1	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2
	40	Ext. 2	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3
	41	Ext. 3	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4
E-3	42	Program No. Ext. 1	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
	43	Ext. 2	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
	44	Ext. 3	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
C-3	45	Foot Sw1 Ext. 1	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	46	Code Ext. 2	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	47	Ext. 3	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	48	Foot Sw2 Ext. 1	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	49	Code Ext. 2	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	50	Ext. 3	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
C-2	51	Modulation Ext. 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	52	Code Ext. 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	53	Ext. 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
D-1	54	Expression Ext. 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	55	Code Ext. 2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	56	Ext. 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	57	Expression Ext. 1	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	58	Code Ext. 2	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	59	Ext. 3	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	60	Expression Ext. 1	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press
	61	Code Ext. 2	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press
	62	Ext. 3	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press

付録 B プリセットイニシャルデータ

Lower Reverse Key Presets -- Jazz Presets

	NO	FUNCTION	C	C♯	D	D♯	E	F	F♯	G	G♯	A	A♯	B
SW	01	Vibrato On/Off	Off	On	Off	On	Off	Off	On	Off	Off	Off	Off	Off
Play	02	Sustain On/Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
A-1	03	Drawbar Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type
	04	Drawbar Fold Back	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G
A-3	05	Drawbar Attack Mode	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C
A-4	06	Sustain Mode	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid
B-3	07	Keymap Int. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	08	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	09	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	10	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
B-4	11	Key Chng. Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	12	Key	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	13	Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
		Key												
		Ext. Oct.												
		Key												
C-1	14	Bender On/Off Int.	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	15	Ext. 1	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	16	Ext. 2	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	17	Ext. 3	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	18	Bend Length (Internal)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
C-2	19	Modulation 2nd Drawbar	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	20	2nd Drawbar Preset No.	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯
C-4	21	Pressure Bend	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	22	Pressure Leslie S/F	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	23	Pressure 2nd Drawbar	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	24	Pressure Drive Cont.	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
E-1	25	MIDI Ch. No. Int.	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5
	26	Ext. 1	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6
	27	Ext. 2	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7
	28	Ext. 3	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8
E-3	29	Program No. Ext. 1	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
	30	Ext. 2	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
	31	Ext. 3	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
C-3	32	Foot Sw1 Ext. 1	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	33	Code Ext. 2	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	34	Ext. 3	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	35	Foot Sw2 Ext. 1	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	36	Code Ext. 2	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	37	Ext. 3	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
C-2	38	Modulation Ext. 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	39	Code Ext. 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	40	Ext. 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
D-1	41	Expression Ext. 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	42	Code Ext. 2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	43	Ext. 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	44	Expression Ext. 1	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	45	Code Ext. 2	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	46	Ext. 3	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	47	Expression Ext. 1	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press
	48	Code Ext. 2	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press
	49	Ext. 3	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press

付録Ｂ プリセットイニシャルデータ

Upper Reverse Key Presets -- MIDI Presets

	NO	FUNCTION	C	C♯	D	D♯	E	F	F♯	G	G♯	A	A♯	B
SW	01	Vibrato On/Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	02	Leslie On/Off	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	03	Leslie Slow/Fast	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	04	Percussion 2nd	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	05	Percussion 3rd	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	06	Percussion Fast	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	07	Percussion Soft	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
Play	08	Sustain On/Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
A-1	09	Drawbar Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type
	10	Drawbar Fold Back	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G
	11	Perc. Drawbar Cancel	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	12	DB Level W/Percuss	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db
A-3	13	Drawbar Attack Mode	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C
A-4	14'	Sustain Mode	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid
B-1	15	Percussion Touch	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	16	Percussion Velocity	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	17	Percussion Level	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
B-3	18	Keymap Int. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	19	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	20	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	21	Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
B-4	22	Key Chng. Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	23	Key	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	24	Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
		Key												
		Ext. Oct.												
		Key												
C-1	25	Bender On/Off Int.	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	26	Ext. 1	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	27	Ext. 2	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	28	Ext. 3	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	29	Bend Length (Internal)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
C-2	30	Modulation Leslie S/f	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	31	Modulation 2nd Drawbar	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	32	2nd Drawbar Preset No.	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯
	33	Modulation Drive Cont.	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
C-4	34	Pressure Bend	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	35	Pressure Leslie S/F	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	36	Pressure 2nd Drawbar	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	37	Pressure Drive Cont.	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
E-1	38	MIDI Ch. No. Int.	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1	On 1
	39	Ext. 1	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2	On 2
	40	Ext. 2	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3	On 3
	41	Ext. 3	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4	On 4
E-3	42	Program No. Ext. 1	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
	43	Ext. 2	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
	44	Ext. 3	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
C-3	45	Foot Sw1 Ext. 1	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	46	Code Ext. 2	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	47	Ext. 3	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	48	Foot Sw2 Ext. 1	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	49	Code Ext. 2	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	50	Ext. 3	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
C-2	51	Modulation Ext. 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	52	Code Ext. 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	53	Ext. 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
D-1	54	Expression Ext. 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	55	Code Ext. 2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	56	Ext. 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	57	Expression Ext. 1	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	58	Code Ext. 2	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	59	Ext. 3	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	60	Expression Ext. 1	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press
	61	Code Ext. 2	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press
	62	Ext. 3	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press

付録 B プリセットイニシャルデータ

Lower Reverse Key Presets -- MIDI Presets

	NO	FUNCTION		C	C♯	D	D♯	E	F	F♯	G	G♯	A	A♯	B
SW	01	Vibrato On/Off		Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
Play	02	Sustain On/Off		Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
A-1	03	Drawbar Type		B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type	B-Type
	04	Drawbar Fold Back		2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G	2C-4G
A-3	05	Drawbar Attack Mode		Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C	Norm C
A-4	06	Sustain Mode		Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid	Mid
B-3	07	Keymap	Int. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	08		Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	09		Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
	10		Ext. Key	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C
B-4	11	Key Chng.	Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	12		Key	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	13		Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0	+0 +0
			Key												
			Ext. Oct.												
			Key												
C-1	14	Bender On/Off	Int.	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	15		Ext. 1	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	16		Ext. 2	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	17		Ext. 3	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On	On
	18	Bend Length	(Internal)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
C-2	19	Modulation 2nd Drawbar		Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	20	2nd Drawbar Preset No.		A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯
C-4	21	Pressure Bend		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	22	Pressure Leslie S/F		Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	23	Pressure 2nd Drawbar		Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	24	Pressure Drive Cont.		Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
E-1	25	MIDI Ch. No.	Int.	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5	On 5
	26		Ext. 1	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6	On 6
	27		Ext. 2	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7	On 7
	28		Ext. 3	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8	On 8
E-3	29	Program No.	Ext. 1	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
	30		Ext. 2	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
	31		Ext. 3	On 1	On 2	On 3	On 4	On 5	On 6	On 7	On 8	On 9	On 10	On 11	On 12
C-3	32	Foot Sw1	Ext. 1	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	33	Code	Ext. 2	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	34		Ext. 3	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
	35	Foot Sw2	Ext. 1	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	36	Code	Ext. 2	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	37		Ext. 3	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
C-2	38	Modulation	Ext. 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	39	Code	Ext. 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	40		Ext. 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
D-1	41	Expression	Ext. 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	42	Code	Ext. 2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	43		Ext. 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	44	Expression	Ext. 1	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	45	Code	Ext. 2	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	46		Ext. 3	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
	47	Expression	Ext. 1	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press
	48	Code	Ext. 2	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press
	49		Ext. 3	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press	Press

付録Ｂ プリセットイニシャルデータ

Pedal Presets -- Standard/Jazz/Theater

	NO	FUNCTION		1	2	M
SW	01	Sustain On/Off		Off	Off	Off
A-1	02	Drawbar Type		Normal	Normal	Normal
A-3	03	Drawbar Attack Mode		Norm C	Norm C	Norm C
A-4	04	Sustain Mode		Mid	Mid	Mid
B-3	05	Keymap	Int. Key	1C-3C	1C-3C	1C-3C
	06		Ext. Key	1C-3C	1C-3C	1C-3C
	07		Ext. Key	1C-3C	1C-3C	1C-3C
	08		Ext. Key	1C-3C	1C-3C	1C-3C
B-4	09	Key Chng.	Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	10		Key	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	11		Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0
			Key			
			Ext. Oct.			
			Key			
C-1	12	Bender On/Off	Int.	On	On	On
	13		Ext. 1	On	On	On
	14		Ext. 2	On	On	On
	15		Ext. 3	On	On	On
	16	Bend Length	(Internal)	1	1	1
E-1	17	MIDI Ch. No.	Int.	Off 9	Off 9	Off 9
	18		Ext. 1	On 11	On 11	On 11
	19		Ext. 2	On 12	On 12	On 12
	20		Ext. 3	On 13	On 13	On 13
E-3	21	Program No.	Ext. 1	On 1	On 2	On 3
	22		Ext. 2	On 1	On 2	On 3
	23		Ext. 3	On 1	On 2	On 3
C-3	24	Foot Sw1	Ext. 1	Off	Off	Off
	25	Code	Ext. 2	Off	Off	Off
	26		Ext. 3	Off	Off	Off
	27	Foot Sw2	Ext. 1	64	64	64
	28	Code	Ext. 2	64	64	64
	29		Ext. 3	64	64	64
C-2	30	Modulation	Ext. 1	1	1	1
	32	Code	Ext. 2	1	1	1
	33		Ext. 3	1	1	1
D-1	33	Expression	Ext. 1	7	7	7
	34	Code	Ext. 2	7	7	7
	35		Ext. 3	7	7	7
	44	Expression	Ext. 1	Normal	Normal	Normal
	45	Mode	Ext. 2	Normal	Normal	Normal
	46		Ext. 3	Normal	Normal	Normal

付録 B プリセットイニシャルデータ

Pedal Presets -- MIDI

	NO	FUNCTION		1	2	M
SW	01	Sustain On/Off		Off	Off	Off
A-1	02	Drawbar Type		Normal	Normal	Normal
A-3	03	Drawbar Attack Mode		Norm C	Norm C	Norm C
A-4	04	Sustain Mode		Mid	Mid	Mid
B-3	05	Keymap	Int. Key	1C-3C	1C-3C	1C-3C
	06		Ext. Key	1C-3C	1C-3C	1C-3C
	07		Ext. Key	1C-3C	1C-3C	1C-3C
	08		Ext. Key	1C-3C	1C-3C	1C-3C
B-4	09	Key Chng.	Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	10		Key	+0 +0	+0 +0	+0 +0
	11		Ext. Oct.	+0 +0	+0 +0	+0 +0
			Key			
			Ext. Oct.			
			Key			
C-1	12	Bender On/Off	Int.	On	On	On
	13		Ext. 1	On	On	On
	14		Ext. 2	On	On	On
	15		Ext. 3	On	On	On
	16	Bend Length	(Internal)	1	1	1
E-1	17	MIDI Ch. No.	Int.	Off 9	Off 9	Off 9
	18		Ext. 1	On 11	On 11	On 11
	19		Ext. 2	On 12	On 12	On 12
	20		Ext. 3	On 13	On 13	On 13
E-3	21	Program No.	Ext. 1	On 1	On 2	On 3
	22		Ext. 2	On 1	On 2	On 3
	23		Ext. 3	On 1	On 2	On 3
C-3	24	Foot Sw1	Ext. 1	Off	Off	Off
	25	Code	Ext. 2	Off	Off	Off
	26		Ext. 3	Off	Off	Off
	27	Foot Sw2	Ext. 1	64	64	64
	28	Code	Ext. 2	64	64	64
	29		Ext. 3	64	64	64
C-2	30	Modulation	Ext. 1	1	1	1
	32	Code	Ext. 2	1	1	1
	33		Ext. 3	1	1	1
D-1	33	Expression	Ext. 1	7	7	7
	34	Code	Ext. 2	7	7	7
	35		Ext. 3	7	7	7
	44	Expression	Ext. 1	Normal	Normal	Normal
	45	Mode	Ext. 2	Normal	Normal	Normal
	46		Ext. 3	Normal	Normal	Normal

お手入れのしかた

キャビネット

オルガンのお手入れには、柔らかい布を水か薄い石けん水に浸しよく絞ったものをご使用下さい。湿った布で汚れを拭きとった後は、すぐに乾いた柔らかい布で水分を拭きとって下さい。塗装面には、スプレー式のワックス、つや出し剤、溶剤などをご使用にならないで下さい。

鍵盤とスイッチ類

鍵盤とスイッチ類の汚れは、水に濡らした清潔な柔らかい布で拭きとって下さい。溶剤やシンナーまたはアルコール、ガソリン、灯油、テトラクロルメタンなどの揮発性のものはご使用にならないで下さい。このような溶剤をご使用になると鍵盤やスイッチ類の塗装面が変質したり表示されている文字が消えることがあります。

オルガンの運搬

オルガンを移動させる時に、ボルトで止めなければならないような部分はありません。ごく一般的な注意を払っていただくだけで十分です。楽器を物にぶつけたり落としたりして激しい衝撃を与えないようにして下さい。

ハモンド社は常に製品の向上を目指して研究開発を続けていますので、予告なく仕様を変更することがあります。もし不明な点がありましたら、お買い上げになったハモンド正規取扱店にお問い合わせ下さい。

In Japan Contact:

HAMMOND SUZUKI, Ltd.
25-12, Ryoke 2 Chome
Hamamatsu 430 (Shizuoka)
JAPAN

In the United States contact:

HAMMOND SUZUKI U.S.A., Inc.
733 Annoreno Dr.
Addison, ILL 60101
UNITED STATES

In the United Kingdom contact:

HAMMOND U.K., LTD.
Potash House
Drayton Parslow
Bucks, MK17 OJE
UNITED KINGDOM

In Canada contact:

HAMMOND KEYBOARDS CANADA LTD.
P.O. Box 32587
9665 Bayview Avenue
Richmond Hill, Ontario L4C 0A2
CANADA

In Europe contact:

HAMMOND SUZUKI EUROPE B.V
Industriepark Hagestein
Ir. D.S. Tuynmanweg 4A
4131 PN Vianen
P.O. Box 282
4130 EG Vianen
THE NETHERLANDS

In Germany contact:

HAMMOND SUZUKI DEUTSCHLAND GmbH
Kirchstraße 19
D-7907 SETZINGEN/ULM
GERMANY

警告：感電事故を避けるためにも、ユーザーの方は仕様の変更や修理を行わないようにして下さい。修理はすべて資格のある担当者にご相談下さるようお願いいたします。

Hammond Organ Model XB-3

Index

AC電源(4)
アクセサリーパネル(176)
　11ピンレスリーコネクター(177)
　AC電源コネクター(177)
　外部入力端子1 - L & R - (176)
　外部入力端子2 - L & R - (176)
　フットスイッチ入力端子(177)
　レスリーロータリー入力端子(176)
　ライン出力端子 - L & R - (177)
　MIDI端子(177)
　足鍵盤入力端子(177)
最新の機能
　カプラー(158)
　ドローバーアタック(66)
　ドローバー(50)
　エクスプレッションペダル(153)
　フットスイッチ(137)
　キープレッシャー(141)
　レスリー(85)
　メニューモードA-1 DRAWBAR(31)
　メニューモードA-2 VIBRATO(31)
　メニューモードA-3 ATTACK(31)
　メニューモードA-4 SUSTAIN(31)
　メニューモードB-1 PERCUSS(32)
　メニューモードB-2 TUNE(32)
　メニューモードB-3 KEYMAP(32)
　メニューモードB-4 KEYCHING(32)
　メニューモードC-1 BENDER(33)
　メニューモードC-2 MOD(33)
　メニューモードC-3 FOOTSW(33)
　メニューモードC-4 PRESS(33)
　メニューモードD-1 EXP.PED(34)
　メニューモードD-2 AUDIO(34)
　メニューモードD-3 COUPLER(34)
　メニューモードD-4 REVERB(34)
　メニューモードE-1 MIDISYS(35)
　メニューモードE-2 MIDI.CH(35)
　メニューモードE-3 PROGRAM(35)
　メニューモードE-4 CONTROL(35)
　メニューモードF-1 CARD(36)
　メニューモードF-2 DUMP(36)
　メニューモードF-3 PRESET(36)
　メニューモードF-4 DEFAULT(36)
モジュレーションホイール(129)
　パーカッション(70)
　ピッチベンド(125)
　プリセット(106)
　RAMカード(165)
　リセットの手順(37)
　リバーブ(97)
　プリセットの保存(103)
　セカンドドローバー(61)
　サスティーン(89)
　チューブオーバードライブレベル(93)
　チューン(118)
　ビブラート(80)
ビブラートとコーラスの量
　C-1 〔スモールコーラス〕(21)(79)
　C-2 〔ワイドコーラス〕(22)(79)
　C-3 〔フルコーラス〕(22)(79)
　V-1 〔スモールビブラート〕(19)(78)
　V-2 〔ワイドビブラート〕(19)(78)
　V-3 〔フルビブラート〕(20)(78)
付録
　付録A－グローバルイニシャルデータ(180)
　付録B－プリセットイニシャルデータ(181～188)
オーディオ
　最新の機能－レスリーチャンネル(86)
　最新の機能－チューブオーバードライブレベル(94)
オーディオコントロールの接続(5)
基本的なコントロール(6)
　ドローバー(6)
　インフォメーションセンターディスプレイ(6)
　モジュレーションホイール(9)
　ピッチベンドホイール(9)
　電源スイッチ(6)
　プリセットキー(7)
　RAMカードスロット(9)
　ロータリーコントロール－バス(8)
　ロータリーコントロール－EXT.INボリューム(8)
　ロータリーコントロール－リバーブ(8)
　ロータリーコントロール－トータルボリューム(8)
　ロータリーコントロール－トレブル(8)
　ロータリーコントロール－チューブオーバードライブ(8)
　ロータリーコントロール(8)
　トーンコントロール(8)
　タッチボタン(7)
　タッチタブ(7)
基本的な接続(4)
　AC電源(5)
　オーディオコントロールの接続
　MIDIコントロールの接続(5)
　足鍵盤の接続(5)
　ピッチベンド／モジュレーションホイールコントロールの接続(4)
バスロータリーコントロール(8)
ベンダー
　最新の機能－ピッチベンダー(126)
コーラス
　最新の機能－スピード(81)
　ビブラートとコーラスの量(18)(78)
　C-1 〔スモールコーラス〕(21)(79)
　C-2 〔ワイドコーラス〕(22)(79)
　C-3 〔フルコーラス〕(22)(79)
　ビブラート／コーラスコントロール(16)
カプラー
　最新の機能－足鍵盤から上鍵盤へ(161)
　最新の機能－最高音の設定(159)
選択データ表
　アタッククリック(68)
　カプラーのしかた(162)

カプラー－最高音の設定範囲(160)
ドローバーホールドバックポイント(56)
ドローバーボイシング(52)
エクスプレッションペダルの反応のしかた(157)
エクスプレッションペダルの外部音源に対する機能(155)
フットスイッチの機能(140)
ハモンドジャズオルガンプリセット(115)
ハモンドスタンダード（オリジナルB-3）プリセット(114)
ハモンドシアタープリセット(116)
レスリーチャンネル(87)
レスリーローターの回転速度(83)
プリセットの名称設定に使用できる文字(169)
パーカッションの音量(74)
パーカッションのタッチとベロシティ(72)
ピッチベンドレンジ(127)
プリセットプレイモード(108)
プリセットレコードモード(110)
プレッシャーベンド(143)
プレッシャーによるチューブオーバードライブのコントロール(150)
プレッシャー感度(152)
プレッシャーレスリーSlow/Fast(145)
リバーブモード(99)
セカンドドローバー(65)(131)(134)(148)
サスティーンの長さ(91)
チューブオーバードライブレベル(95)
ビブラートスピード(82)
工場出荷時のプリセット(111)
ドローバー(6)(40)(146)
最新の機能－アタック(66)
最新の機能－アタッククリックボリューム(67)
最新の機能－ドローバーホールドバック(53)
最新の機能－ドローバーの音量とパーカッション(59)
最新の機能－ドローバーボイスモード(51)
最新の機能－パーカッションドローバーキャンセル(57)
最新の機能－セカンドドローバー(61)
最新の機能－サスティーンの長さ(90)
黒のドローバー(43)
高域倍音(41)
茶色のドローバー(43)
色のグループ－黒いドローバー(42)
色のグループ－茶色のドローバー(43)
色のグループ－白いドローバー(42)
基音(41)
レスリー(83)
足鍵盤用ドローバー(49)
音色グループ(41)
低域倍音(41)
サスティーン(88)
基本音色のドローバーセッティングの形－ダイアペーソン(47)
基本音色のドローバーセッティングの形－フルート(45)
基本音色のドローバーセッティングの形－リード(46)
基本音色のドローバーセッティングの形－ストリング(48)
白のドローバー(42)
『ドローバーとパーカッション』の章(39)
エフェクト
コーラス(77)
レスリー(83)
リバーブ(96)
サスティーン(88)
チューブオーバードライブ(92)
ビブラート(77)
『エフェクト』の章(75)
エクスプレッションペダル(15)
最新の機能－エクスプレッションペダルのレスポンス(156)
最新の機能－エクスプレッションペダルによる外部音源の音量調節(154)
外部入力ボリュームロータリーコントロール(8)
ファーストディケイタッチタブ(23)
各部の名称(2)
ヘッドホン端子(178)
インフォメーションセンターディスプレイ(6)
メニューモード(31)
メニューモード－メニューA(31)
メニューモード－メニューB(32)
メニューモード－メニューC(33)
メニューモード－メニューD(34)
メニューモード－メニューE(35)
メニューモード－メニューF(36)
プレイモード(28)
プレイモード－グラフィックとパラメーター(28)
プレイモード－グラフィックのみパラメーターなし(30)
プレイモード－数字とパラメーター(29)
プリセットの手順(37)
タッチボタンの機能(26)
タッチボタン－下段(27)
タッチボタン－上段(27)
『インフォメーションセンターディスプレイ』の章(25)
お手入れのしかた(189)
基本的なコントロール(6)
基本的なコントロール－ドローバー(6)
基本的なコントロール－インフォメーションセンターディスプレイ(6)
基本的なコントロール－ピッチベンドとモジュレーション
ホイール(9)
基本的なコントロール－電源スイッチ(6)
基本的なコントロール－プリセットキー(7)
基本的なコントロール－RAMカードスロット(9)
基本的なコントロール－ロータリーコントロール(8)
基本的なコントロール－タッチボタン(7)
基本的なコントロール－タッチタブ(7)
基本的な接続(4)
各部の名称(2)
『はじめに』の章(1)

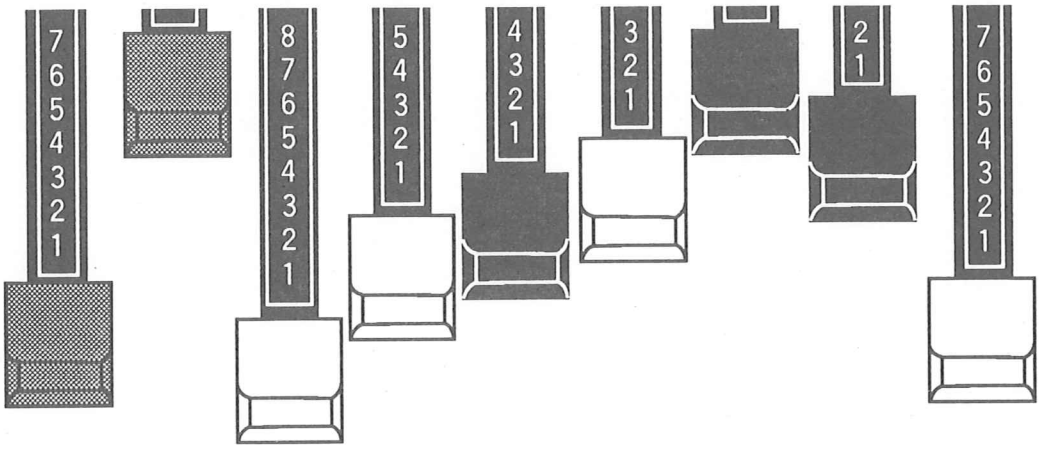
キープレッシャー
最新の機能－レスリーSlow/Fast(144)
最新の機能－ピッチベンド(142)
最新の機能－プレッシャー感度(151)
最新の機能－セカンドドローバー(146)
最新の機能－チューブオーバードライブ(149)
レスリー(83)
最新の機能－キープレッシャー S/F(144)
最新の機能－レスリーチャンネル(86)
FASTタッチタブ(84)
LESLIEタッチタブ(84)
ONタッチタブ(84)
メニューモード(31)
A-1 DRAWBAR(31)
A-2 VIBRATO(31)
A-3 ATTACK(31)
A-4 SUSTAIN(31)
B-1 PERCUSS(32)
B-2 TUNE(32)
B-3 KEYMAP(32)
B-4 KEYCHNG(32)
C-1 BENDER(33)
C-2 MOD(33)
C-3 FOOTSW(33)
C-4 PRESS(33)
D-1 EXP.PED(34)
D-2 AUDIO(34)
D-3 COUPLER(34)
D-4 REVERB(34)
E-1 MIDISYS(35)
E-2 MIDI.CH(35)
E-3 PROGRAM(35)
E-4 CONTROL(35)
F-1 CARD(36)(165)
F-2 DUMP(36)
F-3 PRESET(36)
F-4 DEFAULT(36)
メニュー A(31)
メニュー B(32)
メニュー C(33)
メニュー D(34)
メニュー E(35)
メニュー F(36)
MENUタッチボタン(27)
MIDIコントロールの接続(5)
モジュレーションホイール(9)
最新の機能－レスリー S/F ON/OFF(130)
最新の機能－セカンドドローバー(61)(132)
最新の機能－チューブオーバードライブ(135)
足鍵盤
足鍵盤用ドローバー(49)
足鍵盤の接続(5)
足鍵盤のプリセット(104)
PEDAL TO LOWERタッチタブ(49)
足鍵盤のプリセットの保存(194)
SUSTAIN タッチタブ(49)(88)
PERCUSS.SOFTタッチタブ(23)
パーカッション(23)(69)
最新の機能－パーカッションの音量(73)
最新の機能－パーカッションタッチ(71)
最新の機能－ベロシティ感度(71)
ファーストディケイ(23)
パーカッションソフト(23)
2度のハーモニクス(23)
3度のハーモニクス(23)
ピッチベンド／モジュールホイールの接続(4)
ピッチベンドホイール(9)
プレイモード(28)
グラフィックとパラメーター(28)
グラフィックのみパラメーターなし(30)
数字とパラメーター(29)
PLAYタッチボタン(27)
電源スイッチ(6)(14)
プリセット
最新の機能－プリセットプレイモード(107)
最新の機能－プリセットレコードモード(109)
工場出荷時のプリセット(111)
ハモンドジャズオルガンプリセット(115)
ハモンドスタンダード（オリジナルB-3）プリセット(114)
ハモンドシアタープリセット(116)
足鍵盤のプリセット(104)
プリセットキー(7)(14)(102)
足鍵盤のプリセットの保存(104)
プリセットの保存(103)
『プリセット』の章(101)
RAM カード
消去(173)
フォーマット(166)
ロード(171)
RAM カードスロット(9)(164)
保存(168)
RECORDタッチボタン(27)
参考
11ピンレスリーコネクター(177)
AC電源コネクター(177)
外部入力端子 1 - L & R (176)
外部入力端子 2 - L & R (176)
フットスイッチ入力端子(177)
ヘッドホン端子(178)
レスリーロータリー入力端子(176)
ライン出力端子 - L & R (177)
MIDI端子(177)
足鍵盤接続端子(177)
仕様(179)
WHEEL EXT.端子(9)(178)
『参考』の章(175)
リセットの手順(37)
リバーブ(96)
最新の機能－リバーブモード(98)
REVERBロータリーコントロール(8)
ロータリーコントロール(8)

チューン
最新の機能ーコントローラーオフセット(123)
最新の機能ーチューンモード(121)
最新の機能ーチューニングピッチ(119)

電源を入れて演奏する
パーカッション(23)
オルガンに電源を入れる(14)
ビブラート／コーラスコントロール(16)
『電源を入れて演奏する』の章(11)
オルガンに電源を入れる(14)
『RAM カードの使用』の章(163)
ビブラート(77)
最新の機能ービブラートスピード(81)
ビブラートとコーラスの量(18)(78)
下鍵盤のビブラートON/OFF(17)(78)
オリジナルモデル B-3/C-3と新モデル B-3/C-3(16)
上鍵盤のビブラートON/OFF(17)(78)
V-1（スモールビブラート）(19)(78)
V-2（ワイドビブラート）(19)(78)
V-3（フルビブラート）(20)(78)
ビブラート／コーラスコントロール(16)
WHEEL EXT.端子(9)(178)

ご注意

リチウム電池は正しく交換しないと爆発の危険性があります。交換には必ずメーカーの指定している同タイプのものをご使用下さい。使用済みの電池はメーカーの指示にしたがって処分して下さい。



HAMMOND

Model XB-3

MIDI
リファレンスガイド

MIDIリファレンスガイド

この説明書はお買い上げのハモンドオルガンのMIDIに関連した機能と、インフォメーションセンターディスプレイを使った操作方法をまとめたものです。説明書の概要は次のようになっています。

1. オルガンのもつ最新のMIDI機能を一つ一つ余すところなく紹介。

2. 機能を説明する時に使用するMIDIの用語については必要に応じてあらかじめ説明をしています。

3. 用語に続いて機能の説明をしています。

この説明書にはMIDI用語の簡単な解説がある程度は含まれていますが、MIDI入門書としてかかれたものではありません。MIDIについてまったくの初心者の方は、MIDIの働きや用語そして演奏に生かすためのアプリケーションの例などをわかりやすく紹介している本がたくさん市販されていますので1冊購入されることをお勧めします。

また、MIDIシステムは製品によって少しずつ違っているのが実情で、様々なMIDI機器が販売されている中で複数のMIDI機器を合わせて使用する時、互いにどのような反応があるかということについては必ずしも予測がつきません。そこで、お買い上げになったハモンドオルガンのMIDI機能を最大限に生かすために以下のことに留意されるようお勧めします。

1. MIDIの基本操作についてはできるだけきちんとした知識をもつこと。

2. ご使用になるMIDI機器のMIDIに関する性能を十分に理解しておくこと。
   わかりにくい所は購入店に問い合わせるとよいでしょう。

ー目次ー

MIDIということば …… 5
典型的なMIDIのアプリケーション …… 5
　MIDI IN とMIDI OUT …… 5
　MIDI THRU …… 6
MIDIを作動させるには …… 6
最新の機能ーMIDIシステム …… 7
　MIDISYS - MIDI SYSTEM1 - Local & NRPN ON/OFF …… 8
　MIDISYS - MIDI SYSTEM2 - VELocity & PRESSure(After Touch) …… 10
　MIDISYS - MIDI SYSTEM3 - EXPression IN - INTERNAL/EXTERNAL …… 13
　MIDISYS - MIDI SYSTEM4 - Drawbar Filter ON/OFF …… 15
　MIDISYS - MIDI SYSTEM5 - MIDI SOFT THRU ON/OFF …… 17
　MIDISYS - MIDI SYSTEM6 - Leslie Slow/Fast Code …… 19
　MIDISYS - MIDI SYSTEM7 - Upper "A#" MIDI Volume ON/OFF …… 21
最新の機能ーMIDIチャンネル …… 23
　MIDI - MIDI チャンネル …… 24
最新の機能ーMIDIプログラム …… 26
　MIDI - MIDI プログラムナンバー …… 27
最新の機能ーMIDIコントロール …… 29
　MIDI - CONTROL1 FOOT1 （フットスイッチ 1) …… 30
　MIDI - CONTROL2 FOOT2 （フットスイッチ 2) …… 32
　MIDI - CONTROL3 MOD （モジュレーションホイール) …… 34
　MIDI - CONTROL4 EXP （エクスプレッションペダル) …… 36
　MIDI - CONTROL5 PRESS （アフタータッチ) …… 38
　MIDI - CONTROL6 EXP MODE …… 40
最新の機能ーMIDIキーマップ …… 42
　MIDI -キーマップ …… 43
最新の機能ーMIDIキーチェンジ 46
　MIDI -キーチェンジ …… 47
最新の機能ーMIDIダンプ …… 49
　MIDI -ダンプ …… 50
メモリーダンプーシステムエクスクルーシブデータ …… 52
付録 A パラメーター一覧 …… 53
付録 B グローバルデータ …… 54
付録 C MIDIインプリメンテーション …… 55
付録 D MIDIインプリメンテーション …… 56
付録 D MIDIインプリメンテーション …… 57
付録 D MIDIインプリメンテーションドローバー …… 58

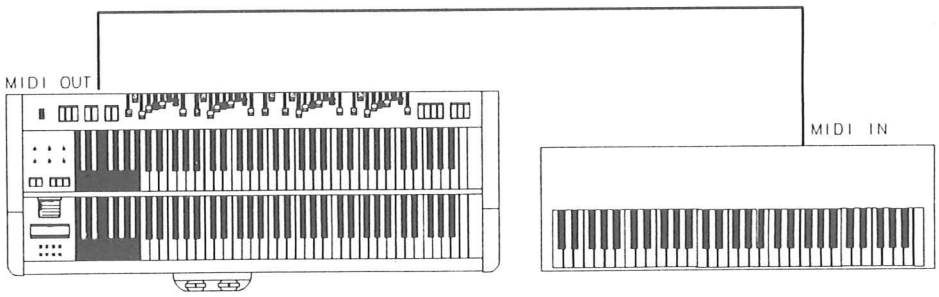
MIDIということば

『MIDI』ということばはMusical Instrument Digital Interfaceの頭文字をとったものです。MIDIはその機能を備えた異なる電子楽器間での操作情報の交換を可能にする国際統一規格です。例えば、シンセサイザーを使ってドラムマシンと情報をやりとりするとか、電子ピアノをコンピューターに対応させるというようなことができます。さらに、MIDIは世界中の楽器メーカーすべてが承認し実行している国際統一規格ですから、異なるメーカーの楽器でもMIDIを通して情報を送受信することが可能です。

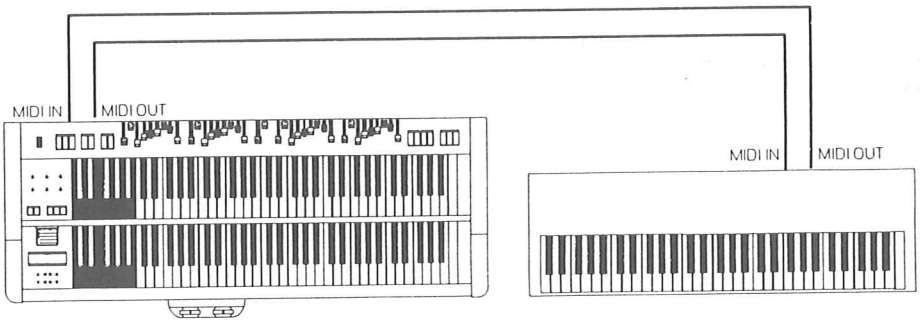
典型的なMIDIのアプリケーション

◆MIDI IN とMIDI OUT

情報交換をするため、MIDIを搭載している楽器には少なくとも２つのMIDI端子、MIDI IN とMIDI OUTが必ずついています。MIDI IN 端子は他の楽器からのMIDIデータを受信するためのもので、MIDI OUT端子は他の楽器に対してMIDIデータを送信する他のものです。



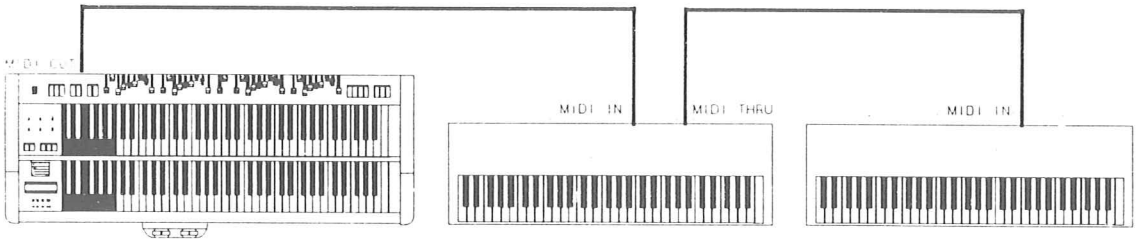
上のイラストの例では、送信側のキーボード(MIDI OUT)で受信側の音源(MIDI IN) をコントロールしています。送信楽器の鍵盤を押えると、受信楽器の同じ鍵盤の音が、まるで押えた鍵盤がその楽器のものであるかのように鳴ります。そして送信楽器の鍵盤から指を離すと、受信楽器から出ていた音が止まります。（このデータを『ノートオン／ノートオフ』と呼びます。）以上は最も基本的なMIDIの接続です。



一方、上のイラストは２台のMIDI機器間で相互の情報交換ができるようになっています。この場合、どちらの楽器の鍵盤も使用でき、互いに相手の楽器の音源をコントロールします。

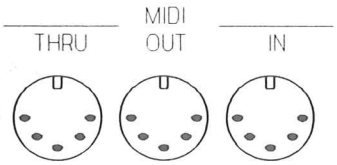
◆MIDI THRU

MIDI機器の多くはMIDI IN、MIDI OUT の他にMIDI THRU という端子があります。この端子を使えば一台の送信楽器で複数の装置をコントロールすることができます。つまり、MIDI OUTから送信されるデータはMIDI IN に入り、同じ楽器のMIDI THRU を通して、もうひとつの楽器に送信されることになります。下のイラストがその接続例です。



この場合、MIDIデータは送信楽器(MIDI OUT)から別の楽器(MIDI IN) に送信され、受信されたデータはそのままMIDI THRU を通して３台目の楽器に送られます。

お買い上げになったハモンドオルガンには右裏の部分にMIDI IN、MIDI OUT、MIDI THRU端子がついています。

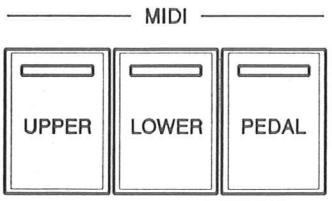


そのMIDIインターフェースを使って次のようなことができます。

(1) 上下の鍵盤および足鍵盤でMIDIノートオン／ノートオフデータを送受信できます。
(2) 上下の鍵盤でMIDIノートベロシティデータを送信できます。
(3) ボリュームおよびサスティーンを含むコントローラーデータを送受信できます。
(4) プログラムナンバー（音を変えるためにプリセットを呼出す時のコード）を送受信できます。
(5) 送受信をするMIDIチャンネルナンバーを1から16までの任意のナンバーに設定できます。
(6) ローカルコントロールON/OFFの切り替えができます。

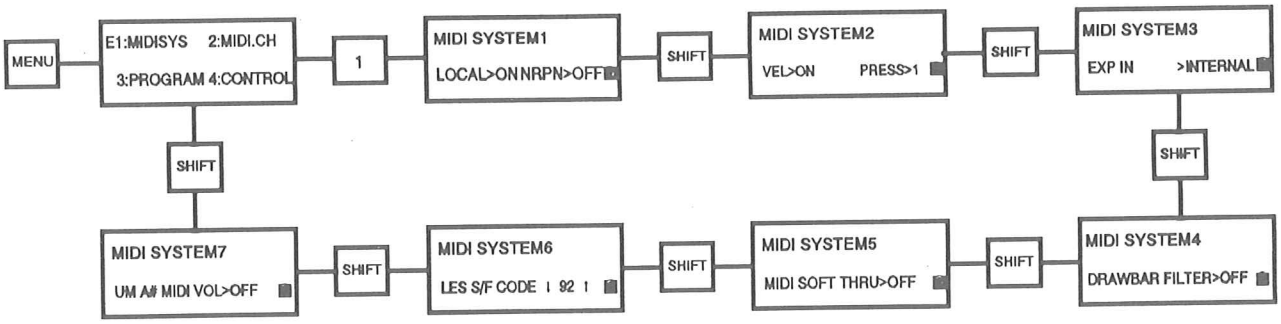
MIDIを作動させるには

上鍵盤の左端、バス・トレブルコントロールの真下に[UPPER][LOWER][PEDAL] という表示のMIDIタッチボタンが３つあります。これは、MIDI信号を送受信する際にMIDI ON/OFF 切り替えを行うためのスイッチです。ONの時にはスイッチのLED が点灯します。



以下の頁では、お買い上げになったハモンドオルガンに搭載されている最新のMIDI機能について説明していきます。

最新の機能 ／MIDIシステム



"MIDI　SYS" MIDIシステムメニューは７つあり、次のようなことができます。

1. MIDI SYSTEM1
このメニューには２種類の選択があります。(1)MIDI　ローカル"ON"または"OFF" (2)NRPN(=Non Registered Program Number未登録プログラムナンバー) "ON または "OFF"
2. MIDI SYSTEM2
このメニューには２種類の選択があります。(1)MIDI ベロシティ曲線(2)MIDI アフタータッチのパラメーター
3. MIDI SYSTEM3
エクスプレッションペダルに対して"INTERNAL"コントロールまたは"EXTERNAL" コントロールのいずれかを設定できます。
4. MIDI SYSTEM4
ドローバーフィルターの"ON""OFF" 切り替えができます。
5. MIDI SYSTEM5
MIDIソフトスルーの"ON""OFF" 切り替えができます。
6. MIDI SYSTEM6
レスリースロー／ファースト機能に対するコントロールコードを設定できます。
7. MIDI SYSTEM7
上鍵盤の"A#"ドローバーを使って外部MIDI音源の音量調節をする機能について "ON""OFF" 切り替えができます。

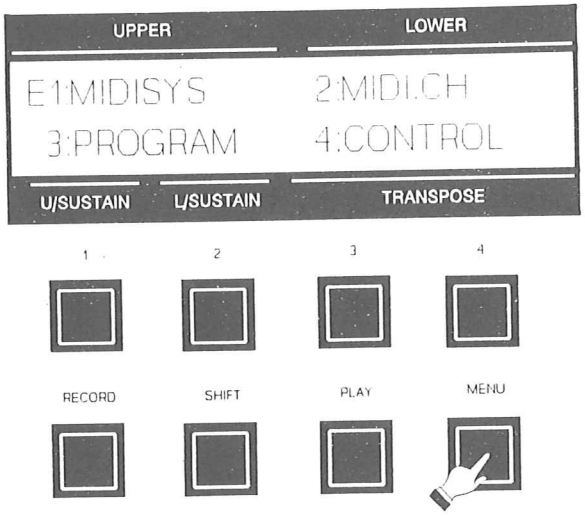
以下の頁ではそれぞれの機能について具体的に説明していきます。

◆MIDISYS - MIDI SYSTEM1 - Local & NRPN ON/OFF

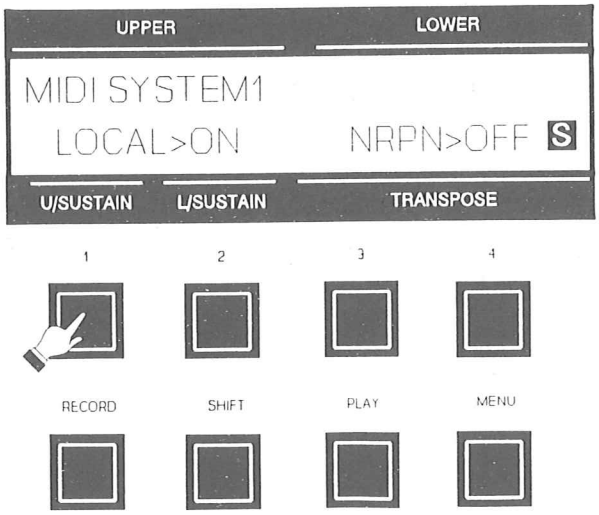
このメニューではMIDIに関して次の２種類の選択ができます。(1) MIDIローカル機能"ON"または"OFF" (2) NRPN(=Non Registered Program Number 未登録プログラムナンバー) "ON"または"OFF"

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[1]のを押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



MIDIローカルコントロールはMIDI楽器がそれ自体の音で演奏できるかどうかを決めるものです。例えばお買い上げになったハモンドオルガンは通常、MIDIデータの送受信だけでなく、上下鍵盤および足鍵盤のレジストレーションによる音もすべて演奏できるように設定されています。しかし場合によっては、オルガン自体の音は一切使わずに、接続したMIDI機器の音だけで演奏したいということもあるかもしれません。

4. タッチボタンの[1]か[2]のいずれかを押して"MIDI LOCAL"コマンドを"ON"または"OFF"にして下さい。"MIDI LOCAL OFF" の時は、オルガン自体の音が出なくなり、オルガンにMIDIで接続されているMIDI機器の音だけが出ます。

5. タッチボタンの[3] か[4] のいずれかを押して"MIDI NRPN(=Non Registered Program Number)" コマンドを"ON"または"OFF" にして下さい。"NRPN ON" の時は、オルガン固有のコントロールコード（例えばビブラートのタッチタブのON/OFFなど）を送受信します。

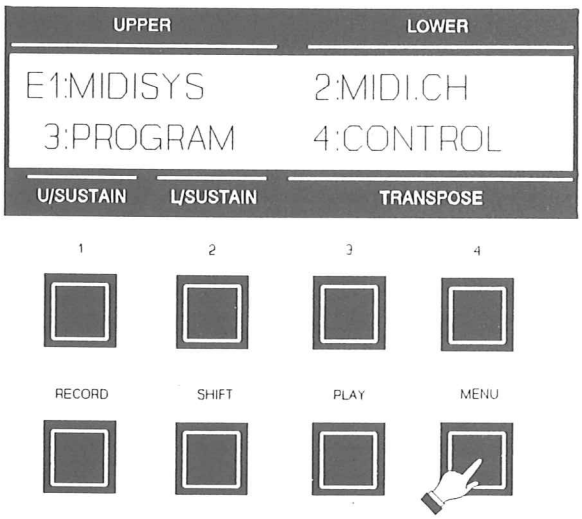
ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

◆MIDISYS-MIDI SYSTEM 2-VELocity & PRESSure (After Touch)

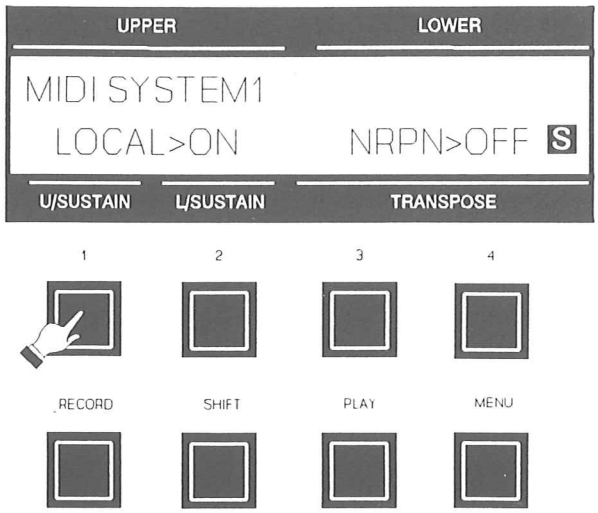
このメニューではMIDIに関して次の２種類の選択ができます。(1) オルガンの鍵盤からMIDIノートベロシティデータが送信されます。そのベロシティ曲線を1から6までのいずれかに設定するか、または"OFF" にすることもできます。(2) オルガンの鍵盤からMIDIアフタータッチデータが送信されます。1から6まで値でタッチ曲線を選択できます。

試してみましょう：

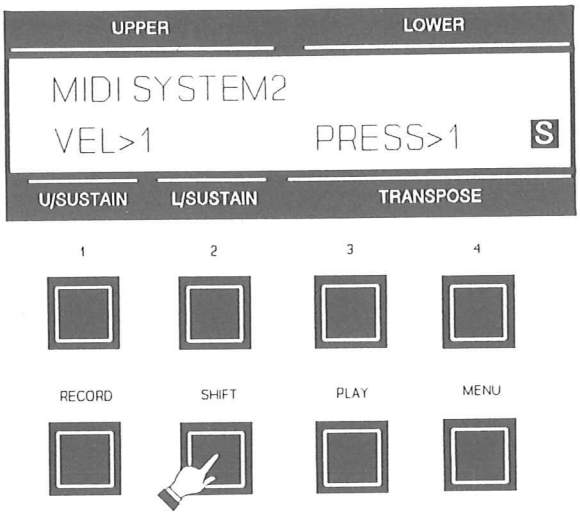
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[1] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT]を1回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. 以下の要領で6種類のMIDIベロシティ曲線から1つを選択して下さい。

黒いタッチボタンの[1]を押すとベロシティー曲線の値が下にスクロールします。(OFF →6 →5 →4 →3 →2 →1)

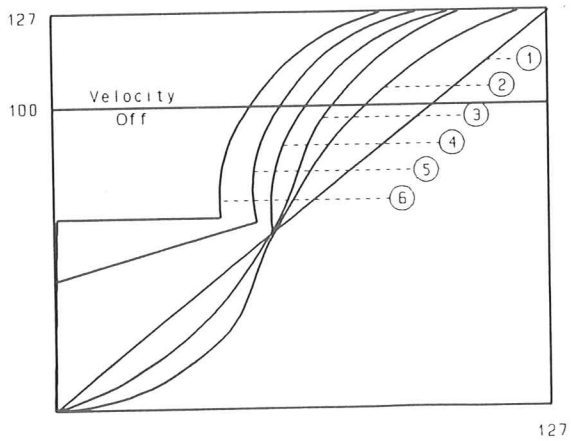
黒いタッチボタンの[2]を押すとベロシティー曲線の値が上にスクロールします。(1 → 2 →3 →4 →5 →6 →OFF)

黒いタッチボタンの[3]を押すとアフタータッチ曲線の値が下にスクロールします。(6 →5 →4 →3 →2 →1)

黒いタッチボタンの[4]を押すとアフタータッチ曲線の値が上にスクロールします。(1 →2 →3 →4 →5 →6)

下のグラフは6つの曲線の違いをまとめたものです。

MIDI OUT VELOCITY AND AFTERTOUCH CURVES



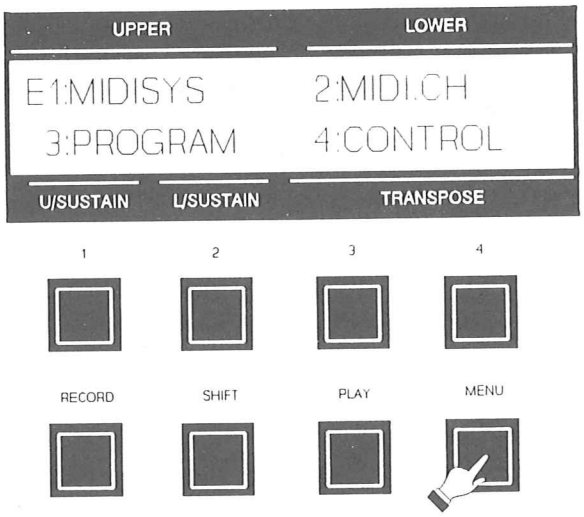
ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタン[PLAY]を押します。

◆MIDISYS-MIDI SYSTEM3 - EXPression IN - INTERNAL / EXTERNAL

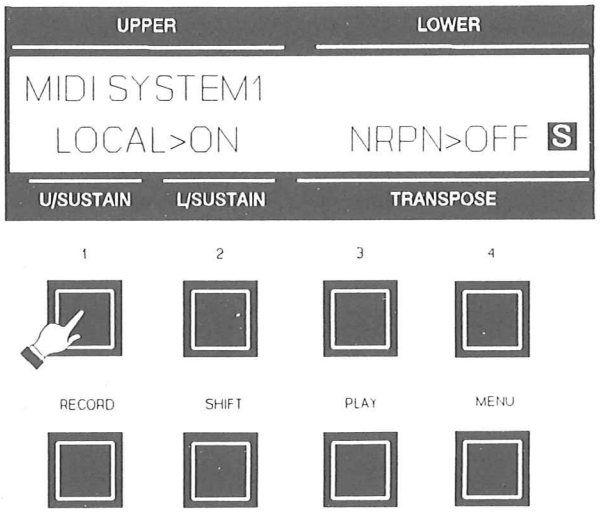
このメニューではオルガン自体、音量調節にオルガンのエクスプレッションペダルを使用するか、MIDIで接続している外部機器のボリュームデーターを使用するかどうかを選択することができます。

試してみましょう：

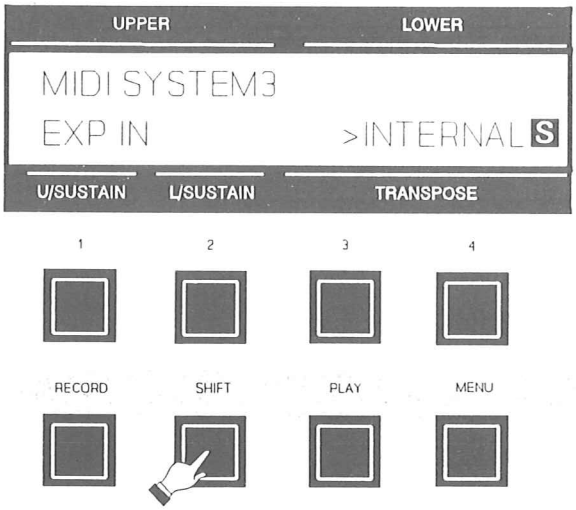
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[1] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を 2 回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. 次の要領で選択します。

黒いタッチボタンの[1] から[4] のいずれかを押して"INTERNAL"か"EXTERNAL"を選んで下さい。

ボタンを押すごとにインフォメーションセンターディスプレイには"INTERNAL"と"EXTERNAL"が交互に出てきます。"EXTERNAL"に設定すると本体のエクスプレッションペダルは効かなくなります。

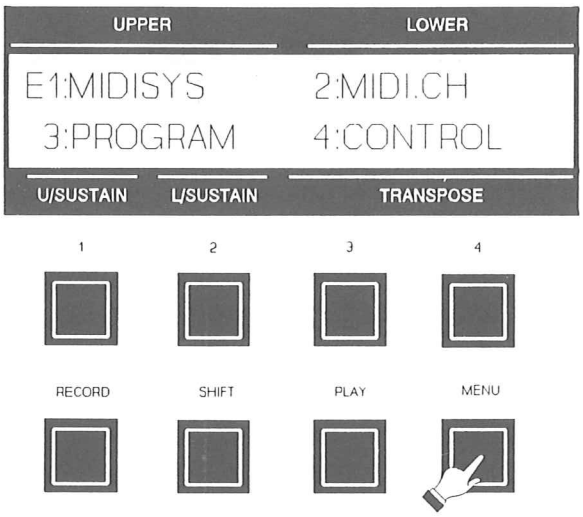
ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

◆MIDISYS - MIDI SYSTEM4 - Drawbar Filter ON / OFF

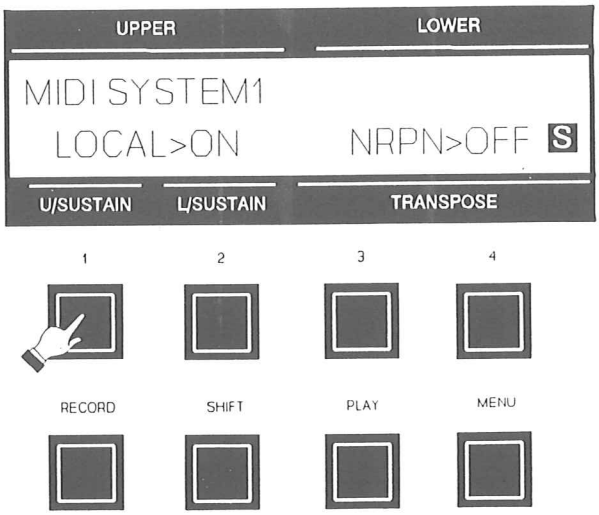
MIDISYS - MIDI SYSTEM4 - Drawbar Filter ON/OFF
このメニューではドローバーフィルターの"ON""OFF" 切り替えができます。これによってドローバーの変化をデータとしてMIDIコントローラーチェンジを保存することのできるMIDIシーケンサーに受信させることが可能です。また、ドローバーデータをMIDIで接続した別のオルガンに送信することもできます。

試してみましょう：

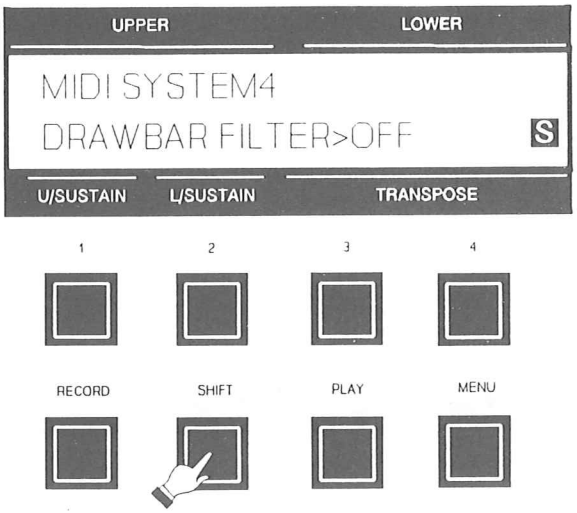
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[1] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を 3 回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. タッチボタンの[1] から[4] のいずれかを押して"MIDI DRAWBAR FILTER" を"ON"か"OFF" にして下さい。ボタンを押すごとにインフォメーションセンターディスプレイには"ON"と "OFF" が交互に出てきます。ドローバーフィルター"OFF"のときドローバーデータを送受信できます。

ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

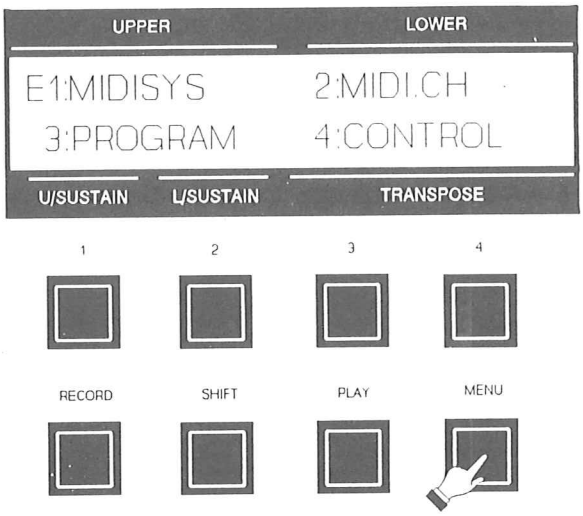
◆MIDISYS - MIDI SYSTEM5 - MIDI SOFT THRU ON / OFF

シーケンサーの中にはMIDI IN の情報をMIDI OUTとミックスできるものがあります。これを"SOFT THRU" ソフトスルーと呼び、シーケンスを録音中に、録音されているトラックと同時に以前に録音したトラックも聞きたいという時に役立ちます。お買い上げいただいたハモンドオルガンにはこのMIDIソフトスルーがあり、その機能の"ON""OFF" 切り替えを行えるのがこのメニューです。

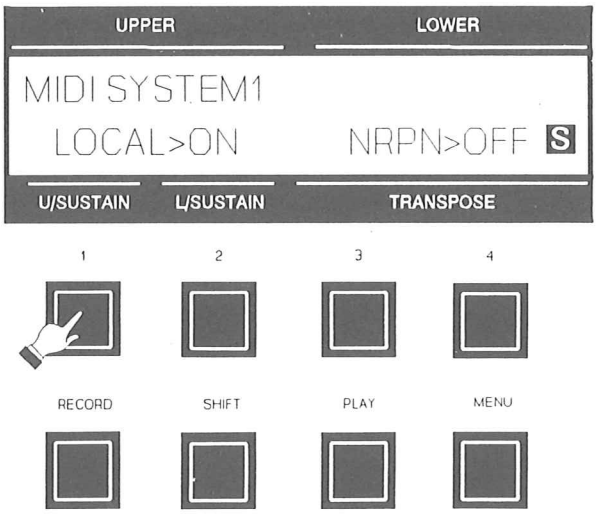
XB-3ともう一台別のMIDIキーボードを同時に演奏して、1台のシーケンサーに録音するような場合、別のキーボードのMIDI OUTをXB-3MIDI INのに接続し、MIDI SOFT THRUをONにします。こうすることで2台のキーボードの演奏情報がシーケンサーに録音できます。

試してみましょう：

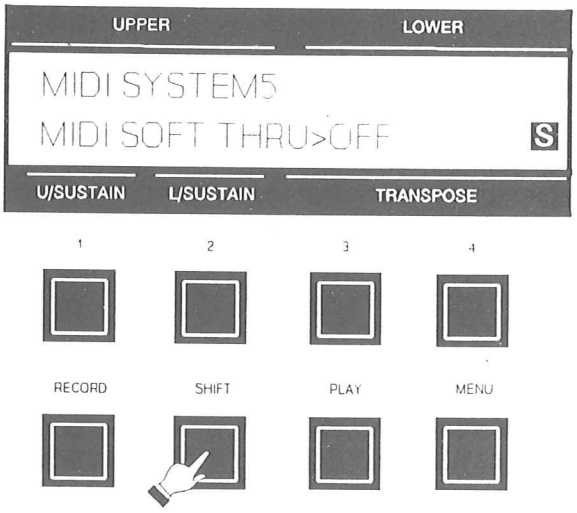
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[1] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のよ になります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を4回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. タッチボタンの[1] から[4] のいずれかを押して"MIDI SOFT THRU"を"ON"か"OFF" にして下さい。

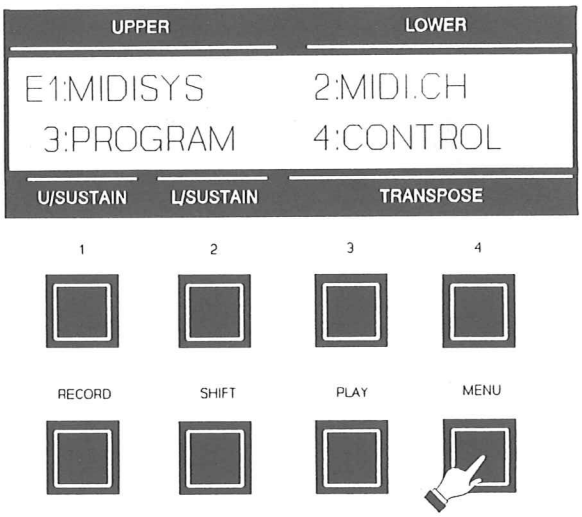
ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

◆MIDISYS - MIDI SYSTEM6 - Leslie Slow/Fast Code

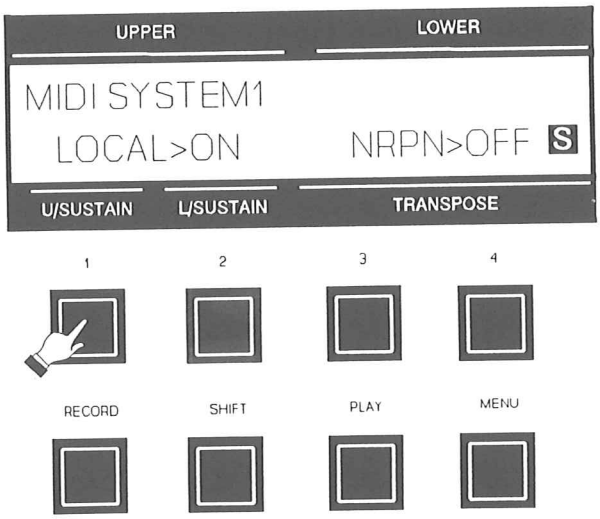
このメニューでは、接続されているレスリースピーカーキャビネットのローターの回転速度をコントロールするためのコントローラーコードを設定することができます。

試してみましょう：

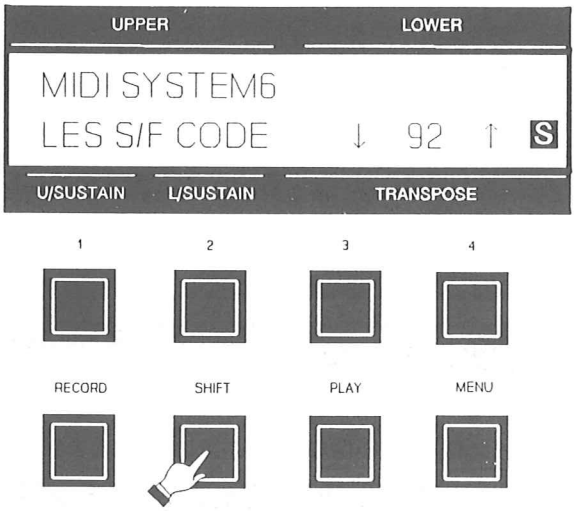
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[1]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を５回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. 工場出荷時にはMIDIコントローラーナンバーが"92"に設定されています。別のナンバーを設定する時には次のように操作して下さい。

タッチボタンの[3] を押すとナンバーが大きい方に向かって"0" から"127" までスクロールします。

タッチボタンの[4] を押すとナンバーが小さい方に向かって"127" から"0" までスクロールします。

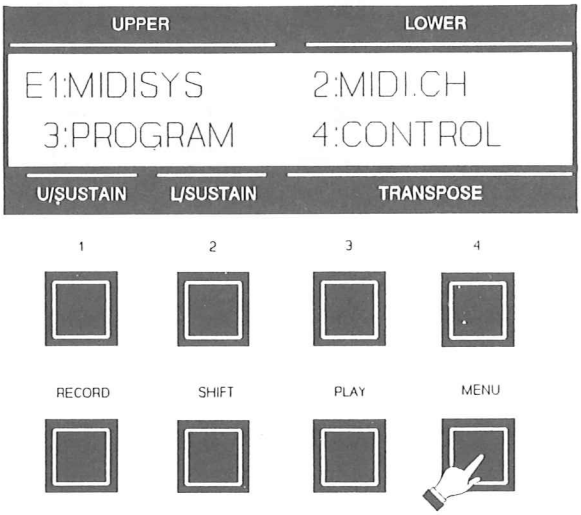
ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

◆MIDISYS - MIDI SYSTEM7 - Upper "A#" MIDI VOLUME ON/OFF

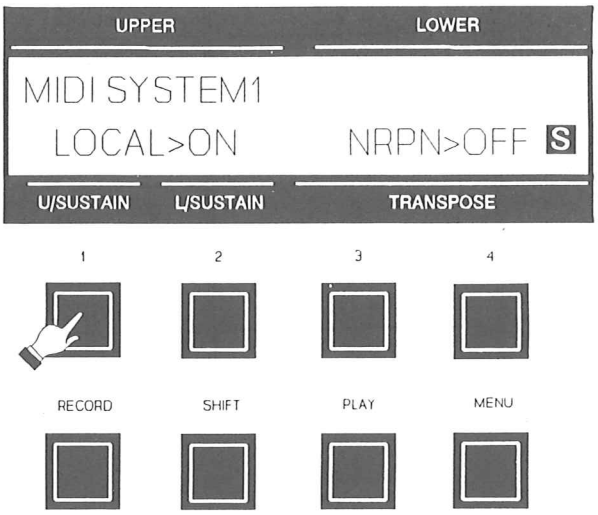
このメニューでは、接続されている外部MIDI音源の音量調節に上鍵盤の"A#"ドローバーを使用するかどうかを選択することができます。

試してみましょう：

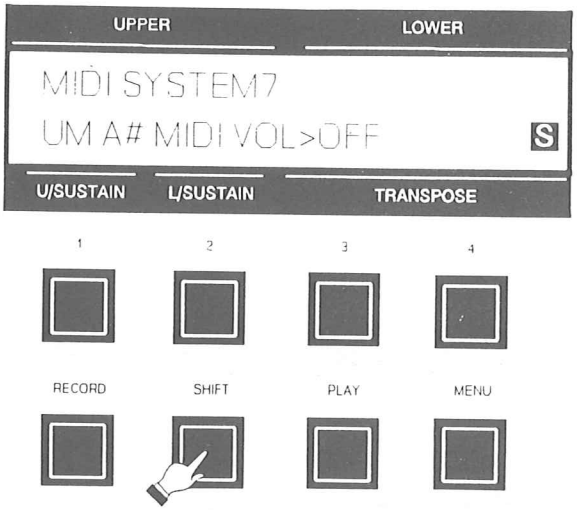
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[1] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を 6 回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



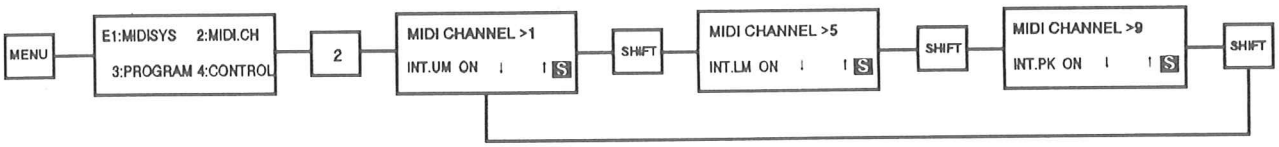
4. タッチボタンの[1] から[4] のいずれかを押すと"UMA#MIDIVOL" の"ON""OFF" が切り替わります。

下の表は上鍵盤"A#"ドローバーによるMIDIボリュームの設定可能な範囲をまとめたものです。

UPPER A♯ MIDI VOLUME OPTIONS	
Drawbar	Manual
16'	EXT UM1
5 1/3	EXT UM2
8'	EXT UM3
4'	EXT LM1
2 2/3	EXT LM2
2'	EXT LM3
1 3/5	EXT PK1
1 1/3	EXT PK2
1'	EXT PK3

ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

最新の機能／ MIDIチャンネル



この機能によって、次の鍵盤に対するMIDIチャンネルを設定することができます。

(1) 上鍵盤 (2)下鍵盤 (3)足鍵盤 (4) EXT（外部）上鍵盤1、2、3 (5)EXT（外部）下鍵盤1、2、3 (6)EXT（外部）足鍵盤1、2、3 つまり 1 つの鍵盤でIN Ternal,EX Ternal あわせて4つのチャンネルを同時に出力します。

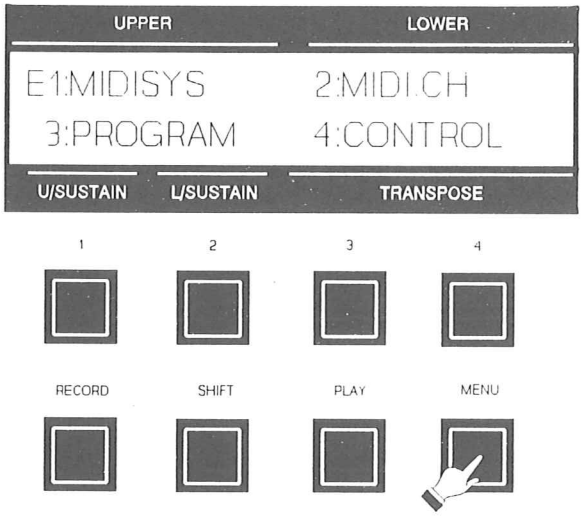
以下の頁ではこれらのメニューについて具体的に説明していきます。

◆MIDI・MIDIチャンネル

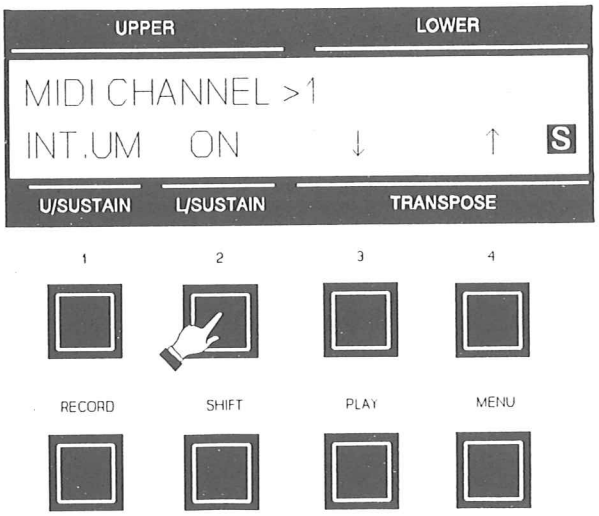
このメニューでは、次の鍵盤に対するMIDIチャンネルを設定することができます。
(1) 上鍵盤 (2)下鍵盤 (3)足鍵盤 (4) EXT（外部）上鍵盤1、2、3 (5)EXT（外部）下鍵盤1、2、3 (6)EXT（外部）足鍵盤1、2、3

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[2]のを押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. 次の要領で鍵盤を選び、MIDIチャンネルを設定していきます。

タッチボタンの[1] を押すとディスプレイの表示がスクロールしますので、対象になる鍵盤が"INTernal"（そのオルガンのもの）か"EXTernal"（接続されている楽器のもの）かを選んで下さい。

タッチボタンの[2] を押すと表示されている鍵盤の"ON""OFF" の設定が切り替わります。IN Ternal,EX Ternal のあわせて4つを全て"OFF" に設定すると、その鍵盤からはMIDIデータが送信されません。

タッチボタンの[SHIFT] を押すとディスプレイの表示がスクロールしますので、設定する鍵盤を選んで下さい。"UM"は上鍵盤、"LM"は下鍵盤、"PK"は足鍵盤を表します。

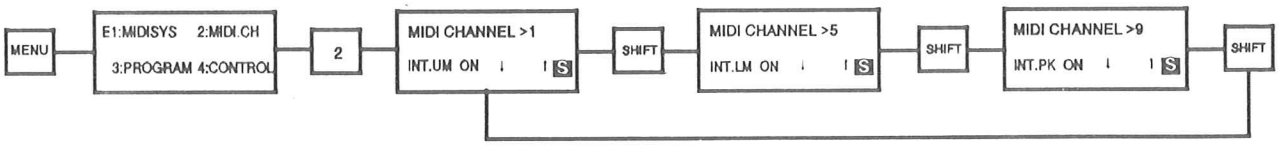
MIDIチャンネルの設定ー
タッチボタンの[3] を押すとディスプレイのMIDIチャンネルが下にスクロールします。
タッチボタンの[4] を押すとディスプレイのMIDIチャンネルが上にスクロールします。

下の表は各鍵盤に対して設定可能なMIDIチャンネルの範囲をまとめたものです。

MIDI CHANNEL OPTIONS		
MANUAL	Default Setting	Limit
UPPER	Channel 1	1 - 16
LOWER	Channel 5	1 - 16
PEDAL	Channel 9	1 - 16
EXT.UM1	Channel 2	1 - 16
EXT.LM1	Channel 6	1 - 16
EXT.PK1	Channel 11	1 - 16
EXT.UM2	Channel 3	1 - 16
EXT.LM2	Channel 7	1 - 16
EXT.PK2	Channel 12	1 - 16
EXT.UM3	Channel 4	1 - 16
EXT.LM3	Channel 8	1 - 16
EXT.PK3	Channel 13	1 - 16

ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

最新の機能／MIDIプログラム



新しいMIDIプログラム機能によって(1)EXT（外部）上鍵盤1、2、3 (2)EXT（外部）下鍵盤1、2、3 (3)EXT（外部）足鍵盤1、2、3 に対するMIDIプログラムナンバーを設定することができます。

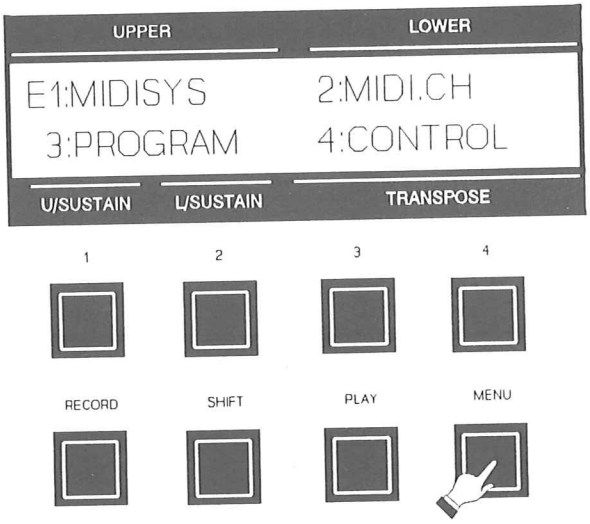
以下の頁ではこの機能について具体的に説明していきます。

◆MIDI・プログラムナンバー

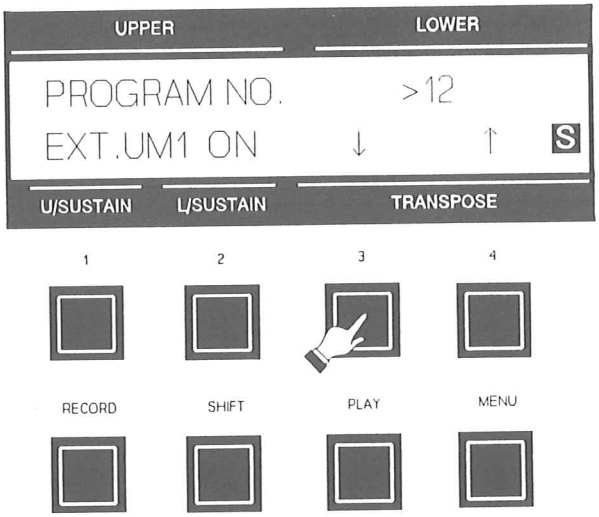
このメニューでは、(1)EXT（外部）上鍵盤1、2、3 (2)EXT（外部）下鍵盤1、2、3 (3)EXT（外部）足鍵盤1、2、3 に対するMIDIプログラムナンバーを設定することができます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[3] のを押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. 次の要領でMIDIプログラムナンバーを設定します。

タッチボタンの[1] を押すとディスプレイの表示がスクロールしますので、ナンバーを設定したい鍵盤を選んで下さい。

タッチボタンの[2] を押すと表示されている鍵盤の"ON""OFF" の設定が切り替わります。

タッチボタンの[3] を押すとディスプレイのMIDIプログラムナンバーが下にスクロールします。

タッチボタンの[4] を押すとディスプレイのMIDIプログラムナンバーが上にスクロールします。

タッチボタンの[SHIFT] を押すとディスプレイの表示がスクロールしますので、設定する鍵盤を選んで下さい。"UM"は上鍵盤、"LM"は下鍵盤、"PK"は足鍵盤を表します。

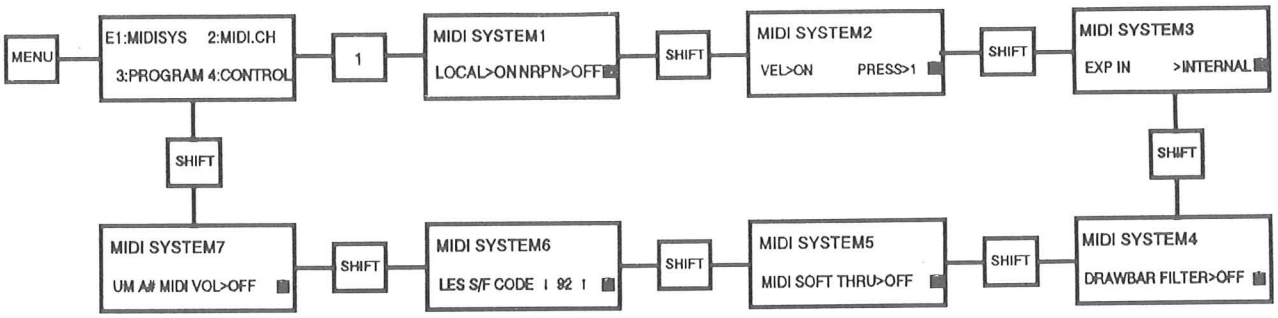
下の表は設定可能なMIDIプログラムナンバーの範囲をまとめたものです。

MIDI PROGRAM NUMBER OPTIONS	
Manual	Program Number Limits
*EXT.UM1, 2, 3	1 - 128
*EXT.LM1, 2, 3	1 - 128
+EXT.PK1, 2, 3	1 - 128

*出荷時の設定は12
+出荷時の設定は 3

ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

最新の機能／MIDIコントロール



新しいMIDIシステムメニューは６種類あり、それぞれに次のようなことができます。

1. CONTROL1
   フットスイッチ１（エクスプレッションペダルに取り付けたフットスイッチ）に対するMIDIコントローラーナンバーを設定できます。

2. CONTROL2
   フットスイッチ２（１とは別に追加されたフットスイッチ）に対するMIDIコントローラーナンバーを設定できます。

3. CONTROL3
   モジュレーションホイールに対するMIDIコントローラーナンバーを設定できます。

4. CONTROL4
   エクスプレッションペダルに対するMIDIコントローラーナンバーを設定できます。

5. CONTROL5
   アフタータッチに対するMIDIコントローラーナンバーを設定できます。

6. CONTROL6
   エクスプレッションペダルのモードを設定できます。

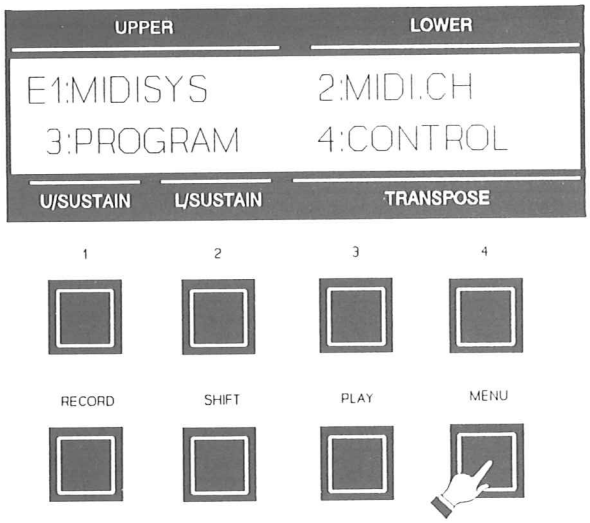
以下の頁ではこれらのメニューについて具体的に説明していきます。

◆MIDI - CONTROL1 FOOT1 （フットスイッチ1 ）

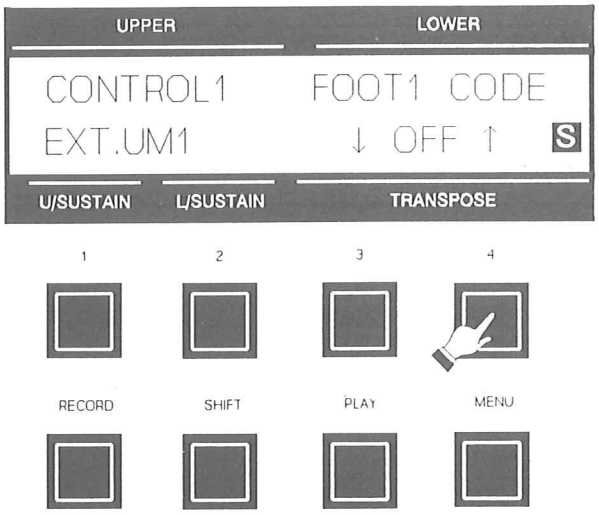
このメニューを使ってフットスイッチ1（エクスプレッションペダルに取り付けたフットスイッチ）に対するMIDIコントローラーナンバーを設定できます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[4] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. フットスイッチ1に対するMIDIコントローラーナンバーを変える時には次のように操作して下さい。

タッチボタンの[1]を押すとディスプレイの鍵盤名がスクロールします。"EXT.UM""EXT.LM""EXT.PK"の各"1""2""3" から必要な鍵盤を選んで下さい。

タッチボタンの[3] を押すとナンバーが小さい方に向かって "127"から"1" そして"OFF" までスクロールします。

タッチボタンの[4] を押すとナンバーが大きい方に向かって"OFF" から"1" そして "127" までスクロールします。

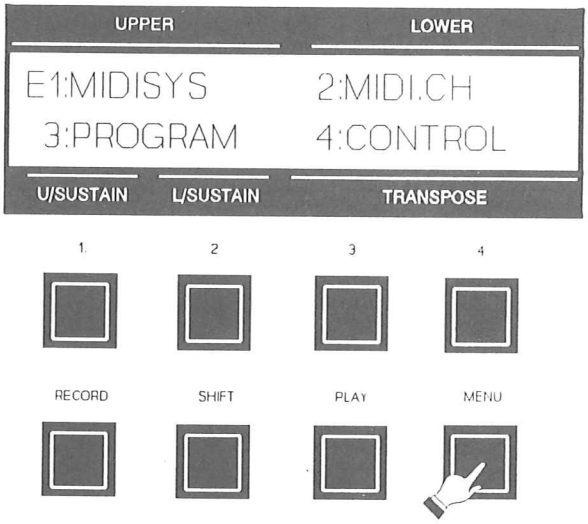
ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

◆MIDI - CONTROL2 FOOT2 （フットスイッチ2 ）

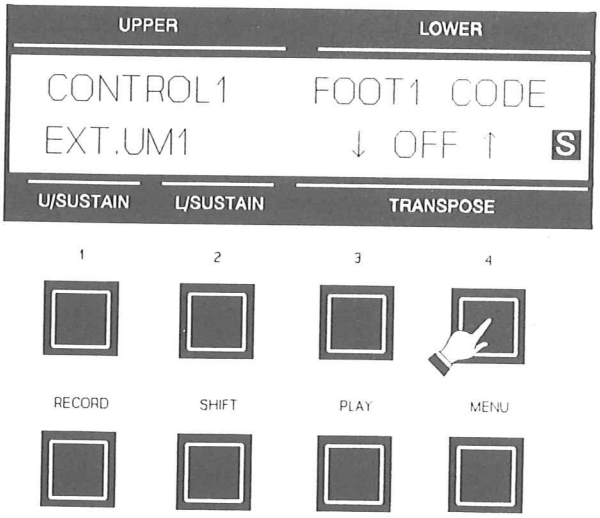
このメニューを使ってフットスイッチ2（1とは別に追加されたフットスイッチ）に対するMIDIコントローラーナンバーを設定できます。

試してみましょう：

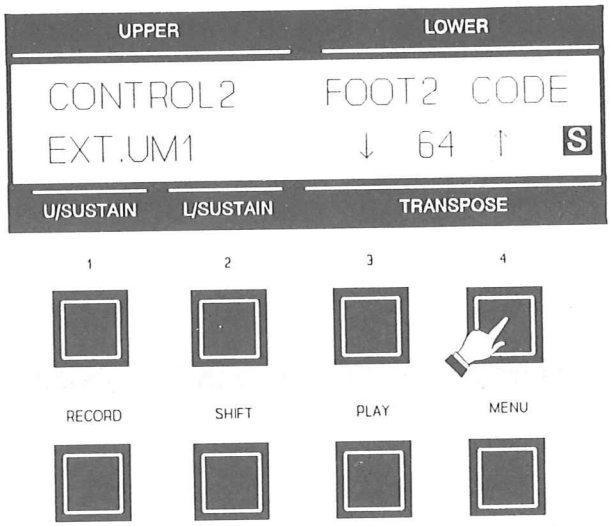
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[4] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を 1 回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. フットスイッチ2に対するMIDIコントローラーナンバーを変える時には次のように操作して下さい。

タッチボタンの[1]を押すとディスプレイの鍵盤名がスクロールします。"EXT.UM""EXT.LM""EXT.PK"の各"1""2""3" から必要な鍵盤を選んで下さい。

タッチボタンの[3] を押すとナンバーが小さい方に向かって "127"から"1" そして"OFF" までスクロールします。

タッチボタンの[4] を押すとナンバーが大きい方に向かって"OFF" から"1" そして "127" までスクロールします。

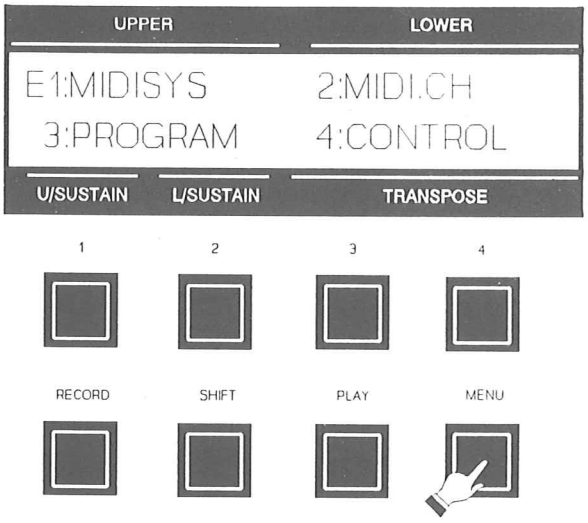
ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

MIDI - CONTROL3 MOD （モジュレーションホイール）

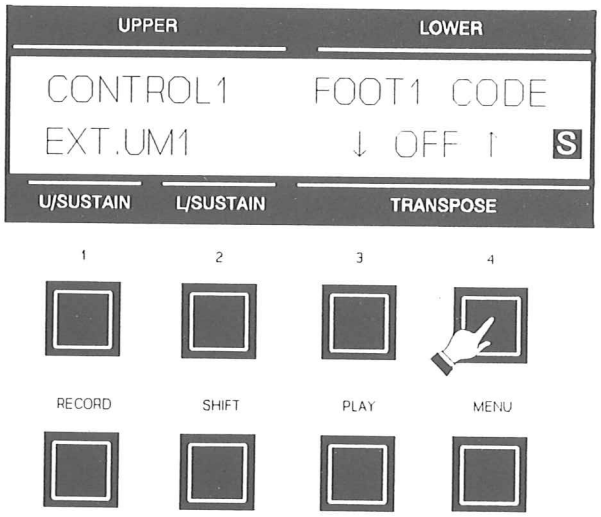
このメニューを使ってモジュレーションホイールに対するMIDIコントローラーナンバーを設定できます。

試してみましょう：

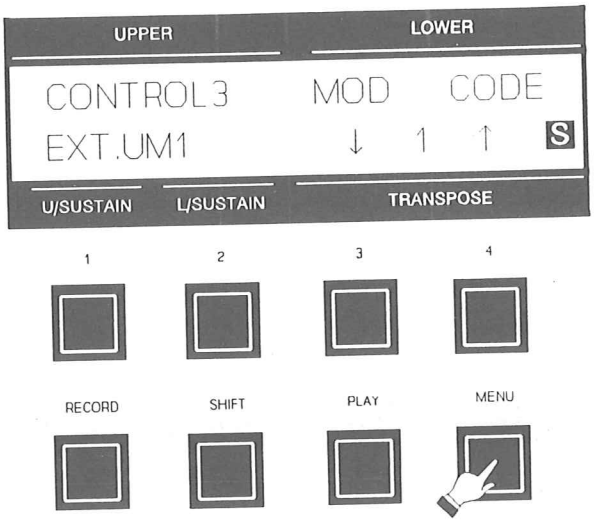
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[4] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を 2 回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. モジュレーションホイールに対するMIDIコントローラーナンバーを変える時には次のように操作して下さい。

タッチボタンの[1] を押すとディスプレイの鍵盤名がスクロールします。"EXT.UM""EXT.LM""EXT.PK"の各"1""2""3"から必要な鍵盤を選んで下さい。

タッチボタンの[3] を押すとナンバーが小さい方に向かって "127" から"1" そして"OFF" までスクロールします。

タッチボタンの[4] を押すとナンバーが大きい方に向かって"OFF" から"1" そして "127"までスクロールします。

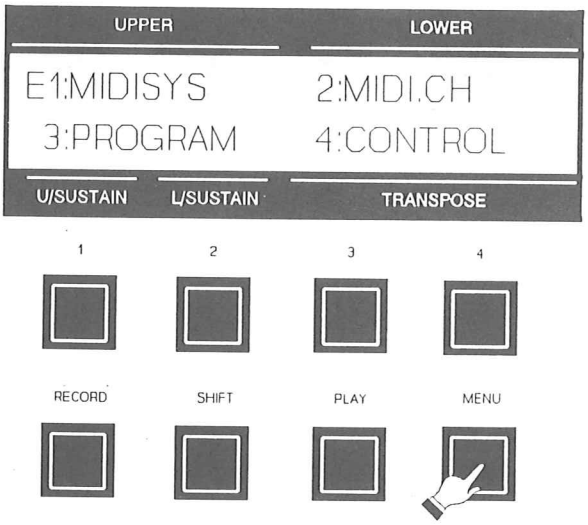
ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

◆MIDI - CONTROL4 EXP （エクスプレッションペダル）

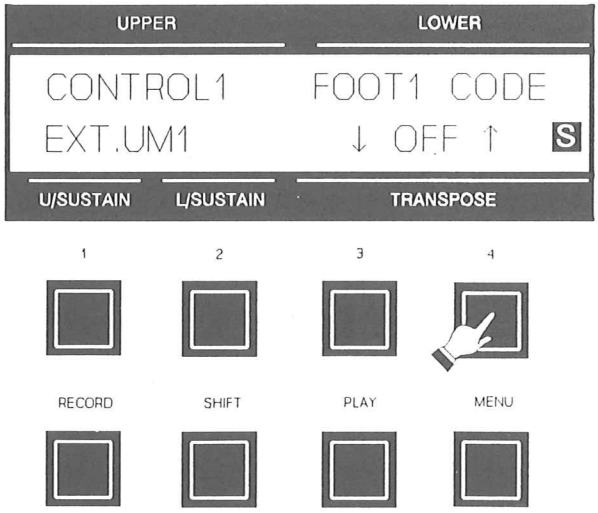
このメニューを使ってエクスプレッションペダルに対するMIDIコントローラーナンバーを設定できます。

試してみましょう：

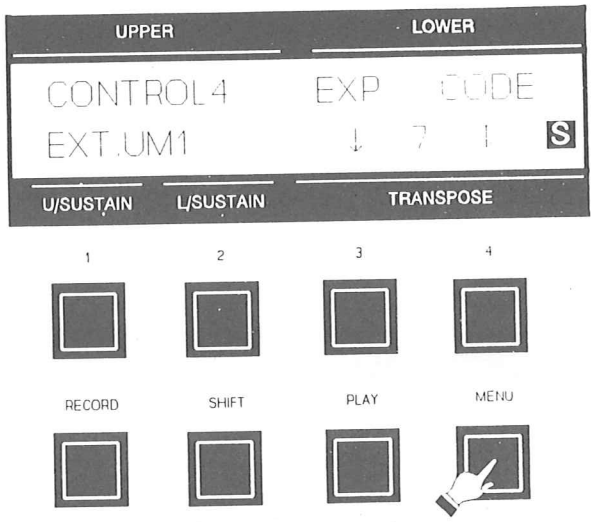
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[4]を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を3回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. エクスプレッションペダルに対するMIDIコントローラーナンバーを変える時には次のように操作して下さい。

タッチボタンの[1]を押すとディスプレイの鍵盤名がスクロールします。"EXT.UM""EXT.LM""EXT.PK"の各"1""2""3" から必要な鍵盤を選んで下さい。

タッチボタンの[3] を押すとナンバーが小さい方に向かって "127"から"1" そして "OFF" までスクロールします。

タッチボタンの[4] を押すとナンバーが大きい方に向かって"OFF" から"1" そして "127"までスクロールします。

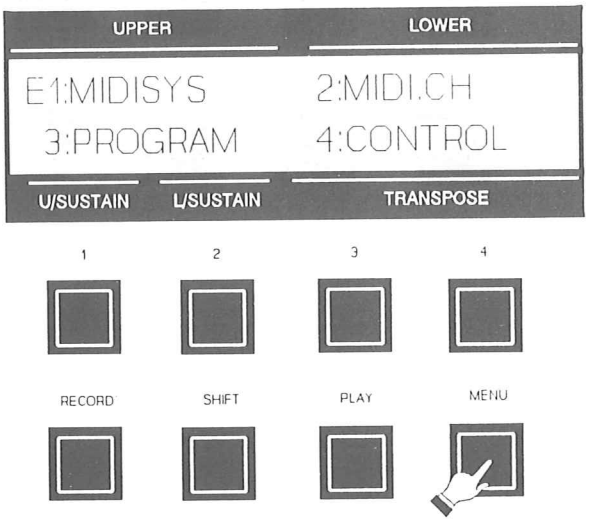
ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

◆MIDI - CONTROL5 PRESS （アフタータッチ）

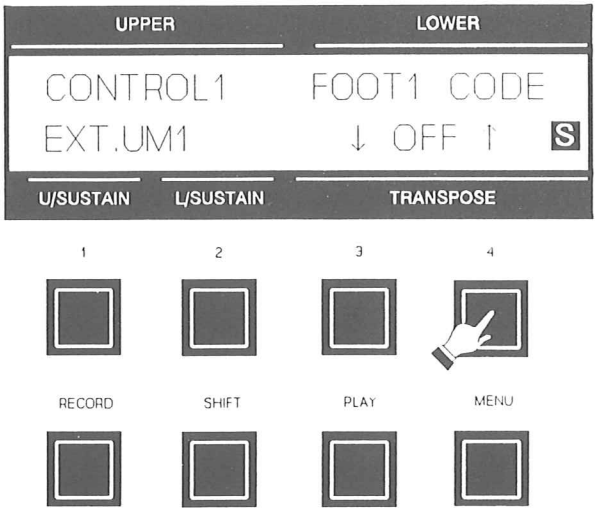
このメニューを使ってアフタータッチに対するMIDIコントローラーナンバーを設定できます。

試してみましょう：

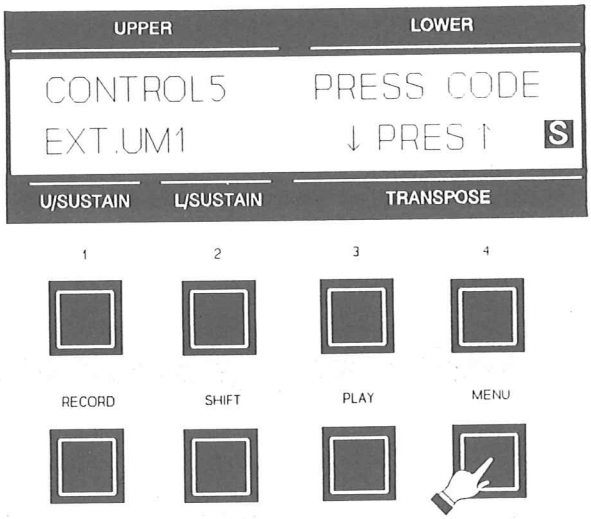
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[4] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を4回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. アフタータッチに対するMIDIコントローラーナンバーを変える時には次のように操作して下さい。

タッチボタンの[1]を押すとディスプレイの鍵盤名がスクロールします。"EXT.UM""EXT.LM""EXT.PK"の各"1""2""3" から必要な鍵盤を選んで下さい。

タッチボタンの[3] を押すとナンバーが小さい方に向かって "127"から"1"、"BEUP"=ピッチベンドアップ、"BEDW"=ピッチベンドダウンそして"OFF" までスクロールします。

タッチボタンの[4]を押すとナンバーが大きい方に向かって"OFF"から"BEDW""BEUP""1" そして "127"までスクロールします。

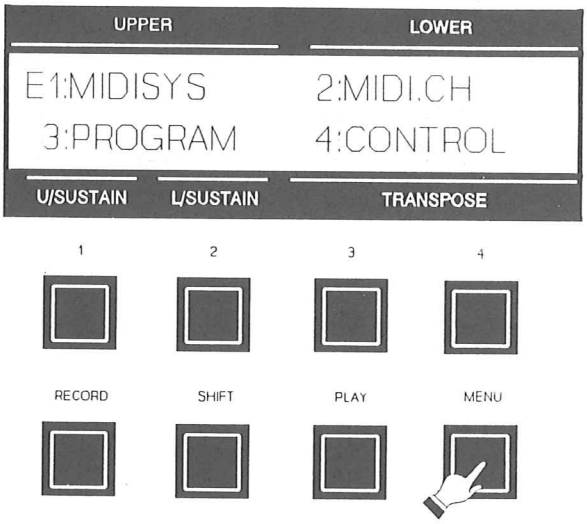
ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

◆MIDI - CONTROL6 EXP MODE

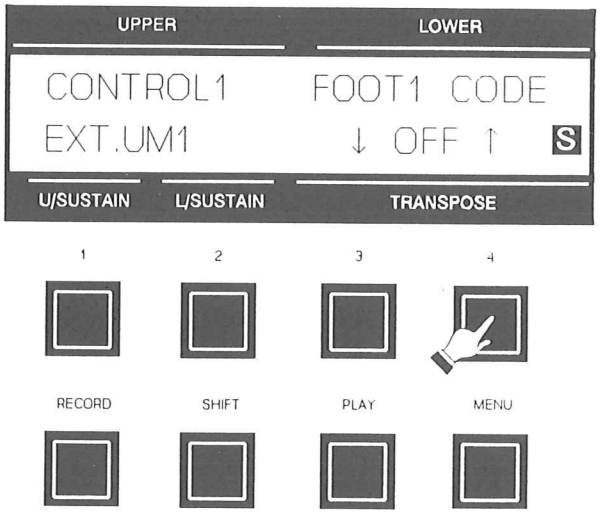
このメニューを使ってエクスプレッションペダルのモードを設定できます。

試してみましょう：

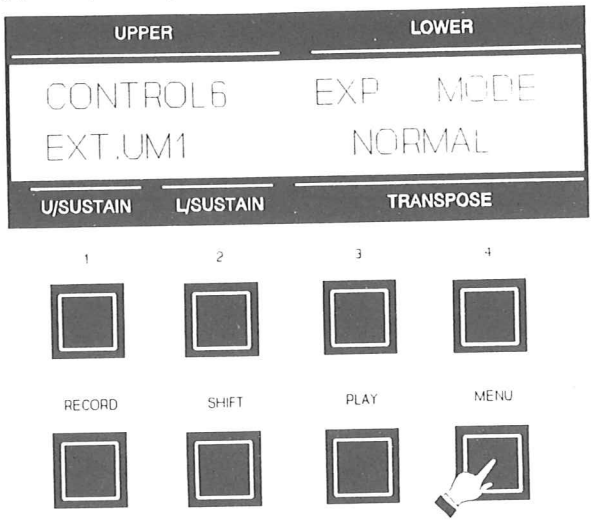
1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[4] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. タッチボタンの[SHIFT] を5回押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



4. エクスプレッションペダルのモードを変える時には次のように操作して下さい。

タッチボタンの[1]　を押すとディスプレイの鍵盤名がスクロールします。"EXT.UM""EXT.LM""EXT.PK"の各"1""2""3" から必要な鍵盤を選んで下さい。

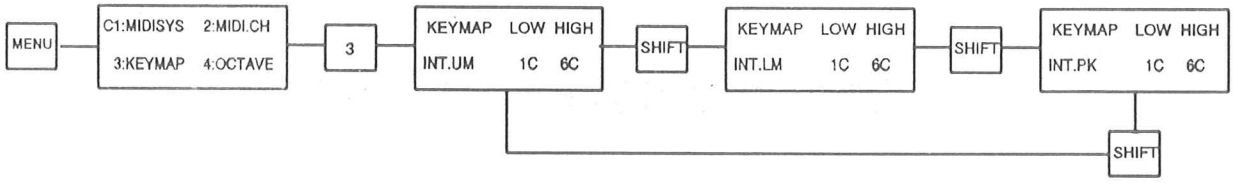
タッチボタンの［3］または［4］を押すと、モードNORMAL , REVERSE , OFFとスクロルします。

下の表はエクスプレッションペダルのモード設定における選択範囲をまとめたものです。

エクスプレッションペダルのモード	
OFF	MIDIデータは送信されません。
NORMAL*	エクスプレッションペダルの通常のレスポンス曲線がMIDIデータとして送信されます。
REVERSE	エクスプレッションペダルのレスポンス曲線が反転します。例えばボリューム(コントローラー#7) をMIDIで送信する場合ペダルを踏み込むにしたがって音量が小さくなり、逆にペダルを手前に戻すにしたがって音量が大きくなります。

ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

最新の機能／MIDIキーマップ



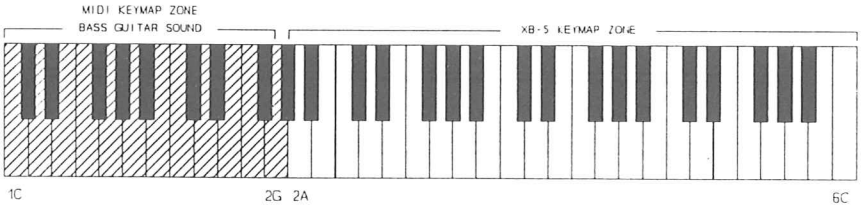
この新しい機能によって上下鍵盤と足鍵盤のそれぞれに対し『オルガンキーマップゾーン』と『MIDIキーマップゾーン』の両方を設定することができます。

オルガンキーマップゾーンではオルガン自体の音がでます。

MIDIキーマップゾーンではMIDIを使って接続されている別のキーボードや音源モジュールなどの音をコントロールすることができます。

例えば、音源モジュールで作り出されるベースギターの音を下鍵盤で演奏するために"1C"から"2G"までを使い、同じ鍵盤の"2G#" から"6C"でオルガンの音を演奏するというようなことができます。

LOWER MANUAL OF THE XB-3 / XC-3



このようなMIDIキーマップゾーンに対するMIDIチャンネルやMIDIプログラムナンバーの設定方法については『最新の機能－MIDIチャンネル』の項をご覧下さい。

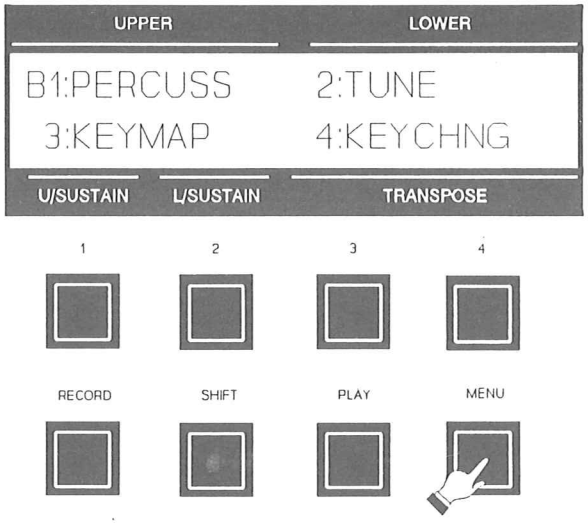
以下の頁ではこの機能について具体的に説明していきます。

◆MIDI・キーマップ

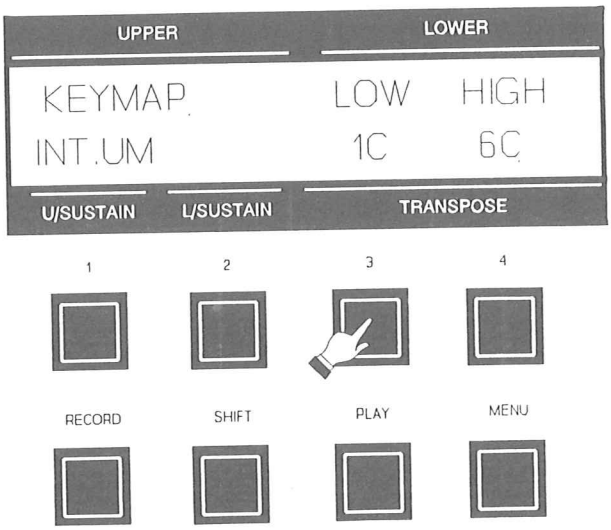
このメニューではキーマップについて(1) キーマップをするかどうかの切り替え"ON""OFF (2) キーマップゾーンの最低音と最高音の設定、という２種類の選択ができます。キーマップゾーンの設定は(1) 上鍵盤 (2)下鍵盤 (3)足鍵盤 (4)EXT （外部）上鍵盤 1、2、3 (5) EXT （外部）下鍵盤 1、2、3 (6)EXT （外部）足鍵盤 1、2、3に対して行えます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[3] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. キーマップの設定を変える時には次のように操作して下さい。

鍵盤の選択

タッチボタンの[1] を押すとディスプレイの表示がスクロールしますので、対象になる鍵盤が"INTernal"（そのオルガンのもの）か"EXTernal"（接続されている楽器のもの）かを選んで下さい。

タッチボタンの[SHIFT] を押すと鍵盤名がスクロールしますので、これからキーマップをするものを選んで下さい。"UM"は上鍵盤、"LM"は下鍵盤、"PK"は足鍵盤を表します。

最低音の設定

左手でタッチボタンの[3]を押えて下さい。
ディスプレイの"LOW" の文字の下に" >"
の記号が出てきます。

タッチボタンの[3] を左手で押えたまま、右手
で設定したいキーマップレンジの最低音を
押えて下さい。

一度鍵盤を押えると、その新しいレンジがインフォメーションセンターディスプイに表示されます。

最高音の設定

左手でタッチボタンの[4] を押えて下さい。
ディスプレイの"HIGH"の文字の下に" >" の
記号が出てきます。

タッチボタンの[4] を左手で押えたまま、右手
で設定したいキーマップレンジの最高音を
押えて下さい。

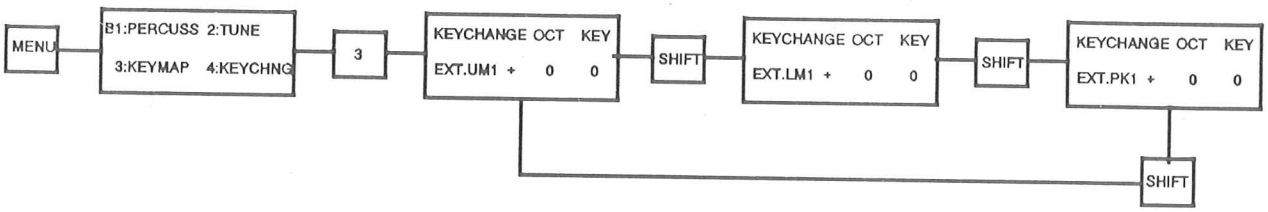
一度鍵盤を押えると、その新しいレンジがインフォメーションセンターディスプレイに表示されます。

下の表はキーマップの設定可能な範囲をまとめたものです。

KEYMAP OPTIONS	
MANUAL TO MAP (BUTTON 1)・	Default Keymap Range
UPPER	1 C − 6 C
LOWER	1 C − 6 C
PEDAL	1 C − 3 C
EXT. UM1	1 C − 6 C
EXT. LM1	1 C − 6 C
EXT. PK1	1 C − 3 C
EXT. UM2	1 C − 6 C
EXT. LM2	1 C − 6 C
EXT. PK2	1 C − 3 C
EXT. UM3	1 C − 6 C
EXT. LM3	1 C − 6 C
EXT. PK3	1 C − 3 C

ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

最新の機能／MIDIキーチェンジ



この機能を使って(1)EXT.（外部）上鍵盤1、2、3 (2)EXT.（外部）下鍵盤1、2、3 (3)EXT.（外部）足鍵盤1、2、3の音程とオクターブレンジを±4オクターブの範囲で移動させることができます。

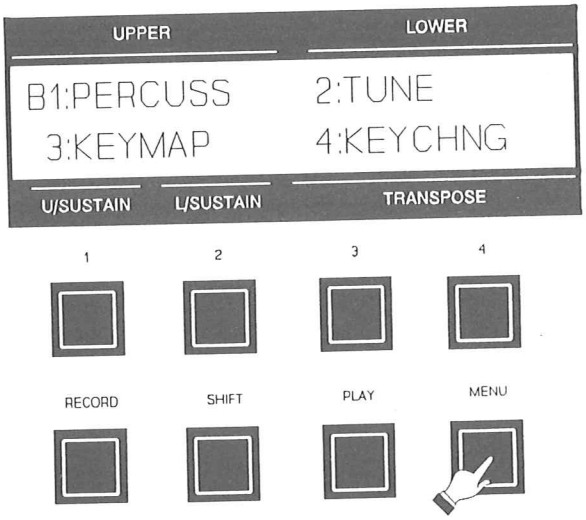
以下の頁ではこの機能について具体的に説明していきます。

◆MIDI・キーチェンジ

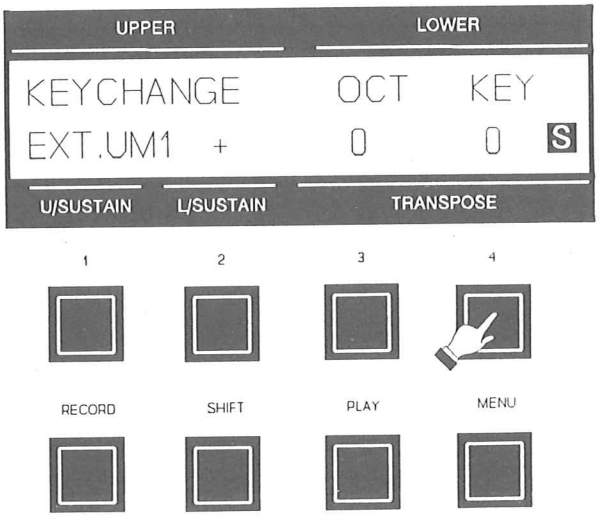
このメニューでは (1)EXT.（外部）上鍵盤 1、2、3 (2)EXT.（外部）下鍵盤 1、2、3 (3)EXT.（外部）足鍵盤 1、2、3の音程とオクターブレンジを±4 オクターブの範囲で移動させることができます。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出して下さい。



2. タッチボタンの[4] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. MIDIを使ったEXT.鍵盤の設定についてオクターブレンジを変えたい時には、次のように操作して下さい。

鍵盤の選択

タッチボタンの[1] を押すとディスプレイの表示がスクロールしますので、対象となる"EXTernal"を選びます。

タッチボタンの[SHIFT] を押すと鍵盤名がスクロールしますので、これからオクターブレンジを変えたい鍵盤を選んで下さい。"UM"は上鍵盤、"LM"は下鍵盤、"PK"は足鍵盤を表します。

オクターブレンジの設定
タッチボタンの[3] を押してオクターブレンジを選んで下さい。

タッチボタンの[4] を押してキー（音程）を選んで下さい。

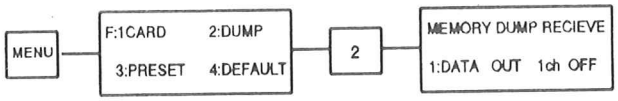
通常、タッチボタンの[3] と[4] を押すと、オクターブレンジやキーは上に向かってスクロールしていきます。また、タッチボタンの[2] を押えておくと"-" を選ぶことができますので、この間、タッチボタンの[3][4]を押すとオクターブレンジやキーは下に向かってスクロールします。

下の表はキーチェンジの設定範囲をまとめたものです。

MIDI OCTAVE OPTIONS	
Manual	Octave Limits
EXT.UM 1, 2, 3	±4 octaves
EXT.LM 1, 2, 3	±4 octaves
EXT.PK 1, 2, 3	±4 octaves

ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

最新の機能／MIDIダンプ



この機能を使用すると、プリセットデータからグローバルデータまでオルガンにプログラムされているすべてのデータをそのままMIDIデータレコーダーや別のオルガンのメモリーに写し取ることができます。

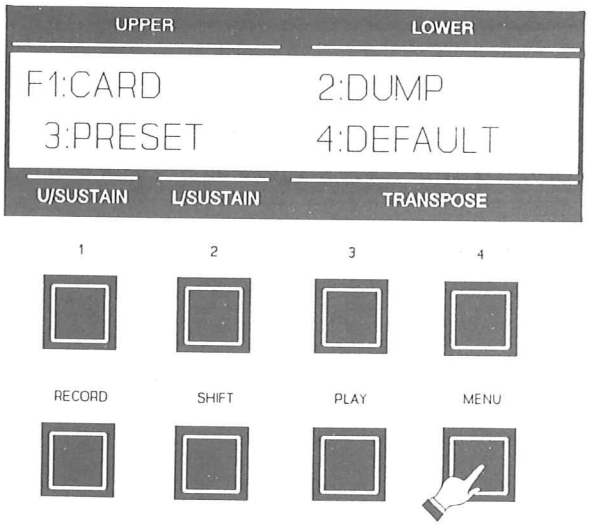
以下の頁ではこの機能について具体的に説明していきます。

◆MIDI・ダンプ

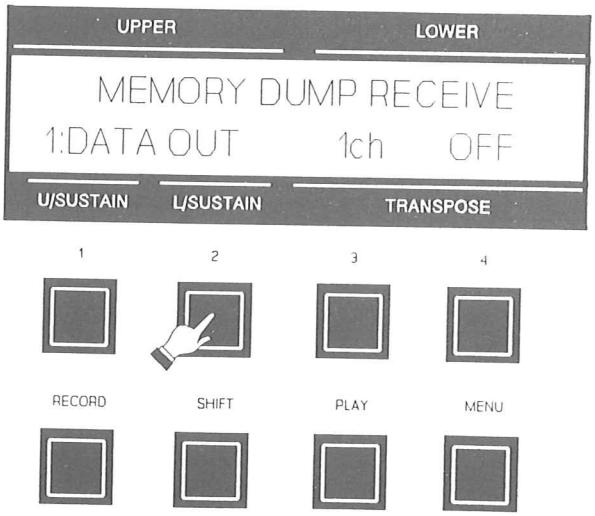
ここでは、オルガンのプリセットやグローバルデータをMIDIデータレコーダーに保存したり、逆にレコーダーからオルガンにデータをロードする手順を紹介します。

試してみましょう：

1. 黒いタッチボタンの[MENU]を何度か押してインフォメーションセンターディスプレイに次のような画面を呼出します。



2. タッチボタンの[2] を押して下さい。インフォメーションセンターディスプレイは次のようになります。



3. まずオルガンとMIDIデータレコーダーが接続できているかどうかを確かめてから、次のように操作して下さい。

データを外部メモリーに送信
MIDIレコーダーがレコードモードになっていることを確かめて下さい。

タッチボタンの[1]を押すとオルガンからMIDIデータレコーダーへのデータ送信が開始されます。(DUMP) すべてのデータを送信し終ると、インフォメーションセンターディスプレイに"DATA COMPLETED"のメッセージが光ります。

外部メモリーからデータをロード

インフォメーションセンターディスプレイの"RECEIVE"の文字の下に"ON"の表示が出ていることを確かめます。もし"OFF"になっていたら、タッチボタンの[4]を押すと切り替わります。これでオルガンが受信モードになり外部から入力してくるデータを受け入れることができます。

MIDIレコーダーの送信を開始します。データ転送中デイスプレイには"RECIEVING"と表示されます。すべてのデータを受信し終ると、インフォメーションセンターディスプレイは自動的に元の画面に戻ります。

ご注意：メニューモードを終了する時にはタッチボタンの[PLAY]を押します。

メモリーダンプ・システムエクスクルーシブデータ

1. MEMORY DUMP

```
F0H          system exclusive
55H          SUZUKI I.D.  Number
0ddd dddd    Device I.D.        XB-3=device channel
0FFF MMMM    model IDH(high)    XB-3=10H
0MMM MMMM    model IDL(low )    XB-3=03H
             F=Family I.D.
             M=Member I.D.
11H          Command Data Packet

[ Data Start ]
02H          Data Type  02H:User Program

PHHH         Packet Number(high)  0001~7F7F
PNLH                      (low )

256 Byte     ASCII (128Byte data)

SUMH         Check Sum(7bit)  256Byte ASCII XOR
[ Data End ]

F7H          End of system exclusive status byte(EOX)
```

2. ACKNOWLEDGE

```
F0H          system exclusive
55H          SUZUKI I.D.Number
0ddd dddd    Device I.D.        XB-3=device channel
0FFF MMMM    model IDH(high)    XB-3=10H
0MMM MMMM    model IDL(low )    XB-3=03H
             F=Family I.D.
             M=Member I.D.
14H          Command Data Packet

AKH          AK Type      00H:Normal
                          05H:Check Sum Error
                          06H:Protect Sw On
PNHH         Packet Number(high)  0001~7F7F
PNLH                      (low )

F7H          End of system exclusive status byte(EOX)
```

3. HAND SHAKE COMMUNICATION (ONE WAY TRANSFER)

```
Master(XB-3)                Slave
Data Out Packet 1---->
                  <----     Acknowledge
Data Out Packet 2---->
                  <----     Acknowledge
      :                         :
      :                         :
      :                         :
Data Out Packet 37--->
                  <----     Acknowledge
```

The organ will wait for the data for 20 ms if no message is received and transmit the next data of the packet number. (ONE WAY TRANSFER)

Packet Numbers : 1~37

付録Aパラメーター一覧

グローバルイニシャルデータ

	NO	FUNCTION	B-3	JAZZ	THEATRE	MIDI
Touch Tabs	01	Vibrato Mode	1	1	1	1
	02	Vibrato Chorus	Off	Off	Off	Off
	03	Pedal To Lower	Off	Off	Off	Off
	04	Lower To Pedal	Off	Off	Off	Off
	05	Upper MIDI OUT On/Off	On	On	On	On
	06	Lower MIDI OUT On/Off	On	On	On	On
	07	Pedal MIDI OUT On/Off	On	On	On	On
A-2	08	Vibrato Speed	Normal	Normal	Normal	Normal
B-2	09	Master Tune	440Hz	440Hz	440Hz	440Hz
	10	Tune Mode	B-3 Pitch	B-3 Pitch	B-3 Pitch	B-3 Pitch
C-3	11	Foot Switch 1 Internal Mode	Leslie S/F	Leslie S/F	Leslie S/F	Leslie S/F
	12	Foot Switch 2 Internal Mode	LM Soste	LM Soste	LM Soste	LM Soste
	13	Foot Switch 1 Alt/Mom	Alt	Alt	Alt	Alt
	14	Foot Switch 2 Alt/Mom	Mom	Mom	Mom	Mom
	15	Foot Switch 2 Press Type	PRS+	PRS+	PRS+	PRS+
C-4	16	Pressure Internal Curve Upper	3	3	3	3
	17	Pressure Internal Curve Lower	3	3	3	3
D-1	18	Ext In 1 Expression On/Off	Non Exp	Non Exp	Non Exp	Non Exp
	19	Ext In 2 Expression On/Off	Non Exp	Non Exp	Non Exp	Non Exp
	20	Expression Curve	Console	Console	Console	Console
D-2	21	Tube Overdrive Level	3	3	3	3
	22	Leslie Channel	1ch	1ch	1ch	1ch
D-3	23	"Pedal To" Mode	Lower	Lower	Lower	Lower
	24	Pedal To Lower High Key	3C	3C	3C	3C
	25	Lower To Pedal High Key	3C	3C	3C	3C
	26	Pedal To Upper High Key	3C	3C	3C	3C
D-4	27	Reverb Mode	Hall	Hall	Hall	Hall
E-1	28	Local SW	On	On	On	On
	29	NRPN SW	Off	Off	Off	Off
	30	Expression Mode Int/Ext	Internal	Internal	Internal	Internal
	31	MIDI Drawbar Filter	Off	Off	Off	Off
	32	MIDI OUT Velocity Curve	1	1	1	1
	33	MIDI OUT Pressure Curve	1	1	1	1
	34	MIDI SOFT THRU On/Off	Off	Off	Off	Off
	35	Leslie S/F MIDI Code	Off	Off	Off	Off
	36	UM A$ Drawbar MIDI Volume	Off	Off	Off	On
F-2	37	Dump Receive SW	On	On	On	On
	38	Dump Device ID Number	1ch	1ch	1ch	1ch
F-3	39	Preset Play Mode	B-3	B-3	B-3	Standard
	40	Preset Record Mode	All	All	All	All

付録 B グローバルデータ

グローバルコマンド

NO	FUNCTION	DATA	MENU LOCATION
01	LCD Contrast	1-8 (DARK)	PLAY SHIFT + 1
02	Master Tune	430Hz - 450Hz	MENU B-2 TUNE
03	Reverb Mode	Room Live Hall Church	MENU D-4 REVERB
04	Foot Switch 1	Leslie Slow/Fast UM Sustain LM Sustain Reverse UM A♯/B Reverse LM A♯/B UM Damper LM Damper UM Sostenuto LM Sostenuto MIDI Start/Stop OFF	MENU C-3 FOOT SW
05	Foot Switch 2	Leslie Slow/Fast UM Sustain LM Sustain Reverse UM A♯/B Reverse LM A♯/B UM Damper LM Damper UM Sostenuto LM Sostenuto MIDI Start/Stop OFF	MENU C-3 FOOT SW
06	Foot Switch 1 Press Type	+/-	MENU C-3 FOOT SW
07	Foot Switch 2 Press Type	+/-	MENU C-3 FOOT SW
08	MIDI Expression	Internal/External	MENU E-1 MIDI SYSTEM3
09	Local Switch	On/Off	MENU E-1 MIDI SYSTEM1
10	Control Code Foot Switch 1	0 - 127	MENU E-4 CONTROL1
11	Control Code Foot Switch 2	0 - 127	MENU E-4 CONTROL2
12	Control Code Modulation	0 - 127	MENU E-4 CONTROL3
13	Control Code Expression	0 - 127	MENU E-4 CONTROL4
	Control Code Pressure (After Touch)	0 - 127	MENU E-4 CONTROL5
	Control Expression Mode	Off, Normal, Reverse	MENU E-4 CONTROL6
14	MIDI Velocity	Off, 1 to 6	MENU E-1 MIDI SYSTEM2
16	MIDI Drawbar Filter	On/Off	MENU E-1 MIDI SYSTEM4
18	External In	Exp/Non Exp	MENU D-1 EXPRESSION
19	Expression Curve	Spinet/Console	MENU D-1 EXPRESSION
20	Leslie Channel	1ch/2ch/3ch	MENU D-2 AUDIO
21	Dump Protect	On/Off	MENU F-2 DUMP

付録 C MIDIインプリメンテーション

FUNCTION		TRANSMITTED	RECOGNIZED	REMARKS
Basic Channel	Default Changed	1 1 - 16	1 1 - 16	Int. Upper Channel
Mode	Default Messages Altered	Mode 3 × **********	Mode 3 ×	
Note Number:	True voice	36 - 96 **********	36-96	
Velocity	Note ON Note OFF	o ×	o ×	
After Touch	Key's Ch's	× o	× o	
Pitch Bend		o	o	
Control Change	Modulation 1 Press Type 2 Main Volume 7 Expression 11 Tremolo 92 NRPN UM Drawbar 80 LM Drawbar 81 PK Drawbar 82	o × o × o o o o o	o o o o o o o o o	Expression " " Leslie Slow/Fast If Enable SW ON If Enable SW ON " "
Program Change	:True #	o 1 - 12 **********	o 1 - 12 1 - 12	
System Exclusive		o	o	
Common	:Song Pos :Song Sel :Tune	× × ×	× × ×	
System Real Time	:Clock :Commands	× o Start, Stop	× ×	By Foot Switch
Aux Messages	:Local On/Off :All Notes Off :Active Sense :Reset	× o o ×	× o o ×	(123)
Notes		INT.UM ch: 1 (1-16) INT.LM ch: 5 (1-16) INT.PK ch: 9 (1-16) EXT.UM1 ch: 2 (1-16) EXT.LM1 ch: 6 (1-16) EXT.PK1 ch: 10 (1-16) EXT.UM2 ch: 3 (1-16) EXT.LM2 ch: 7 (1-16) EXT.PK2 ch: 11 (1-16) EXT.UM3 ch: 4 (1-16) EXT.LM3 ch: 8 (1-16) EXT.PK3 ch: 12 (1-16)		

Mode 1 : OMNI ON, POLY　　Mode 2 : OMNI ON, MONO　　o : Yes
Mode 3 : OMNI OFF, POLY　　Mode 4 : OMNI OFF, MONO　　× : No

付録D MIDIインプリメンテーション

各チャンネル

	INTERNAL						EXTERNAL								
	UM		LM		PK		UM1	UM2	UM3	LM1	LM2	LM3	PK1	PK2	PK3
	Trans	Recog	Trans	Recog	Trans	Recog	Trans								
MIDI Ch. Default	1		5		9		2	3	4	6	7	8	10	11	12
Changed	1 - 16														
Note Number	36 - 96		36 - 96		36 - 60		36 - 96			36 - 96			36 - 60		
Vel. Note ON	o		o		×		o			o			×		
Note OFF	×		×		×		×			×			×		
After Touch Keys	×		×		×		×			×			×		
Ch's	o		o		×		o			o			×		
Pitch Bend	o														
Modulation 1	o		o	×	o	×	o								
Press Type 2	×	o	×												
Main Volume 7	o		o	×	o	×	o								
Hold1 (damp) 64	o														
Sostenuto 66	o														
UM Drawbar 80	o		×												
LM Drawbar 81	o		×												
PK Drawbar 82	o		×												
Leslie S/F 92	o		×												
NRPN Entry 6	o		×												
NRPN Lsb 98	o		×												
NRPN Msb 99	o		×												
All Notes Off 123	o														
Program Change	1 - 12		1 - 12		1 - 3		1 - 128								

付録D MIDIインプリメンテーション

NRPNデータ表

```
Bx      62      00      x:basic channel(upper channel)
Bx      63      aa      aa:nrpn code
Bx      06      bb      bb:nrpn data
```

NO.	FUNCTION	HEX	DEC	DATA
1	Leslie Slow/Fast	00	0	off:00 on:7F
2	Sustain Upper	06	6	off:00 on:7F
3	Sustain Lower	07	7	off:00 on:7F
4	Sustain Pedal	08	8	off:00 on:7F
5	Leslie On/Off	09	9	off:00 on:7F
6	Vibrato Chorus	0B	11	off:00 on:7F
7	Second Harmonic (Perc)	12	18	off:00 on:7F
8	Third Harmonic (Perc)	13	19	off:00 on:7F
9	Percussion Soft	15	21	off:00 on:7F
10	Fast Decay (Perc)	16	22	off:00 on:7F
11	Vibrato Upper	17	23	off:00 on:7F
12	Vibrato Lower	18	24	off:00 on:7F
13	Pedal To Upper	1B	27	off:00 on:7F
14	Sustain Upper Manual	1C	28	short:00 mid:01 long:02
15	Sustain Lower Manual	1D	29	short:00 mid:01 long:02
16	Sustain Pedals	1E	30	short:00 mid:01 long:02
17	Pedal To Lower	2C	44	off:00 on:7F
18	Lower To Pedal	2D	45	off:00 on:7F
19	Drawbar Type Upper	38	56	B-TYPE:00 MELLOW:01 BRITE:02
20	Drawbar Type Lower	39	57	B-TYPE:00 MELLOW:01 BRITE:02
21	Drawbar Type Pedal	3A	58	NORMAL:00 MUTED:01
22	Attack Upper	3B	59	Slow attack:00 No click:01 Soft click:02 Normal click:03 Max click:04
23	Attack Lower	3C	60	Slow attack:00 No click:01 Soft click:02 Normal click:03 Max click:04
24	Attack Pedal	3D	61	Slow attack:00 No click:01 Soft click:02 Normal click:03 Max click:04
25	Vibrato Mode	45	69	1:00~3F 2:40~5F 3:60~7F

付録 D MIDIインプリメンテーションドローバー

XB-3 MIDI ドローバーデータ

Control Change

Bx 50h yy :Upper
Bx 51h yy :Lower
Bx 52h yy :Pedal

x: Upper Channel Number
yy: Data

Upper / Lower Data Map

	DATA :yy								
DRAWBAR	16'	5 1/3'	8'	4'	2 2/3'	2'	1 3/5'	1 1/3'	1'
Label 0	00h(0)	09h(9)	12h(18)	1Bh(27)	24h(36)	2Dh(45)	36h(54)	3Fh(63)	48h-(72)
Label 1	01h(1)	0Ah(10)	13h(19)	1Ch(28)	25h(37)	2Eh(46)	37h(55)	40h(64)	49h-(73)
Label 2	02h(2)	0Bh(11)	14h(20)	1Dh(29)	26h(38)	2Fh(47)	38h(56)	41h(65)	4Ah-(74)
Label 3	03h(3)	0Ch(12)	15h(21)	1Eh(30)	27h(39)	30h(48)	39h(57)	42h(66)	4Bh-(75)
Label 4	04h(4)	0Dh(13)	16h(22)	1Fh(31)	28h(40)	31h(49)	3Ah(58)	43h(67)	4Ch-(76)
Label 5	05h(5)	0Eh(14)	17h(23)	20h(32)	29h(41)	32h(50)	3Bh(59)	44h(68)	4Dh-(77)
Label 6	06h(6)	0Fh(15)	18h(24)	21h(33)	2Ah(42)	33h(51)	3Ch(60)	45h(69)	4Eh-(78)
Label 7	07h(7)	10h(16)	19h(25)	22h(34)	2Bh(43)	34h(52)	3Dh(61)	46h(70)	4Fh-(79)
Label 8	08h(8)	11h(17)	1Ah(26)	23h(35)	2Ch(44)	35h(53)	3Eh(62)	47h(71)	50h(80

Pedal Data Map

	DATA :yy	
DRAWBAR	16'	8'
Label 0	00h(0)	09h(9)
Label 1	01h(1)	0Ah(10)
Label 2	02h(2)	0Bh(11)
Label 3	03h(3)	0Ch(12)
Label 4	04h(4)	0Dh(13)
Label 5	05h(5)	0Eh(14)
Label 6	06h(6)	0Fh(15)
Label 7	07h(7)	10h(16)
Label 8	08h(8)	11h(17)

アフターサービスと保証について

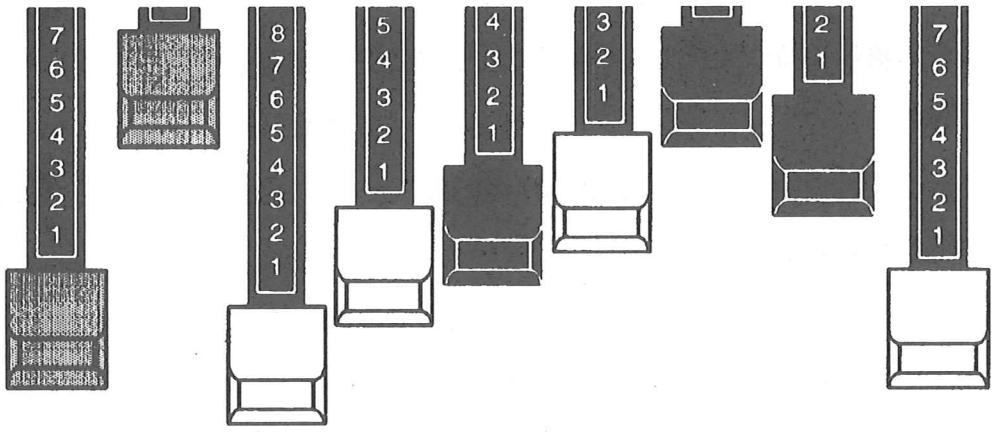
1. この商品には、保証書を別途添付しております。保証書は、販売店で記名の上お渡しいたしますので、所定の記入および記載内容を確認いただき、大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買上げ日より1年間です。
3. アフターサービスに関しましてはお買上げ販売店、または下記記載箇所へご連絡ください。

株式会社鈴木楽器製作所
本社　〒430　静岡県浜松市領家2丁目25-12　053-461-2325

鈴木楽器販売株式会社

本社	浜松市領家2丁目25
東京支店	東京都品川区西五反
北海道営業所	札幌市中央区南9条
東北スズキ	仙台市太白区泉崎2
関東北営業所	大宮市大成町1-435-
新潟営業所	新潟市女池1438-6
浜松営業所	浜松市領家2丁目25
名古屋営業所	名古屋市名東区社か
富山営業所	富山市太田口通り2
金沢営業所	金沢市高尾南3-85
大阪営業所	大阪府豊中市浜2-2(
四国営業所	高松市屋島西町250
広島営業所	広島市東区若草町1
九州営業所	福岡市博多区諸岡1
熊本営業所	熊本市錦ヶ丘5-27
南九州営業所	鹿児島市下伊敷町2

ハモンド関西販売株式会社
大阪市北区芝田2-6-30　梅田清和ビル



HAMMOND ORGAN®

Model XB-3

Version 2.00

OWNER'S PLAYING GUIDE ADDENDUM

ハモンドオルガンは常に伝統あるハモンドのサウンドを継承しながら、時代にあった楽器にするべく、最新の機能を持つオルガンを製造していくことに努力していきたいと考えております。
XB-3発売後数多くのミュージシャンにご意見をいただきました。今回Software Versionを2.00にしてより多くの機能を持ったHAMMOND XB-3にいたしました。このマニュアルの追加分は、その詳細を記したものです。
Software Version 2.00の内容の多くはMIDIに関しての部分です。XB-3とデジタル音源とをMIDIで接続して使用される場合も多いと思われます。本体からデジタル音源を演奏しながらコントロールできるように考慮いたしました。
鈴木楽器製作所からVASE音源を採用した音源モジュールSUZUKI BH-1000を発売しております。同時発音数32音、16マルチパートを持ち368音色（GM 128音色、バリエーション 138音色、ドラム 9セット）を内蔵し、デジタルリバーブ 8種類、デジタルコーラス 8種類を内蔵、格調高い音質を持っております。SUZUKI BH-1000は、ハーフラックサイズに多くの音色を詰め込んだコストパフォーマンスの高い製品です。

XB-3へのご意見ご要望、System Software Version 2.00のご質問は下記までお願い致します。

浜松市領家2丁目25-12
株式会社 鈴木楽器製作所　営業部　電子課
TEL. 053-461-2325　FAX. 053-463-5858

東京都品川区西五反田7-2-17（TOC 10F）
鈴木楽器販売株式会社　東京支店
TEL. 03-3494-3937　FAX. 03-3494-3938

大阪市北区芝田2-6-30
ハモンド関西販売株式会社　（梅田清和ビル4階）
TEL. 06-359-2636　FAX. 06-359-2684

他 鈴木楽器販売株式会社 各営業所

-Table of Contents-

1. DRAWBAR

ペダルドローバーボイス

ドローバープライオリティーオプション

2. BENDER

ピッチベンダー

3. EXPRESSION PEDAL

エクスプレッションオーバードライブオプション

4. MIDI SYSTEM

MIDIプレッシャーカーブ（アフタータッチ）

MIDI IN プログラムナンバーゲイト

MIDI シーケンサーモード

5. MIDI PROGRAM

MIDIプログラムバリエーションナンバー

6.MIDI CONTROL

MIDIエクスプレッションボリューム　#7

MIDIレベル　#8

MIDI OUT ベロシティーカーブ #9

MIDI パンポット #10

MIDI リバーブ レベル　#11

7. MIDI MEMORY DUMP

ドローバー＆スイッチMIDI アウト

8.付録

Gloval Initial データ表

Preset Initial データ表

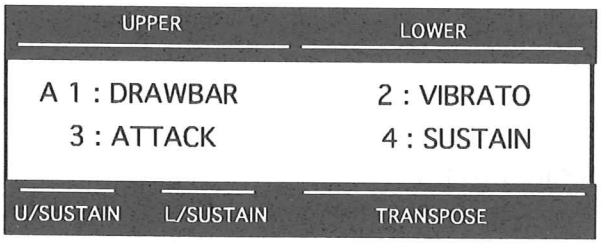
9. XB-3とBH-1000の接続

◆ドローバー　　ペダルドローバーヴォイシング

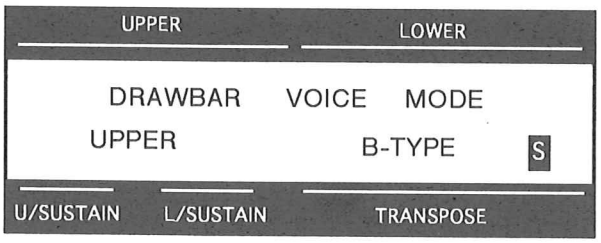
この機能はペダルの音色にミュートサウンドを追加する機能です。Version 1.01の取り扱い説明書にもP-52のボイシング選択肢に記入されていますが、改めて説明いたします。

TRY THIS :

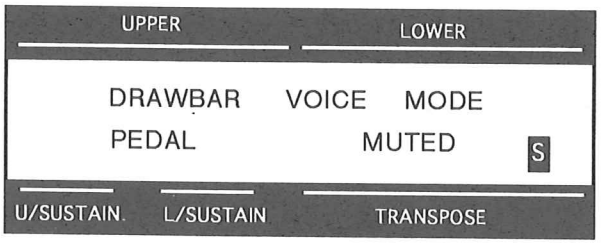
1. MENUボタンをディスプレーに下記の画面が表示されるまで繰り返し押してください。



2. A1: DRAWBARを選択するために、1番のボタンを押すと下記の画面になります。



3. 1番のボタンを2度押すと、ディスプレーは下記の画面になります。
ドローバーのペダル音色がMUTEされた音色に変化します。より深いベースサウンドがえられるでしょう。NORMALに設定する場合にはタッチボタンの3番、4番を押して選択してください。工場出荷時には“MUTED”の音色に設定されます。



NOTE: MENU,PLAYボタンを押すとこの画面から抜け出せます。

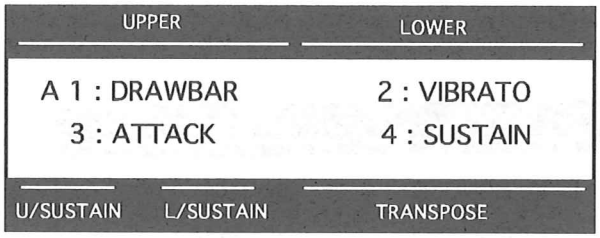
◆ドローバー　　ドローバープライオリティー

この機能はプリセットを使用して演奏しているときに、プリセットのドローバー音色をキャンセルして、アパー、ロアー鍵盤では“B”のドローバー音色にて演奏するための機能です。

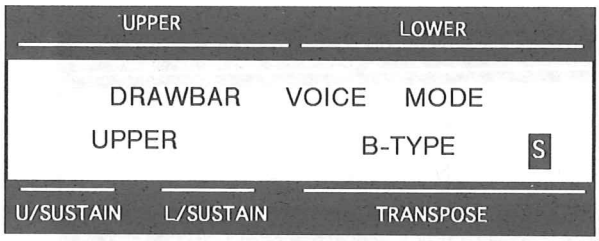
TRY THIS:

1.黒鍵のプリセットキーの一つをえらぶか、タッチボタンのペダルプリセットの一つを選びます。

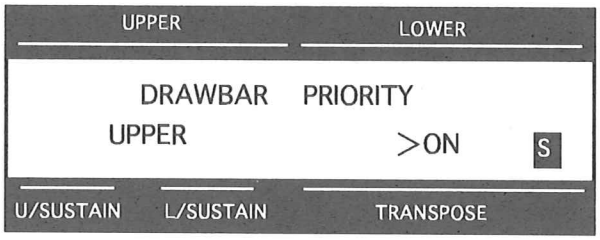
（例えばアパーマニュアルC#プリセットキー）
2.下の表示がでるまで、MENUボタンを繰り返し押してください。



3.1番のボタンを押して下さい。ディスプレーの表示は下記になります。



4.SHIFTボタンを4回押してください。ディスプレーの表示は下記になります。



5.タッチボタンの1番、2番を押すことにより、アパー、ロアー、ペダル鍵盤を選択できます。
6.タッチボタンの3番、4番を押すことによりアパーマニュアル、ロアーマニュアル、ペダルキーボードのドローバープライオリティーを使用するかどうかの選択ができます。

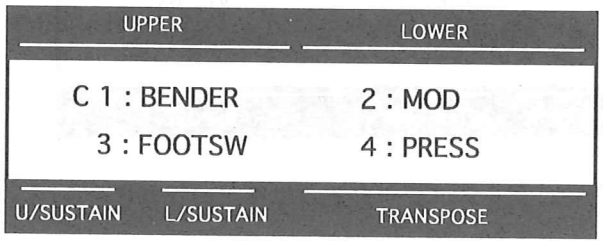
ドローバープライオリティー機能説明

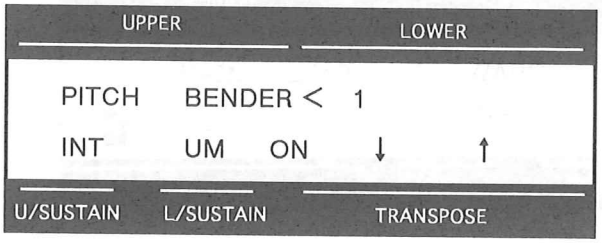
Drawbar Priority "ON"
プリセットキーで演奏しているときも"B"マニュアルセッティングで演奏することができます。XB-3はドローバー以外のパラメータをたくさん持っています。（特にMIDIパラメータ）。それらのパラメータをプリセットでコントロールし、なおかつドローバーをリアルタイムに変化させ演奏することができる機能です。
Drawbar Priority "OFF"
ドローバープライオリティーがオフの時はプリセットキーは通常の働きをします。プリセットは通常、ドローバーはプログラムされているレジストレーションに優先されますので、演奏中にドローバーを動かしても音色は変化しません。

この機能を使用するためには、まずプリセットを選択してください。その後ドローバープライオリティーを各プリセットに機能させるために"オン"にしてください。この機能を選択することにより、例えばMIDIセッティング（チャンネルNO. プログラムNO.)をプリセットキーでコントロールしながら、ドローバーの音色を変化させ演奏することが可能になります。

NOTE: MENU,PLAYボタンを押すとこの画面から抜け出せます。

◆ベンダー　ピッチベンダー





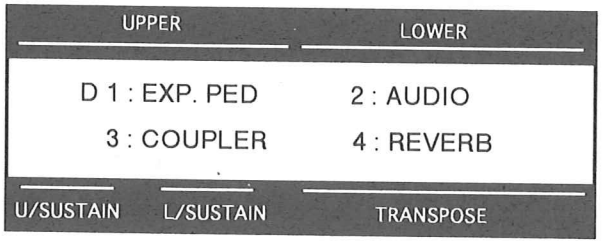
ピッチベンドホイールのレンジを変更するための機能です。
以前のソフトウエアーバージョンでは内部と外部の鍵盤で一つのパラメータしか持っていなかったので、ピッチベンドレンジを内部のアパー鍵盤で変更した場合、外部の鍵盤も同じように変化しました。
バージョン2.0ではアパー、ロアー鍵盤とも独立して、異なったピッチベンドレンジを内部の鍵盤、外部の鍵盤に設定することができます。

◆エクスプレッションペダル　エクスプレッションオーバードライブ

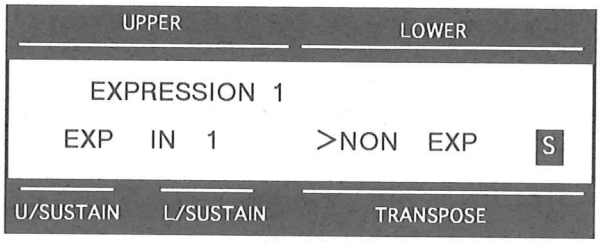
この機能はチューブオーバードライブの機能をエクスプレションペダルにてコントロールするためのものです。

TRY THIS :

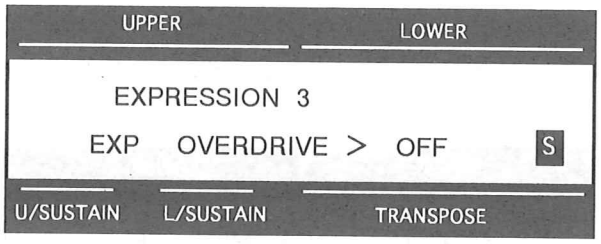
1. MENUボタンを下記の画面になるまで繰り返し押してください。



2.1番のボタンを押してください。ディスプレーの表示は下記のようになります。



3.SHIFTボタンを2回押します。ディスプレーは下記の表示となります。



4. 4番のボタンを押せば、エクスプレションオーバードライブ機能をON,OFFできます。

エクスプレッションオーバードライブ機能説明

Expression Overdrive "ON"

エクスプレションオーバードライブがONの時にはエクスプレションペダルでオーバードライブをコントロールすることができます。この機能をフルに機能させようとする場合には、チューブオーバードライブのボリュームを最大にします。またMENU D の2: AUDIOの中にドライブレベルのパラメータがあります。このパラメータでチューブドライブのマックス値の設定を行ないます。この値を10以上にするとより効果的にかかります。音量のコントロールも同時に働きます。

Expression Overdrive "OFF"

エクスプレションペダルは通常の働きをします。オルガン全体のボリュームを増加または減少します。オーバードライブのレベルは変化しません。

NOTE; MENU,PLAYボタンを押すとこの画面から抜け出せます。

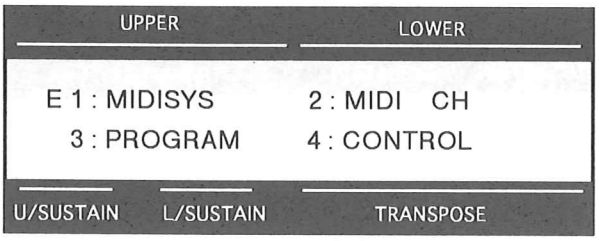
◆MIDIシステム　プレッシャーカーブ（アフタータッチ）

この機能はMIDIアフタータッチデータの6種類の異なったカーブを選択するためのものです。

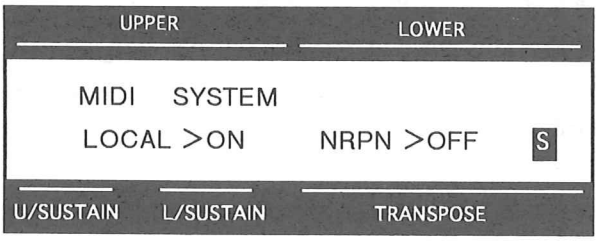
NOTE:前のソフトウエアーバージョンでは、この機能はプレッシャーカーブ部分のMIDIベロシティーカーブに含まれていました。Version2.0ではMIDIベロシティーカーブ部分は後述のMIDIコントロール部分に配置されています。

TRY THIS:

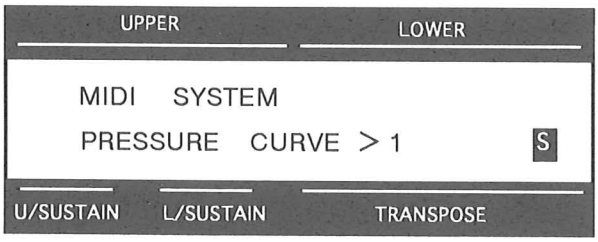
1.MENUボタンをディスプレーに下記の表示がでるまで繰り返し押してください。



2.1番のボタンを押してください。ディスプレーの表示は下記のようになります。

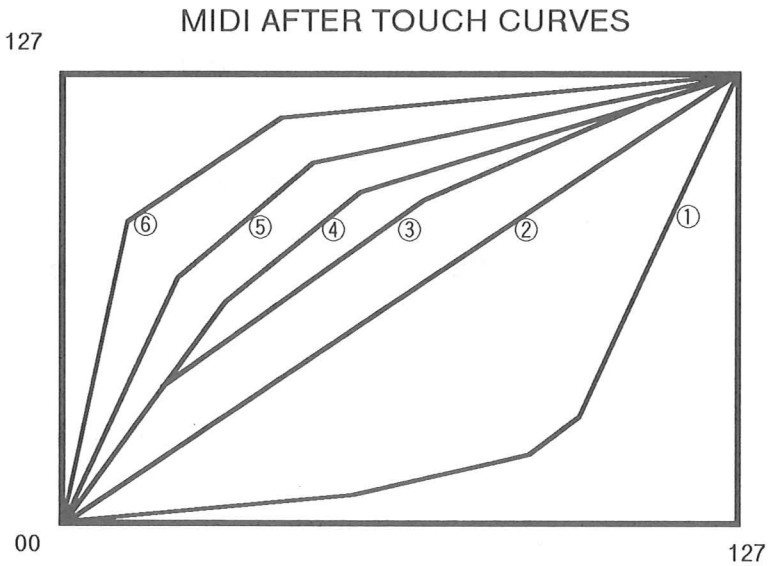


3.1回SHIFTボタンを押してください。ディスプレーの表示は下記のようになります。



4.6種類の異なったプレッシャーカーブの1つを選択してください。

3番のボタンを繰り返し押すことにより、アフタータッチカーブの選択番号が減少していきます。
4番のボタンを繰り返し押すことにより、アフタータッチカーブの選択番号が増加していきます。
アフタータッチカーブを図にすると下記のようになります。

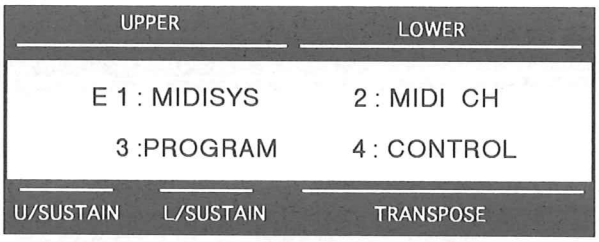


NOTE:MENUまたはPLAYボタンを押すとこの場面から抜け出せます。

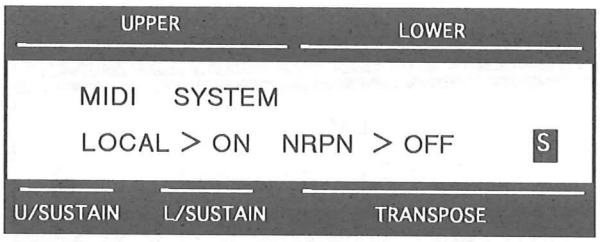
◆MIDIシステム　MIDI INプログラムナンバーゲート

TRY THIS:

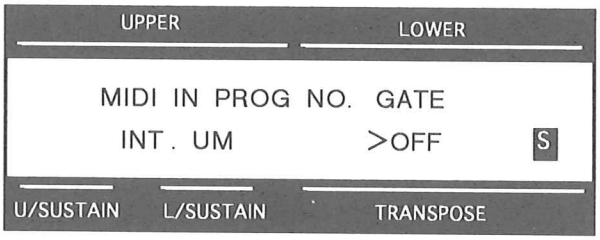
1 MENUボタンを押してディスプレーを下記の表示にしてください。



2.1番のボタンを押してください。ディスプレー表示は下記のようになります。



3.7回SHIFTボタンを押してください。ディスプレーの表示は下記のようになります。



4.1番か2番のボタンを押すことによりアパー、ロアー、ペダル鍵盤を選択できます。
3番、4番のボタンを押すことによりこの機能を使用するかどうかの選択ができます。

MIDIシステム　MIDI INプログラムNO.ゲート機能説明

MIDI IN PROG NO.GATE "ON"
オルガン上でシーケンスレコードされた演奏を、シーケンサーから再生する場合に、インターナルチャンネル上に送られるプログラムNO.を受けます。プログラムNO. によってプリセットキーを動かすことができます。
MIDI IN PROG NO.GATE "OFF"
このモードではプログラムNO.を受けません。シーケンサーから再生する場合にプリセットキーを動かないようにしたい時"OFF"にします。

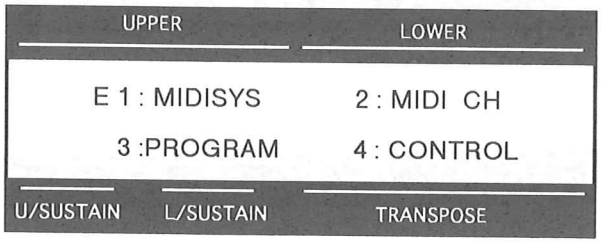
NOTE:MENUまたはPLAYボタンを押すとこの場面から抜け出せます。

◆MIDIシステム　MIDIシーケンサーモード

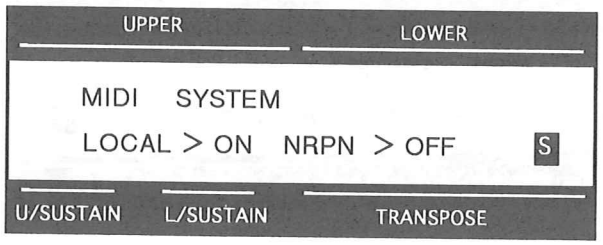
この機能はXB-3と接続して、外部に音源モジュール、シーケンサーを用いた場合に使用する機能です。

TRY THIS :

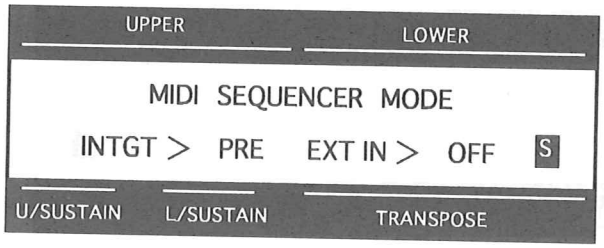
1. MENUボタンを押してディスプレーに下記の表示がでるようにしてください。



2. 1番のボタンを押してください。ディスプレイは下記表示となります。



3.8回SHIFTボタンを押してください。ディスプレイは下記表示となります。



4.1番と2番のボタンを押すことにより、内部のMIDIチャンネルゲートをPREとONに切り替えます。
3番と4番のボタンを押すことにより、外部のMIDI INをONとOFFに切り替えます。

MIDIシーケンサーモード機能説明

Internal MIDI Channel Gate　ON/PRE

インターナルMIDIチャンネルゲートをコントロールします。ONの時には、インターナルチャンネルの設定にかかわらず、アパー、ロアー、ペダル鍵盤とも同時にONの状態にし、インターナルチャンネルが出力されます。そのままシーケンサーに録音されます。

External MIDI IN　ON/OFF

シーケンサーからインターナルチャンネルゲートで再生する場合に、OFFの場合にはオルガンのみしか作動しませんが、ONにすると外部の音源モジュールにも送信されます。

NOTE:MENUまたはPLAYボタンを押すとこの場面から抜け出せます。

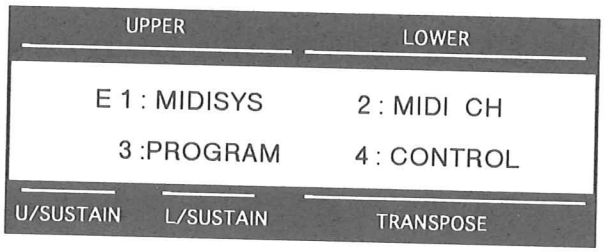
XB-3とシーケンサー、音源モジュールを同時に使用する場合には、下記の接続をしてください。
1.XB-3のMIDI OUTと音源モジュールのMIDI INをMIDI ケーブルで接続します。
2.シーケンサーのMIDI INと音源モジュールのMIDI THRUとを接続します。

◆MIDIプログラム　プログラムバリエーションNO.

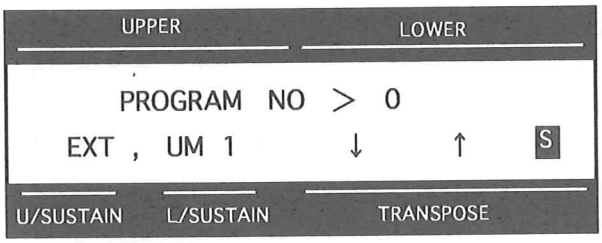
この機能はXB-3と接続してスズキGM音源モジュールBH-1000と共に使用するためのものです。
この機能で　(1)外部のアパーマニュアル1,2,3, (2)外部のロアーマニュアル1,2,3, (3)外部のペダルマニュアル1,2,3, のMIDIプログラムバリエーションNO.をコントロールするための機能です。

TRY THIS:

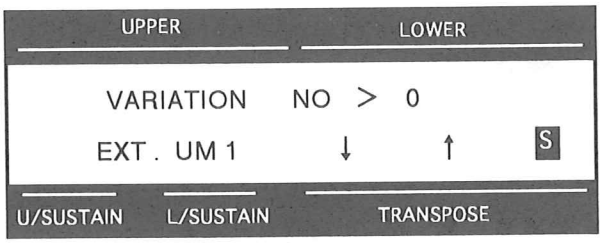
1.MENUボタンを押しディスプレーを下記の表示にしてください。



2.3番のボタンを押してください。ディスプレーは下記の表示になります。



3.SHIFTボタンを1回押してください。ディスプレーは下記の表示になります。



4.1番のボタンを押せば、アパー、ロアー、ペダル鍵盤の選択ができます。
3番のボタンを押せば、MIDIプログラムバリエーションNO.が減少します。
4番のボタンを押せば、MIDIプログラムバリエーションNO.が増加します。
プログラムNO.に適応するバリエーションNO.はBH-1000の音色リスト表を参照してください。プログラムNO.をまず設定し、そのバリエーション音色を選択してください。

MIDI PROGRAM VARIETION NUMBER OPTIONS	
Manual	Program Variation Number Limit
EXT.UM1,2,3	0 - 127
EXT.UM1,2,3	0 - 127
EXT.UM1,2,3	0 - 127

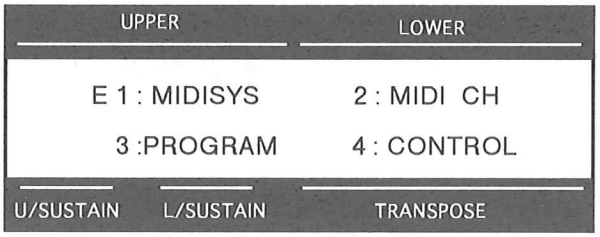
NOTE:MENUまたはPLAYボタンを押すとこの場面から抜け出せます。

◆MIDI コントロール　#7 エクスプレッションボリューム

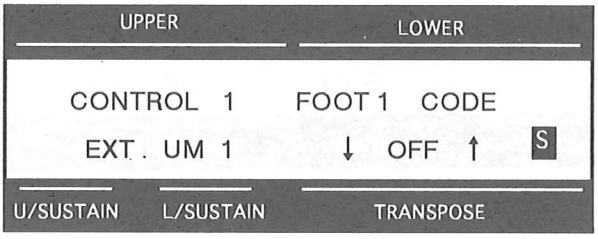
この機能はXB-3と接続されたスズキ音源モジュールBH-1000の為のものです。
この機能はエクスプレッションペダルの動く範囲の最大と最小を設定する機能です。この機能を利用すると、例えばエクスターナル1をピアノ、エクスターナル2をストリングスにし、エクスターナル1のミニマムボリュームを0, エクスターナル2のミニマムボリュームを50にしてレイヤーで演奏したとき、エクスプレションペダルを絞りこんでもストリングスの音が50以下になりません。つまり一つのエクスプレションペダルで違うカーブの効果を楽しむことができるのです。

TRY THIS:

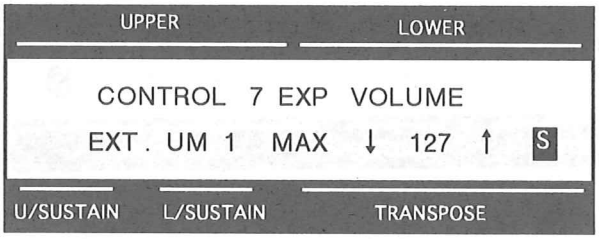
1.MENUボタンをディスプレーに下記の表示がでるまで、繰り返し押してください。



2.4番のボタンを押してください。ディスプレーは下記の表示になります。



3.SHIFTボタンを7回押してください。ディスプレーは下記の表示になります。



4 .1番のボタンを押せば、アパー、ロアー、ペダル鍵盤を選択できます。
2番のボタンを押せば、最大、最小の値が選択ができます。
3番のボタンを押せばMIDIボリュームNO.の値が減少します。
4番のボタンを押せばMIDIボリュームNO.の値が増加します。

MIDI PROGRAM VARIATION NUMBER OPTIONS		
Manual	Minimum Volume Limits	Maximam Volume Limits
EXT.UM 1,2,3	0 - 127	0 - 127
EXT.UM 1,2,3	0 - 127	0 - 127
EXT.UM 1,2,3	0 - 127	0 - 127

NOTE: MENUまたはPLAYボタンを押すとこの画面から抜け出せます。

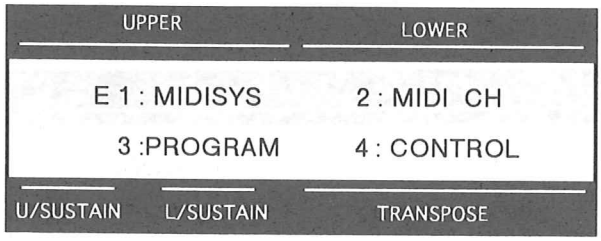
◆MIDIコントロール　#8 MIDIレベル

この機能はXB-3と接続したスズキ音源モジュールBH-1000のコントロールの為のものです。
このパラメータはエクスターナルチャンネルの各音量のレベルを設定するパラメータです。
またMENUの1: MIDI SYSの中のUM A# MIDI VOL のパラメータがONの時“A#”のドローバがコントローラーとなり、このMIDIレベルの値を動かすことができます。

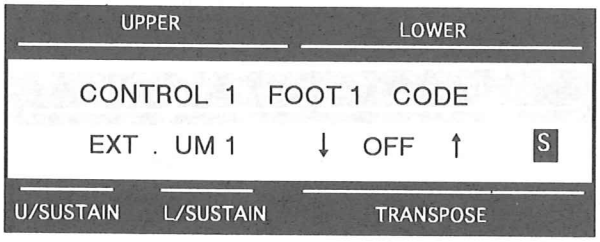
NOTE: A# ドローバーMIDIボリュームに関しては、本文のMIDIリファレンスガイドをみてください。

TRY THIS:

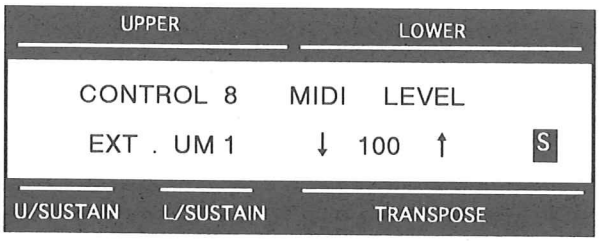
1. MENUボタンをディスプレーに下記の表示がでるまで、繰り返し押してください。



2. 4番のボタンを押してください。表示は下記のようになります。



3. SHIFT ボタンを7回押してください。表示は下記のようになります。



4. 1番のボタンを押せば、アパー、ロアー、ペダル鍵盤を選択できます。
   3番のボタンを押せばMIDIレベルNO.の値が減少します。
   4番のボタンを押せばMIDIレベルNO.の値が増加します。

MIDI LEVEL OPTIONS	
Manual	MIDI Level Limits
EXT.UM 1,2,3	0 - 127
EXT.UM 1,2,3	0 - 127
EXT.UM 1,2,3	0 - 127

NOTE: MENUまたはPLAYボタンを押すとこの画面から抜け出せます。

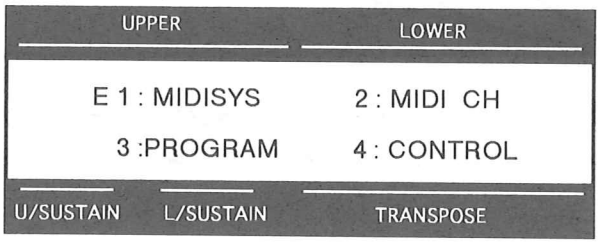
◆MIDIコントロール　#9　ベロシティーカーブ

この機能は6種類のMIDIベロシティーカーブに関しての機能です。

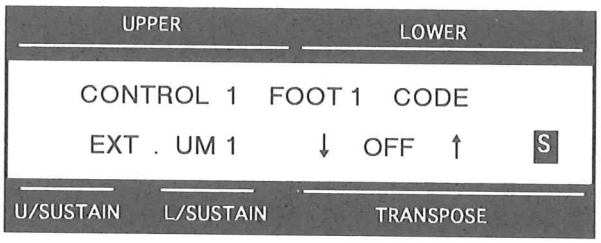
NOTE: 以前のバージョンでは、この機能はMIDIシステム2のプレッシャー（アフタータッチ）に入っていました。バージョン2.0ではMIDIベロシティーカーブがエクスターナルのチャンネルに独立して設定ができるようになりました。。

TRY THIS:

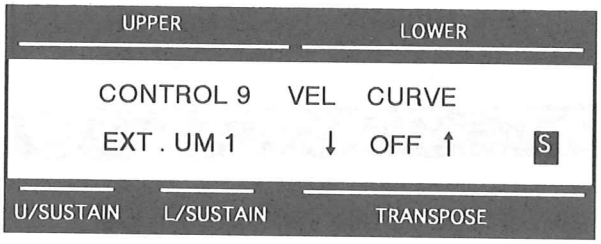
1. MENUボタンをディスプレーに下記の表示がでるまで、繰り返し押してください。



2.4番のボタンを押してください。ディスプレーは下記の表示になります。

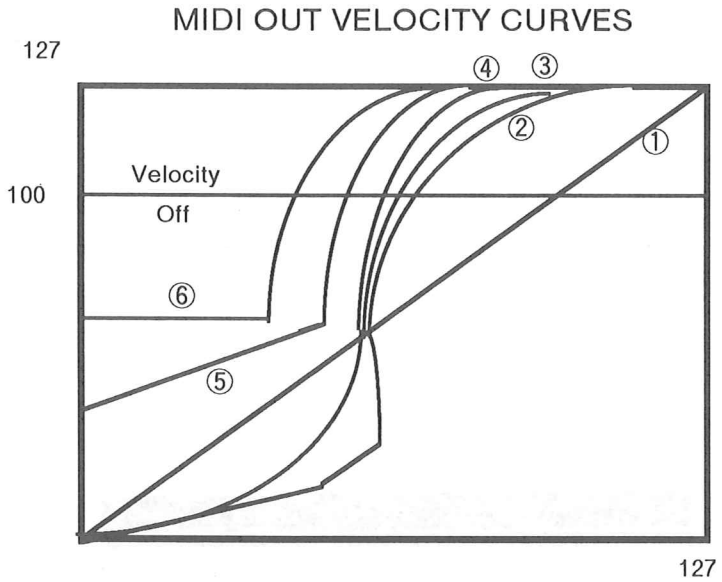


3.SHIFTボタンを8回押してください。ディスプレーは下記の表示になります。



4. 1番のボタンを押せば、アパー、ロアー、ペダル鍵盤を選択できます。
   3番のボタンを押すことにより、ベロシティーカーブを選択することができます。
   （OFF,1,2,3,4,5,6）、数字が減少します。
   3番のボタンを押すことにより、ベロシティーカーブを選択することができます。
   （OFF,1,2,3,4,5,6）、数字が増加します。

ベロシティーカーブは6種類あります。



NOTE: XB-3のペダルキーボードは、ベロシティーデータを送信しません。ヴァージョン2.0ではPEDAL TO LOWERをONにしてペダルチャンネルを発音させた場合にのみベロシティーを効かすことができます。

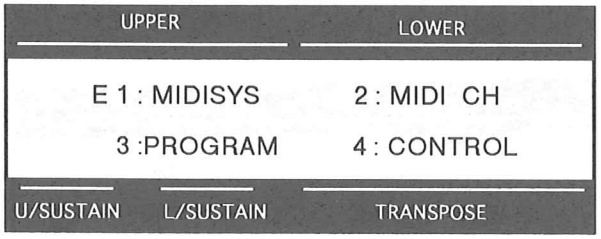
NOTE: MENUまたはPLAYボタンを押すとこの画面から抜け出せます。

◆MIDIコントロール　#10 パンポット

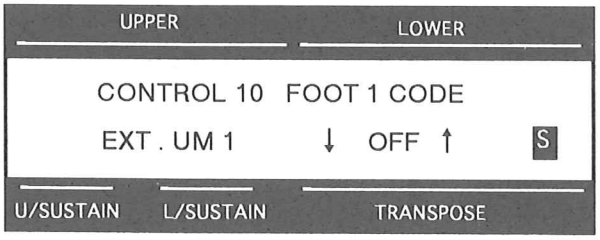
この機能はXB-3と接続したスズキ音源モジュールBH-1000の為のものです。
この機能はオーディオチャンネル定位の設定をします。

TRY THIS :

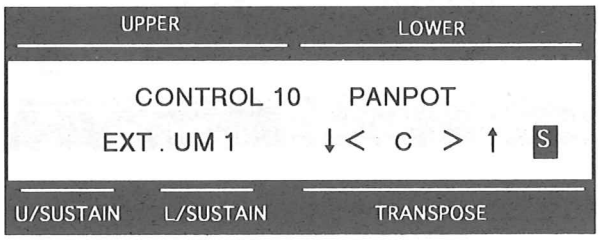
1,MENUディスプレーを下記表示になるまで繰り返し押してください。



2.4番のボタンを押してください。ディスプレーは下記の表示をします。



3.SHIFTボタンを9回押してください。ディスプレーは下記の表示になります。



4. 1番のボタンを押せば、アパー、ロアー、ペダル鍵盤を選択できます。
3番のボタンを押せば左のチャンネルに音色は移動します。
4番のボタンを押せば右のチャンネルに音色は移動します。

MIDI PANPOT OPTIONS	
Manual	Option
EXT . UM 1,2,3	L63~ <C> ~R63
EXT . UM 1,2,3	L63~ <C> ~R63
EXT . UM 1,2,3	L63~ <C> ~R63

NOTE: MENUまたはPLAYボタンを押すとこの画面から抜け出せます。

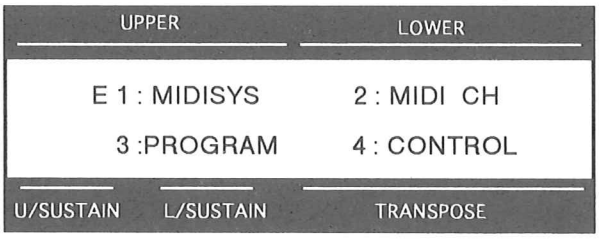
◆MIDIコントロール　#11　リバーブレベル

この機能はXB-3と接続したスズキ音源モジュールBH-1000の為のものです。
各外部のリバーブをコントロールする機能です。

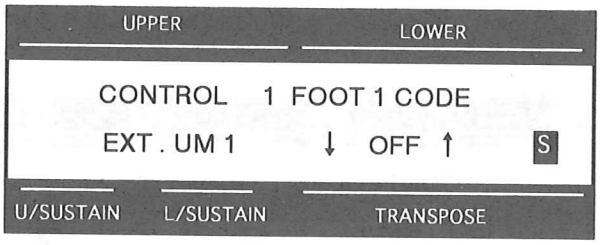
NOTE: この機能はXB-3内部のリバーブをコントロールするための機能ではありません

TRY THIS:

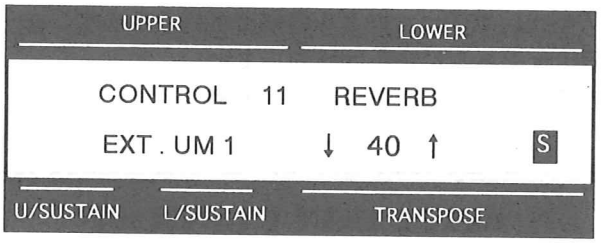
1. 1番のボタンを繰り返し押し、下記の表示にしてください。



2. 4番のボタンを押してください。ディスプレーは下記の表示になります。



3. SHIFTボタンを10回押してください。ディスプレーは下記の表示になります。



4. 1番のボタンを押せば、アパー、ロアー、ペダル鍵盤を選択できます。
3番のボタンを押せば、リバーブの値が減少します。
4番のボタンを押せば、リバーブの値が増加します。

MIDI REVERB OPTIONS	
Manual	Reverb Limits
EXT . UM 1,2,3	0 ～ 127
EXT . UM 1,2,3	0 ～ 127
EXT . UM 1,2,3	0 ～ 127

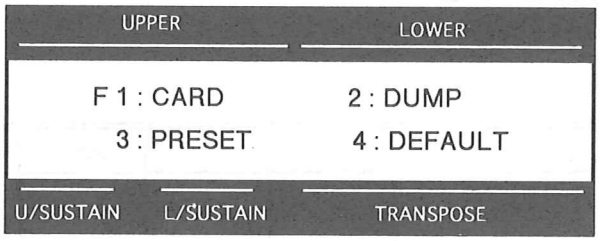
NOTE: MENUまたはPLAYボタンを押すとこの画面から抜け出せます。

◆MIDIダンプ　ドローバー＆スイッチMIDI OUT

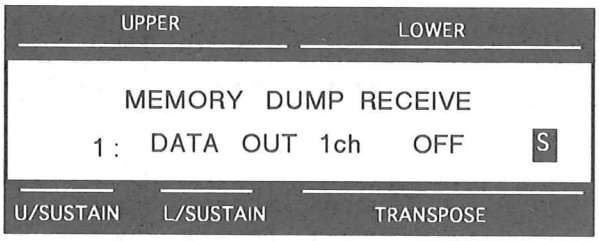
この機能はドローバー、とスイッチの現在の状態を送信する機能です。シーケンサーに録音する時に、始めにこの機能を使用すると便利です。

TRY THIS:

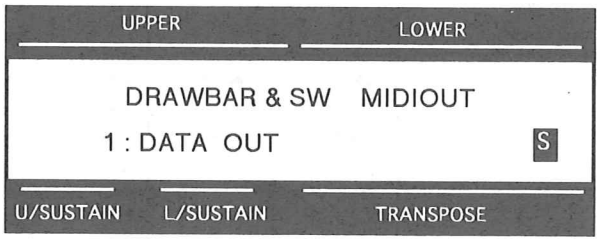
1. 1番のボタンを繰り返し押し、下記の表示にしてください。



2. 2番のボタンを押して下さい。ディスプレーは下記の表示になります。



3. SHIFTボタンを1回押してください。ディスプレーの表示は下記の表示になります。



4. MIDIデータを送信する前にMIDIデータレコーダーとの接続を確かめてください。
MIDIレコーダーをデータを受信できる状態にしましょう。
1番のボタンを押し、MIDIデータレコーダーにデータを送信しましょう。

NOTE: MENUまたはPLAYボタンを押すとこの画面から抜け出せます。

Appendix A - Global Initial Data

	Function	B-3	JAZZ	THEATRE	MIDI	
Touch Tabs	Vibrato Mode	1	1	1	1	
	Vibrato Chorus	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pedal to Lower	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Lower to Pedal	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Upper MIDI OUT ON/OFF	ON	ON	ON	ON	
	Lower MIDI OUT ON/OFF	ON	ON	ON	ON	
	Pedal MIDI OUT ON/OFF	ON	ON	ON	ON	
A-2	Vibrato Speed	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
B-2	Master Tune	440Hz	440Hz	440Hz	440Hz	
	Tune Mode	B-3	B-3	B-3	B-3	
C-3	Foot Switch 1 Internal Mode	LES S/F	LES S/F	LES S/F	LES S/F	
	Foot Switch 2 Internal Mode	LM SOSTE	LM SOSTE	LM SOSTE	LM SOSTE	
	Foot Switch 1 ALT/MOM	ALT	ALT	ALT	ALT	
	Foot Switch 2 ALT/MOM	MOM	MOM	MOM	MOM	
	Foot Switch 2 Polarity	PRS+	PRS+	PRS+	PRS+	
C-4	Pressure (After Touch) Internal Curve Upper	3	3	3	3	
	Pressure (After Touch) Internal Curve Lower	3	3	3	3	
D-1	Expression EXT IN1 ON/OFF	NON EXP	NON EXP	NON EXP	NON EXP	
	Expression EXT IN2 ON/OFF	NON EXP	NON EXP	NON EXP	NON EXP	
	Expression Curve	CONSOLE	CONSOLE	CONSOLE	CONSOLE	
	Expression Overdrive	OFF	OFF	OFF	OFF	New in Vers. 2.00
D-2	Overdrive Level	3	3	3	3	
	Leslie Channels	1ch	1ch	1ch	1ch	
D-3	"PEDAL TO" Mode	LOWER	LOWER	LOWER	LOWER	
	Pedal To Lower High Key	3C	3C	3C	3C	
	Lower To Pedal High Key	3C	3C	3C	3C	
	Pedal To Upper High Key	3C	3C	3C	3C	
D-4	Reverb Mode	HALL	HALL	HALL	HALL	
E-1	Local ON/OFF	ON	ON	ON	ON	
	NRPN ON/OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Expression Mode INT/EXT	INTERNAL	INTERNAL	INTERNAL	INTERNAL	
	Drawbar Filter	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure (After Touch) MIDI OUT Curve	1	1	1	1	
	MIDI SOFT THRU ON/OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Leslie Slow/Fast MIDI Code	OFF	OFF	OFF	OFF	
	UM A♯ Drawbar MIDI Volume	OFF	OFF	OFF	ON	
	Internal MIDI Channel Gate	OFF	OFF	OFF	OFF	New in Vers. 2.00
	External Channel MIDI IN ON/OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	New in Vers. 2.00
	MIDI IN Program Number Gate Upper	ON	ON	ON	ON	New in Vers. 2.00
	MIDI IN Program Number Gate Lower	ON	ON	ON	ON	New in Vers. 2.00
	MIDI IN Program Number Gate Pedal	ON	ON	ON	ON	New in Vers. 2.00
F-2	Dump Receive Switch	ON	ON	ON	ON	
	Dump Device ID Number	1ch	1ch	1ch	1ch	
F-3	Preset Play Mode	B-3	B-3	B-3	STANDARD	
	Preset Record Mode	ALL	ALL	ALL	ALL	

Appendix B - Preset Initial Data

Upper Reverse Key Presets - B-3 (Standard) and Theatre Presets

	Function		C	C♯	D	D♯	E	F	F♯	G	G♯	A	A♯	B	
Touch Note	Vibrato ON/OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Leslie ON/OFF		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Leslie S/F		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Second Harmonic		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Third Harmonic		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Fast Decay		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Percussion Soft		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
Play Mode	Sustain ON/OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
A-1	Drawbar Voice Mode		B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	
	Drawbar Fold Back		LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	
	Perc. Drawbar Cancel		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	DB Level w/Percussion		-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	
	Drawbar Priority		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	New In Vers. 2.00
A-3	Drawbar Attack Mode		NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	
A-4	Sustain Mode		MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	
B-1	Percussion Touch		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Percussion Velocity		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Percussion Level		11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	
B-3	Keymap	Internal	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 1	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 2	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 3	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
B-4	Keychange	Ext. 1 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 2 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 3 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
C-1	Bender ON/OFF	Internal	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 1	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 2	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 3	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Bender Length	Internal	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
C-2	Mod Wheel Leslie S/F		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Mod Wheel 2nd Drawbar		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	2nd Drawbar Preset No.		A#	A#	A#	A#	A#	A#	A#	A#	A#	A#	A#	A#	
	Mod Wheel Drive Control		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
C-4	Pressure Bend		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Pressure Leslie S/F		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure 2nd Drawbar		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure Drive Control		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
E-2	MIDI Channel	Internal	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
		External 1	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	
		External 2	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	
		External 3	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	
E-3	MIDI Program No.	External 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
		External 2	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
		External 3	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
	MIDI Vari. No.	External 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
E-4	Foot Sw 1 Code	External 1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 2	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Foot Sw 2 Code	External 1	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
		External 2	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
		External 3	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
	Mod Wheel Code	External 1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 2	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Exp. Pedal Code	External 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
		External 2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
		External 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	Expression Mode	External 1	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 2	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 3	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
	Pressure Code	External 1	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
		External 2	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
		External 3	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
	Exp. Max. Volume	External 1	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
		External 2	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
		External 3	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
	Exp. Min. Volume	External 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		External 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		External 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	MIDI Level	External 1	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
		External 2	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
		External 3	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
	Velocity Curve	External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	MIDI Panpot	External 1	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	
		External 2	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	
		External 3	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	
	MIDI Reverb	External 1	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
		External 2	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
		External 3	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	

SPECIAL NOTE: The MIDI Touch Buttons and the External MIDI Channels now are "OFF" when "B-3", "JAZZ" or "THEATRE" Default Mode is selected. This is in order to give the player more flexibility when using these modes.

Appendix B - Preset Initial Data

Lower Reverse Key Presets - B-3 (Standard) and Theatre Presets

	Function		C	C♯	D	D♯	E	F	F♯	G	G♯	A	A♯	B	
Touch Tube Play Mode	Vibrato ON/OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Sustain ON/OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
A-1	Drawbar Voice Mode		B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	
	Drawbar Fold Back		LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	
	Drawbar Priority		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	New in Vers. 2.00
A-3	Drawbar Attack Mode		NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	
A-4	Sustain Mode		MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	
B-3	Keymap	Internal	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 1	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 2	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 3	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
B-4	Keychange	Ext. 1 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 2 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 3 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
C-1	Bender ON/OFF	Internal	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 1	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 2	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 3	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Bender Length	Internal	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
C-2	Mod Wheel 2nd Drawbar		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	2nd Drawbar Preset No.		A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	
C-4	Pressure Bend		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Pressure Leslie S/F		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure 2nd Drawbar		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure Drive Control		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
E-2	MIDI Channel	Internal	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	
		External 1	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	
		External 2	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	
		External 3	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	
E-3	MIDI Program No.	External 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
		External 2	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
		External 3	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
	MIDI Vari. No.	External 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		External 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
															New in Vers. 2.00
E-4	Foot Sw 1 Code	External 1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 2	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Foot Sw 2 Code	External 1	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
		External 2	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
		External 3	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
	Mod Wheel Code	External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	Exp. Pedal Code	External 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
		External 2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
		External 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	Expression Mode	External 1	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 2	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 3	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
	Pressure Code	External 1	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
		External 2	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
		External 3	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
	Exp. Max. Volume	External 1	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
		External 2	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
		External 3	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
	Exp. Min. Volume	External 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
	MIDI Level	External 1	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
		External 2	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
		External 3	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
	Velocity Curve	External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
	MIDI Panpot	External 1	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	New in Vers. 2.00
		External 2	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	New in Vers. 2.00
		External 3	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	New in Vers. 2.00
	MIDI Reverb	External 1	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	New in Vers. 2.00
		External 2	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	New in Vers. 2.00
		External 3	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	New in Vers. 2.00

Appendix B - Preset Initial Data

Upper Reverse Key Presets - Jazz Presets

	Function		C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B	
Touch Tabs	Vibrato ON/OFF		OFF	ON	ON	OFF	ON	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	
	Leslie ON/OFF		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Leslie S/F		OFF	ON	ON	OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Second Harmonic		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Third Harmonic		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	
	Fast Decay		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	
	Percussion Soft		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	
	Sustain ON/OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
Play Mode A-1	Drawbar Voice Mode		B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	
	Drawbar Fold Back		LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	
	Perc. Drawbar Cancel		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	DB Level w/Percussion		-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	
	Drawbar Priority		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
A-3	Drawbar Attack Mode		NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	New in Vers. 2.00
A-4	Sustain Mode		MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	
B-1	Percussion Touch		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Percussion Velocity		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Percussion Level		11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	
B-3	Keymap	Internal	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 1	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 2	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 3	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
B-4	Keychange	Ext. 1 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 2 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 3 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
C-1	Bender ON/OFF	Internal	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 1	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 2	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 3	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Bender Length	Internal	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
C-3	Mod Wheel Leslie S/F		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Mod Wheel 2nd Drawbar		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	2nd Drawbar Preset No.		A#	A#	A#	A#	A#	A#	A#	A#	A#	A#	A#	A#	
	Mod Wheel Drive Control		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
C-4	Pressure Bend		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Pressure Leslie S/F		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure 2nd Drawbar		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure Drive Control		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
E-2	MIDI Channel	Internal	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
		External 1	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	OFF 2	
		External 2	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	OFF 3	
		External 3	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	OFF 4	
E-3	MIDI Program No.	External 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
		External 2	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
		External 3	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
	MIDI Vari. No.	External 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
E-4	Foot Sw 1 Code	External 1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 2	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Foot Sw 2 Code	External 1	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
		External 2	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
		External 3	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
	Mod Wheel Code	External 1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 2	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Exp. Pedal Code	External 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
		External 2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
		External 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	Expression Mode	External 1	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 2	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 3	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
	Pressure Code	External 1	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
		External 2	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
		External 3	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
	Exp. Max. Volume	External 1	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
		External 2	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
		External 3	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
	Exp. Min. Volume	External 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		External 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		External 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	MIDI Level	External 1	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
		External 2	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
		External 3	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
	Velocity Curve	External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	MIDI Panpot	External 1	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	
		External 2	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	
		External 3	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	
	MIDI Reverb	External 1	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
		External 2	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
		External 3	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	

Appendix B - Preset Initial Data

Lower Reverse Key Presets - Jazz Presets

	Function		C	C♯	D	D♯	E	F	F♯	G	G♯	A	A♯	B	
Touch Tabs Play Mode	Vibrato ON/OFF		OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Sustain ON/OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
A-1	Drawbar Voice Mode		B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	
	Drawbar Fold Back		LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	New in Vers. 2.00
	Drawbar Priority		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
A-2	Drawbar Attack Mode		NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	
A-4	Sustain Mode		MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	
B-2	Keymap	Internal	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 1	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 2	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 3	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
B-4	Keychange	Ext. 1 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 2 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 3 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
C-1	Bender ON/OFF	Internal	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 1	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 2	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 3	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Bender Length	Internal	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
C-3	Mod Wheel 2nd Drawbar		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	2nd Drawbar Preset No.		A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	
C-4	Pressure Bend		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Pressure Leslie S/F		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure 2nd Drawbar		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure Drive Control		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
E-2	MIDI Channel	Internal	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	ON 5	
		External 1	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	OFF 6	
		External 2	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	OFF 7	
		External 3	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	OFF 8	
E-3	MIDI Program No.	External 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
		External 2	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
		External 3	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	ON 1	
	MIDI Vari. No.	External 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
E-4	Foot Sw 1 Code	External 1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 2	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Foot Sw 2 Code	External 1	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
		External 2	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
		External 3	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
	Mod Wheel Code	External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	Exp. Pedal Code	External 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
		External 2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
		External 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	Expression Mode	External 1	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 2	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 3	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
	Pressure Code	External 1	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
		External 2	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
		External 3	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
	Exp. Max. Volume	External 1	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
		External 2	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
		External 3	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
	Exp. Min. Volume	External 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
	MIDI Level	External 1	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
		External 2	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
		External 3	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
	Velocity Curve	External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
	MIDI Panpot	External 1	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	New in Vers. 2.00
		External 2	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	New in Vers. 2.00
		External 3	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	New in Vers. 2.00
	MIDI Reverb	External 1	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	New in Vers. 2.00
		External 2	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	New in Vers. 2.00
		External 3	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	New in Vers. 2.00

Appendix B - Preset Initial Data

Upper Reverse Key Presets - MIDI Presets

	Function		C	C♯	D	D♯	E	F	F♯	G	G♯	A	A♯	B	
Touch Tabs	Vibrato ON/OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Leslie ON/OFF		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Leslie S/F		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Second Harmonic		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Third Harmonic		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Fast Decay		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Percussion Soft		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
Play Mode	Sustain ON/OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
A-1	Drawbar Voice Mode		B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	
	Drawbar Fold Back		LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	
	Perc. Drawbar Cancel		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	DB Level w/Percussion		-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	-3db	
	Drawbar Priority		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	New in Vers. 2.00
A-3	Drawbar Attack Mode		NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	
A-4	Sustain Mode		MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	
B-1	Percussion Touch		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Percussion Velocity		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Percussion Level		11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	
B-3	Keymap	Internal	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 1	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 2	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 3	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
B-4	Keychange	Ext. 1 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 2 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-1	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 3 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
C-1	Bender ON/OFF	Internal	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 1	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 2	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 3	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Bender Length	Internal	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
C-2	Mod Wheel Leslie S/F		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Mod Wheel 2nd Drawbar		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	2nd Drawbar Preset No.		A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	
	Mod Wheel Drive Control		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
C-4	Pressure Bend		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Pressure Leslie S/F		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure 2nd Drawbar		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure Drive Control		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
E-2	MIDI Channel	Internal	OFF 1	OFF 1	OFF 1	OFF 1	OFF 1	OFF 1	OFF 1	OFF 1	OFF 1	OFF 1	OFF 1	OFF 1	
		External 1	ON 2	ON 2	ON 2	ON 2	ON 2	ON 2	ON 2	ON 2	ON 2	ON 2	ON 2	ON 2	
		External 2	ON 3	ON 3	ON 3	ON 3	ON 3	ON 3	ON 3	ON 3	ON 3	ON 3	ON 3	ON 3	
		External 3	ON 4	ON 4	ON 4	ON 4	ON 4	ON 4	ON 4	ON 4	ON 4	ON 4	ON 4	ON 4	
E-3	MIDI Program No.	External 1	ON 1	ON 62	ON 12	ON 74	ON 41	ON 49	ON 20	ON 64	ON 30	ON 78	ON 1	ON 1	
		External 2	ON 66	ON 60	ON 74	ON 65	ON 69	ON 57	ON 20 Keych.-1	ON 66	ON 85	ON 107	ON 50	ON 50	
		External 3	ON 25	ON 67	ON 66	ON 2	ON 72	ON 61	ON 20	ON 60	ON 81	ON 76	ON 53	ON 67	
	MIDI Vari. No.	External 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
E-4	Foot Sw 1 Code	External 1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 2	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Foot Sw 2 Code	External 1	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
		External 2	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
		External 3	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
	Mod Wheel Code	External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	Exp. Pedal Code	External 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
		External 2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
		External 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	Expression Mode	External 1	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 2	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 3	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
	Pressure Code	External 1	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
		External 2	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
		External 3	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
	Exp. Max. Volume	External 1	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
		External 2	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
		External 3	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	
	Exp. Min. Volume	External 1	0	20	0	20	20	20	20	0	20	20	0	0	
		External 2	20	20	20	20	20	20	20	20	20	0	20	20	
		External 3	20	20	20	20	20	20	20	20	0	20	20	20	
	MIDI Level	External 1	127	115	127	127	100	105	115	127	127	127	Adj. 16' DB	Adj. 16' DB	
		External 2	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	Adj. 5 1/3' DB	Adj. 5 1/3' DB	
		External 3	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	Adj. 8' DB	Adj. 8' DB	
	Velocity Curve	External 1	1	OFF	1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	1	1	
		External 2	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	1	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	MIDI Panpot	External 1	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	
		External 2	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	
		External 3	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	
	MIDI Reverb	External 1	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
		External 2	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
		External 3	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	

Appendix B - Preset Initial Data

Lower Reverse Key Presets - MIDI Presets

	Function		C	C♯	D	D♯	E	F	F♯	G	G♯	A	A♯	B	
Touch Tube Play Mode	Vibrato ON/OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Sustain ON/OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
A-1	Drawbar Voice Mode		B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	B-TYPE	
	Drawbar Fold Back		LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	LO-2C HI-4G	
	Drawbar Priority		ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	New in Vers. 2.00
A-3	Drawbar Attack Mode		NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	
A-4	Sustain Mode		MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	MID	
B-3	Keymap	Internal	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 1	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 2	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
		External 3	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	1C-6C	
B-4	Keychange	Ext. 1 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 2 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 3 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
C-1	Bender ON/OFF	Internal	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 1	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 2	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
		External 3	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	Bender Length	Internal	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	New in Vers. 2.00
C-2	Mod Wheel 2nd Drawbar		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	2nd Drawbar Preset No.		A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	A♯	
C-4	Pressure Bend		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Pressure Leslie S/F		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure 2nd Drawbar		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Pressure Drive Control		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
E-2	MIDI Channel	Internal	OFF 5	OFF 5	OFF 5	OFF 5	OFF 5	OFF 5	OFF 5	OFF 5	OFF 5	OFF 5	OFF 5	OFF 5	
		External 1	ON 6	ON 6	ON 6	ON 6	ON 6	ON 6	ON 6	ON 6	ON 6	ON 6	ON 6	ON 6	
		External 2	ON 7	ON 7	ON 7	ON 7	ON 7	ON 7	ON 7	ON 7	ON 7	ON 7	ON 7	ON 7	
		External 3	ON 8	ON 8	ON 8	ON 8	ON 8	ON 8	ON 8	ON 8	ON 8	ON 8	ON 8	ON 8	
E-3	MIDI Program No.	External 1	ON 49	ON 1	ON 27	ON 25	ON 49	ON 45	ON 20	ON 2	ON 31	ON 109	ON 53	ON 49	
		External 2	ON 1	ON 27	ON 1	ON 5	ON 47	ON 46	ON 20	ON 5	ON 63	ON 109	ON 7	ON 7	
		External 3	ON 27	ON 62	ON 5	ON 53	ON 7	ON 58	ON 69	ON 91	ON 82	ON 117	ON 25	ON 27	
	MIDI Vari. No.	External 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	8	0	0	New in Vers. 2.00
		External 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
E-4	Foot Sw 1 Code	External 1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 2	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	Foot Sw 2 Code	External 1	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
		External 2	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
		External 3	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	
	Mod Wheel Code	External 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		External 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	Exp. Pedal Code	External 1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
		External 2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
		External 3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	Expression Mode	External 1	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 2	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 3	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
	Pressure Code	External 1	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
		External 2	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
		External 3	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	PRESS	
	Exp. Max. Volume	External 1	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
		External 2	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
		External 3	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	New in Vers. 2.00
	Exp. Min. Volume	External 1	20	0	0	0	20	20	20	20	20	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 2	0	0	0	0	0	20	20	20	20	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 3	0	20	20	20	0	0	20	0	0	0	0	0	New in Vers. 2.00
	MIDI Level	External 1	55	100	111	117	82	94	115	105	115	119	Adj. 4' DB	Adj. 4' DB	New in Vers. 2.00
		External 2	0	0	0	0	0	0	75	0	0	0	Adj. 2 2/3' DB	Adj. 2 2/3' DB	New in Vers. 2.00
		External 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Adj. 2' DB	Adj. 2' DB	New in Vers. 2.00
	Velocity Curve	External 1	OFF	1	1	1	OFF	OFF	OFF	1	OFF	1	OFF	OFF	New in Vers. 2.00
		External 2	1	1	1	1	1	OFF	OFF	1	OFF	1	OFF	OFF	New in Vers. 2.00
		External 3	1	OFF	1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	1	1	1	New in Vers. 2.00
	MIDI Panpot	External 1	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	New in Vers. 2.00
		External 2	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	New in Vers. 2.00
		External 3	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	<C>	New in Vers. 2.00
	MIDI Reverb	External 1	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	New in Vers. 2.00
		External 2	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	New in Vers. 2.00
		External 3	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	New in Vers. 2.00

Appendix B - Preset Initial Data

Pedal Presets - B-3 (Standard) / Jazz / Theatre

	Function		1	2	4	
Play Mode	Sustain ON/OFF		OFF	OFF	OFF	
A-1	Drawbar Voice Mode		MUTED	MUTED	MUTED	
	Drawbar Priority		ON	ON	ON	New in Vers. 2.00
A-2	Drawbar Attack Mode		NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	
A-4	Sustain Mode		MID	MID	MID	
B-3	Keymap	Internal	1C-3C	1C-3C	1C-3C	
		External 1	1C-3C	1C-3C	1C-3C	
		External 2	1C-3C	1C-3C	1C-3C	
		External 3	1C-3C	1C-3C	1C-3C	
B-4	Keychange	Ext. 1 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 2 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 3 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
C-1	Bender ON/OFF	Internal	ON	ON	ON	
		External 1	ON	ON	ON	
		External 2	ON	ON	ON	
		External 3	ON	ON	ON	
	Bender Length	Internal	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 2	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 3	1	1	1	New in Vers. 2.00
C-2	MIDI Channel	Internal	OFF 9	OFF 9	OFF 9	
		External 1	ON 11	ON 11	ON 11	
		External 2	ON 12	ON 12	ON 12	
		External 3	ON 13	ON 13	ON 13	
C-3	MIDI Program No.	External 1	ON 1	ON 1	ON 1	
		External 2	ON 1	ON 1	ON 1	
		External 3	ON 1	ON 1	ON 1	
	MIDI Vari. No.	External 1	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 2	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 3	0	0	0	New in Vers. 2.00
C-4	Foot Sw 1 Code	External 1	OFF	OFF	OFF	
		External 2	OFF	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	
	Foot Sw 2 Code	External 1	64	64	64	
		External 2	64	64	64	
		External 3	64	64	64	
	Mod Wheel Code	External 1	OFF	OFF	OFF	
		External 2	OFF	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	
	Exp. Pedal Code	External 1	7	7	7	
		External 2	7	7	7	
		External 3	7	7	7	
	Expression Mode	External 1	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 2	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 3	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
	Exp. Max. Volume	External 1	127	127	127	
		External 2	127	127	127	
		External 3	127	127	127	
	Exp. Min. Volume	External 1	0	0	0	
		External 2	0	0	0	
		External 3	0	0	0	
	MIDI Level	External 1	127	127	127	
		External 2	127	127	127	
		External 3	127	127	127	
	Velocity Curve	External 1	1	1	1	
		External 2	1	1	1	
		External 3	1	1	1	
	MIDI Panpot	External 1	<C>	<C>	<C>	
		External 2	<C>	<C>	<C>	
		External 3	<C>	<C>	<C>	
	MIDI Reverb	External 1	40	40	40	
		External 2	40	40	40	
		External 3	40	40	40	

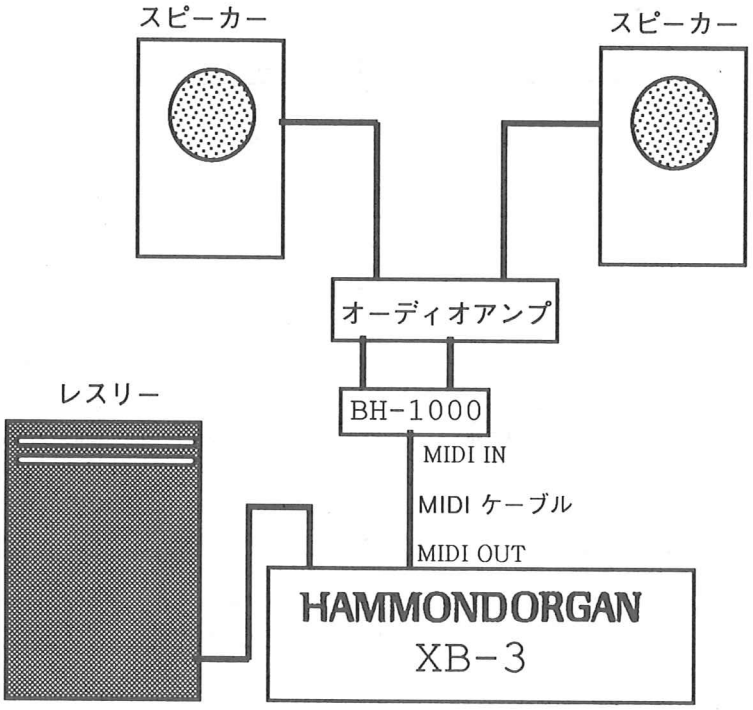
Appendix B - Preset Initial Data

Pedal Presets - MIDI

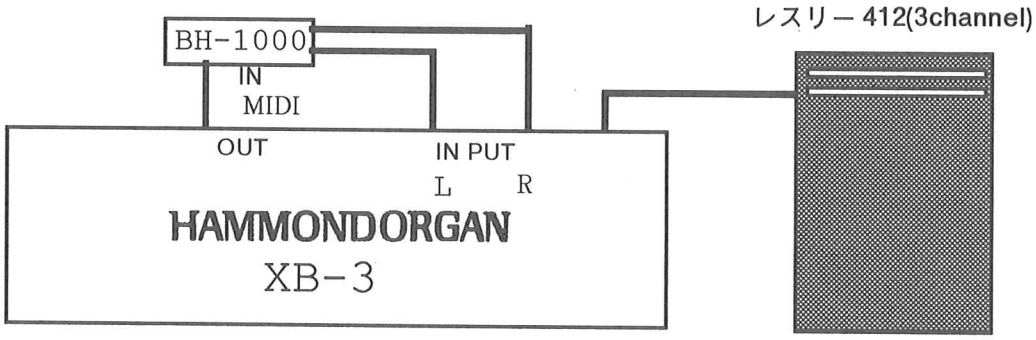
	Function		1	2	M	
Play Mode	Sustain ON/OFF		OFF	OFF	OFF	
A-1	Drawbar Voice Mode		MUTED	MUTED	MUTED	New in Vers. 2.00
	Drawbar Priority		OFF	OFF	OFF	
A-2	Drawbar Attack Mode		NORM CL.	NORM CL.	NORM CL.	
A-3	Sustain Mode		MID	MID	MID	
B-3	Keymap	Internal	1C-3C	1C-3C	1C-3C	
		External 1	1C-3C	1C-3C	1C-3C	
		External 2	1C-3C	1C-3C	1C-3C	
		External 3	1C-3C	1C-3C	1C-3C	
B-4	Keychange	Ext. 1 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
		Ext. 2 Oct. Key	-0 +0	-2	-0 +0	
		Ext. 3 Oct. Key	-0 +0	-0 +0	-0 +0	
C-1	Bender ON/OFF	Internal	ON	ON	ON	
		External 1	ON	ON	ON	
		External 2	ON	ON	ON	
		External 3	ON	ON	ON	
	Bender Length	Internal	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 1	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 2	1	1	1	New in Vers. 2.00
		External 3	1	1	1	New in Vers. 2.00
C-3	MIDI Channel	Internal	ON 9	ON 9	ON 9	
		External 1	OFF 11	OFF 11	OFF 11	
		External 2	OFF 12	OFF 12	OFF 12	
		External 3	OFF 13	OFF 13	OFF 13	
E-4	MIDI Program No.	External 1	ON 34	ON 20	ON 33	
		External 2	ON 38	ON 71 Kychg.-2	ON 44	
		External 3	ON 39	ON 48	ON 36	
	MIDI Vari. No.	External 1	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 2	0	0	0	New in Vers. 2.00
		External 3	0	0	0	New in Vers. 2.00
C-4	Foot Sw 1 Code	External 1	OFF	OFF	OFF	
		External 2	OFF	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	
	Foot Sw 2 Code	External 1	64	64	64	
		External 2	64	64	64	
		External 3	64	64	64	
	Mod Wheel Code	External 1	OFF	OFF	OFF	
		External 2	OFF	OFF	OFF	
		External 3	OFF	OFF	OFF	
	Exp. Pedal Code	External 1	7	7	7	
		External 2	7	7	7	
		External 3	7	7	7	
	Expression Mode	External 1	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 2	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
		External 3	NORMAL	NORMAL	NORMAL	
	Exp. Max. Volume	External 1	127	127	127	
		External 2	127	127	127	
		External 3	127	127	127	
	Exp. Min. Volume	External 1	0	0	0	
		External 2	0	0	0	
		External 3	0	0	0	
	MIDI Level	External 1	100	127	Adj. 1 7/8' DB	
		External 2	0	0	Adj. 1 1/2' DB	
		External 3	0	0	Adj. 1' DB	
	Velocity Curve	External 1	OFF	1	1	
		External 2	OFF	1	1	
		External 3	OFF	1	1	
	MIDI Panpot	External 1	<C>	<C>	<C>	
		External 2	<C>	<C>	<C>	
		External 3	<C>	<C>	<C>	
	MIDI Reverb	External 1	40	40	40	
		External 2	40	40	40	
		External 3	40	40	40	

◆XB-3と音源モジュールBH-1000を組み合わせたときのオルガンらしい使い方テクニック

接続の仕方1



接続の仕方2



MENUD1:AUDIOでレスリーチャンネルを3チャンネルに設定してください。

TRY THAT:

MENU F 4: DEFAULTで“MIDI”にします。
XB-3のプリセットキーを切り替えて色々な音色で演奏してみましょう。MIDIDEFAULTのプログラムナンバーはMIDI PRESET PROGRAM NUMBER表を参照してください。
またこのデフォルトセッティングでは、UM A# MIDIボリュームがオンになっているので、A#ドローバーを動かすと各エクスターナルチャンネルの音量がリアルタイムにコントロールできます。
またストリングス等持続音系の音色のエキスプレションミニマムボリュームが20に設定されているのでドローバーと同じカーブで音量がコントロールできます。

MIDI PRESET PROGRAM NUMBER

	C ORTHODOX 1	C# BRASS	D MJQ	D# BOSSA NOVA
UM EXT1	001 : Acoustic Grand Piano	062 : Brass Section 1	012 : Vibraphone	074 : Flute
UM EXT2	002 : Alto Sax	060 : Mute Trumpet	074 : Flute	065 : Soprano Sax
UM EXT3	003 : Nylon-String Guitar	067 : Tenor Sax	066 : Alto Sax	002 : Bright Piano
	E CLASIC	F FULL ORCHESTRA	F# PIPE	G FUSION
UM EXT1	041 : Violin	049 : Strings Ensamble 1	020 : Church Organ 1	064 : Synth Brass 2
UM EXT2	069 : Oboe	057 : Trumpet	020 : Positive Organ 1(vari1)	066 : Alto Sax
UM EXT3	072 : Clarinet	061 : French Horn	020 : Positive Organ 2(vari 2)	050 : Mute Trumpet
	G# Rock	A JAPANESE	A# ORTHODOX 2	B ORITHODOX 3
UM EXT1	030 : Overdrive Guitar	078 : Shakuhachi	001 : Acoustic Grand Piano	001 : Acoustic Grand Piano
UM EXT2	085 : Charang Lead	107 : Shamisen	050 : Strings Ensamble 2	050 : Strings Ensamble 2
UM EXT3	081 : Square Lead	076 : Pan Flute	053 : Aah Choir	067 : Tenor Sax

	C ORTHODOX 1	C# BRASS	D MJQ	D# BOSSA NOVA
UM EXT1	049 : Strings Ensamble	001 : Acoustic Grand Piano	027 : Jazz Guitar	025 : Nylon-String Guitar
UM EXT2	001 : Acoustic Grand Piano	027 : Jazz Guitar	001 : Acoustic Grand Piano	005 : Electric Piano 1
UM EXT3	027 : Jazz Guitar	062 : Brass Section 1	005 : Electric Piano 1	053 : Aha Choir
	E CLASIC	F FULL ORCHESTRA	F# PIPE	G FUSION
UM EXT1	049 : Strings Ensamble 1	045 : Tremolo Strings	020 : Church Organ 1	002 : Bright Piano
UM EXT2	047 : Orchestra Harp	046 : Pizzicato Strings	020 : Positive Organ 1(vari1)	005 : Electric Piano 1
UM EXT3	007 : Harpsicord	056 : Orchestra Hit	069 : Oboe	091 : Polysynth Pad
	G# Rock	A JAPANESE	A# ORTHODOX 2	B ORITHODOX 3
UM EXT1	031 : Distortion Guitar	108 : Koto	053 : Aha Choir	049 : Strings Ensamble 1
UM EXT2	063 : Synth Brass 1	108 : Taisho Goto (vari8)	007 : Harpsichord	007 : Harpsichord
UM EXT3	082 : Saw Lead	117 : Taiko Drum	025 : Nylon-String Guitar	027 : Jazz Guitar

	PRESET 1	PRESET 2	MANUAL
UM EXT1	034 : Finger Bass	020 : Church Organ 1	033 : Acoustic Brass
UM EXT2	038 : Slap Bass 2	071 : Bassoon	044 : Contrabass
UM EXT3	039 : Synth Brass	048 : Timpani	036 : Fretless Bass